令和８年度版（令和７年度実績）

大 牟 田 の 教 育

～　教育委員会の権限に属する事務の管理
及び執行状況についての点検及び評価　～

大牟田市教育委員会
大　　牟　　田　　市

目　　次

はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

点検及び評価の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

教育委員会の活動状況

教育委員会の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

教育委員会の主な活動実績 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

活動の評価 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

教育施策の推進状況

（教育委員会関係分）

令和７年度大牟田市学校教育振興事業計画

趣旨 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

令和７年度の教育委員会の方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

成果指標の令和７年度実績値 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

基本方針に係る成果指標の令和７年度達成状況 ・・・・・・・・・・・・・・１２

令和７年度重点事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４

基本施策Ⅰ　社会的自立の基盤となる資質や能力の育成

主要施策１　確かな学力の育成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７

主要施策２　豊かな心の育成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３２

主要施策３　健やかな体の育成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３６

主要施策４　主体的に社会の形成に参画する態度の育成 ・・・・・・・・・・・・３９

基本施策Ⅱ　安心して学べる学校づくり

主要施策１　誰一人取り残さない学びの保障 ・・・・・・・・・・・・・・・・・４１

主要施策２　特別支援教育の推進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４８

基本施策Ⅲ　地域とともにある学校づくり

主要施策１　地域の力を活かした学校運営の推進 ・・・・・・・・・・・・・・・５１

主要施策２　学校・家庭・地域の連携 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５３

基本施策Ⅳ　学校教育環境の充実

主要施策１　学校再編整備の推進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５６

主要施策２　学校施設・設備の整備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５８

基本施策Ⅴ　人権に関する教育・啓発の推進

主要施策１　人権・同和教育の推進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６０

（市長部局関係分）
「大牟田市まちづくり総合プラン」より　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６４
成果指標の令和７年度実績値　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６５
令和７年度重点事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６６
第１編第４章　学びを通じた人とのつながりの促進と、地域で自ら行動するひとの育成
視点１　次世代を担う子どもを地域や社会全体ではぐくむ　・・・・・・・・・６８
視点２　ＳＤＧｓ／ＥＳＤを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり　・・７７
視点３　学習環境の整備・充実　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８０
視点４　社会教育施設の機能向上　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８２
視点５　青少年の問題行動や悩みへの対応　・・・・・・・・・・・・・・・・・８４
その他　社会教育委員の会議ほか　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８７
第１編第５章　スポーツに気軽に親しめる機会と環境づくり
視点１　誰もがどこでも気軽に楽しめるスポーツ活動の機会づくり　・・・・・９０
視点２　活気あるスポーツ活動を支える仕組みづくり　・・・・・・・・・・・９４
視点３　スポーツがしやすい環境づくり　・・・・・・・・・・・・・・・・・・９８
第１編第６章　郷土の歴史と文化芸術を通して心豊かに生活できる社会づくり
視点１　まちの歴史や文化を守る・知る・活かす　・・・・・・・・・・・・・１０２
視点２　文化芸術事業の充実　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０７
視点３　文化芸術を活用した新たな価値や多様性の創出　・・・・・・・・・・１１２
視点３　文化芸術活動への支援、環境づくり　・・・・・・・・・・・・・・・・１１４

学識経験者意見　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１８

資　料　編
歴代教育委員等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２４
機構と職員数　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２７
教育財政
令和８年度当初予算　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２９
令和７年度決算　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３０
教育費の当初予算・決算推移　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３１
各種委員会等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３２
市立学校一覧　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３５
学校別児童生徒・教職員数　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３６
市立学校の通学区域　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３８
児童生徒数の推移　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４１

卒業後の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４１
学校施設一覧　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４２
教育施設一覧　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４３
社会教育施設等の状況
　地区公民館　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４４
　多目的活動施設リフレスおおむた　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６５
　大牟田文化会館　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６８
　三池カルタ・歴史資料館　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７１
　図書館　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７５
　スポーツ施設　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８５
指定・登録文化財一覧　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８７

はじめに

このたび、大牟田市教育委員会と大牟田市（市長の関係事務部局）は、令和７年度の本市教育行政の実績を報告書「大牟田の教育」にまとめ、この中で教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２６条に定めるところにより、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行いました。

この点検及び評価は、令和７年度における「教育委員会の活動状況」及び「教育施策の推進状況」について実施したものであり、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすことを目的としています。教育委員会は、この報告書を議会に提出するとともに、市民に公表することとしています。

この点検及び評価の結果を今後の教育委員会の活動や教育施策の推進に生かすとともに、本市の教育行政が、市民の皆様の御理解のもとで効果的に推進できるよう、取組の充実を目指していきます。

点検及び評価の概要

１　点検及び評価の対象並びに実施方法

（１）「教育委員会の活動状況」の評価は、教育委員会会議の実施状況や、学校訪問、各種行事、研修会等への参加状況などの教育委員会の活動とその情報発信について実施しました。

（２）「教育施策の推進状況」の評価は、以下の方法で実施しました。

①　教育委員会関係分

ア　「令和７年度大牟田市学校教育振興事業計画」に掲げる基本方針について、「成果指標の達成状況」・「指標達成度に対する要因分析」・「今後の方向性」の項目を設定して記述しました。

イ　「令和７年度大牟田市学校教育振興事業計画」に掲げる各主要施策について、「主な事業」・「成果指標の達成状況」・「指標達成度に対する要因分析」・「今後の方向性」の項目を設定して記述しました。

②　市長部局関係分

大牟田市総合計画「まちづくり総合プラン」に掲げる社会教育、スポーツ及び文化の関係施策について、「主な事業」・「成果指標の達成状況」・「指標達成度に対する要因分析」・「今後の方向性」の項目を設定して記述しました。

なお、市長部局関係分のうち、点検及び評価の対象となるのは、スポーツ及び文化芸術に関する事務などの市長が管理・執行する事務を除いた部分です。具体的には、６４～８３ページ、８７～８９ページ、９８ページの学校体育施設開放

事業及び１０２～１０６ページが対象となります。

③　教育委員会関係分・市長部局関係分共通

令和７年度に重点的に取り組んだ事業については、個票を作成し、内容の充実を図りました。

２　教育に関して学識経験を有する者の知見の活用について

点検及び評価の客観性の確保の観点から地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２６条第２項が規定する「教育に関して学識経験を有する者の知見の活用」については、教育行政に通じている大学教授に外部評価を依頼し、意見書を作成していただきました。

２〔教育委員会の活動状況〕

１ 教育委員会の概要

（１）教育委員会の位置付け

大牟田市教育委員会は、地方自治法に基づく行政委員会であり、市長から独立した執行機関として設置されています。市長が市議会の同意を得て任命した教育長及び４人の委員で構成され、本市の教育行政における重要事項や基本方針について審議決定を行っています。

（２）教育委員会の所管事務

大牟田市教育委員会は、学校教育、社会教育、人権・同和教育等に関する事務を所管しています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づきH24 年 12 月に制定した大牟田市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例により、次の事務については、H25 年４月から、市長が管理し、及び執行しています。

・スポーツに関すること（学校における体育に関することを除きます。）
・文化に関すること（文化財の保護に関することを除きます。）

また、大牟田市教育委員会補助執行規程（H25 年３月制定）に基づき、次の事務については、H25 年４月から、市長の事務部局の職員が補助執行しています。

・文化財の保護及び活用に関すること
・社会教育の振興に関すること
・地区公民館、リフレスおおむた、図書館、三池カルタ・歴史資料館に関すること　など

（３）教育長の職務

教育長は、教育委員会の会議を主宰し、教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどるとともに、事務を統括し、事務局の指揮監督を行います。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正（Ｈ２７年４月１日施行。以下「法改正」といいます。）により、従前の教育委員会を代表する委員長と事務局を統括する教育長が一本化された新たな教育長を置くこととなり、本市では、法改正を踏まえ、Ｈ２７年４月１日から新たな教育長が任命されています。

（４）委員の職務

委員は、教育委員会会議に出席し教育行政に関する重要事項等についての審議を行っています。また、教育現場の視察、意見・要望等の聴取を行うほか、教育関係の各種行事に出席しています。このような活動を通して、教育における政治的中立性及び継続性・安定性を確保するとともに、広く市民の意向を反映した責任ある教育行政の実現を図っています。

（５）令和７年度における教育委員会の構成（歴代委員等は『資料編』に掲載）

大牟田市教育委員会は、教育長及び４人の委員で構成しています。教育長の任期は３年、委員の任期は４年です（再任可）。教育長職務代理者は、教育長に事故があるとき、又は教育長が欠けたときは、その職務を行います。

氏名（職名）	任期
谷本　理佐（教育長）	R6 年 4 月 1 日 ～ R9 年 3 月 31 日
嶋田　桂子（委員・教育長職務代理者）	R3 年 6 月 1 日 ～ R7 年 5 月 31 日 R7 年 6 月 1 日 ～ R11 年 5 月 31 日
山本　和夫（委員）	R5 年 3 月 13 日 ～ R9 年 3 月 12 日
東　　秀樹（委員）	R6 年 3 月 22 日 ～ R10 年 3 月 21 日
木場　真帆（委員）	R4 年 6 月 1 日 ～ R8 年 5 月 31 日

２ 教育委員会の主な活動実績

（１）教育委員会会議の実施

原則として、定例会は毎月１回、臨時会は必要に応じて開催し、教育行政に関する重要事項等を適切に審議しました。

Ｒ７年度は、定例会を１２回、臨時会を２回開催しました。なお、傍聴人数は６人でした。

開催日	会議	議案番号	議案名等
4月16日	4月定例	―	報告事項７件（令和６年度末教職員異動状況について　等） 協議事項１件（令和６年度大牟田市一般会計補正予算（案）について）
5月22日	5月定例	1	大牟田市就学支援委員会委員の任命について
		2	大牟田市立学校結核対策委員会委員の任命について
		―	報告事項５件（令和７年度児童生徒数及び学級数について等） 協議事項２件（令和７年度における「教育委員会だより」の発行について　等）
6月5日	6月定例	3	大牟田市教育委員会傍聴人規則の一部改正について
		4	大牟田市社会教育委員の委嘱について
		―	報告事項３件（教育長職務代理者の指名について　等） 協議事項１件（令和７年度大牟田市一般会計補正予算（案）について）
7月16日	7月定例	5	大牟田市立学校通学区域審議会委員の任命について
		6	大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会委員の任命について
		7	大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会への諮問について
		8	大牟田市文化財保護審議会への諮問について
		―	報告事項４件（令和７年度教育講座について　等）
7月31日	第1回臨時	9	大牟田市指定天然記念物の指定の解除について
		―	報告事項１件（大牟田市立学校の学校医の委嘱について（臨時代理））
8月12日	8月定例	10	令和６年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価（令和７年度版「大牟田の教育」）について
		―	報告事項１件（令和７年度大牟田市立小・中・特別支援学校ＰＴＡ連合会「対市陳情」について）
8月26日	第2回臨時	―	報告事項１件（大牟田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価についての意見書について） 協議事項１件（令和７年度大牟田市一般会計補正予算（案）について）
9月25日	9月定例	―	報告事項１件（令和７年度（後期）大牟田市就学支援委員会報告書について） 協議事項１件（「教育委員会だより」第３１号の紙面について）
10月27日	10月定例	11	大牟田市立小学校給食調理業務委託者選定委員会の委員の任命について
		12	令和８年度大牟田市事務局等職員及び教職員人事異動方針等について
		―	報告事項１件（第７８回はたちの集いについて）

開催日	会議	議案番号	議案名等
11 月 26 日	11 月定例	13	大牟田市立小学校、中学校及び特別支援学校の体育施設の開放に関する条例の一部を改正する条例を制定する議案の作成について
		―	報告事項４件（令和８年度児童生徒数及び学級数（推計）について　等） 協議事項１件（令和７年度大牟田市一般会計補正予算（案）について）
12 月 22 日	12 月定例	14	大牟田市立白光中学校及び大牟田市立甘木中学校の再編後の新しい学校の学校名案について
		15	令和８年度教職員の人事について
		16	令和８年度市職員の人事について
		―	報告事項２件（学校再編後のアンケート結果について　等）
R8 年 1 月 15 日	1 月定例	17	大牟田市立学校管理規則の一部改正について
		―	報告事項４件（令和７年度全国学力・学習状況調査結果の報告について　等） 協議事項１件（「教育委員会だより」第３２号の紙面について）
R8 年 2 月 9 日	2 月定例	14	大牟田市立白光中学校及び大牟田市立甘木中学校の再編後の新しい学校の学校名案について
		18	大牟田市立中学校設置条例の一部を改正する条例を制定する議案の作成について
		19	大牟田市立小学校、中学校及び特別支援学校の体育施設の開放に関する条例施行規則の一部改正について
		20	大牟田市教育委員会補助執行規程の一部改正について
		21	令和８年度教職員の人事について
		22	令和８年度市職員の人事について
		―	報告事項４件（令和７年度大牟田市立小・中・特別支援学校ＰＴＡ連合会「対市陳情」に対する回答案について　等） 協議事項３件（令和８年度大牟田市一般会計当初予算（案）について　等）
R8 年 3 月 24 日	3 月定例	23	令和８年度大牟田市学校教育振興事業計画の策定について
		24	大牟田市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
		25	令和８年度市職員の人事について
		―	報告事項１件（令和７年度学校給食週間学校給食アンケート調査結果報告について）

（２）総合教育会議への出席

前記１（３）に述べた法改正を受けて、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、本市の教育課題や目指す姿を共有しながら、連携して効果的に教育行政を推進していくため、市長及び教育委員会で構成される大牟田市総合教育会議がＨ２７年度に設置されました。

Ｒ７年度の会議は１０月３０日に開催され、大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会の検討状況について協議や意見交換が行われました。

（３）学校訪問への出席

学校訪問は、市立学校の学校経営、教育活動及び施設・設備等の現状を視察し、教育施策の改善に資することを目的とするもので、授業参観や学校関係者との協議等を通して、学校の教育活動全般について指導・助言を行っています。Ｒ７年度は、小学校４校、中学校２校の学校訪問に出席しました。また、市研究指定校（３年次）の拡大校内研修会（小学校１校）

に出席しました。

（４）各種行事への出席

Ｒ７年度は、中学校再編に伴う新校の開校式、小学校周年記念行事、中学校卒業式、教育研究所研究報告会、給食試食会、成人式（本市では「はたちの集い」として実施）、スポーツ関連行事等の２２の行事に出席しました。

（５）会議、研修会等への出席

Ｒ７年度は、南筑後地区教育委員会連絡協議会総会に出席したほか、九州地区市町村教育委員会研修大会、福岡県市町村教育委員会教育委員研修会及び南筑後地区教育委員会連絡協議会研修会（第１回・第２回）に出席しました。

（６）勉強会の開催

教育委員会会議の円滑な運営と議論の活性化に資するよう、必要に応じ、本市の教育の主要な課題等についての勉強会を開催しています。Ｒ７年度は、義務教育学校整備基本構想・基本計画の策定、全国学力・学習状況調査結果、市立学校適正規模・適正配置検討委員会の検討状況、大牟田市学校教育振興事業計画の策定等の様々なテーマを設定し、延べ１７回開催しました。

３ 活動の評価

（１）教育委員会会議について

大牟田市教育委員会会議規則に基づき、定例会を毎月１回、臨時会を必要に応じ開催しました。事前に送付された会議資料により理解を深めた上で会議に臨み、常に市民の視点に立って議論を行うよう留意し、教育施策の議論等においては、改善点や要望等を示しました。また、必要に応じ勉強会を開催し、事務局に説明を求め、内容の理解に努めました。

今後も、教育委員会として一層責任ある意思決定を行うため、教育施策等の重要な議題について積極的に情報収集を行うとともに、本市の教育の主要な課題について継続的に勉強会を開催していきます。

（２）教育委員会会議以外の活動について

学校訪問や各種行事に出席し、関係者との協議や意見交換、情報交換等を行うことを通して、教育現場の状況の把握を行いました。

今後も、市民の意向を十分に反映した教育行政を展開するため、教育現場の実態把握や関係機関から積極的に情報収集を行うとともに、研修会への出席等を通した資質の向上に努めていきます。

（３）教育委員会活動の情報発信について

教育委員会会議の開催情報については、大牟田市教育委員会会議規則に基づき、開会の日前３日までに市庁舎掲示場に告示するとともに、教育委員会のウェブサイト上にも掲載し周知に努めました。会議は原則として公開し、会議資料は市情報公開センターでも閲覧できるようにしています。また、議事録を遅滞なく作成し、ウェブサイト上で公開しています。

Ｈ２７年度からは、教育委員会活動が市民により一層理解され、関心を持ってもらうため、「教育委員会だより」を発行しています。Ｒ７年度は７月・１１月・３月の３回発行し、情報発信の充実を図りました。

教育施策の推進状況

(教育委員会関係分)

令和７年度　大牟田市学校教育振興事業計画

趣　旨

１　本計画は、本市における令和７年度から１０年度までの教育の振興に関する基本的な計画である「大牟田市学校教育振興プラン２０２４～２０２８」に基づく令和７年度の事業計画として、予算等との整合を図り策定するものです。

２　本計画は、令和７年度の教育委員会の方針、成果指標の令和７年度目標値、令和７年度に特に重点的に取り組む事業（以下「重点事業」といいます。）の内容等について掲載しています。

令和７年度の教育委員会の方針

１　基本理念

「まちづくりは人づくりから」という基本的な考え方に立ち、本市の学校教育は、持続可能な社会の創り手となる児童生徒の育成を目指すとともに、日本社会に根差したウェルビーイングの向上を図ります。

２　基本方針（令和７年度の取組方針）

持続可能な社会を創る「おおむたっ子」の育成と日本社会に根差したウェルビーイングの実現

児童生徒が持続可能な社会の創り手となれるよう、知識・技能とそれらを活用する力を育成し、社会において自立的に生きるための基盤を培うとともに、将来の夢や目標に向かって主体的に学習に取り組む態度を育成します。

また、日本社会に根差したウェルビーイング※の実現のため、自尊感情や自己効力感を高めるとともに、「幸福感」や「協働性」「多様性への理解」「心身の健康」などの要素を向上させることが重要です。

そのため、知育・徳育・体育のバランスが取れた教育を推進するとともに、ＩＣＴの活用などにより「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させます。さらに、児童生徒が安全安心で豊かな学びを実現できるよう、地域とともにある学校づくりに取り組み、教育環境を充実させます。

令和７年度は、小・中学校へのスタディサポーターや学力向上アドバイザーの派遣などの支援、学力調査の実施、タブレット端末で使用できるドリル教材の活用などを進め、児童生徒の確かな学力を育成します。

小中一貫教育制度の施行（宮原中学校区：３年目、宅峰中学校区と松原中学校区：１年目）と試行的導入（御木中学校区と白銀中学校区：２年目、白光中学校区：１年目）などにより、義務教育９年間を見通した教育を推進します。また、義務教育学校の設置に向けた取組を進めます。

各学校の特色を活かしながら、地域、関係機関、団体等との連携を充実させ、本市の特色あるＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）／ＥＳＤ（持続可能な開発のための教育）の深化を図ります。

校内教育支援センター「ハートフルルーム」や、学校外の居場所「サテライトスペース」を運営し、児童生徒の多様な学びの場を確保するとともに、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーによる心のケアや関係機関との連携、学習指導員による学びの支援を行います。

中学校の再編後の新校である御木中学校と白銀中学校を開校するとともに、白銀中学校と白光中学校の施設整備などを進め、教育環境を向上させます。

人権・同和問題に対する児童生徒や市民の理解と認識を深めるための教育活動を進めるとともに、講演会や学習会の開催等の啓発活動を行います。

目指す児童生徒の姿　「おおむたっ子」

おお　大きな夢を抱き未来を創る児童生徒

む　難しいことにもねばり強く取り組む児童生徒

た　たくましい心と体を備えた児童生徒

重点事業

- **学力ブラッシュアップ推進事業**
- **小中一貫教育推進事業**
- **ＳＤＧｓ／ＥＳＤ推進事業**
- **ハートフルスクールプロジェクト推進事業**
- **学校再編整備推進事業**
- **人権・同和教育・啓発推進事業**

※ウェルビーイングとは身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含むものである。また、個人のみならず、個人を取り巻く場や地域、社会が持続的に良い状態であることを含む包括的な概念である。（国の第４期教育振興基本計画から）

成果指標の令和7年度実績値

1 基本方針に係る成果指標

指標名	指標の概要	現状値（R4年度）	実績値（R6年度）	年度目標値（R7年度）	実績値（R7年度）	達成度（R7年度）
中学生の将来に向けた意欲（将来の夢や目標に向けて頑張っていきたいという中学3年生の割合）	本市での9か年の義務教育を終えようとしている中学3年生のうち、将来の夢や目標に向けて頑張っていきたいという生徒の割合（中学3年生へのアンケート）	83.1%	85.4%	85.0%（毎年度維持）	87.1%	102.5%

2 主要施策の成果指標

基本施策		主要施策		指標名	指標の概要	現状値（R4年度）	実績値（R6年度）	年度目標値（R7年度）	実績値（R7年度）	達成度（R7年度）
Ⅰ	社会的自立の基盤となる資質や能力の育成	1	確かな学力の育成	全国学力・学習状況調査の標準化得点（小・中）	全国学力・学習状況調査で毎年度実施される国語、算数（数学）の小・中それぞれの標準化得点（全国平均を100とする）	小の算数のみ達成	未達成	小の国・算、中の国・数での前年比向上	小・中全て達成	100%
		2	豊かな心の育成	児童生徒の規範意識	人の気持ちがわかる人間になりたいと答えた児童生徒の割合（小学5年生・中学2年生へのアンケート）	96.8%	95.8%	95.0%（毎年度維持）	97.5%	102.6%
		3	健やかな体の育成	体力向上のための授業以外での取組実績	児童生徒の体力向上のため、授業以外での取組を実施した学校の割合	100%	100%	100%（毎年度維持）	100%	100%
		4	主体的に社会の形成に参画する態度の育成	学校や地域のために行動したいという生徒の割合	学校や地域のために何かをしてみたいと答えた生徒の割合（中学1～3年生へのアンケート）	82.6%	85.4%	85.0%	85.3%	100.4%
Ⅱ	安心して学べる学校づくり	1	誰一人取り残さない学びの保障	不登校児童生徒への支援	不登校児童生徒のうち、専門家や専門機関の相談、指導等を受けている者の割合	―	100%	100%	100%	100%
		2	特別支援教育の推進	特別支援教育支援員の配置効果	保護者・学校へのアンケートで、特別支援教育支援員の配置効果を認める割合	100%	100%	100%（毎年度維持）	100%	100%
Ⅲ	地域とともにある学校づくり	1	地域の力を活かした学校運営の推進	学校のニーズに合わせた部活動指導員の配置率	各中学校が希望する部に対して部活動指導員を配置した割合	―	100%	100%	100%	100%
		2	学校・家庭・地域の連携	学校運営協議会の会議の開催実績	学校運営協議会（中学校区単位）の会議の年度当たりの開催回数	3回	3回	3回	3回	100%
Ⅳ	学校教育環境の充実	1	学校再編整備の推進	学校再編による教育環境向上の満足度（R7・R9白銀中学校及び御木中学校）	学校再編後の新校が開校したことについて肯定的に回答された割合（児童生徒、保護者、教職員へのアンケート）	86.5%（H29年度）	―	90.0%	70.0%	77.8%
		2	学校施設・設備の整備	校舎トイレの洋式化率	市立学校の校舎トイレを洋式に改修した割合	70.8%	85.5%	91.0%	90.8%	99.8%
Ⅴ	人権に関する教育・啓発の推進	1	人権・同和教育の推進	大牟田市人権・同和教育カリキュラムの活用実績	大牟田市人権・同和教育カリキュラムを活用した授業研究会を実施した学校の割合	100%	100%	100%（毎年度維持）	100%	100%

基本方針に係る成果指標の令和７年度達成状況

成果指標の達成状況

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	目標値の設定の考え方
中学生の将来に向けた意欲（将来の夢や目標に向けて頑張っていきたいという中学３年生の割合）	目標値（%）	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	現状値を踏まえ 85.0%以上を目指す。［現状値：83.1%（R4 年度実績）］
	実績値（%）	85.4	87.1				
	達成度（%）	100.5	102.5				

指標達成度に対する要因分析

・本市では、「まちづくりは人づくりから」という基本理念のもと、児童生徒が持続可能な社会の創り手となれるよう、「知・徳・体」の調和がとれた教育活動を推進してきました。変化が激しく、予測が困難な時代にあっても、持続可能な社会の創り手となる児童生徒像や社会の状況等を踏まえた新しい学校像を追求してきた継続的な取組が、Ｒ７年度の成果に結実したと考えます。

・具体的な要因として、各学校における SDGs／ESD の視点を踏まえた探究的な学習や、地域・企業・関係団体と密接に連携したキャリア教育の充実が挙げられます。特に各学校で実施している「職業体験学習」や「職業講話」、関係課と連携したキャリア教育推進事業を通して、生徒が地域社会の実情や働くことの意義を深く理解し、自己実現に向けた主体的な意欲を醸成することができてきたと考えます。

・ユネスコスクール・SDGs／ESD「子どもサミット」や「交流会」等の場で学習成果を発表し、多様な人々と交流する機会を設けたことは、児童生徒の自己有用感や社会参画意識を高める要因となっています。また、一般社団法人 OMUTA BRIDGE と連携した「ＯＭＵＴＡジュニアシティメーカー」の取組では、生徒が地域課題を自分事として捉え、社会に新たな価値を生み出そうとする姿が見られるなど、将来への意欲や主体性を育む具体的な成果が現れています。

・「誰一人取り残さない」ことを理念に掲げ「ハートフルスクールプロジェクト」を立ち上げ、不登校を生まない魅力的な学校づくりを進めるとともに、不登校児童生徒の多様なニーズに対応できる学びの場を確保してきました。多様な学びの場を整備し、一人ひとりの状況に応じた丁寧な支援を展開しました。教室以外の居場所において学習支援や教育相談のみならず、多様な体験活動を行うことで、児童生徒が人とのつながりを回復し、自己肯定感や自己有用感を高めることができました。また、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等の専門家が情報共有や行動連携を密に行う仕組みを構築してきたことが、安心して学べる学校環境の基盤となり、児童生徒が自らの将来について前向きに考える機会の確保につながったものと考えます。

今後の方向性

・生成 AI の飛躍的な進化など社会的変化が加速する現代において、児童生徒が自らのよさや可能性を認識し、多様な人々と協働しながら豊かな人生を切り拓けるよう、更なる支援の充実を図ります。国の「第４期教育振興基本計画」の趣旨に沿い、「持続可能な社会の創り手の育成」と「ウェルビーイングの向上」を柱として、児童生徒が自ら課題を発見

し、主体的に解決する力を身に付けられるよう、各学校が特色ある教育活動を展開できる体制を整えます。

・小中一貫教育の視点を踏まえ、義務教育９年間を見通した系統的なキャリア教育のプログラムを再編します。児童生徒が自らの成長や学びの価値を実感できるよう、リフレクション（振り返り）活動や対話活動を深化させ、地域・社会との関わりをより実感できる探究的な学習を推進します。また、「ＯＭＵＴＡジュニアシティメーカー」をはじめとする本市独自の特色ある実践を全市的な展開へと広げ、生徒の考えや行動が社会に新たな価値を生み出すという成功体験の創出に取り組みます。

・不登校対応については、「魅力的な学校づくり」と「一人ひとりに寄り添った学びの場・支援」の両輪を更に強化します。校内教育支援センター等の学びの場の質的な充実を図るとともに、ICT を活用した学習支援や多様な外部団体との連携を深め、一人ひとりの状況に応じた切れ目のない支援体制を構築します。また、教職員が児童生徒の多様なニーズに的確に応え、伴走者として寄り添えるよう、組織的なスキルアップ支援も継続的に行います。

令和７年度重点事業

施策体系		事 業 名	ページ
基本施策	主要施策		
Ⅰ	1	学力ブラッシュアップ推進事業	１５
Ⅰ	1	小中一貫教育推進事業	１７
Ⅲ	１・２		
Ⅰ	4	ＳＤＧｓ／ＥＳＤ推進事業	１９
Ⅱ	1	ハートフルスクールプロジェクト推進事業	２１
Ⅳ	1	学校再編整備推進事業	２３
Ⅴ	1	人権・同和教育・啓発推進事業	２５

令和７年度重点事業の取組状況報告書

（担当課：指導室）

事業名	学力ブラッシュアップ推進事業
	基本施策Ⅰ　社会的自立の基盤となる資質や能力の育成
	主要施策１　確かな学力の育成

目的

本市のこれまでの学力向上の取組の成果と児童生徒の学習状況等を踏まえて、児童生徒一人一人の学力の実態に応じた指導の充実を図り、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるとともに、思考力・判断力・表現力等や、粘り強く学習に取り組む態度などを育成します。

事業内容

１　小・中学校が実施する補充学習や強化学習にスタディサポーターを派遣し、個に応じたきめ細かな指導が行えるよう支援します。
２　小・中学校が実施する学力向上に関する校内研修等に学力向上アドバイザーを派遣し、授業改善に向けた指導助言などの支援を行います。
３　各学校が日々の授業づくりや学力向上プランの充実を図り、学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」を実践できるようにするため、教職員を対象とする学力向上実践報告会を開催します。
４　中学校区単位で小・中学校が連携して行う家庭学習習慣の定着のための取組を支援します。
５　児童生徒の学力の実態をより詳細に把握し、教育課程の改善や指導の充実を図るため、市独自の学力調査を実施します。
６　児童生徒一人一人に合った学びの実現のため、タブレット端末で使用できるドリル教材を授業や家庭学習で活用します。
７　英語教育推進重点校に指定した小・中学校各１校において、英語教育の研究と実践を進めます。
８　英検３級の受験を希望する中学生に検定料の一部を補助します。

指標名	目標値等	R6	R7	R8	R9	R10	指標･目標値設定の根拠
全国学力・学習状況調査の標準化得点	目標値	国・算（数）での前年比向上	同左	同左	同左	同左	小学６年生と中学３年生を対象とする全国学力・学習状況調査で毎年度実施される国語・算数（数学）の標準化得点が前年度より向上することを目標とします。
	実績値	未達成	小・中全て達成				
	達成度（%）	0	100				

取組実績

１　各小・中学校が実施している個に応じたきめ細かな補充学習や強化学習等を支援するため、学校からの要請に応じて、スタディサポーターを年間合計３，３００時間派遣しました。派遣先は全ての小・中学校で、派遣人数は学校の状況に応じて１人～４人でした。
２　小・中学校が実施する学力向上に関する校内研修等に学力向上アドバイザーを派遣し、授業改善に向けた指導助言などの支援を行いました。延べ６人のアドバイザーにより、主として若年教師の授業力向上を目指した取組を行いました。
３　全ての小・中・特別支援学校が開催する、学力向上に関する校内研修会に指導主事を派遣し、指導助言を行いました。また、校長会や教頭会、教務担当者会、校内研究担当者会において、学力向上に関する資料提供や講話を行い、市全体として学力向上を目指した取組の方向性を共有し、機運を高めました。さらに、教科部会では、教育講座や授業研究会を開催し、研鑽を深め、授業改善に向けた協議を行いました。７月１日（火）、１１月２７日（木）、Ｒ８年２月１７日（火）に学力向上検証委員会を開催し、学力向上に向けた取組について定期的に確認・協議を行いました。あわせて、Ｒ８年２月１７日（火）に学力向上実践報告会を開催し、各校が学力向上に向けて取り組んできたことを共有し、更なる学力向上の充実を図りました。
４　大牟田地域教育力向上推進協議会の取組として、毎月１１日を「家庭学習の日」と定め、各中学校区単位で小学校と中学校が連携して、家庭学習強調週間を設定するなどの家庭学習習慣の定着の取組を支援しました。今後も、小中一貫教育を推進する観点から、この取組の充実を図っていきます。
５　６月２日（月）に中学３年生を対象に、１２月１１日（木）には小学３～６年生を対象に、Ｒ８年１月１５日（木）には中学１・２年生を対象に、大牟田市学力調査を実施しました。
６　国語・算数（数学）・社会・理科・英語の中から、各学校の要望に応じて２教科のデジタルドリル教材を導入し、授業や家庭学習で活用しました。
７　明治小学校と甘木中学校を英語教育推進重点校に指定し、英語教育の研究と実践を進めました。
８　１０月４日（土）等に実施された英検３級を受験した中学生６２人を対象に検定料の一部を補助しました。また、Ｒ８年１月１７日（土）等に実施された英検３級を受験した中学生８人を対象に検定料の一部を補助しました。

決　算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額　18,679　千円 （次年度への繰越　千円）		1,101		15,000	2,578

問題点及び課題

国、県、市の学力調査等の結果によれば、国語・算数（数学）における記述解答式問題や活用力を問う問題において課題が見られます。

各種調査の結果によれば、ネット動画の視聴時間やゲームをする時間が長く、家庭学習の時間が短い傾向にあります。これらは、学力向上に向けて改善すべき要素となっているだけでなく、基本的生活習慣の定着の上でも課題となっています。

今後の方向性（具体策）

タブレット端末で活用するデジタルドリルについて、各学校の実態や課題に応じた教科を導入し、児童生徒の「個別最適な学び」が更に進められるようにします。また、引き続き、学習における情報の提示・共有・保存を支援する学習支援ソフトを導入し、授業や家庭学習で活用します。

小・中学校が実施する補充学習等に「スタディサポーター」を派遣し、児童生徒一人一人の課題に応じたきめ細かな指導が行えるよう支援します。

「主体的・対話的で深い学び」を各学校が実践できるよう、教職員研修を実施するとともに、指導主事を全ての学校に派遣し、更なる授業改善を進めます。また、教育研究所における若手教員のグループによる授業の進め方に関する研究など、教員間のネットワーク構築に資する取組を行います。

各学校や小・中学校の連携のもと中学校区単位で行われる家庭学習習慣の定着の取組を支援します。

学力調査で測定できる学力の向上とともに、全ての教育活動を通して非認知能力の向上にも取り組みます。

学力調査における平均点の向上とともに、前年度より学力を向上させた「個の人数」の増加に取り組みます。

評　価

全国学力・学習状況調査の標準化得点が前年度より向上するという目標を達成することができました。今後、授業改善はもとより、学習の基盤となる非認知能力の向上や家庭学習習慣の定着等に向けた取組などを進め、学力向上を図ります。

令和７年度重点事業重点事業の取組状況報告書

（担当課：学校教育課）

事業名	小中一貫教育推進事業
	基本施策Ⅰ　社会的自立の基盤となる資質や能力の育成
	主要施策１　確かな学力の育成
	基本施策Ⅲ　地域とともにある学校づくり
	主要施策１　地域の力を活かした学校運営の推進
	主要施策２　学校・家庭・地域の連携

目的

市立の小学校と中学校に、順次、小中一貫教育制度（原則として併設型）の導入を進め、義務教育９年間を見通した系統性・連続性のある指導により、児童生徒の学力向上や心身の健全な育成、「中１ギャップ」や不登校の解消を目指します。また、校区の小・中学校がより密接な関係を築き、教育内容・活動の充実を図ることで、教職員の指導力の向上を図ります。さらには、学校・家庭・地域の「つながり」を深め、「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」を推進します。

事業内容

１　小中一貫教育制度を導入した小・中学校における校区の特徴を生かした学校運営を支援します。
（１）宮原中学校区（宮原中学校・駿馬小学校・天の原小学校・玉川小学校）：Ｒ５年度導入
（２）宅峰中学校区（宅峰中学校・大牟田中央小学校・みなと小学校・天領小学校）：Ｒ７年度導入
（３）松原中学校区（松原中学校・大正小学校・中友小学校）：Ｒ７年度導入
２　御木中学校区の小・中学校（御木中学校・平原小学校・高取小学校・三池小学校・羽山台小学校）、白銀中学校区の小・中学校（白銀中学校・銀水小学校・上内小学校・吉野小学校）及び白光中学校区の小・中学校（白光中学校・明治小学校・白川小学校）において、Ｒ９年度の導入に向けて、制度の試行等を行います（御木中学校区及び白銀中学校区は２年目の試行、白光中学校区は１年目の試行）。
（１）小・中学校相互の授業公開や小・中学校合同による教職員研修等を実施します。
（２）教育課程の検証と見直しを行うための検討会を開催します。
（３）小中一貫教育における学習内容についての拡大校内研修会を開催します。
（４）「地域とともにある学校」の実現のため、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を設置・運営するとともに、地域学校協働活動推進員を配置します。
（５）制度導入に対する理解が得られるよう、資料を作成し、保護者等に配布します。
３　全ての小・中学校への制度導入を見据えた取組を行います。
（１）学校再編に合わせて制度導入予定の小・中学校で、相互の授業公開や合同での職員研修等を実施します。

指標名	目標値等	R6	R7	R8	R9	R10	指標･目標値設定の根拠
小中連携・小中一貫教育の取組実績	目標値（回）	80	100	100	100	100	小・中学校相互の授業公開や小・中学校合同による教職員研修等の回数（R4 年度実績値・80 回）
	実績値（回）	85	97				
	達成度（%）	106.3	97.0				

取組実績

１　小中一貫教育制度を導入した小・中学校における校区の特徴を生かした学校運営を支援しました。
（１）宮原中学校区
①　Ｒ４年度から配置している専任の地域学校協働活動推進員を活用し、学校と家庭・地域が協働して学校運営に取り組みました。また、学校運営協議会において、学校運営や学校支援活動等に関する協議（第１回：６月５日（木）、第２回：９月４日（木）、第３回：Ｒ８年２月１７日（火））を行いました。
②　駿馬小学校区・天の原小学校区・玉川小学校区の地域住民や保護者等が中心となってＲ６年度に開設された「放課後子ども塾」等において、学校と家庭・地域が連携し、第三水曜日を除く毎週水曜日の終業後に子どもたちを預かり、家庭学習や体験活動が行われました。
③　児童生徒の交流として、中学１年生が小学６年生に学校生活を直接説明する「ようこそ先輩」を５月３０日（金）に実施するなど、小・中学校の円滑な接続を図りました。また、宮原中学校区の全児童生徒が地域住民や保護者と一緒に小学校区の清掃活動を１１月２１日（金）に実施しました。
④　教職員の交流として、学期に１回程度、小・中学校の授業を互いに参観し、中学校の教員が小学校の授業でティームティーチングのＴ２（全体の授業を進める役割を担う教員（Ｔ１）を補助したり、特定の子どもへの支援などを行ったりする教員）として関わったりするなどの相互乗入れ授業等の内容について協議を行いました（第１回：６月２０日（金）宮原中学校、第２回：Ｒ８年１月２１日（水）駿馬小学校）。
（２）宅峰中学校区
①　Ｒ５年度から配置している専任の地域学校協働活動推進員を活用し、学校と家庭・地域が協働して学校運営に取り組みました。また、学校運営協議会において、学校運営や学校支援活動等に関する協議（第１回（全体）：５月１０日（土）、第２回（みなと小）：７月４日（金）、第３回（天領小）：９月２２日（月）、第４回（大牟田中央小）：１２月１０日（水）、第５回（全体）：Ｒ８年２月４日（水））を行いました。
②　教職員の交流として、小学校の授業を互いに参観し、目指す子ども像等について協議しました。第１回（６月１８日（水））の大牟田中央小学校では、外部講師を招いて小中一貫教育の実践について講話をしていただき、共通理解を図りました。第２回（９月１０日（水））の天領小学校では、国語と算数の授業を

公開し、宅峰中学校区（宅峰中、大牟田中央小、みなと小）の教職員が参観しました。その後、近接学年ごとに交流会を行い、授業や行事等で悩んでいることを出し合い、意見交換を行いました。第３回（１２月３日（水））のみなと小学校では、国語、算数、理科、道徳の授業を公開し、宅峰校区の教職員が参観しました。その後、授業についての意見交換、学年・学級経営、生徒指導等についての協議を行いました。

（３）松原中学校区

① Ｒ５年度から配置している専任の地域学校協働活動推進員を活用し、学校と家庭・地域が協働して学校運営に取り組みました。また、学校運営協議会において、学校運営や学校支援活動等に関する協議（第１回：５月２７日（火）、第２回：１１月２１日（金）、第３回：Ｒ８年３月４日（水））を行いました。

② 児童生徒の交流として、松原中学校において「みんなのスポーツ大会」が行われ（５月１５日（木））、大正小学校と中友小学校の６年生も参加しました。

③ 教職員の交流として、小・中学校の授業を互いに参観しました。第１回（６月４日（水））の中友小学校では、６年生の国語科の授業を参観し、学習内容や子どもたちの様子等について確認し、共通理解を図りました。第２回（１０月２９日（水））の松原中学校では、３年生の英語の授業を公開し、大正小学校と中友小学校の教職員が参観しました。また、１・２年生の授業も自由に参観しました。その後、生徒の様子や授業に関するアンケートを行い、よかった点や改善が必要な点について共有しました。第３回（１２月１０日（水））の大正小学校では、３年生の図画工作科の授業を公開し、その後の協議会では、外部講師から指導助言をいただき、目指す子ども像をもとに協議することができました。

２ 御木中学校区・白銀中学校区・白光中学校区の小・中学校において、Ｒ９年度の導入に向けて、制度の試行等を行いました。

（１）御木中学校区・白銀中学校区・白光中学校区において、管理職等による小・中学校相互の授業参観や、夏季休業中には小・中学校合同による教職員研修等を実施しました。

（２）定期的（毎月１回程度）に教職員研修会（教育課程編成、学力向上、不登校対策等）を実施しました。

（３）御木中学校区・白銀中学校区・白光中学校区に専任の地域学校協働活動推進員を配置し、９年間を見通した教育課程編成や各小・中学校区における地域と学校の協働体制の仕組みづくりを行いました。

（４）御木中学校区・白銀中学校区・白光中学校区に配置した専任の地域学校協働活動推進員を活用し、学校と家庭・地域が協働して学校運営に取り組む体制を整え、学校運営協議会の準備会を設置しました。

（５）各中学校区の小中一貫教育の取組に関する資料を作成し、関係者への啓発を図りました。

３ 全ての小・中学校への制度導入を見据えた取組を行いました。

（１）全中学校区において、学期に２～３回程度、教職員の研修会（学力向上部会、生徒指導部会等）、合同授業研究会や児童生徒の連携による取組の交流等を実施しました。

決　算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額　34,028　千円 （次年度への繰越　千円）		3,994		10,244	19,790

問題点及び課題

小・中学校における各教科の系統的な教科指導の充実を図る乗り入れ授業の内容や方法の検討、中学校進学後の「中１ギャップ」の解消、生徒が自己肯定感を高めることができるような取組等を進める必要があります。

今後の方向性（具体策）

本格導入した宮原中学校区、宅峰中学校区、松原中学校区において、引き続き学校運営協議会や教職員の授業参観後の研修会において具体的な取組についての協議を進めます。また、Ｒ９年度から導入する御木中学校区、白銀中学校区、白光中学校区（学校再編後は桜花中学校区）において、専任の地域学校協働活動推進員を活用し、学校と家庭・地域をつなぎ、協働体制の仕組みづくりや学校運営協議会の開催を引き続き推進します。

評　価

宮原中学校区において、学校運営協議会の設置、専任の地域学校協働活動推進員の活用などにより一定の成果が得られました。その成果を踏まえて、当初の計画どおり、Ｒ７年度に宅峰中学校区・松原中学校区において、本格導入することができました。また、御木中学校区、白銀中学校区、白光中学校においては、Ｒ９年度の本格導入に向けて、小中一貫教育の仕組みづくりを行うことができました。

今後も、中学校区単位での教育活動の充実を図るとともに、学校と家庭・地域のつながりを深める取組を推進します。

令和７年度重点事業の取組状況報告書

（担当課：指導室）

事業名	ＳＤＧｓ／ＥＳＤ推進事業
	基本施策Ⅰ　社会的自立の基盤となる資質や能力の育成
	主要施策４　主体的に社会の形成に参画する態度の育成

目的

本市の特色ある SDGs（持続可能な開発目標）／ESD（持続可能な開発のための教育）の取組を更に発展・拡充させ、持続可能な社会の創り手としての児童生徒の育成を目指します。また、ESD の先進都市・交流拠点都市として、SDGs／ESD の深化を図るとともに、「SDGs／ESD のまち・おおむた」を全国や世界に発信します。

事業内容

１　地域、関係機関、団体等との意見交換等の機会として、「ユネスコスクール・SDGs／ESD 交流会」を開催します。この交流会を通して、各学校の特色を活かしながら、地域、関係機関、団体等との連携を強化し、SDGs／ESD の更なる深化を図ります。

２　「大牟田市ユネスコスクールの日」（１月１７日）の制定と「ユネスコスクール・ESD のまち　おおむた宣言」を記念する「ユネスコスクール・SDGs／ESD 子どもサミット」を開催し、児童生徒による学習成果の発表や他地域の学校との交流を行います。また、「大牟田市ユネスコスクール週間」の期間中に各学校が行う ESD の学習発表会等を支援します。

３　各学校の SDGs／ESD の充実を図るため、次のことに取り組みます。

（１）各学校が行う世界遺産学習、環境学習、福祉学習、防災・減災学習等の教育活動や、国内外のユネスコスクールとの交流活動の充実を支援します。

（２）児童生徒を対象に、自然体験などの ESD 体験講座を開催し、体験を通して主体的に考え行動する態度を育成します。

４　SDGs／ESD に取り組んでいる教育委員会や国内外の地域と交流します。

５　市民を対象とする講座、資料展示等を通して、本市の SDGs／ESD への理解を促進します。

指標名	目標値等	R6	R7	R8	R9	R10	指標･目標値設定の根拠
学校や地域のために行動したいという生徒の割合	目標値（%）	84.0	85.0	86.0	88.0	90.0	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う中学 3 年生の割合：82.6%（令和 5 年度全国学力･学習状況調査の質問紙調査の結果から）
	実績値（%）	85.4	85.3				
	達成度（%）	101.7	100.4				

取組実績

１　７月３１日（木）に「ユネスコスクール・SDGs／ESD 交流会」を開催しました。学校関係者、市内企業・各種団体、市職員、学生など約１７０人の参加があり、「大牟田を創る子どもたちに伴走するわたしたちにできること！」のテーマのもと、学校と各団体、企業等が連携した ESD の実践に向けた意見交換を行いました。会の最後に、福岡教育大学の石丸哲史副学長により全体総括が行われました。

２　４月の定例校長会で「ユネスコスクール・SDGs／ESD 子どもサミット」での学校の発表について周知し、小学校３校と中学校１校がＲ８年１月２４日（土）に、他校の児童生徒、保護者、市民に向けて取組の成果を発信しました。また、「大牟田市ユネスコスクール週間」にて各学校が行う発表会等について情報収集、発信を行い、各学校の取組を支援しました。

３　各学校の SDGs／ESD の充実を図るため、次のことに取り組みました。

（１）各学校の ESD に関する特色ある教育活動を支援するため、校内研修に指導主事を派遣し、理論や実践のポイント等について指導助言を行いました。

（２）５月２４日（土）に ESD 体験講座（環境学習）「おおむたネイチャースクール」を荒尾干潟で開催予定とし、２１人の児童生徒が参加予定でしたが、当日、悪天候のため中止となりました。

４　小学校間の交流として、世界遺産学習に取り組んでいる駛馬小学校と荒尾市立万田小学校・北九州市立花尾小学校・中間市立中間東小学校がオンラインで交流を行いました。特別支援学校同士の交流として、大牟田特別支援学校と新潟県見附市立見附特別支援学校が交流を行っています。教育委員会間の交流として、９月２０日（土）に開催された「ユネスコスクール地方セミナー　in 福岡」において、九州内の教育委員会関係者と意見交換を行いました。

５　SDGs／ESD に対する理解促進のため、５月８日（木）に帝京大学福岡医療技術学部において１年生の学生を対象に講義を行い、約２００人が参加しました。また、イオンモール大牟田や石炭産業科学館において、ESD に関する展示を常時行いました。さらに、８月２３日（土）にイオンモール大牟田で開催されたイベントにおいて、小学生７人のグループが SDGs オリジナル楽曲「未来へ繋ぐストーリー～SDGs で変わる大牟田の未来」とダンスを披露しました。このグループはＲ５年度に結成され、Ｒ７年度で３代目であり、１１月３日（月・祝）に三川坑跡で開催された「オータムフェスタ」でも披露しました。

決　算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額　2,491　千円 （次年度への繰越　千円）				1,000	1,491

問題点及び課題

各学校の地域や児童生徒の実態を踏まえ、市民団体や地元企業、団体等と更に連携し、各学校が目指すSDGsの達成に向けて、ESDの充実を図る必要があります。また、小中一貫教育を見通したSDGs／ESDを推進するため、中学校区内の学校間で教育課程についての協議を進める必要があります。その上で、各学校のESDをマネジメントする教員を今後も養成する必要があります。

今後の方向性（具体策）

広く市民や企業、団体等を巻き込みながら、官民連携、学社連携を推進し、その取組を「ユネスコスクール・SDGs／ESD 交流会」や「ユネスコスクール・SDGs／ESD 子どもサミット」で共有し、学習の充実を図ります。

各校区の特色を生かして、地域人材を巻き込んだ実践を進めるとともに、SDGs／ESD の取組を通して、児童生徒の自己肯定感や社会参画意識の向上に資する取組の充実を図っていきます。

評　価

教育委員会が学校と様々な団体とをつなぐ取組を進め、少しずつ成果も上がっています。今後も、各学校の主体性を大切にして、学校や地域の特色を踏まえたESDの充実を図るとともに、地域に根付いたSDGs／ESDの取組を進めていきます。また、旧橘中学校が取り組んだ社会参加型のプロジェクト「OMUTA ジュニアシティーメーカー」の取組が評価され、同中学校の卒業生である市内の高校生が７月に大阪・関西万博「共創チャレンジ」で発表し、世界に発信することができました。さらには、ジュニアシティーメーカーの取組のよさを教職員、PTA、市民と共有することができました。

令和７年度重点事業の取組状況報告書

（担当課：指導室）

事業名	ハートフルスクールプロジェクト推進事業
	基本施策Ⅱ　安心して学べる学校づくり
	主要施策１　誰一人取り残さない学びの保障

目的

全ての児童生徒が、将来、社会で活躍できるようになることを目指して、「大牟田市版 COCOLO プラン」に基づき、児童生徒一人一人のニーズに応じた多様な学びの「場」を確保し、学びを継続させるとともに、学びに伴走できる「人」の確保と「仕組み」づくりを進めます。

事業内容

１　児童生徒の多様な学びの「場」の確保

（１）各学校に設置した校内教育支援センター（文部科学省の「COCOLO プラン」に示された「スペシャルサポートルーム等」）としての「ハートフルルーム」を運営し、登校はできても、自分の学級に入りづらい児童生徒が自分に合ったペースで学習や生活ができるよう支援します。

（２）地区公民館を活用し、学校以外の居場所「サテライトスペース」を開設し、登校することが難しい児童生徒の学びを支援します。

２　伴走できる「人」の確保と「仕組み」づくり

（１）各学校にスクールカウンセラーを配置し、児童生徒の心理面でのサポートや相談対応の充実を図ります。

（２）各学校の「ハートフルルーム」に学習指導員を配置し、児童生徒の学びを支援します。

（３）「サテライトスペース」の運営のコーディネーターを配置します。

（４）児童生徒への適切な支援に関する職員研修を実施します。

指標名	目標値等	R6	R7	R8	R9	R10	指標･目標値設定の根拠
不登校状態から、学びの場に復帰した児童生徒の割合	目標値（%）	100	100	100	100	100	児童生徒全ての学びの場を確保し、学びたいと思ったときに学べる環境を整えます。
	実績値（%）	95.4	91.4				
	達成度（%）	95.4	91.4				

取組実績

１　不登校児童生徒の多様な学びの「場」の確保

（１）各学校に校内教育支援センター「ハートフルルーム」を設置し、教室に入ることができない児童生徒が自分のペースで学習や生活できるよう支援しました。児童７７人・生徒７４人がハートフルルームを利用しました。

（２）児童生徒が自分の行けるときに出かけ、社会とのつながりをつくる居場所として、地区公民館（三川・駛馬・勝立・中央・三池・吉野・手鎌）に「サテライトスペース」を必要に応じ開設しました。また、民間団体と協働し、中央地区公民館において、毎週月曜日の１４：００～１８：００に「ぱすてる」を年間３３回開設し、延べ２３７人の児童生徒が利用しました。さらに、１０月から吉野地区公民館において、毎週木曜日の１４：００～１６：００に定期的に開催する「ふれんず」を３月までに１９回開設し、延べ８８人の児童生徒が利用しました。

２　伴走できる「人」の確保と「仕組み」づくり

（１）児童生徒の心理面のサポートや相談対応の充実を図るため、県によるスクールカウンセラー（SC）の配置時数に上乗せして、SC を市独自に週当たり２時間各中学校区に配置しました。また、ハートフルルームを利用している児童生徒への SC の関わり方について、南筑後教育事務所のスクールカウンセラースーパーバイザーと連携して研修会を開催し、よりよい体制づくりを進めました。

（２）各小学校（うち２校は県事業費補助を活用）には週１５時間、各中学校には１８時間の学習指導員を配置しました。学習指導員は、ハートフルルームでの支援のほか、教室で不登校の兆候が見られる児童生徒に対し、学級担任等と協働して支援を行うなど、不登校の未然防止に取り組みました。

（３）サテライトスペースの運営のコーディネーターとして、本市のスクールソーシャルワーカー（SSW）を配置しました。サテライトスペースでは、保護者や学校関係者等との情報共有のもと、担当 SSW が、利用者一人一人に合ったプログラムを考え、寄り添いながら対応し、家に引きこもっていた児童生徒が家の外に出て、担当 SSW と一緒に活動しました。また、サテライトスペースのニーズが高まってきていることから、県の事業を活用し、児童生徒の活動を支援するサポートスタッフを５人配置しました。

（４）７月２８日（月）に中友小学校において、福岡県スクールソーシャルワーカー協会副会長で本市のスクールソーシャルワーカースーパーバイザーの高口恵美さんを講師として、いじめや不登校に関する研修会（参加教職員数３３人）を行い、児童生徒のみならず教師の対話力の重要性について学びました。また、毎月の校長会や補導主事会、SSW の定例会に指導主事が参加し、市内の不登校児童生徒の状況について情報共有を図るとともに、対応についての協議や具体的な取組についての指導を行いました。

決　算		国	県	起債	その他	一般財源
決算額 （次年度への繰越	34,675　千円 千円）		2,238		10,000	22,437

問題点及び課題

小・中学校における不登校児童生徒数は、Ｒ６年度は前年度比で減少しましたが、Ｒ７年度は微増しました。引き続き児童生徒一人一人の性格や家庭環境などの背景に目を向け、支援を継続する必要があります。

本事業開始後の２年間で、多様な学びの場の整備と伴走する人の確保はできてきました。今後は、それぞれの学びの場において、一人一人のニーズに応じて、社会的自立を見据え、活動を充実させる必要があります。

また、幼少期をコロナ禍で過ごし、他人とのコミュニケーションや協力して取り組む活動の経験が不足している児童生徒が見られるため、様々な場面を捉えてソーシャルスキルトレーニングを取り入れた指導を行っていく必要があります。

今後の方向性（具体策）

不登校児童生徒をはじめ、全ての児童生徒が学びたいと思ったときに学べる環境を整えるため、校内教育支援センターの運営や活動内容等の更なる充実を図るとともに、SSW や関係部局、関係機関等との連携を強化します。

また、児童生徒に寄り添い、支援することができるよう、教職員や支援者のスキルアップを目的とした研修会の充実を図ります。

評　価

小・中学校におけるＲ７年度の不登校児童生徒の数は微増しましたが、不登校状態からの復帰者は増加傾向にあります。これは、多様な学びの場の整備より、児童生徒一人一人の状況に応じた対応の充実が図られた結果であると考えられます。指標である「不登校状態から、学びの場に復帰した児童生徒の割合」は、目標とした１００％に８．６ポイント届きませんでしたので、今後も、全ての児童生徒が学びにつながることができるよう、相談体制の充実、多様な学びの場の充実、伴走する人材の確保に努めます。

令和７年度重点事業の取組状況報告書

（担当課：学校再編推進室、学校教育課、学務課）

事業名	学校再編整備推進事業
	基本施策Ⅳ　学校教育環境の充実
	主要施策１　学校再編整備の推進

目的

市立学校においては、児童生徒数の減少により複式学級編制への対応や学習活動への特別な工夫を要する小規模校が増加するなど、解決すべき課題が生じています。長期的展望に立ち、責任ある教育行政を確保するため、適正規模・適正配置の観点から学校再編整備を行うことにより、各学校におけるクラス替えの実施、中学校の教科指導体制の充実、部活動の活性化など、児童生徒の教育環境の向上を目指します。

事業内容

１　市立学校適正規模・適正配置計画第２期実施計画（計画期間はＲ３～９年度。以下「第２期実施計画」といいます。）の推進

（１）橘中学校・田隈中学校（銀水小学校区）・甘木中学校（倉永小学校区）の再編

再編後の新校である白銀中学校の開校式を開催します。また、生徒・保護者・教職員を対象に、再編後の教育環境の向上の成果を把握するため、アンケートを実施します。

（２）歴木中学校・田隈中学校（羽山台小学校区・三池小学校区）・白光中学校（白川小学校区）の再編

再編後の新校である御木中学校の開校式を開催します。また、生徒・保護者・教職員を対象に、再編後の教育環境の向上の成果を把握するため、アンケートを実施します。

（３）白光中学校（明治小学校区）・甘木中学校（手鎌小学校区）の再編

Ｒ９年４月の新校開校に向けて、白光・甘木中学校再編協議会を設置・運営し、新校の校名案、通学路の安全対策等、開校に必要な事項を協議します。

（４）白銀中学校（旧橘中学校）及び白光中学校の校舎等の施設整備を行います。

（５）第２期実施計画を保護者、地域組織等に周知します。

２　小学校の再編に係る次期計画（計画期間はＲ１０年度～）の策定に向けた検討を行います。

３　上内小学校及び玉川小学校における小規模特認校制度の運用

（１）小規模特認校制度を運用し、複式学級編制の解消など、課題への対応を行います。

指標名	目標値等	R6	R7	R8	R9	R10	指標･目標値設定の根拠
学校再編による教育環境向上の満足度（R7・R9 白銀中学校及び御木中学校）	目標値（%）	－	90.0	－	90.0	－	直近の中学校再編での生徒・保護者・教職員アンケート結果（H27宅峰中学校：80.0%、H29宮原中学校:86.5%）を踏まえて設定
	実績値（%）	－	70.0	－		－	
	達成度（%）	－	77.8	－		－	

取組実績

１　市立学校適正規模・適正配置計画第２期実施計画の推進

（１）橘中学校・田隈中学校（銀水小学校区）・甘木中学校（倉永小学校区）の再編

４月１日（火）に白銀中学校を開校しました。また、再編後の教育環境の向上の成果を把握するため、生徒、保護者、教職員を対象にアンケートを行った結果、教育環境向上の満足度は 70.2%でした。

（２）歴木中学校・田隈中学校（羽山台小学校区・三池小学校区）・白光中学校（白川小学校区）の再編

４月１日（火）に御木中学校を開校しました。また、再編後の教育環境の向上の成果を把握するため、生徒、保護者、教職員を対象にアンケートを行った結果、教育環境向上の満足度は 69.7%でした。

（３）白光中学校（明治小学校区）・甘木中学校（手鎌小学校区）の再編

６月に白光・甘木中学校再編協議会を設置し、８回の会議を開催しました。再編協議会では、新校の校名案の選考、通学路の安全対策の協議、現地視察及び安全確保の要請、学校施設整備・備品の要望等を行い、概ね計画どおり準備を進めました。

（４）白銀中学校（旧橘中学校）及び白光中学校の校舎等の施設整備

白銀中学校（旧橘中学校）については、校舎の増築及び改修がＲ７年度に完了しました。引き続き、Ｒ８年度にかけて、体育館・多目的棟の新築工事、外構等の整備を進めています。

白光中学校の校舎等の施設整備については、Ｒ７年度にプール解体後、駐輪場を整備し、Ｒ８年度にかけて校舎（管理棟・教室棟）及び体育館の改修工事等を進めています。

（５）第２期実施計画の保護者、地域組織等への周知

第２期実施計画の周知を図るため、小・中・特別支援学校の児童生徒や幼稚園・保育園児の全保護者に計画概要版を配布しました。また、再編に関係する１４小学校区のまちづくり協議会等の町内公民館や自治会などに、計画概要版の回覧を依頼するとともに、関係機関等に計画の説明等の周知を行いました。

２　小学校の再編に係る次期計画（計画期間はＲ１０年度～）の策定に向けた検討

小学校の再編に係る次期計画の策定に向け、第２期実施計画に係る進捗整理、及び今後の小学校の再編整備のあり方について、７月に「大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会」に諮問しました。検討委員会からの答申を受け１２月に教育委員会の方針を決定し、関係校区の保護者・地域に周知を行いました。

３　上内小学校及び玉川小学校における小規模特認校制度の運用

上内小学校及び玉川小学校において小規模特認校制度を運用し、複式学級の解消・回避に努めるとともに、引き続き、学校教育の充実と活性化を図るため、保護者や地域の理解を得ながら取り組みました。

なお、児童数の推計により、両校においてＲ８年度から複式学級編制が見込まれたことから、今後の小学校の再編整備のあり方等に係る教育委員会の方針について保護者や地域に説明、周知を行いました。

決　算		国	県	起債	その他	一般財源
決算額	1,539,061　千円	278,212		1,171,600		89,249
（次年度への繰越	1,821,926　千円）					

問題点及び課題

学校再編の推進に当たっては、適正規模・適正配置の考え方に加え、保護者や地域及び学校関係者の理解・協力を得ることが重要です。そのためには、定期的に計画の周知や地域説明会を行い、保護者等の関係者の意見を聞いた上で、子どもたちのより良い教育環境を整備していく必要があります。

今後の方向性（具体策）

市立学校適正規模・適正配置計画第２期実施計画について、引き続き保護者や地域等に内容の周知を行うとともに、Ｒ７年度に設置した「白光・甘木中学校再編協議会」において、校歌や校章の作成等、桜花中学校の開校に必要な事項を協議します。教育委員会では、協議会の運営と合わせ、白光中学校と甘木中学校の閉校式、並びに桜花中学校の開校式の準備を行います。加えて、白銀中学校と甘木中学校（倉永小学校区）の再編、御木中学校と白光中学校（白川小学校区）の再編に向け、関係する中学校４校（白光・甘木・白銀・御木）で協議・調整しながら準備を進めます。

施設整備について、旧橘中学校は、Ｒ８年度に体育館・多目的棟の新築工事が完了するとともに、グラウンド、外構工事等を行い、すべての工事が完了する予定です。また、白光中学校は、Ｒ８年度に校舎（教室棟・管理棟）の改修、グラウンド、外構工事等を行い、Ｒ９年度にすべての工事が完了する予定です。

今後の小学校の再編整備のあり方等に係る教育委員会の方針について、保護者や地域等に内容の周知を行います。また、全市的な小学校の再編整備計画の素案作成に向け、検討を行います。

上内小学校及び玉川小学校については、小規模特認校制度の運用により複式学級の解消に努めており、検証結果や適正配置の観点などを踏まえ、今後も引き続き小規模特認校制度を継続していきます。なお、両校とも今後複式学級編制が見込まれるため、再編に向けて保護者や地域の理解が得られた場合は、全市的な小学校の再編整備に先行して再編に取り組みます。

評　価

大牟田市立学校適正規模・適正配置計画第２期実施計画に基づき、第２段階である白光中学校（明治小学校区）と甘木中学校（手鎌小学校区）の再編に向けた準備を開始しました。今後も引き続き、白光中学校（明治小学校区）と甘木中学校（手鎌小学校区）の再編、白銀中学校と甘木中学校（倉永小学校区）の再編、御木中学校と白光中学校（白川小学校区）の再編に向けた準備を進めるとともに、全市的な小学校の再編計画の策定に向け、検討を行います。

令和７年度重点事業の取組状況報告書

（担当課：指導室、人権・同和教育課）

事業名	人権・同和教育・啓発推進事業
	基本施策Ⅴ　人権に関する教育・啓発の推進
	主要施策１　人権・同和教育の推進

目的

学校、家庭、地域、職場など日常生活のあらゆる場を通して、市民一人ひとりが人権・同和問題を自らの課題として捉え、人権・同和問題に対する理解と認識を深めながら、「差別をしない」から「差別をなくす」取組を進めていくことにより、一人ひとりの人権が尊重される社会の実現を目指します。

事業内容

１　市立学校において、学校教育活動全体を通した人権・同和教育を推進します。

（１）市立学校において、人権・同和教育の全体計画を作成し、大牟田市人権・同和教育カリキュラム等を活用しながら、児童生徒の実態に応じた人権・同和教育が行われるよう支援します。

（２）市立学校において、授業による校内研修会が計画的に実施されるとともに、大牟田市人権・同和教育研究実践交流会への参加等を通した教職員研修が行われるよう支援します。

（３）福岡県教育委員会や福岡県人権・同和教育研究協議会等が主催する研究会への教職員の参加を促進します。

２　「第２次大牟田市人権教育・啓発基本計画」に基づき、市民の人権・同和問題に対する理解と認識を深めるための学習・啓発事業を実施します。

（１）福岡県同和問題啓発強調月間（７月）の趣旨を踏まえて、「人権・同和教育講演会」を開催します。

（２）福岡県同和問題啓発強調月間（７月）及び人権週間（１２月４日～１０日）に合わせて市内商業施設等において、市・県関係者、人権擁護委員等による人権啓発のための街頭啓発活動を実施します。

（３）人権意識の向上のため、地区公民館等において「人権学習会」を開催します（４回を予定）。

（４）職場で行われる研修会等に講師を派遣するほか、市ホームページにおいて、各種啓発事業や地域や職場での学習を支援するための貸出用啓発 DVD の案内を行うとともに、「広報おおむた」や SNS（市公式 LINE、ちょうどよ課、愛情ねっと）に啓発記事や啓発事業の案内を掲載するなど、情報提供の充実を図ります。

指標名	目標値等	R6	R7	R8	R9	R10	指標･目標値設定の根拠
大牟田市人権・同和教育カリキュラムの活用実績	目標値（%）	100	100	100	100	100	全ての市立学校で、大牟田市人権・同和教育カリキュラムを活用した授業研究会を実施することを目標とします。
	実績値（%）	100	100				
	達成度（%）	100	100				

取組実績

１　市立学校において、学校教育活動全体を通した人権・同和教育を推進します。

（１）全市立学校が人権・同和教育の全体計画を作成しました。また、大牟田市人権・同和教育カリキュラム等を活用し、児童生徒の実態に応じた人権・同和教育を実施しており、教育委員会はその支援を行いました。

（２）全市立学校では、授業による校内研修会を計画的に実施しました。また、８月５日（火）には、大牟田文化会館において、大牟田市人権・同和教育研究実践交流会を開催し、日々の学級・学校経営を通した教職員研修を行いました。実践交流会においては、教職員が各自で、人権・同和教育に関わるレポートを作成し、校内でそのレポートをもとに協議を行い、人権・同和教育の推進についての共通認識を持つ場を設定しました。

（３）適宜、福岡県教育委員会や福岡県人権・同和教育研究協議会等が主催する研究会の開催について周知を行い、７月２８日（月）に福岡国際会議場で行われた県の研修会に全市立学校から担当者等が参加しました。

２　「第２次大牟田市人権教育・啓発基本計画」に基づき、市民の人権・同和問題に対する理解と認識を深めるための学習・啓発事業を実施します。

（１）福岡県同和問題啓発強調月間（７月）にあわせて、７月５日（土）に大牟田文化会館において、部落解放同盟福岡市協議会青年部の吉岡綾さんを講師に招き、「今ここにある部落差別」と題して人権・同和教育講演会を開催し、１３０人が参加しました。なお、開催に関する市民周知は、報道発表や広報おおむたのほか、市ホームページや庁内広告モニター、SNS 等（愛情ねっと、市公式フェイスブック、市公式 LINE）を活用しました。

（２）福岡県同和問題啓発強調月間（７月）にあわせて、７月１日（火）にゆめタウン大牟田において、副市長・副議長・教育長をはじめ市・県関係者及び人権擁護委員等による人権啓発のための街頭啓発活動を実施しました。また、人権週間（１２月４日～１０日）にあわせて、１２月４日（木）に街頭啓発活動を実施しました。

（３）人権・同和問題に対する正しい認識と理解を深めるため、６月２７日（金）、９月２６日（金）、１１月１４日（金）、Ｒ８年２月６日（金）に地区公民館において、大牟田市人権・同和教育研究協議会の研究員を講師に、「部落差別について考える」と題して人権学習会を開催し、合計１１０人が参加しました。なお、開催に関する市民周知は、報道発表や「広報おおむた」のほか、市ホームページや庁内広告モニター、SNS 等（愛情ねっと、市公式フェイスブック、市公式 LINE）を活用しました。

（４）企業等における職場研修会において、３６回の講師依頼を受け、人権に関する研修を行いました。また、啓発用 DVD については、４０件の貸出しを行い、企業等における自主研修に活用されました。

決　算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額　346　千円 （次年度への繰越　　千円）		151			195

問題点及び課題

各学校において人権・同和教育カリキュラムを実践する際には、児童生徒の実態に応じて、同じ中学校区の小学校同士や小学校と中学校が連携して取組を進め、一連の学習内容の積み上げの関連が図れるように実践を進める必要があります。

人権や同和問題等に対する市民の理解と認識を深めるためには、初めて参加する人の割合を増やすことが重要となってきます。講演会等のアンケート結果において、初めて参加した人の割合は、人権・同和教育講演会は１４．３％（前年比１．６ポイント増)、人権連続講座では２６．４％（前年比９．２ポイント増）となっており、増加傾向にあります。しかし、その年のテーマによって増減の変動があるため、継続的に一定数の初参加者を確保することが課題です。

今後の方向性（具体策）

今後も、人権・同和教育の更なる充実に向けて、児童生徒に正しい認識と差別をなくそうとする態度を確実に身に付けさせるため、各学校において人権・同和教育カリキュラムを確実に実施するとともに、夏季の教育講座や実践交流会における研修の充実を図ります。

諸啓発事業を開催するには、その趣旨を踏まえ、深く掘り下げた内容とする一方、誰もが気軽に参加でき、分かりやすく身近な問題をテーマとして、広く市民を対象として開催することも重要となってきます。そのためには、周知方法についても、広報おおむたや市ホームページ、広告モニターのほか、愛情ねっと、公式 LINE 等の活用、地域コミュニティ連絡会議を通じて各種団体に働きかけを行うなど、広く周知、啓発していきます。

評　価

全ての市立学校で、人権・同和教育カリキュラムに沿って授業研究会が実施されており、今後、更なる充実に向けて各種研修会を実施していきます。

参加者アンケートによる醸成度は、人権・同和教育講演会、人権連続講座ともに９割を超えており、講演会等の内容は参加者に伝わったものと思われます。

今後も、一人ひとりの人権が尊重される社会の実現を目指して取り組んでいきます。

【基本施策Ⅰ】社会的自立の基盤となる資質や能力の育成

義務教育９年間を見通した系統性･連続性のある指導により､児童生徒に｢確かな学力(知)｣､｢豊かな心（徳）｣、｢健やかな体（体）｣をバランスよく育成し、社会において自立的に生きるための基盤となる資質や能力を培います。

主要施策１　確かな学力の育成

児童生徒一人一人の学力の状況に応じたきめ細かな指導の充実を図り、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるとともに、思考力、判断力、表現力等や、粘り強く学習に取り組む態度を育成します。また、ＩＣＴを活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ります。

【主な事業】

〇教育研究事業〔指導室〕

（１）国、県、市の指定研究

県、市等の研究指定校で学習指導要領の趣旨に沿った指導内容・方法に関する実践的な研究に取り組み、その結果を各学校に広げました。

市研究指定校（研究指定は３年間）

学　校　名	研　究　主　題	教科・領域等
高取小学校 （３年次）	未来に向けて生きる力を育む特別活動の創造 ～学級・学校・自分づくりに参画するＡＡＲサイクルを通して～	特別活動
松原中学校 （３年次）	主体的に学び、未来を拓く子どもを育てる小中一貫教育 ～自らの学びを書く活動を位置づけた学習活動の工夫を通して～	各教科・領域
羽山台小学校 （２年次）	豊かに想像し、違いのよさを見いだす子どもを育てる国語科学習指導 ～「選ぶ」「比べる」「見つける」活動を位置付けた単元構成を通して～	国語科
白光中学校 （２年次）	誰もが安心できる学校づくり ～対話の場による言語活動を通して～	生徒指導
手鎌小学校 （1 年次）	主体的・対話的で深い学びに向かう子供の育成 ～ＩＣＴを活用した理科の学習過程の工夫を通して～	理科
御木中学校 （１年次）	多様な他者と学び合える生徒を育成する学習指導法の研究 ～仲間を大切にする協働的な学習を通して～	各教科・領域

（２）教育調査（標準学力検査等）

基礎基本の確実な定着を図る教育課程の編成と実施のため、教育調査を行いました。

①全国学力・学習状況調査（調査対象　小６：国語・算数・理科、中３：国語・数学・理科）

②全国体力・運動能力、運動習慣等調査（調査対象　小５、中２）※本市は全学年で実施

③福岡県学力調査（調査対象　小５：国語・算数、中１・２：国語・数学）

④大牟田市学力調査（調査対象　小３～小６：国語・算数、中１・２：国語・社会・数学・理科・英語）

（３）教職員研修会の開催

①市教科研究委員会等の研修として、授業研究会（教育講座）を開催しました。

②市内小・中・特別支援学校の校内研修会に指導主事を派遣して、新学習指導要領に基づく学習指導について指導・助言を行いました。

③市教育研究所の教育講座は、管理職・教員を対象に以下の研修会を実施しました。

○研究構想の基本的な構成　６月　５日（木）
○研究の検証について　６月１９日（木）
○デジタルドリルを効果的に使いこなそう　６月２３日（月）
○検証授業の具体的な進め方　７月２４日（木）・１０月２３日（木）
○学習規律、集団行動の指導のコツを学ぼう！　７月２５日（金）
○ＥＳＤ（持続可能な開発のための教育）の基本的な考え　７月２５日（金）
○配慮を要する子どもへの接し方、見取り方　９月２２日（月）
○授業力アップ講座（中学校）　９月～１１月
○児童生徒が主体的・協働的に学ぶ授業づくりのコツは？　１１月１２日（水）
○プレゼンテーションの基本的な構成　１２月　４日（木）

④教育研究所研究員による研究について、８月に２年次中間報告会、９月に１年次研究構想報告会、２月に研究報告会を開催し、その成果を各学校へ広めました。

（４）教育論文の募集と表彰

大牟田市主催教育論文及び福岡県教育論文（教育論文、教育実践）を募集し、個人または共同研究の充実に努めました。

市論文に１３件の応募があり、Ｒ８年２月１６日（月）に表彰式を行いました。

（５）実践事例集・研究紀要の作成

学校経営、学校指導等の充実に資するため、研究成果をまとめ、以下の教育資料を作成しました。

①教育研究所研究紀要　②ＥＳＤ実践事例集（デジタル版）

（６）科学技術教育振興事業

有明工業高等専門学校との連携事業に取り組み、科学技術教育の振興を図りました。

①小中学校対象事業（出前授業）　５講座実施
②教職員対象研修事業　実施せず（日程調整が難しかったため）
③高専ハカセ塾　５人（ホバークラフト等の個人テーマによる研究）

●学力ブラッシュアップ推進事業〔指導室〕（１５・１６ページ参照）

○学力向上推進事業〔指導室〕

（１）各学校の学力向上プランの促進

各学校は、自校の各種調査結果を分析し学力向上プランを作成しました。各学校へ指導主事を派遣するなどして、学力向上プランの効果的な実施に向け、指導内容・指導方法・指導体制等の在り方について指導助言を行いました。

（２）小・中学校における「授業づくりガイドブック」の活用

小学校、中学校用の「授業づくりガイドブック」を研修会や教材研究において活用し、授業改善に努めました。

（３）研修会の実施等

県の「ふくおか学力向上推進事業」において、南筑後教育事務所と連携し、学力向上に係る理論研修や授業研修において指導助言を行い、教員の学習指導力の向上を図りました。

また、夏季休業中に、附属小学校等で活躍されている講師を招聘し、小学校国語科、算数科の特別講座を開催しました。

●小中一貫教育推進事業〔学校教育課〕（１７・１８ページ参照）

〇きめ細かな学習指導充実事業〔学校教育課〕

（１）中学校の学校実態に応じた弾力的な３５人以下学級編制

中学校においては、学校の実態に応じ、弾力的に３５人以下学級編制を行うこととしていますが、Ｒ７年度に３５人以下学級編制を行った学校はありませんでした。

（２）少人数授業推進のための非常勤講師の派遣

習熟度別や課題別学習などの少人数授業を実施する場合や、学校が特に学力向上が必要と判断した教科がある場合に、非常勤講師を派遣（小学校１０校に１１人、中学校５校に８人）し、個に応じた学習指導を充実させ、学力の向上を図りました。

（３）夜間中学への非常勤講師の派遣

夜間中学「宅峰中学校ほしぞら分校」の授業の充実を図るため、非常勤講師を２人配置しました（教科：美術科、音楽科)。

（４）教員業務支援員の配置

教員が授業や教材研究等に注力できるよう、教員の業務を支援する教員業務支援員を必要に応じ配置しました（小学校３校、中学校４校)。

〇学校ＩＣＴ活用推進事業〔指導室、学校教育課〕

（１）デジタル教科書や教育支援ソフト等の活用

デジタル教科書（小学校全学年の国語・算数、中学校全学年の英語）を活用し、文字の書き込みや音声の再生ができるなどの特性を生かした授業を展開しました。

国語・算数（数学)・社会・理科・英語のうち、各学校の要望に応じて２教科のデジタルドリル教材を導入し、一人一人の学力実態に応じて授業や家庭学習等において活用することで、基礎学力の定着に取り組みました。

学習支援ソフトの機能の一つである学習ログを活用した学習や協働的な学びの実現に取り組みました。

（２）教職員研修会の開催

タブレット端末を効果的に活用した授業づくりについて、研修会を実施し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的推進に取り組みました。

（３）ヘルプデスクや学校ＩＣＴ支援員による教職員のサポート

各学校でのＩＣＴの活用が円滑に進むよう、業者委託により、タブレット端末等の操作支援や障害発生時の対応等（ヘルプデスク業務）を行うとともに、タブレット端末等を活用した授業に向けた支援を行いました。

〇デジタル人材育成事業〔指導室〕

（１）有明工業高等専門学校との連携による「サーキットデザイン教育」等の実施

小学校においては、有明工業高等専門学校と連携し、半導体の役割や仕組みについて学ぶサーキットデザイン教育を実施しました。具体的には、各小学校で授業をする教員に指導内容や指導方法を学んでもらうために、有明工業高等専門学校から講師を招き、中友小学校６年生を対象に授業をしていただいた後、質疑の時間を設けて、半導体に関する見識を深めました。この成果をもとに、各小学校において６年生を対象に実践を行いました。

中学校においては、ブラウザ完結型プログラミング学習教材を導入し、プログラミング言語の理解を深めました。導入したソフトの理解を深めるために、６月にライフイズテック株式会社から、学習教材の概要、使用方法等について指導を受けました。また、１０月の中学校教科等授業研究会（技術科）において、導入した学習教材を用いて公開授業を行い、授業づくりについて研修の場を設けました。各中学校においては、学習教材を用いて、プログラミング言語を用いた双方向性コンテンツによる問題解決学習が実施されました。

〇外国語教育推進事業〔指導室〕

（１）小学校へのＡＬＴ・ＬＧＴ、中学校へのＡＬＴの派遣

小学校にＡＬＴ（外国語指導助手）やＬＧＴ（外国語講師）を、中学校にＡＬＴを派遣し、授業や教職員研修の支援を行いました。また、英語教育担当者を中心に、小学校で教科化された英語教育への対応や、小学校から中学校の英語教育への小中連携についての教職員対象の各種研修会等を開催しました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	目標値設定の考え方
全国学力・学習状況調査の標準化得点	目標値	国・算（数）での前年比向上	同左	同左	同左	同左	小学６年生と中学３年生を対象とする全国学力・学習状況調査で毎年度実施される国語・算数（数学）の標準化得点が前年度より向上することを目標とします。［現状値：小の算数のみ達成（R4 年度実績）］
	実績値	未達成	小・中全て達成				
	達成度（％）	0	100				

【指標達成度に対する要因分析】

指標である小学６年生と中学３年生を対象とする全国学力・学習状況調査で毎年度実施される国語・算数（数学）の標準化得点は、全てにおいてＲ６年度を上回りました。

各学校においては、年度当初に学力向上プラン、学力向上ロードマップを作成し、各校の課題解決に向けてＰＤＣＡの検証改善サイクルを回しながら取り組んできた成果を得ることができました。しかし、国、県、市の学力調査等の結果によれば、記述式問題や活用問題において課題が見られ、また、いずれの教科・区分においても学力上位層が少なく、学力低位層が多い傾向にあります。

今後、成果指標と取組指標を全職員で共通理解・共通実践して、各校の課題解決に向けた取組の更なる充実を図り、Ｒ３年１月中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」に示されている「個別最適な学びと協働的な学び」を一体的に推進し、主体的・対話的で深い学びに実現に努めます。

また、全国学力・学習状況調査の結果によれば、「自分にはよいところがありますか」について、小学校、中学校ともに全国と比較して低い傾向がみられ、学習活動の基盤、原動力となる自尊感情や粘り強さ、自らを律する力等の非認知能力を全教育活動を通して育んでいくことが課題となっています。さらに、本市児童生徒は、ネット動画の視聴時間やゲームをする時間が長く、家庭学習の時間が短い傾向にあります。これらは、学力向上に向けて改善すべき要素となっているだけでなく、基本的生活習慣の定着の上でも課題となっています。

【今後の方向性】

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に推進し、「主体的・対話的で深い学び」を各学校が実践できるよう、授業研究会や教育講座等の教職員研修を実施するとともに、指導主事を全ての学校に派遣し、更なる授業改善を進めます。また、教育研究所における若手教員のグループによる授業の進め方に関する研究、研究所連続講座などを通して教師力の向上を図るとともに、教員間のネットワーク構築に資する取組を行います。

児童生徒の「個別最適な学び」を進めるため、タブレット端末で利用できるドリル教材を授業や家庭学習で活用し、基礎的・基本的な知識及び技能の習熟を図ります。また、学習支援ソ

フトを有効活用した授業づくりを進めます。

小・中学校が実施する補充学習や強化学習に「スタディサポーター」を派遣し、個に応じたきめ細かな指導が行えるよう支援します。

各学校や小・中学校の連携のもと中学校区単位で行われる家庭学習習慣の定着の取組を支援します。

県の学力向上強化市町村の取組とも関連させ、学力調査で測定できる学力の向上とともに、全ての教育活動を通して、また、家庭と連携しながら非認知能力の向上にも努めます。

このような取組を通して、学力調査における平均点の向上とともに、学力を向上させた「個の人数」の増加を目指します。

主要施策２　豊かな心の育成

道徳教育やさまざまな体験活動、読書や鑑賞の活動などの充実を図り、規範意識や他人を思いやる心情、自然や文化を大切に思う心情や豊かな情操を育成します。

【主な事業・取組】

○道徳教育の充実〔指導室〕

各学校では、道徳教育は、各学校の年間指導計画に基づき、道徳科学習を要としながら、全教育活動を通して行っています。その際、児童生徒の体験と関連させることや、教材や福岡県の人権教育指導資料「かがやき」、「あおぞら」等を有効活用するよう指導しました。

○「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業〔指導室〕

（１）児童会・生徒会リーダーミーティングでの各学校の取組の交流等

７月から８月にかけて、中学校区単位で１回目の「児童会・生徒会リーダーミーティング」を開催し、児童会・生徒会の代表児童生徒が、挨拶運動やメルシーアーチに係る取組の交流や「思いやり・親切」についての意見交換を行いました。２回目の「児童会・生徒会リーダーミーティング」も中学校区単位で１２月からＲ８年１月上旬に開催し、各学校の８月以降の児童生徒主体の「思いやり・親切」に係る取組の交流と１月以降の取組についての話し合いを行いました。

（２）各学校独自の取組や全学校共通の取組

各学校では、「あいさつ運動」「よいところ探し（メルシーアーチ)」「仲良し集会」等を工夫して実施したり、友だちを大切にする標語とポスターを作成したりしました。

（３）大牟田地域教育力向上推進大会での発表

Ｒ８年１月に開催した大牟田地域教育力向上推進大会において、代表児童生徒が大牟田市の全学校の「『思いやり・親切』応援隊子どもプロジェクト」の取組を発表し、市民への啓発を行いました。

○おおむた郷土愛育成事業〔指導室〕

（１）子ども大牟田検定（入門編・基礎編・上級編）の実施

郷土大牟田のよさを児童生徒が知ることができるよう、大牟田の自然や文化、伝統などの「大牟田の宝もの」に関する子ども大牟田検定を２回実施しました。

なお、Ｒ４年度の２回目（通算２４回目）からは、二次元コードやタブレット端末を活用し、オンラインで実施するとともに、端末にスタディログ（学習履歴）が残るようにしています。

学校種、学年等		検定の種類	受検者数（人）	
			１回目（通算２９回目） ８月２９日（金）	２回目（通算３０回目） Ｒ８年１月９日（金）
小学校	１・２年生	入門編	－	1,261
	３～６年生	基礎編	2,335	2,479
	５・６年生の希望する者※	上級編	617	701
	小　　計		2,952	4,441
中学校	全学年（基礎編・上級編のどちらかを選択）	基礎編	519	354
		上級編	1,569	1,373
	小　　計		2,088	1,727
合　　計			5,040	6,168

※小学校５・６年生は、基礎編・上級編のどちらか一つだけ受検できる。

※児童生徒のほか、５２７人の大学生や市民も受検した。

〇小中学生伝統文化等体験事業〔指導室〕

（１）児童生徒の伝統文化体験の支援

関係課と連携し、音楽や総合的な学習の時間における伝統文化の学習において、学校へボランティア講師を派遣し、児童生徒の体験学習を支援しました。小・中・特別支援学校の児童生徒は、押し花や茶道、華道等を体験し、日本の伝統的な文化のよさを実感することができました。

（２）各学校の読書活動における郷土出身作家作品の紹介・奨励

各学校が実施する読み聞かせ活動や読書週間等の中で、本市出身の絵詞作家である内田麟太郎氏の作品を取り上げ、紹介する等の取組を行うよう周知を図りました。

〇読書活動推進事業〔指導室・学務課〕

（１）各学校における読書活動の奨励〔指導室〕

「大牟田市子ども読書推進計画（第４次)」（Ｒ７年４月）に基づき、各学校において読書活動を推進しました。各学校においては、「子ども読書の日」に合わせて、全校集会や学年集会や児童会・生徒会における読書に関する啓発活動、学校、学年通信やチラシ等を活用した家庭への読書活動の啓発を実施しました。また、読書への関心を高めるために、ボランティアによる読み聞かせを実施したり、学校図書館を利用し、児童生徒が主体となった読書週間を各学校において工夫して実施したりしました。加えて、「ありあけ圏域電子図書館」の積極的活用に向けた周知や福岡県読書感想文コンクールへの応募の奨励等を行いました。

（２）学校図書館への司書配置の充実〔学務課〕

読書活動の推進をはじめとする学校図書館機能の更なる充実を図るため、専ら学校図書館の職務に従事する職員として、司書の資格又は司書教諭の資格を有する者を全小・中・特別支援学校に配置しています。

〇児童生徒の作品展〔指導室〕

（１）理科展

夏休みの自由研究として小・中・特別支援学校から昆虫植物採集・理科作品研究物等の中から優れた作品が出品され、８月３０日（土）～９月４日（木）に大牟田文化会館において理科展を開催しました。小学校３６６点、中・特別支援学校１３６点、合計５０２点の出品がありました。

（２）小・中・特別支援学校合同作品展

各小・中学校から絵画・版画・彫塑・工作・デザイン・工芸等の作品が、特別支援学校から児童生徒が日常の学習で制作した作品や日常生活の写真などが出品され、Ｒ８年２月２０日（金）～２５日（水）に大牟田文化会館において作品展を実施しました。

〇自然体験・社会体験授業の充実〔指導室〕

（１）野外活動宿泊体験、職場体験等の実施

小学校全校において、７月から８月にかけて野外活動宿泊体験学習を実施しました。また、特別支援学校は、高等部で野外活動宿泊体験学習を実施しました。

中学校における職場体験学習については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン等で実施していましたが、Ｒ６年度から職場体験学習を本格的に実施しています。Ｒ７年度も関係課と連携して実施しました。松原中学校の２年生（７４人）がＲ８年１月に職場訪問学習（９か所）を行い、体験活動や質疑応答を通して大牟田市で活躍している

企業や働く人々について学ぶことができました。この活動を通して、生徒自身が自らの勤労観や職業観、生き方を見つめる機会となりました。Ｒ８年度も引き続き関係課と連携して白銀中学校で実施する予定です。

〇非行防止教室推進事業〔指導室〕

（１）万引き防止、薬物乱用防止教室等の全校での実施

規範意識の醸成のため、各学校において外部指導者を活用し、非行防止教室として、万引き防止教室、シンナー薬物乱用防止教室、情報モラル学習等に取り組むよう指導助言を行いました。

（２）スマートフォンやＳＮＳに関する指導の実施

４月と７月の校長会で、Ｈ２７年１１月に策定された大牟田市「児童生徒の携帯電話等の利用に関する指針」について再周知し、学校を通して保護者等への啓発を図りました。１１月に携帯電話やスマートフォンの使用に関する啓発資料を学校へ配布し、児童生徒並びに保護者等への啓発を行いました。

各学校においては、低学年から発達段階に応じて情報モラルについて指導しました。その際、文部科学省で作成した指導モデルカリキュラムや指導事例を紹介する教員向け Web サイト等を利用したり、規範意識教室等を開催したりして、スマートフォンや SNS との関わり方や危険性について、児童生徒に指導しました。また、宮原中学校においては、Ｒ８年１月に実施した新入学生説明会において､弁護士を招き､新１年生と保護者を対象に、ネットトラブルに係る具体的事例を通して、法の観点から課せられる責任や影響等について学ぶ取組が実施されました。

〇中学校の部活動の活性化〔指導室〕

（１）中学校連合音楽会の開催

１０月２日（木）に大牟田文化会館において各中学校が吹奏楽演奏を行いました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	目標値設定の考え方
児童生徒の規範意識	目標値（%）	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	人の気持ちがわかる人間になりたいと答えた児童生徒の割合について、現状値を踏まえ95.0%以上を目指します。［現状値：96.8%（R4 年度実績）］
	実績値（%）	95.8	97.5				
	達成度（%）	100.8	102.6				

【指標達成度に対する要因分析】

規範意識を育むためには、道徳科の授業はもとより、全教育活動を通して、適宜、教師による指導や児童生徒が主体的関わる対話活動を取り入れていく必要があります。「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業では、児童生徒が児童会・生徒会を中心に、主体的に楽しい学校・いじめのない学校づくりのための取組を考え、行動する姿が見られるようになりました。また、学校行事や地域と連携した様々な体験活動など、豊かな心を育む教育活動を進めた結果、教師と児童生徒、児童生徒相互の共感的な人間関係づくりが進みました。これらの事業を通して、学校生活における支持的風土が高まり、その結果、今まで以上に周りの友達やよりよい学校づくりのために何が大切かを考え、人の気持ちが分かる人になりたいと思う児童生徒の割合の目標値の達成ができたものと考えます。

各学校では、児童生徒の発達段階を踏まえ、SDGs／ESD の一環として地域の特色に応じた郷土学習を実施しました。その中で、子ども大牟田検定の実施に向けて、「子ども大牟田検定ガイドブック」を授業や家庭学習でも取り上げました。また、総合的な時間の学習で地域のよさに触れたり、地域の課題を見つけ、課題解決を図ったりする学習を通して、地域を知り、地域のために行動し、地域を誇りに思う児童生徒の育成を目指す等、郷土学習の充実を図りました。

【今後の方向性】

今後も、様々な教育活動において、児童生徒の主体的な対話活動を促進し、「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業の一つである児童会・生徒会リーダーミーティングの推進・充実を進めるとともに、各中学校区単位で、「思いやり・親切」に関するキャンペーンや「友だち応援隊」に係る取組の継続を図ります。また、読書活動や各種体験活動の充実、児童生徒の作品展等の開催、非行防止教室等の実施を通して、児童生徒の規範意識を高める取組の更なる充実を進めていきます。

また、SDGs／ESD の取組において、地域で一生懸命に活動する大人との出会いや地域に何らかの影響を与えることができた手応えを実感できる活動を大切にしながら、地域素材を教材化していきます。そして、発達段階に応じた郷土学習の実施を進めることを通して、児童生徒が、様々な人と協働して課題を解決していく喜びを味わい、社会参画意識を育むとともに、地域社会に貢献するために必要な自尊感情や思いやりの心を育成します。

主要施策３　健やかな体の育成

学校教育活動全体を通じて、保健教育、学校保健の充実を図るとともに、日常から運動に親しむ児童生徒の増加を図るなど、体力向上に向けた取組を進めます。また、地域や家庭との連携により、学校給食・食育の充実を図り、基本的生活習慣が身に付いた心身ともにたくましい児童生徒を育成します。

【主な事業】

〇体力向上推進事業〔指導室〕

（１）体力向上プランの促進

各学校は自校の児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等の実態を分析し体力向上プランを作成しました。校長会や担当者会等を通して各学校の体力向上プランの取組が組織的・効率的に実施できるよう指導助言を行いました。

（２）小学校地区競技会

①５月にリレー大会を各学校で開催し、４・５・６年生が参加しました。

②１０月～Ｒ８年１月に中学校区ごとのソフトバレーボール大会を開催し、６年生が参加しました。

（３）中学校体育連盟の競技会（スポーツ推進室と連携）

①７月に中体連夏季市内大会を市内の各会場で開催しました。

②９月に新人大会を市内の各会場で開催しました。

③１０月に駅伝の市内大会を諏訪公園で開催しました。

④Ｒ８年１月に中学校体育連盟による市内駅伝新人大会を開催しました。

（４）福岡県「スポコン広場」への参加奨励

全小学校において、運動への動機づけ・習慣化を図るために、福岡県「スポコン広場」に登録し、運動が苦手な児童も気軽に参加できる種目や体育科学習の内容と関連した種目に学級単位で挑戦しました。また、Ｒ７年度「スポコン広場」南筑後地区大会では、高学年の部・中学年の部の両方において手鎌小学校、上内小学校が上位に複数入賞するなど、大牟田市の子どもたちのよさが発揮されました。

（５）小・中学校体育科研究会との連携

小・中学校体育科研究会と連携して、８月に全小・中学校の児童生徒の体力テストの結果（各学校５月から７月に実施）を分析し、必要に応じて９月以降の体力検定の行い方や内容を見直すとともに、Ｒ８年２月に次年度の体力検定の行い方や種目等の検討を行いました。

〇健康教育推進事業〔指導室〕

（１）生活習慣病予防・喫煙防止・薬物乱用防止教育等の実施指導

各学校において、生活習慣病予防・喫煙防止・薬物乱用防止等を教育課程に位置付けて実施するよう指導しました。

〇食育推進事業〔学務課、指導室〕

（１）食育推進校に係る取組〔指導室〕

Ｒ７年度は大正小学校を推進校に指定し、食育に関する理論研究や実践した内容を市内の各学校に啓発・普及することによって、本市の食に関する教育の充実に努めました。同校では、「食を通して、主体的に学び、心豊かにつながり合う子どもの育成」を研究主題に掲げ、家庭・地域と連携した農業体験を通して、五感を通じた体験から本質的な気付きを促す食育及び感動を原動力とした実践的な食育を推進するとともに、松原中学校区学校運

営協議会や松原中学校区リーダーミーティングにおいて、実践交流等を実施しました。また、食に関する取組の啓発用リーフレット等を作成し、Ｒ８年３月に市内の各学校に配布しました。

（２）早寝早起き朝ごはん運動推進校に係る取組〔指導室〕

Ｒ７年度は松原中学校を推進校に指定し、早寝早起き朝ごはん運動に関する実践した内容を市内の各学校に啓発・普及することによって、本市の食に関する教育の充実に努めました。同校では、ぶどう農家の方を講師に招いた食育教室や食を通した国際理解教育、生徒会による給食残食ゼロ運動に取り組むとともに、保護者を対象とした中学校給食センターの見学や生徒と保護者による料理教室を実施しました。また、食に関する取組の啓発用リーフレット等を作成し、Ｒ８年３月に市内の各学校に配布しました。

（３）学校給食への地場産物の使用促進と食育の啓発推進〔学務課〕

地場産物の使用促進を図るため、福岡県産や大牟田産の青果物を積極的に取り入れました。食育の啓発については、小学校の保護者に対し「もぐもぐ通信（食育通信）」と「給食だより」を交互に年１１回、中学校では「食育通信」を年１１回発行し、朝食の重要性や食生活に関すること、学校給食と SDGs の関わり、給食レシピの紹介などを行いました。

（４）学校給食週間等の開催〔学務課〕

学校給食週間（Ｒ８年１月２４日（土）～２月１日（日））では、大牟田市総合体育館において児童生徒のポスター・標語作品展を開催し、各小学校や中学校給食センターにおいて地域の方々等を招いた給食試食会を行いました。また、Ｒ４年度から引き続き、関係課と連携し、児童生徒を対象とした学校給食レシピコンテスト（大牟田産の農作物を使ったおかず部門、高菜部門）を実施し、入賞作品は市内の協力店において販売されました。

（５）中学校給食センターを活用した食育の啓発〔学務課〕

中学校給食センターにおいて、学校給食を通した食育の啓発を推進するため、小中学校のＰＴＡ等を対象に施設見学と栄養教諭による講話を含めた給食試食会を実施しました。

〇中学校給食事業〔学務課〕

（１）中学校給食センターの管理運営

学校給食法に基づき、生徒の心身の健全な発達に資する安全でおいしく楽しい給食を将来にわたって円滑に実施するため、中学校給食センターの管理運営を行うとともに、献立作成をはじめとする学校給食会の運営業務等を行いました。

〇小学校給食事業〔学務課〕

（１）直営拠点校・民間委託校併用方式の推進

学校給食法に基づき、小学校において、児童の心身の健全な発達に資する安全でおいしく楽しい給食を将来にわたって円滑に実施するため、直営拠点校と民間委託校による併用方式の推進を図りました。

（２）小学校給食の管理運営

各小学校の給食調理や給食室・調理機器等の管理を行うとともに、献立作成をはじめとする学校給食会の運営業務等を行いました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	目標値設定の考え方
体力向上のための授業以外での取組実績	目標値（%）	100	100	100	100	100	児童生徒の体力向上のための授業以外での取組を全ての学校で実施します。 ［現状値：100%（R4 年度実績）］
	実績値（%）	100	100				
	達成度（%）	100	100				

【指標達成度に対する要因分析】

児童生徒の体力の向上に向けて、各学校においては、「１校１取組」を位置付けた体力向上プランを作成し、学校の実態や児童生徒の発達段階に応じた様々な取組が実施されました。各小学校では、県が実施している「スポコン広場チャレンジランキング」に参加して、運動の日常化を図りました。Ｒ７年度「スポコン広場」南筑後地区大会では、高学年の部・中学年の部の両方において、手鎌小学校、上内小学校が、上位に複数入賞するなど、大牟田市の子どもたちのよさが発揮されました。

また、体力テストの際には、地域のスポーツ推進員の支援を得て実施しています。また、中学校においては、各学校の実態に応じて、生徒会の委員会活動の一環として、休み時間に外遊びを推奨する取組を行うなど、生徒の目的意識が高まる取組がなされました。

その結果、各学校において、児童生徒が自己の体力の向上に係る目標意識を持って主体的に取り組むことができ、体力向上の取組実績の目標値の達成ができたものと考えます。

【今後の方向性】

今後も、体力向上に向けて、授業での取組はもとより、授業以外での取組も児童生徒の発達段階や学校の実態に応じて進めていきます。そのために、各学校の体力向上プランの充実について指導助言を行うとともに、各取組の啓発と各競技会への支援を行います。また、健康教育や食育の充実を図ることを通して、体力向上の基盤づくりに努めていきます。さらに、児童生徒の発達段階に応じて、体力や健康の大切さ、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の意義などを理解させ、自主的な取組が図られ、体力の向上が図られるようにしていきます。

食育の推進については、食育推進校等での取組の内容とその成果を各校へ拡げるとともに、学校給食を通した食育を行うことにより、朝食の大切さへの理解向上等、食習慣の改善につながるよう、更なる啓発を進めます。

主要施策４　主体的に社会の形成に参画する態度の育成

持続可能な社会の創り手として、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を育成するとともに、社会の中での自分の役割を考え、社会的自立に向けて取り組む態度を育成します。

【主な事業】

●ＳＤＧｓ／ＥＳＤ推進事業〔指導室〕（１９・２０ページ参照）

○ユネスコスクール支援センターを活用したＳＤＧｓ／ＥＳＤの推進

「ユネスコスクール支援センター」に専属職員１名を配置し、関係機関等との連携、SDGs／ESD に関する資料収集を行うとともに、各学校へユネスコスクールの情報を発信しました。

○キャリア教育支援事業〔指導室〕

（１）地元企業等のバス見学や体験学習への支援

関係課と連携し、Ｒ８年１月に松原中学校２年生が６つのグループに分かれ、市内の９つの企業を訪問し、体験活動や質疑応答を通して企業について学びました。Ｒ８年度は白銀中学校で実施する予定です。

（２）中学生対象のキャリア教育に関する講話

将来を考え始める時期にある中学生に望ましい勤労観・職業観を育んでいくために、地元で活躍されている人をゲストティーチャーに招き、各学校で講話を行いました。

（３）中学生の職場体験学習

地元の小売店や病院､老人保健施設等と連携し､中学校５校で職場体験を実施しました。職業の厳しさや楽しさ、やりがいを体験を通して学ぶことで、生徒が自己のキャリアについて考える貴重な機会となりました。

（４）企業等と協働したプロジェクト学習

旧橘中学校は、Ｒ４年度からＲ６年度まで、一般社団法人 OMUTA BRIDGE の協力を得て、ＯＭＵＴＡジュニアシティメーカー（ＯＪＣＭ）の取組を実施しました。この取組が評価され、橘中学校の卒業生である市内の高校生が７月に大阪・関西万博「共創チャレンジ」で発表し、全世界に発信しました。また、ＯＪＣＭの取組の４年となるＲ７年度は、新たに、宮原中学校においてＯＪＣＭの取組がスタートし、２年生が「このまちに必要な『未来のお仕事』を考えよう！」をテーマに取り組みました。大牟田のために一生懸命な大人との出会いを通して、自らのキャリアを考えるきっかけとなりました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	目標値設定の考え方
学校や地域のために行動したいという生徒の割合	目標値（%）	84.0	85.0	86.0	88.0	90.0	学校や地域のために何かをしてみたいと答えた生徒の割合［現状値：82.6%（R4 年度実績）］
	実績値（%）	85.4	85.3				
	達成度（%）	101.7	100.4				

【指標達成度に対する要因分析】

各学校は、自校の教育目標の達成を目指し、地域の特色や児童生徒の発達段階を踏まえて、SDGs／ESD の取組を推進しました。Ｒ７年度は、地域素材を教材化していく際、地域や関係

機関との連携を重視し、中学校区ごとに、小中連携のもと、地域の「ひと」「もの」「こと」を共有し、地域のステークホルダーを巻き込んだ実践を多く実施しました。そのプロセスにおいて、「自分たちが地域のためにできること」を児童生徒一人一人が考え、その実現のためには何をどのようにすればよいのかについて、具体的な対話を通して交流を深めていきました。その結果、地域が抱えている課題を「自分事」としてとらえることができ、地域への貢献の意識が高まったと考えられます。

このような各学校の実践を掲載した「SDGs 日めくりカレンダー」を作成して各学校に配布するとともに、「大牟田版 SDGs」等を活用し、児童生徒や保護者、市民への啓発を行いました。また、R７年度は、大牟田地域教育力向上推進大会の第２部で SDGs／ESD の学習成果の発表の場である「ユネスコスクール・SDGs／ESD 子どもサミット」を実施し、各学校の学習内容についてステージで発表しました。保護者や地域の方々、地域教育力向上の関係の方々等、多くの方に学習成果を見ていただき、SDGs／ESD の取組を啓発しました。

さらに、各学校が実施した「大牟田市ユネスコスクール週間」の学習発表会等において、児童生徒は、自分たちの取組の意義やよさを実感することができました。

加えて、７月に実施した「ユネスコスクール・SDGs／ESD 交流会」では、学校関係者、市内企業・各種団体、市職員、学生など約１８０人の参加があり、「大牟田を創る子どもたちに伴走するわたしたちにできること！」のテーマのもと、ＯＭＵＴＡジュニアシティメーカーの取組発表への気づきから、今後の ESD の実践の充実に向けた意見交換を行いました。会の最後には、福岡教育大学の石丸哲史副学長により全体総括が行われました。

これらの取組を通して、児童生徒は、自分たちの取組が地域の人々や、これからの大牟田のまちづくりに役立っていることを実感でき、目標の達成に至ることができたと考えます。また、前述のように、このような地域の課題や国際的な課題を「自分事」としてとらえ、自己の生き方を考えていく礎となっています。

【今後の方向性】

Ｒ７年度の SDGs／ESD の取組においては、学校だけではなく、更に広く市民や企業、団体等を巻き込みながら、官民連携、学社連携を推進した取組が多く見られるようになりました。毎年、各学校においては、地域や児童生徒の実態を踏まえたカリキュラムの見直しが図られ、カリキュラムのブラッシュアップを進めています。

また、小・中学校では、小中一貫教育が徐々に浸透し、小学校と中学校が同じ教育目標のもとで指導に当たっており、SDGs／ESD についても発達段階を踏まえた取組の系統化が進められています。今後は、キャリア教育の視点を大切にした「地域のために一生懸命な大人との出会い」や、児童生徒が「地域社会に何らかの影響を与えることができた手応え」を実感することができるよう SDGs／ESD の取組の充実に努め、未来を創る子どもたちに必要な資質や能力を育みます。

キャリア教育支援事業については、引き続き関係課との連携を図り、将来を考え始める時期にある中学生に望ましい勤労観・職業観を育んでいきます。また、企業等との協働によるプロジェクト型学習について、市内の教職員で共有し、各学校の実践の充実を図ります。

【基本施策Ⅱ】安心して学べる学校づくり

いじめや不登校の未然防止や早期対応、経済的困難を抱える保護者の支援など、誰一人取り残さない、安心して学べる学校づくりを進めます。また、児童生徒一人一人の多様な教育的ニーズに応じた的確な支援や指導の充実に努めます。

主要施策１　誰一人取り残さない学びの保障

いじめの未然防止等の対策を総合的に推進するとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置拡充や教育支援センターの運営など、不登校児童生徒等への支援を充実させます。また、就学援助の実施など、経済的困難を抱える保護者の支援に努めます。

【主な事業】

〇いじめ防止対策推進事業〔指導室〕

（１）いじめ問題対策連絡協議会、いじめ防止対策委員会の運営等

大牟田地域教育力向上推進協議会を「いじめ問題対策連絡協議会」として位置付けており、連絡協議会の中に実行委員会を組織して、年２回（６月・１０月）の会議を開催し、本市のいじめの防止等に関する取組を推進しました。

また、教育委員会の附属機関として設置している「大牟田市いじめ防止対策委員会」の会議を年３回（６月・８月・１月）市のいじめ防止に係る教育委員会や学校の取組等について協議を行い、その充実に努めました。

（２）大牟田市いじめ防止基本方針の推進

いじめ防止対策推進法に基づき策定している「大牟田市いじめ防止対策基本方針」について、いじめ問題対策連絡協議会やいじめ防止対策委員会等の関係機関との連携を図り、いじめ防止に関する取組の総合的な推進に努めました。

いじめの認知件数等※

区　分	R5 年度			R6 年度			R7 年度		
	認知件数	解消件数	解消に向けて取組中	認知件数	解消件数	解消に向けて取組中	認知件数	解消件数	解消に向けて取組中
小学校	131	104	27	113	93	20	133	84	49
中学校	72	56	16	59	53	6	59	46	13

※各学校では、いじめの防止等に関する文部科学省の通知や「いじめ防止基本方針」の改定（H29 年 3 月）等も踏まえ、いじめの積極的な認知に取り組んでいる。

〇教育相談充実事業〔指導室〕

（１）スクールソーシャルワーカーによる相談対応、関係機関とのネットワークを活用した支援

各中学校区にスクールソーシャルワーカーを配置し、児童相談所や医療機関などの関係機関とのネットワークを活用した支援や、学校、家庭等への訪問を行うなどにより、不登校等の事案の解決や改善を図りました。地区公民館を利用したサテライトスペースや、民間との連携による「ぱすてる」（中央地区公民館）に加え、「ふれんず」（吉野地区公民館）を１０月から開設し、不登校児童生徒の学びの場の確保と居場所づくりを進めました。

スクールソーシャルワーカーによる相談対応状況（実件数）

R5 年度	R6 年度	R7 年度
547	679	454

（２）大学等の高度な知見を活用した複雑・困難な事案への対応

複雑で深刻な事案については、大学などの高度な専門機関と連携し、その知見を活用しながら、解決や改善を目指しました。この連携に係る研修会を６月４日（水)、８月１９日（火)、Ｒ８年１月２２日（木）に実施し、それぞれ、スクールソーシャルワーカーや教育相談室相談員が参加しました。研修会の講師には福岡県立大学の奥村賢一准教授を招へいしました。

（３）事業推進校における教師の対人援助力向上等の研修会の開催

学校相談体制の支援のため、事業の推進校に指定した御木中学校において、講師を招へいし、教師の対人援助力の向上や不登校の早期発見・早期対応の具体的な手立てに関する研修会を開催しました。この研修会の成果を生かして、教師が「生徒との対話」を重視した生徒との関わり方の工夫改善に取り組みました。

（４）事業推進校における子どもの自己肯定感や自尊感情を高める授業づくり

これまでの事業の成果を生かし、Ｒ７年度は、御木中学校において、対話を重視した教育活動の充実に向けて、５回の職員研修会を実施しました。対話活動の重要性を実感するワークショップを通して、対話の重要性を学ぶことができました。

生徒一人一人の声に傾聴していくことで､心理的安全性の確保に取り組みました｡また、ハートフルルームにおいては、一人一人の状況に応じて、伴走者の得意なモノづくりを取り入れるなどして活動の充実を図り、一人一人の生徒の社会的自立を見据えた活動を展開しました。

（５）事業推進校における個々の不登校等の事案に係る相談対応の実施やケース会議の開催、関係機関とのネットワークの構築

個々の不登校等の事案について相談対応を実施するとともに、関係機関とのケース会議等を適宜開催しました。その結果、不登校児童生徒のうち、専門的な機関による支援が必要な生徒を児童相談所、医療機関、相談機関などにつなぐことができました。

不登校の背景は複雑化・多様化しており、個に応じた最適な支援を行うためには、それぞれの生徒がどのような環境に置かれていて、どのような支援が必要かの「見立て」が重要なポイントとなります。スクールソーシャルワーカーを中心に、市の関係部局、児童相談所や福祉事務所等の関係機関との連携を強めるためのネットワークの構築を進め､「見立て」を踏まえた最適な支援に取り組みました。子ども支援ネットワークにも参加し、教育委員会と他部局、他機関との情報連携や行動連携も行いました。

●ハートフルスクールプロジェクト推進事業〔指導室〕**（２１・２２ページ参照）**

○不登校対策事業〔指導室〕

（１）不登校対応対策会議の開催

教育委員会事務局、少年センター、子ども育成課の職員で構成する不登校対応対策会議を年３回（６月、８月、Ｒ８年１月）開催し、不登校児童生徒の現状や不登校の背景等について情報の共有を図るとともに、不登校の未然防止や、早期解消に関する連携の在り方について協議等を行いました。

不登校等の状況

区 分	R5 年度				R6 年度				R7 年度			
	不登校		学校復帰		不登校		学校復帰		不登校		学校復帰	
	件数	出現率	件数	復帰率	件数	出現率	件数	復帰率	件数	出現率	件数	復帰率
小学校	144	2.97%	71	49.3%	130	2.71%	70	53.8%	141	3.03%	75	53.2%
中学校	306	12.2%	119	38.9%	272	10.9%	81	29.8%	282	11.4%	117	41.5%

※不登校児童生徒の定義（文部科学省）：何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるために年間３０日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの。

（２）教育相談員、ひきこもり児童生徒訪問指導員、特別支援教育巡回指導員の配置

生涯学習支援センター内に設置している教育相談室に、教育相談員２人、ひきこもり児童生徒訪問指導員２人を配置しました。スクールソーシャルワーカーを含む３者で随時連携を図り、問題の早期解決に取り組みました。また、特別支援教育巡回指導員を配置し、小学校の配慮を要する児童への指導と共に、特別支援教育に関して様々な助言等を行いました。

教育相談の状況

相談の内容	相　談　件　数（延べ）		
	R5年度	R6年度	R7年度
不登校	1,523	1,604	1,502
いじめ	3	3	4
暴力行為	0	0	0
児童虐待	0	0	0
友人関係	0	0	0
貧困の問題	0	0	0
非行・不良行為	0	0	0
家庭環境	0	0	1
教職員との関係	4	4	0
心身の健康・保健	2	2	0
学業・進路	6	7	2
発達障害等	232	260	316
性に関わる問題	0	0	1
その他	6	7	14
合計	1,776	1,887	1,840

ひきこもり相談の状況（延件数）

R5 年度	R6 年度	R7 年度
151	207	65

（３）教育支援センター「昭和教室」の運営

心理的または情緒的理由により登校できない状態にある児童生徒の学校復帰のため、指導員を３人配置し、児童生徒の状況に応じて、適応指導、学習指導、教育相談等を行い、児童生徒の社会的自立に向けて支援を行いました。

教育支援センター「昭和教室」の入級及び復帰状況

区　分	R5 年度	R6 年度	R7 年度
教育支援センター入級児童生徒数	4 人	5 人	33 人
学校復帰数	4 人	5 人	7 人
学校復帰率	100%	100%	21.2%

※復帰数には高校進学者を含む。

※Ｒ７年度は、これまで体験入級扱いしていた小学生のニーズが増えてきたことから、小学生も条件を満たせば正式入級扱いとしたため、入級者数が増加した。

（４）ひきこもり支援ネットワーク会議との連携

毎月１回行われる「ひきこもり支援ネットワーク会議（実務者会)」に教育委員会の担当が参加し、家庭の状況、学校の状況、支援の状況を情報共有するとともに、学校、子ども家庭課、ＳＳＷ等の役割を明確にして対応を進めました。

○「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業〔指導室〕（再掲）（３２ページ参照）

○就学援助事業〔学務課〕

学校教育法等の関係法令及び大牟田市就学援助要綱に基づき、経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学援助として学用品費、学校給食費、医療費等を支給しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により家計が急変した世帯に対する特例措置については、Ｒ２年度から継続して実施しましたが、Ｒ７年度の支給対象者はいませんでした。

また、心身的な理由により普通教室での就学が困難な児童生徒の保護者に対し、特別支援教育就学奨励費補助を支給しました。

さらに、高等学校及び高等専修学校への進学に必要な入学支度金や学費の一部を貸与する「公益財団法人福岡県教育文化奨学財団」の奨学金制度の周知を図り、奨学金申請事務を行いました。

①　就学援助費　（単位：人、千円）

区　分		R5 年度	R6 年度	R7 年度
支給者数	小・中学生	1,340	1,327	1,358
	未就学児	115	106	100
支給総額		118,500	111,069	107,105
（うち国庫補助金）		(516)	(362)	(318)
認定率(全児童生徒数に占める支給者の割合)(%)		18.2	18.3	19.1

②　Ｒ７年度就学援助費の内訳　（単位：人、千円）

区　分	未就学児		小学校		中学校		合　計	
	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額
学用品費等	－	－	855	11,263	503	13,019	1,358	24,282
校外活動費	－	－	(115)	422	(0)	0	(115)	422
新入学児童生徒学用品費等	－	－	(22)	1,255	(20)	1,260	(42)	2,515
修学旅行費	－	－	(151)	4,210	(151)	8,689	(302)	12,899
学校給食費	－	－	(855)	24,027	(503)	18,765	(1,358)	42,792
通学費	－	－	(0)	0	(0)	0	(0)	0
オンライン学習通信費	－	－	(295)	4,190	(386)	5,688	(681)	9,878
医療費	－	－	(72)	182	(21)	176	(93)	358
新入学学用品費（入学前支給）	100	5,706	(131)	8,253	－	－	100 (131)	13,959
合　計	100	5,706	855	53,802	503	47,597	1,458	107,105

※人員の（　　）は内数。

③　Ｒ７年度就学援助費特例措置（抜粋）　（単位：人、千円）

区　　分	未就学児		小学校		中学校		合　　計	
	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額
新型コロナウイルスの影響による家計急変	0	0	0	0	0	0	0	0

④　特別支援教育就学奨励費　（単位：人、千円）

区　　分	R5 年度	R6 年度	R7 年度
支給者数	94	110	129
支給総額	3,723	4,232	4,674
（うち国庫補助金）	（1,861）	（2,115）	（2,336）

⑤　Ｒ７年度特別支援教育就学奨励費の内訳　（単位：人、千円）

区　　分	小学校		中学校		合　　計	
	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額
学用品費等	86	545	43	522	129	1,067
校外活動費	(14)	26	(0)	0	(14)	26
新入学児童生徒学用品費等	(5)	143	(18)	567	(23)	710
修学旅行費	(14)	151	(6)	166	(20)	317
学校給食費	(86)	1,313	(42)	785	(128)	2,098
通学費	(0)	0	(0)	0	(0)	0
オンライン学習通信費	(47)	312	(22)	144	(69)	456
医療費	(0)	0	(0)	0	(0)	0
合　　計	86	2,490	43	2,184	129	4,674

※人員の（　）は内数。

⑥　奨学金制度の活用状況　（単位：人）

区　　分	R5 年度	R6 年度	R7 年度
申請者数	111	103	122
内定者数	88	78	95

○新入学祝品贈呈事業〔指導室〕

小学校、中学校、特別支援学校への新入学時に必要な学用品等を新入学児童生徒全員に贈呈しました。小学校・特別支援学校は、「入学おめでとうセット」（学用品）を、中学校は、名札、スクールタグ、ジャー坊バッジ、教材、キャップを贈呈しました。

○学校給食費負担軽減事業〔学務課〕

保護者の経済的な負担軽減を図るため、小・中・特別支援学校の給食費の一部を支援し、安全でおいしい給食の提供に取り組みました。

○学校保健事業〔学務課〕

（１）各種健康診断事業

学校保健安全法等の関係法令に基づき、学校における教育活動が安全な環境において実施され、児童生徒等の安全の確保が図られるよう、児童生徒及び教職員の健康診断並びに翌年度から就学を予定している幼児を対象に就学時健康診断を実施し、有所見

者に対し二次検査や治療の勧告を行いました。

各種健康診断受診者数　（単位：人）

区　分	R5 年度	R6 年度	R7 年度
児童生徒健康診断	7,333	7,172	7,027
教職員健康診断	363	386	369
就学時健康診断	784	717	649

（２）災害共済給付事業

独立行政法人日本スポーツ振興センター法に基づき、学校の管理下における児童生徒等の災害（負傷、疾病、障害又は死亡）が発生した場合に災害共済給付（医療費、障害見舞金又は死亡見舞金）を支給するもので、医療機関からの診療報酬請求に基づいて医療費を支給しました。

①　災害共済掛金　（単位：千円）

区　分	R5 年度	R6 年度	R7 年度
個人負担総額	2,613	2,586	2,552
市負担総額	4,385	4,321	4,228
合　計	6,998	6,907	6,780

※１人当たり災害共済掛金９３５円（個人負担４２０円、市負担金５１５円）。

②　災害発生件数と給付額　（単位：件、千円）

区分	R5 年度		R6 年度		R7 年度	
	件数	給付額	件数	給付額	件数	給付額
小学校	312	1,792	290	1,485	232	1,220
中学校	242	1,542	230	2,075	250	1,637
特別支援学校	9	170	3	10	7	171
合計	563	3,504	523	3,570	489	3,028

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	目標値設定の考え方
不登校児童生徒への支援	目標値（%）	100	100	100	100	100	不登校児童生徒のうち、専門家や専門機関の相談・指導等を受けている者の割合
	実績値（%）	100	100				
	達成度（%）	100	100				

【指標達成度に対する要因分析】

不登校児童生徒全ての学びの場を確保し、学びたいと思ったときに学べる環境を整えました。そのために、学習指導員を配置して、校内教育支援センター（ハートフルルーム）を各学校に整備するとともに、校区内のスクールソーシャルワーカーが業務として担当する公民館を利用したサテライトスペースや、同じくスクールソーシャルワーカーが業務として担当する社会とつながる居場所「ぱすてる」（中央地区公民館）を毎週月曜日に開催しました。加えて、サテライトスペースの利用のニーズが増えていることから、毎週木曜日に定期的に開催する「ふれんず」（吉野地区公民館）を１０月から開設しました。さらに、利用人数も増えていることから、サポートスタッフ５人を「ぱすてる」「ふれんず」に派遣しました。

また、民間のフリースクールや、社会福祉協議会生活支援相談室が運営している「ふきのとう」との連携を深め、児童生徒の居場所づくりを進めました。さらに、各中学校区に専任のスクールソーシャルワーカーを配置し、いじめや不登校の早期発見や早期対応に努めました。

その結果、不登校児童生徒一人一人の状況に応じた学びの場が整備されてくるとともに、不登校傾向や不登校状態にある児童生徒に寄り添いながら、社会的自立に向けて、学びの場や居場所を確保することができました。

【今後の方向性】

不登校については、Ｒ６年度は件数・出現率ともにＲ５年度より減少しましたが、Ｒ７年度は微増となりました。不登校の要因は複雑化・多様化し、学校だけでは解決困難な相談が増加していることから、児童生徒の心理的要因に対応するスクールカウンセラーや、家庭環境などの複雑な要因に対応できる社会福祉等の専門的知識や技能を有するスクールソーシャルワーカーの活用の更なる充実とともに、大学等と連携した取組の充実を図ります。

不登校児童生徒の一人一人の状況に応じた多様な学びの場と伴走する人材は、整ってきました。そこで、児童生徒一人一人の社会的自立に向けた活動を充実させていくために、研修会等を工夫して児童生徒に伴走する人材育成を図るとともに、多様な学びの場における活動の好事例を共有して、それぞれの学びの場での活動の充実を図ります。その際、スクールソーシャルワーカーや関係部局、関係機関等との連携を強化します。

また、小中一貫教育を見据えた「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業等における児童生徒主体の取組を推進し、いじめや不登校の早期発見・早期対応を行います。

さらに、ＳＮＳやスマートフォン、インターネットに関するいじめや問題行動が増加する傾向にあるため、いじめ防止対策推進法に基づくいじめ防止基本方針に係る取組を一層推進するとともに、大牟田地域教育力向上推進協議会と連携して、「大牟田市児童生徒の携帯電話等の利用に関する指針」の保護者等への啓発を継続して行います。

就学援助事業については、全児童生徒数に占める支給者数の割合は約１９．１％となっており、約５人に１人が対象となっている状況です。子どもの貧困対策の推進に関する法律などの関係法令の趣旨を踏まえ、今後も引き続き、援助が必要な児童生徒等の保護者に対し、「広報おおむた」や学校等を通じて就学援助制度の周知を図るとともに、申請手続面の負担軽減も図りながら、必要な援助を適切な時期に実施できるよう努めていきます。また、実態も考慮しながら、よりよい就学援助制度について検討します。さらに奨学金についても、公益財団法人福岡県教育文化奨学財団の奨学金制度のほか、家庭の状況に応じた奨学金制度等についても学校との連携のもとに周知を行うことで就学支援の充実を図ります。

学校保健事業については、児童生徒及び教職員等を対象とした各種健康診断事業において、有所見者に対し二次検査や精密検査の受診を勧奨することで、早期発見、早期治療を促し、児童生徒等の健康の保持増進に努めるとともに、災害共済給付事業についても、各学校と連携し災害発生時における適正な医療費等の給付に努めます。

主要施策２　特別支援教育の推進

個別の教育支援計画・個別の指導計画の改善・充実を図るなどにより、障害のある児童生徒の自立と社会参加に向けた取組を進めます。また、特別支援教育支援員の配置など、一人一人の障害の状態に応じた具体的な支援を行います。

【主な事業】

○特別支援教育推進事業〔学校教育課〕

（１）要支援と判断された児童生徒への支援員の配置

就学支援委員会等により要支援と判断された児童生徒３２４人を支援するため、小学校１９校に７０人、中学校７校に２２人、計９２人の特別支援教育支援員を派遣しました。きめ細かな支援を受けることで、対象児童生徒本人の精神的な安定が図られ、周囲の児童生徒の理解も進み、学級全体が落ち着き、集中して学習に取り組むことができました。また、保護者の介助等の軽減も図られました。

（２）校内支援体制及び支援内容の充実

全支援員を対象に、支援員の業務内容や具体的な支援の在り方などの研修会を２回（５月・１１月）実施し、支援員による児童生徒の発達障害等への理解促進と個に応じた具体的な支援内容の充実に取り組みました。

○特別支援学校医療的ケア事業〔学校教育課〕

（１）医療的ケアを行う看護師の配置

大牟田特別支援学校の対象児童生徒５人に対し、３人の看護師を配置しました。校長を中心とした医療的ケア運営委員会を毎学期２回開催し、主治医・指導医の指導のもと、保護者の理解も得ながら医療的ケアを行うことで、児童生徒の症状は安定し、保護者の負担も軽減されました。また、対象児童生徒の年度途中の増加に対しても対応できるよう、看護師の一定の増員も可能としました。

○教育相談事業〔指導室〕

（１）教育相談員による児童生徒の障害に関する相談への対応

教育相談室に寄せられる電話や面接での相談の中から、保護者や児童生徒の問題行動等の背景に障害や発達障害等の特別な配慮を必要とする状況があった場合に、学校や関係機関との連携を図り、教育的ニーズに対応しました。

（２）特別支援教育巡回指導員による巡回相談

特別支援教育巡回指導員を１人配置し、不登校や引きこもりになっている児童生徒の背景に障害や発達障害等の特別な配慮を必要とする状況があった場合に、学校や担当のＳＳＷ、関係機関、保護者等との連携を図り、家庭訪問を実施するなど不登校等の解消に向けて対応しました。

巡回件数　　３４４件
相談件数　　７０８件

（３）就学支援委員会の開催

在学中の児童生徒及びＲ８年度入学児を対象に、就学支援委員会を６月と９月の２回開催し、医学・心理・教育の面から就学支援における教育相談を行いました。

教育相談者数（人）

小学校	中学校	特別支援学校	入学予定児	合　計
17	4	0	24	45

〇通級指導教室運営事業〔指導室〕

（１）専門の教職員及び通級指導教室指導員による指導・支援

生涯学習支援センターに設置している通級指導教室で、言葉や情緒等に課題がある児童生徒に対して、個別や集団での指導を行いました。

「あじさい教室１組」への通級者　　２１人（小学校：情緒）
「あじさい教室２組」への通級者　　１９人（小学校：学習障害（ＬＤ）※1、注意欠陥／多動性障害（ＡＤＨＤ）※2
「こすもす教室」への通級者　　１６人（中学校：ＡＤＨＤ）
「ことばの教室」への通級者　　１９人（小学校：言語）

※１：学習障害（ＬＤ）の定義 ＜Learning Disabilities＞

学習障害とは、基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すものである。

学習障害は、その原因として、中枢神経系に何らかの機能障害があると推定されるが、視覚障害、聴覚障害、知的障害、情緒障害などの障害や、環境的な要因が直接の原因となるものではない。

※２：注意欠陥／多動性障害（ＡＤＨＤ）の定義 ＜Attention－Deficit／Hyperactivity Disorder＞

ＡＤＨＤとは、年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力、及び／又は衝動性、多動性を特徴とする行動の障害で、社会的な活動や学業の機能に支障をきたすものである。

また、７歳以前に現れ、その状態が継続し、中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定される。

（※１、※２とも、文部科学省の資料から引用）

（２）巡回通級指導員による巡回指導・支援

巡回通級指導員を１人配置し、ＬＤ、ＡＤＨＤにより通級指導教室への入級を希望しているが送迎が難しい児童を対象に、当該児童の在籍校を巡回して指導を行いました。

対象児童数　　２１人

（３）保護者相談

教育相談室に寄せられる相談の中から、通級指導に関する相談について、通級指導教室担当教員が保護者からの相談に対応しました。

〇交流教育推進事業〔指導室〕

（１）学校間交流

特別支援学校と小・中学校間の交流、小・中学校の特別支援学級間の交流など、様々な交流を行いました。

（２）市民交流「ふれあい共室」

（生涯学習課所管「子ども交流体験事業」の「（２）交流教育地域推進事業ふれあい共室」（６８ページ）を参照）

（３）交流教育の啓発

５月に「ふれあい共室」の参加募集を市内の全学校に配布するとともに、１月に合同作品展の広報を行いました（合同作品展はＲ８年２月２０日（金）～２５日（水）に大牟田文化会館において実施）。

〇合同運動会・合同作品展の実施〔指導室〕

（１）小・中・特別支援学校合同作品展（再掲）

（３３ページの「児童生徒の作品展」の（２）を参照)。

〇早期教育相談事業〔指導室〕

（１）早期教育相談連絡協議会の開催等

４月に早期教育相談の啓発チラシを作成･配布し、幼稚園や児童福祉施設等の関係機関・団体を通して保護者への啓発を行いました。

学識経験者や関係機関･団体で構成する早期教育相談連絡協議会について、６月２日(月)にＲ７年度１回目の会議を開催し、情報の共有を行いネットワークの強化を図りました。Ｒ８年２月９日（月）に２回目の会議を開催し、Ｒ７年度の取組の振り返りと次年度の計画について協議を行いました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	目標値設定の考え方
特別支援教育支援員の配置効果	目標値（%）	100	100	100	100	100	全ての対象児童生徒について状態の改善が図られることを目指します。 ［現状値：100%（R4 年度実績)］
	実績値（%）	100	100				
	達成度（%）	100	100				

【指標達成度に対する要因分析】

特別支援教育支援員の配置によって、対象児童生徒が情緒的に安定し、落ち着いた学習態度や行動へとつながり、学習効果の向上が図られたほか、学校生活での安全性の確保においても効果を上げています。また、児童生徒の人間関係作りにおいて、互いを理解し合うことができるような支援により、周囲の児童生徒も落ち着きます。さらに、担任教師も学級全体に目が行き届くようになることで、学級が落ち着き、そのような児童生徒の姿が保護者に安心感をもたらしたものと考えます。

【今後の方向性】

今後も、障害のある児童生徒の自立や社会参画に向けた取組を支援する視点に立ち、特別な支援を要する児童生徒の個別の指導計画・支援計画の作成、特別支援学校における相談活動、特別支援教育コーディネーターの育成など、学校と連携した取組を進めていきます。また、関係機関相互や専門家と連携を図り、相談体制等の充実を進めるとともに、特別支援教育に関する研修会等を開催し、各学校における児童生徒の教育的ニーズに応じた具体的な支援の実践へつないでいきます。さらに、Ｒ５年度から配置した特別支援教育巡回指導員やＲ６年度から配置した巡回通級指導員などと併せて、よりきめ細かな支援を進めていきます。

【基本施策Ⅲ】地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的・効果的に推進し、学校・家庭・地域の連携による学校運営や児童生徒の規範意識の育成、「共育」と「響育」の風土の醸成など、地域とともにある学校づくりに取り組みます。

主要施策１　地域の力を活かした学校運営の推進

全ての中学校区単位でのコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組を一層進めるとともに、中学校の部活動の地域との連携の支援など、地域の力を活かした学校運営を推進します。

【主な事業】

●小中一貫教育推進事業〔学校教育課〕（再掲）（１７・１８ページ参照）

○部活動地域展開支援事業〔学校教育課〕

（１）各中学校への部活動指導員の配置と活用

中学校における部活動の指導体制の充実を図るとともに、教職員の長時間勤務の削減や経験のない競技等の指導等の負担の軽減を図るため、部活動の技術的な指導に従事する部活動指導員を１３人配置しました。

（２）部活動指導員の研修の実施

福岡県教育委員会が主催する研修会（６月・１１月）に部活動指導員が参加し、服務に関する内容、生徒理解に基づく指導等について学びました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	目標値設定の考え方
学校のニーズに合わせた部活動指導員の配置率	目標値（%）	100	100	100	100	100	配置の要望があった中学校に対し、その競技等の指導ができる指導員を配置します。
	実績値（%）	100	100				
	達成度（%）	100	100				

【指標達成度に対する要因分析】

中学校区ごとに、年間計画に基づき小中連携による全員参加の研修会や担当者による研修会が行われました。その結果、教育委員会が主催する小中合同の実践交流会において、小学校と中学校が活発に意見交換を行い、研修会が充実しました。

また、本格導入した宮原中学校区、宅峰中学校区、松原中学校区、試行的に導入した御木中学校区、白銀中学校区、白光中学校区に配置した常勤の地域学校協働活動推進員が、中学校区内の小学校と中学校を、また、小学校同士を結び付け、地域の人材と学校をつなぐ役割を果たしました。特に本格導入した３中学校区に設置した学校運営協議会においては、年に３回の会議を開いて校区として育てたい児童生徒像を話し合い、小中学校間の共通した学校教育目標を設定し、日々の教育活動を展開することができました。このような会議に向けた取組も多く開催されました。

部活動の地域展開への支援については、学校が要望する部活動に部活動指導員を配置することで、競技等の専門的な指導が行われ、生徒の競技力や活動意欲の向上等、安全で充実した部

活動が実施できたと考えます。

【今後の方向性】

今後も、中学校区ごとの研修会の定期的な実施と内容の充実を図るとともに、教育委員会が主催する各教科担当者会や教育講座等において、小中連携の視点を取り入れていきます。

また、小中一貫教育制度を本格的に導入した宮原中学校区、宅峰中学校区、松原中学校区、試行的に導入した御木中学校区、白銀中学校区、白光中学校区においては、９年間を見通した教育課程を実施していきます。

宮原中学校区に続き、本格導入した宅峰中学校区と松原中学校区においても、学校運営協議会を設置しました。また、本格的に導入した３中学校区の成果と課題を整理して、御木中学校区、白銀中学校区、白光中学校区のＲ９年度の本格導入に生かすとともに、学校運営協議会設置に向けた準備を進め、９年間を見通して児童生徒を育てる仕組みづくりを行います。

部活動の地域展開への支援については、今後も、学校が要望する部活動に部活動指導員を配置し、生徒の競技力や活動意欲の向上等、安全で充実した部活動の実施、教職員の負担軽減を図り、生徒にとって望ましい部活動の環境の整備に努めていきます。また、学校職員を中心に構成してきた部活動検討委員会に、地域のスポーツ団体、文化団体、市の関係部署等の学校外の組織からも委員として加わっていただき、部活動の現状や課題について共有するとともに、人材確保等に関する協議を行います。

主要施策２　学校・家庭・地域の連携

大牟田地域教育力向上推進協議会との連携により、児童生徒の規範意識の育成や「共育」と「響育」の風土の醸成など、学校・家庭・地域の連携を推進します。

【主な事業】

●小中一貫教育推進事業〔学校教育課〕（再掲）（１７・１８ページ参照）

○大牟田地域教育力向上推進協議会との連携〔指導室〕

（１）大牟田地域教育力向上推進協議会への補助金の交付

学校教育・家庭教育・地域教育の向上を目指した取組を行っている大牟田地域教育力向上推進協議会に対し、その運営及び活動を助成するため、９２万３千円の補助金を交付しました。

（２）大牟田地域教育力向上推進大会の共催

大牟田地域教育力向上推進協議会と連携し、Ｒ８年１月２４日（土）に大牟田文化会館において大牟田地域教育力向上推進大会を開催しました。第１部（青少年健全育成発表）では、児童生徒による「ありがとうの感謝のことば」の発表や、「思いやり・親切」をテーマにした中学校区「児童会・生徒会リーダーミーティング」の取組の発表等がありました。第２部（大牟田市ユネスコスクール・ＳＤＧｓ／ＥＳＤ子どもサミット）では、みなと小学校、大正小学校、吉野小学校、白光中学校、ＯＭＵＴＡジュニアシティーメーカーの児童生徒がＳＤＧｓ／ＥＳＤの取組を発表しました。

（３）教育力向上に関する啓発資料の作成・配布の共同実施

教育力向上に関する啓発資料を作成し、４月に各学校から保護者に配布しました。

また、長期休業中の好ましい生活習慣等についてのチラシを作成し、夏季休業前の７月１８日（金）、冬季休業前の１２月２４日（水）にゆめタウン大牟田において協議会役員が市民に配布しました。

（４）「ありがとうの日」の作文・表彰の共同実施

毎月１０日を「ありがとうの日」とし、各学校でのぼり旗を掲げました。校長会において「ありがとうの日」の作文について周知し、各学校において取り組みました。

（５）中学校区教育力向上の促進

大牟田地域教育力向上推進協議会の地域部会である大牟田市中学校区教育力向上連絡協議会が中心となり、各中学校区において、校区の実態に応じて、マナーアップ３運動「挨拶運動・環境美化運動・交通安全運動」に取り組みました。

○学校評価推進事業〔指導室〕

（１）学校の自己評価、結果公表に係る指導助言

各学校に対し、重点目標や教育活動全般に関する学校評価計画を立て、その評価計画に基づいて、学校の自己評価並びに結果の公表を計画的に行うよう指導しました。

各学校の評価結果（学校評価報告書）については、各学校のホームページに掲載して公表しました。

（２）学校関係者評価委員会の開催に係る指導助言

各学校では、学校評議員、地域代表、保護者代表、接続する関係学校代表等によって構成される学校関係者評価委員会を設置し、計画的に学校関係者評価委員会を開催しています。学校関係者評価委員会では、学校の重点目標に係る成果指標や取組指標等の設定の説明や客観的資料に基づき達成状況等の報告を行うよう指導助言を行いました。

各学校では、年度末に自校の教育活動や学校経営について自己評価を行い、学校関係者

評価委員会において自己評価の結果について評価が行われました。各学校は、評価結果とそれを踏まえた改善計画を学校評価報告書としてまとめ、教育委員会に報告しました。

○学校評議員制推進事業〔学校教育課〕

（１）学校評議員の委嘱

学校長からの推薦を受け、小・中・特別支援学校に合計８１人の学校評議員に委嘱を行いました。

（２）意見聴取状況の把握

学校長が学校評議員から基本的に年３回程度の意見聴取を行う中で、専門的な識見からの考え方や地域住民・保護者の意向を学校運営に反映し、学校の課題解決に役立てるとともに、学校・家庭・地域が一体となって子どもの教育に関わる地域に開かれた学校づくりを推進しました。

○土曜日授業の推進〔指導室〕

（１）学校・家庭・地域の連携の視点からの土曜日授業の推進

小学校においては年間３回､中学校においては年間２回の土曜日授業を計画的に実施し、保護者や地域への学習公開を行ったり、保護者や地域の人材を活用した多様な体験学習等を実施したりするなどして、教育活動の充実を図りました。

○幼保・小連携の推進〔指導室〕

（１）合同研修会、学校見学、体験授業、出前授業等の実施

小学校の授業を、関係する幼稚園・保育園の職員が参観したり、園児が小学校の授業や行事等に参加したりしました。

２月に小学校に対して、幼稚園・保育園と小学校の情報の共有についての助言等を行いました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	目標値設定の考え方
学校運営協議会の会議の開催実績	目標値（回）	3	3	3	3	3	会議は、学期１回の開催を基本とします。 ［現状値:3 回(R4 年度実績)］
	実績値（回）	3	3				
	達成度（%）	100	100				

【指標達成度に対する要因分析】

大牟田地域教育力向上推進協議会の取組の推進により、各学校並びに各中学校区の特色をふまえて、学校・家庭・地域が一体となった取組が展開されるとともに、各学校において、自校の教育活動に関する情報の発信や、地域や保護者の意向の学校運営への反映など、地域に開かれた学校づくりが推進され、学校教育における学校・家庭・地域の連携が充実しました。

各学校の特色ある教育活動の展開や学習環境の整備等におけるゲストティーチャーの活用については、各学校、地域や関係機関等の方々との交流が増えてきています。地域のために尽力されている方や第一線で活躍されている方々の熱い思いに触れ、自己の生き方について考えるよい機会となっています。

【今後の方向性】

大牟田地域教育力向上推進協議会の取組の推進による学校・家庭・地域が一体となった取組は、今後も引き続き推進します。また、学校評価推進事業の充実・推進に取り組み、各学校における地域社会に開かれた学校づくりへの支援・指導を行っていきます。

学校評議員制推進事業については、学校長が、学校評議員から、地域への授業公開の在り方、地域住民の教育活動への参加、学校行事の運営や安全管理の在り方、小中一貫教育の方策など多岐にわたり学校運営を支援する意見をいただいており、今後もこれらの意見を参考に検討を進めていきます。

小中一貫教育推進事業については、中学校区ごとに学校運営協議会を設置するとともに、地域学校協働活動推進員を配置し、中学校区の小学校と中学校が共通した学校教育目標のもとで、更なる学校・地域・家庭の連携を進めていきます。

【基本施策Ⅳ】学校教育環境の充実

本市の実情に応じた活力ある学校づくりの実現のため、ＩＣＴ環境の整備や適正規模化・適正配置による学校再編整備等を推進します。また、児童生徒の豊かな学びを育むことができる、安全・安心で、かつ環境への負荷を考慮した施設整備を図るなど、学校教育環境を充実させます。

主要施策１　学校再編整備の推進

適正規模（適切な学級数）化と適正配置（適切な通学距離・時間等）による学校再編整備を進め、児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨（せっさたくま）することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくことができるよう教育環境を整備します。

【主な事業】

●学校再編整備推進事業（２３・２４ページ参照）〔学校再編推進室、学校教育課、学務課〕

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	目標値設定の考え方
学校再編による教育環境向上の満足度（R7･R9 白銀中学校及び御木中学校）	目標値（%）	－	90.0	－	90.0	－	直近の中学校再編での生徒・保護者・教職員アンケート結果（H27 宅峰中学校：80.0%、H29 宮原中学校：86.5）を踏まえて設定
	実績値（%）	－	70.0	－		－	
	達成度（%）	－	77.8	－		－	

【指標達成度に対する要因分析】

白銀中学校及び御木中学校の生徒、保護者、教職員を対象に実施したアンケート調査では、新しい学校ができたことについて「良かった」、「まあ良かった」と回答した割合は７０．０％となり、概ね再編について肯定的に捉えられていましたが、目標値には届きませんでした。その主な要因として、再編により銀水小学校と三池小学校の児童が分かれて中学校に進学することは解消された一方、旧田隈中学校は白銀中学校と御木中学校に分かれての再編となったことや、旧橘中学校の施設整備の遅れに伴い、Ｒ８年度末まで旧田隈中学校を白銀中学校の仮校舎として使用することとなったことが考えられます。

【今後の方向性】

市立学校適正規模・適正配置計画第２期実施計画について、引き続き保護者や地域等に内容の周知を行うとともに、Ｒ７年度に設置した「白光・甘木中学校再編協議会」において、校歌や校章の作成等、桜花中学校開校に必要な事項を協議します。教育委員会では、協議会の運営と合わせ、白光中学校と甘木中学校の閉校式、並びに桜花中学校の開校式の準備を行います。加えて、白銀中学校と甘木中学校（倉永小学校区）の再編、御木中学校と白光中学校（白川小学校区）の再編に向け、関係する中学校４校（白光・甘木・白銀・御木）で協議・調整しながら準備を進めます。

施設整備について、御木中学校は、Ｒ７年度にエレベーター工事を行い、予定の再編工事が完了しました。旧橘中学校は、Ｒ７年度に校舎増築工事が完了、現在、体育館や多目的棟の新築工事を進めており、Ｒ８年度にすべての工事が完了する予定です。白光中学校は、Ｒ７年度に校舎（管理棟）の改修に着手し、Ｒ８年度は、校舎（教室棟）及び体育館の改修工事等に着手予定です。

今後の小学校の再編整備のあり方等に係る教育委員会の方針について、保護者や地域等に内容の周知を行います。また、全市的な小学校の再編整備計画の素案作成に向け、検討を行います。

上内小学校及び玉川小学校については、小規模特認校制度の運用により複式学級の解消に努めており、検証結果や適正配置の観点などを踏まえ、今後も引き続き小規模特認校制度を継続していきます。なお、両校とも今後複式学級編制が見込まれるため、再編に向けて保護者や地域の理解が得られた場合は、全市的な小学校の再編整備に先行して再編に取り組みます。

主要施策２　学校施設・設備の整備

教育環境向上と老朽化対策を一体的に進める学校施設の長寿命化改修等を行うとともに、空調設備の設置、トイレの洋式化、バリアフリー化などを進め、安全・安心を確保しつつ新しい時代の学びの実現に向けて取り組みます。

【主な事業】

○義務教育学校設置推進事業〔学校教育課、学務課〕

（１）義務教育学校施設整備の基本構想・基本計画の策定に向けた事業者選定等

松原中学校区の義務教育学校整備に向けて、基本構想・基本計画策定に係る支援事業者を１２月に決定し、基本構想の策定に取り組みました。今後は、Ｒ８年度に基本構想、Ｒ９年度に基本計画を策定する予定です。

○空調設備設置事業〔学務課〕

（１）特別教室への空調設備設置工事

Ｒ元年度から特別教室への空調設備の設置を開始し、Ｒ７年度に小学校１０校（２７室）に空調設備を設置したことで、全校の整備が完了しました。

（単位：千円）

内容	事業費
空調設備設置工事	140,846

○民間プール活用事業〔学校教育課〕

（１）白銀中学校、松原中学校及び白光中学校における民間プールを活用した水泳指導の実施と効果の検証

白銀中学校、松原中学校及び白光中学校において、全学年の体育科の水泳授業で民間プールを活用し、各学級４回程度（合計８時間程度）実施しました。専門のインストラクターとともに効果的かつ効率的な指導を行うことができました。

民間プールを活用することで、水泳授業が円滑に実施できるよう、学校と事業者の間で指導方法・内容等の密な連携を図っていきます。

○学校施設・設備改修事業〔学務課〕

（１）学校施設整備（小学校）

Ｒ７年度は、大プール底面ステンレス貼付改修設計施工業務、校舎手すり工事、プール水槽塗装工事を行いました。

（単位：千円）

内容	事業費
大プール底面ステンレス貼付改修設計施工業務委託（駿馬小学校）	15,400
校舎手すり工事（明治小学校）	674
プール水槽塗装工事（天の原小学校）	6,266

（２）学校施設整備（中学校等）

Ｒ７年度は、大牟田特別支援学校の旧保健室、旧図書館の改修工事を行いました。

（単位：千円）

内容	事業費
旧保健室改修工事（大牟田特別支援学校）	3,356
旧図書館改修工事（大牟田特別支援学校）	1,705

（３）トイレ洋式化の計画的推進

校舎等トイレの洋式化は、Ｒ１０年度末の洋式化率９５％を目標に、洋式化率の低い学校や特別に要請のある学校について優先的に進めています。

Ｒ７年度は、小学校１４校（６４か所）を改修しました。これにより、校舎等トイレの洋式化率は、Ｒ６年度末の８５．５％から５．３ポイント向上し、９０．８％となりました。

（単位：千円）

内容	事業費
小学校トイレ洋式化	19,452

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	目標値設定の考え方
校舎トイレの洋式化率	目標値（回）	85.0	91.0	93.0	94.0	95.0	衛生環境の向上、家庭における洋式トイレの普及状況、バリアフリー化、防災機能の強化などの観点から、校舎トイレの洋式化を進めます。［現状値：70.8%（R4 年度実績）］
	実績値（回）	85.5	90.8				
	達成度（%）	100.6	99.8				

【指標達成度に対する要因分析】

校舎等トイレの洋式化は、洋式化率が６０％に満たない学校や要請のあった学校１４校（６４か所）と学校再編整備と合わせて（１７か所）の改修を行いました。これにより、校舎等トイレの洋式化率は、９０．８％となりました。

【今後の方向性】

松原中学校区の義務教育学校整備については、Ｒ７年度に基本構想・基本計画策定等支援事業者を選定し、Ｒ８年度・Ｒ９年度の２か年度で基本構想及び基本計画を策定します。

また、体育館への空調設備整備事業、ＬＥＤ照明器具リース事業に取り組みます。

給食調理室への空調設備設置については、Ｒ７年度から取組を開始し、Ｒ８年度は８校に設置を行う予定です。

トイレの洋式化の推進について、Ｒ８年度は、学校再編整備に併せ（１０か所）の整備を予定しており、引き続き学校の校舎のトイレの様式化を進めていきます。

基本施策Ⅴ　人権に関する教育・啓発の推進

市民一人ひとりが互いの人権を尊重し、それぞれの多様性を認め合うとともに、人権についての正しい理解を深めるため、関係機関と連携しながら人権教育・啓発活動に取り組みます。

主要施策１　人権・同和教育の推進

学校教育活動全体を通じて、人権尊重の視点を取り入れた教育を推進し、児童生徒に偏見や差別意識をなくす意欲と実践力を涵養し、人権が尊重される社会の基礎づくりを進めます。

また、人権・同和教育研究協議会等と連携しながら、広く市民を対象に、人権についての学習活動や啓発活動を推進し、人権が尊重される社会の形成を進めます。

【主な事業】

●人権・同和教育・啓発推進事業〔指導室、人権・同和教育課〕（２５・２６ページを参照）

○大牟田市人権・同和教育研究協議会との連携〔人権・同和教育課〕

（１）大牟田市人権・同和教育研究実践交流会の共催

第２９回大牟田市人権・同和教育研究実践交流会

と　き　　８月５日（火）
ところ　　大牟田文化会館等
参加者　　５０９人
全体会　　記念講演「基礎的な教育をすべての人へ」
講　師　　添田　祥史さん（福岡大学　人文学部教育・臨床心理学科教授）
分科会　　６分科会の他、基礎講座、人権・同和教育カリキュラム講座

（２）課題別委員会「子ども就学支援」の支援

課題別委員会「子ども就学支援」で、「２０２５（令和７）年度版　おおむた子ども支援ガイドブック～子どもを、家庭をチームワークで支えるために～」を作成し、学校をはじめとして大牟田市人権・同和教育研究協議会加盟団体に配付するとともに、ホームページに掲載し、情報提供を行いました。

（３）人権連続講座の共催

①第１回

と　き　　１０月２４日（金）
ところ　　大牟田文化会館３階　研修室第１・第２
内　容　　講演会「ともに生きる社会づくり～障害者の人権を考える共生社会における優生思想～」
講　師　　古庄　和秀さん（大牟田市議会議員、障害者の自立と政治参加をすすめるネットワーク事務局長）
参加者　　６９人

②第２回

と　き　　１１月７日（金）
ところ　　大牟田文化会館３階　研修室第１・第２
内　容　　講演会「障害って、何？～私たちのことを私たち抜きで決めないで！～」
講　師　　鍋山　公一さん（公益社団法人福岡県人権研究所　啓発部会長）
参加者　　４７人

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	目標値設定の考え方
大牟田市人権・同和教育カリキュラムの活用実績	目標値（%）	100	100	100	100	100	全ての市立学校で、大牟田市人権・同和教育カリキュラムを活用した授業研究会を実施することを目標とします。［現状値：100%（R4 年度実績）］
	実績値（%）	100	100				
	達成度（%）	100	100				

【指標達成度に対する要因分析】

本市では、全市的に人権・同和教育の内容を充実させ、小・中９年間を通して、系統性のある教育を実施し、児童生徒に正しい認識と差別をなくそうとする態度を確実に身につけさせるためにＨ３０に人権・同和教育カリキュラム検討委員会を立ち上げました。

Ｒ７年度は、小学校２～６年、中学校１・２・３年で、全小・中学校の教育課程に位置付け、学習を行いました。また、小学校１年生で、試案を基に授業研究会を行い、カリキュラムづくりを進めました。

今後、人権・同和教育に係る系統的なカリキュラムの周知・徹底と更なる充実に向けて、教育講座や実践交流会で研修の場を設けるとともに、各学校で授業を通した研修会の実施について指導していきます。

【今後の方向性】

今後も、人権・同和教育の更なる充実に向けて、児童生徒に正しい認識と差別をなくそうとする態度を確実に身につけさせるために、各学校にカリキュラムを確実に実施していくと共に、夏季講座や実践交流会の研修に充実を図ります。

諸事業を開催する際には、開催テーマに対する理解や認識を深めてもらうとともに、若年層を含めた幅広い市民の参加が得られるように企画、周知することも必要です。このことから、周知方法についても、広報おおむたや市ホームページのほか、愛情ねっと、公式 LINE 等の SNS を活用するとともに、住民自治組織や市内の各種団体等に働きかけを行うなど、広く周知、啓発していきます。

教育施策の推進状況

（市長部局関係分）

「大牟田市まちづくり総合プラン」より

市長部局関係分においては、総合計画「大牟田市まちづくり総合プラン」第１編に掲げる社会教育、スポーツ及び文化の関係施策に係る実績を掲載しています。

「大牟田市まちづくり総合プラン」施策体系（関係分の抜粋）

第１編　未来を担う心豊かで元気な人が育まれるまち

第４章　学びを通じた人とのつながりの促進と、地域で自ら行動するひとの育成

視点１　次世代を担う子どもを地域や社会全体ではぐくむ

視点２　ＳＤＧｓ／ＥＳＤを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり

視点３　学習環境の整備・充実

視点４　社会教育施設の機能向上

視点５　青少年の問題行動や悩みへの対応

第５章　スポーツに気軽に親しめる機会と環境づくり

視点１　誰もがどこでも気軽に親しめるスポーツ活動の機会づくり

視点２　活気あるスポーツ活動を支える仕組みづくり

視点３　スポーツがしやすい環境づくり

第６章　郷土の歴史と文化芸術を通して心豊かに生活できる社会づくり

視点１　まちの歴史や文化を守る・知る・活かす

視点２　文化芸術事業の充実

視点３　文化芸術を活用した新たな価値や多様性の創出

視点４　文化芸術活動への支援、環境づくり

成果指標の令和7年度実績値

施策	成果指標	現状値（R4年度）	目標値（R7年度）	実績値※（R7年度）	達成度（R7年度）
第1編第4章　学びを通じた人とのつながりの促進と、地域で自ら行動するひとの育成 **※点検・評価の対象**	地域のために自らが出来ることに取り組みたいと思う市民の割合	46.2%	50.0%	54.2%	108.4%
同第5章　スポーツに気軽に親しめる機会と環境づくり ※点検・評価の対象外	週1回以上、運動・スポーツを行っている市民の割合	39.6%	56.0%	43.9%	78.4%
同第6章　郷土の歴史と文化芸術を通して心豊かに生活できる社会づくり ※点検・評価の対象外	1年間に、ホールや施設などで文化芸術を直接鑑賞したことがある人の割合	47.3%	80.0%	53.4%	66.8%

※実績値（R7年度）は、「まちづくり市民アンケート」集計結果による（18歳以上の市民1,000人を無作為抽出して実施し、519人が回答）。

令和７年度重点事業

まちづくり総合プラン第１編		事 業 名	ページ
章	視点		
４	１	「高校生まちづくり部」活動推進事業	６７

令和７年度重点事業の取組状況報告書

（担当課：生涯学習課）

事業名	【まちづくり総合プラン第１編第４章】学びを通じた人とのつながりの促進と、地域で自ら行動するひとの育成 （視点１）次世代を担う子どもを地域や社会全体ではぐくむ 「高校生まちづくり部」活動推進事業（７２ページ参照）

目的

高校生等を中心とした概ね１８歳までの世代が自ら考え、企画した事業等を実践・運営し、多くの人とひとつのことをやり遂げることで、仲間意識や達成感を得るとともに、まちに貢献する気持ちや郷土をより良いまちに変えていこうとする姿勢を身に付けることを目指します。

事業内容

市内８つの高校等を対象に参加者募集を行い、これまでのＯＢ・ＯＧを含めたメンバーで月１回程度活動を行います。専門家による講義やフィールドワーク、清掃ボランティア、各種イベントへの参加などを行い、まちづくりに必要な知識・経験を実践的に学びます。

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	指標･目標値設定の根拠
将来、大牟田のために役に立ちたいと思う高校生の割合	目標値（%）	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	事業に参加した高校生等向けアンケートにおいて90.0%以上を目指す。
	実績値（%）	100	85.7				
	達成度（%）	111.1	95.2				

取組実績

・市内５つの高校等から７人の高校生と２人のＯＢ・ＯＧが参加し、月１回程度の頻度で活動を行いました。
・昨年度に引き続き、まちづくりの基本的な考え方を学ぶため、専門家による講義を実施し、高校生のまちづくりへの理解を深めました。
・活動の初回では、専門家による講話と商店街周辺を周るフィールドワークを実施しました。講話では、直線的な課題解決ではなく、あえて「余計なこと」や「予期せぬ方向性」に目を向け、プロセスを楽しむことが創造的な「まちづくり」の源泉になることを学びました。
・フィールドワークでは市役所前から商店街を歩き、建物や看板、オブジェなどから時代や歴史を垣間見ることができ、大牟田について新たな気付きを得ることができました。
・清掃ボランティア活動「防災グリーンバード」へ参加し、地域に貢献する活動を体験するとともに、公共性や協働の意識を育みました。
・大牟田日本フィルの会と共同して、ともだちや絵本美術館でオータムコンサートを開催しました。高校生たちの「やりたいこと」を実現するために対象者や選曲、当日の進行に関する大牟田日本フィルの会との企画会議を行いました。当日は子どもから大人まで幅広い年代が来場し、良い雰囲気で無事に終えることができました。

決　算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額　500　千円 （次年度への繰越　千円）	250				250

問題点及び課題

・高校生の学業や学校行事等との両立を図りながら、活動の継続性を確保することが難しく、より柔軟な運営体制や日程調整が今後の課題です。
・部員の入れ替わりが毎年度生じるため、高校生の活動ノウハウや意思を継承する仕組み（マニュアル化・記録整備等）の構築が必要です。

今後の方向性（具体策）

・高校生の学校行事等に配慮した上で、高校生が参加しやすいスケジュールや活動規模での実施を図ります。
・活動内容や運営方法を記録、可視化し、円滑な運営ができる環境を整えます。
・本事業は、高校生自らが主体的に地域課題を捉え、企画・運営を行うプロセスを重視するものであり、Ｒ７年度以降も、伴走支援型の体制を維持しながら、高校生の主体性を一層引き出す活動へと発展させていきます。

評　価

事業実施後に行ったアンケートにおいて、「自分が地域のためにできることに取り組みたいと思いますか？」という問いに対し、回答者全員から「強く思う」または「思う」との回答があり、本事業の目的である「まちに貢献する気持ちや郷土愛の醸成」の一定の達成が図られました。今後とも、より多くの高校生等に事業の体験の機会を提供できるよう取り組みます。

施策名	【まちづくり総合プラン第１編第４章】 **学びを通じた人とのつながりの促進と、地域で自ら行動するひとの育成**

誰一人取り残さず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向け、ともに学び続け、自ら行動する担い手がはぐくまれるまちを目指します。

そのため、次世代を担う子どもたちが将来においての自己実現ができる取組、学びを通じて人々のつながりを作り出し、持続的な地域コミュニティを支える人づくりを進めます。

（視点１）次世代を担う子どもを地域や社会全体ではぐくむ

次世代を担う子どもたちが、さまざまな体験や活動を通じて、自己肯定感を高めるとともに郷土愛の醸成を図ることで、将来にわたってまちづくりに参画する姿勢をはぐくみます。また、高齢者や子育て世代をはじめとする地域の大人が、学習活動や地域活動を通じて子どもの主体性を大切にしながらその成長を支えていけるよう取り組みます。

【主な事業】

〇子ども交流体験事業〔生涯学習課、公民館〕

（１）子ども交流体験活動事業〔公民館〕

地区公民館において、食や環境等をテーマに、ものづくりや自然体験、子どもたちの体験活動講座を７９講座開催しました。

（各講座の詳細は、１４４～１６４ページの「社会教育施設等の状況　地区公民館」を参照）

（２）交流教育地域推進事業ふれあい共室

障害のある子どもと障害のない子どもが、ボランティアとレクリエーションなどの活動を通して交流しながら豊かな人間性や社会性を育むこと、ボランティアが活動の意義を認識することを目的に実施しました。

①回数

・事前研修会　　１回
・保護者との懇談会　１回
・活動　　８回（ふれあい夏祭り、秋のスポーツ大会、みかん狩り、クリスマス会等）

②延べ参加者（人）

・子ども　　１７５人
・ボランティア　　１９８人
・保護者（懇談会）　５９人

（３）子ども未来デッサン事業

小学校中・高学年（４～６年生）が、自分の将来のことを考え、夢や目標を見つけるきっかけをつくるとともに、未来へ向かって頑張る姿勢を身に付けてもらうための一助となることを目指した講座です。

様々な職業人から、子ども達へ現在の職業に就いたきっかけや、夢を実現させるために努力したこと、仕事のやりがいや様子などの話をしていただき職業体験も実施しました。

Ｈ２６年度から２９年度までの４年間は、生涯学習課で実施しました。Ｈ３０年度からＲ２年度までは地区公民館事業として実施し、Ｒ３年度から再び生涯学習課で実施しています。また、Ｒ５年度から中学生の生徒向けの講座も実施しています。

①講座内容（小学４～６年生対象）

講座名	講　師	と　き	と こ ろ	受講者数
うどん職人	根来 周作	7 月 31 日（木）	本格手打うどん・そば 『ねごろ屋』	19 人
理学療法士	橋本 綾乃 松本 朋哉	8 月 5 日（火）	大牟田市立病院	15 人
物流を支える人	寶部 啓樹	R8 年 2 月 21 日（土）	大牟田運送株式会社 有明沿岸物流センター	10 人

②講座内容（中学生対象）

講座名	講　師	と　き	と こ ろ	受講者数
映像を制作する人	岩倉 宗一郎	10 月 26 日（日）	中央地区公民館	10 人

（４）通学合宿や子どもの居場所への支援

①通学合宿支援事業

通学合宿は、子どもたちが家庭を離れ、異年齢集団で地区公民館等に寝泊りしながら学校に通う取組です。買い物、食事作り、掃除等の身の回りの基本的なことは、ボランティアの支援のもと、子どもたちができるだけ自分たちで行います。

ア　新規実施校区への支援

体制づくりや事業の周知を行い、地域団体による自主的な通学合宿の実施につなげるため、実施に向けた準備期間と位置付けるとともに、通学合宿への認知度の向上を図ることを目的としています。Ｒ７年度は実施には至りませんでした。

イ　自主的な取組で通学合宿を実施する団体への補助

自主的な取組で通学合宿を実施する１団体（明治小通学合宿実行委員会）に対して補助金の交付及び活動支援を行いました。

○明治小通学合宿

主　催　　明治小通学合宿実行委員会

と　き　　９月１７日（水）～９月２０日（土）（３泊４日）

ところ　　明治会館

参加者　　９人（４～６年生対象）

ボランティア　　実人数２４人（延べ１４８人）（地域住民等、保護者等）

区分	４年生		５年生		６年生		合計（人）	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
明治小通学合宿	2	3	0	1	3	0	5	4
合計（人）	5		1		3		9	

ウ　通学合宿ボランティアの育成

通学合宿の意義と必要性を理解し、生活面での全般的な指導を行うことができるボランティアを養成することを目的として、新規で実施する校区を対象に通学合宿ボランティア養成講座を実施しています（Ｒ７年度は実績なし）。

エ　今後の意向調査

各地域の実行委員会に対する、今後の通学合宿実施に係る意向調査については、Ｒ７年度は実施しませんでした。

②子どもの居場所づくり支援事業〔生涯学習課〕

ア　子どもの居場所づくりに取り組む団体への補助

（ア）子どもの居場所づくり運営費補助金の交付

各地域で自主的に「子どもの居場所」を開設する実行委員会等１８団体（定期開設１８団体）に対して運営費の一部を補助しました。

・市補助金交付団体【定期開設】　１８団体

	交付団体名	開催数	経年
1	「なかよし広場」文化サークル実行委員会	月１回	21 年目
2	友・遊広場見守り隊	月２回	21 年目
3	三池みんなの広場実行委員会	月１回	21 年目
4	吉野校区子どもの居場所委員会	月１回	21 年目
5	みんなの広場羽山台世話人会	月２回	16 年目
6	大牟田市立平原小学校父母教師会	月１回	15 年目
7	プレーパークおおむた遊ばせ隊	月１回	15 年目
8	高取校区子どもの居場所実行委員会	月１回	15 年目
9	大牟田市護身道連盟スポーツチャンバラ協会	月４回	14 年目
10	みんなあつまれ子どもの居場所実行委員会	月１回	13 年目
11	大正こどもの居場所実行委員会	月１回	８年目
12	げんきいっぱい白川っ子実行委員会	月３回	６年目
13	みなと子どもの広場実行委員会	月 12 回	５年目
14	一般社団法人 umau. 大牟田支部じじっか・おおむた	月４回	３年目
15	天領校区子どもの居場所実行委員会	月４回	３年目
16	手鎌こどもの居場所あえーる♪	月３回	２年目
17	倉永子どもの居場所実行委員会	月１回	１年目
18	宿題お助け隊フレンド・シップ実行委員会	月１回	１年目

・自主運営等の団体数　５団体

	居場所（広場）名	開催数
1	駅馬地区アンビシャス広場	週１回
2	勝立地区アンビシャス広場	月１回
3	カルタンひろば（三池・カルタ歴史資料館）	休館日を除く毎日
4	上官げんきもりもりハウス	月４回
5	手鎌わくわく広場	月１回

※「自主運営等の団体」とは、市の補助金の交付を受けない団体をいいます。

・不定期開設運営等の団体数　２団体

	居場所（広場）名	開催数
1	明治きらめき広場	年２回
2	上内なかよし広場	年２回

イ　啓発活動

（ア）各居場所の活動予定を示したポスターを毎月発行

（イ）子どもの居場所通信（第１～２号）の発行

（ウ）子ども会説明会での居場所啓発（４月６日（日））

ウ　子どもの居場所等連絡協議会における情報交換、研修、体験活動の実施

（ア）情報交換の開催（５月、１０月、３月）

大牟田市子どもの居場所等連絡協議会の情報交換会を年３回開催し、延べ７２人が参加しました。

（イ）研修会の開催

と　き　　５月２６日（月）
ところ　　大牟田市市民活動多目的交流施設「えるる」
参加者　　２４人
テーマ　　「地域は子どもたちに何をしたらよいのか
　　～青少年アンビシャス運動の成果と反省点から考える～」
講　師　　藤田弘毅氏（福岡県アンビシャス広場連絡協議会　会長）

（ウ）体験活動（「わくわく子どもまつり」）の実施

①「第３回折り紙ヒコーキ大会　in　おおむた」の実施

と　き　１１月２３日（日・祝）
ところ　おおむたアリーナ（大牟田市総合体育館）
参加者　子ども　３９人　大人　５４人

②「第１６回わくわく！子どもまつり」の実施

と　き　　Ｒ８年２月２８日（土）
内　容　　「体験活動　＆　バザー」
ところ　　おおむたアリーナ（大牟田市総合体育館）
参加者　　子ども４５７人・保護者　３５０人
　　ボランティアスタッフ　　１３４人
　　高校生ボランティア　　７人
内　容　　ハートの手さげ作り、プラ板ストラップ作り、サッカーＰＫ戦、ミニボーリング、ぼうしのブローチ作り、プレーパーク、スポーツチャンバラ、リサイクル工作、お菓子釣り、折り紙でコマを作ろう、冒険パン、リリボン・マーケット、アイロンビーズで作品を作ろう、うまい棒射的、世界の遊び、切り株重さあて、竹ぼっくり、飲食バザーほか

（５）南筑後地域未来の地域リーダー育成プログラム

南筑後地域在住の中学生を対象に、子どもたちが地域に愛着と誇りを持ち、将来を担う次世代のリーダーとしての資質や社会性を身につけるための「南筑後地域未来のリーダー育成プログラム」を福岡県及び近隣自治体と合同で実施しました。

①参加自治体

大牟田市、大川市、みやま市、大木町

②日程、会場及び内容

ア　８月７日（木）～８日（金）日帰り　まいピア高田
　　開講式、オリエンテーション、講師による講義、グループワーク

イ　１０月１８日（土）～１９日（日）１泊２日　大川市ふれあいの家ほか
　　フィールドワーク、グループ発表

③参加対象者及び参加人数

南筑後地域在住の中学１～３年生２８人
内訳：大牟田市１５人、大川市５人、みやま市５人、大木町１人、福岡県２人

④プログラム内容

実施日	講　師（敬称略）		講座内容	場所
8月7日（木）	一般社団法人 OMUTA BRIDGE	菅原　知之 高口　恵美	ジュニアシティメーカーの取り組みについて	まいピア高田
8月8日（金）	株式会社 ビストロくるるん	松藤 富士子	施設見学＋講義「未来をつかむためのあきらめない気持ち」	ビストロくるるん
	株式会社 吉開のかまぼこ	林田　茉優	会社復活までの道のり	まいピア高田
10月18日（土）	フィールドワーク ※欄外参照			
10月19日（日）	－	－	グループ発表	大川市ふれあいの家

※フィールドワーク

■ ＮＰＯ法人小保・榎津 藩境のまち保存会　三宅　浩子 氏
■ 久留米絣　松枝家７代目　松枝　崇弘 氏
■ 武下農園株式会社　代表取締役　武下　浩紹 氏

●「高校生まちづくり部」活動推進事業〔生涯学習課〕（６７ページ参照）

（１）「高校生まちづくり部」の活動について

①高校生等企画スタッフ募集

募集方法　　ポスター、チラシ、インスタグラム等
募集期間　　Ｒ７年７月～随時
応募者数　　７人（三池工業高等学校１人、明光学園高等学校１人、大牟田高等学校１人、有明工業高等専門学校３人、大牟田北高等学校１人）
学年　３年生：６人、２年生：１人

②企画会議・振り返り等開催

プレ　　６月１６日（月）企画会議（大牟田市役所職員会館）
定例会　　７月　３日（木）企画会議（大牟田市役所職員会館）
第１回　　８月１８日（月）フィールドワーク（大牟田駅・銀座通り商店街周辺等）
第２回　　９月　６日（土）グリーンバードのごみ拾い（イオンモール大牟田周辺）
定例会　　９月　８日（月）企画会議（大牟田市役所職員会館）
定例会　　９月２９日（月）企画会議（大牟田市役所職員会館）
定例会　　１０月　９日（木）企画会議（勝立地区公民館）
定例会　　１１月１０日（月）企画会議（生涯学習支援センター）
第３回　　１１月２２日（土）日本フィルオータムコンサートの実施（ともだちや絵本美術館）
　　Ｒ８年２月１４日（土）日本フィルハーモニー交響楽団本公演のボランティア（大牟田文化会館）
第４回　Ｒ８年３月　９日（月）修了式

③高校生まちづくり体験事業推進協議会

協議会開催　　第１回　　Ｒ８年３月２３日（月）

〇子どもの読書推進事業〔生涯学習課〕

Ｒ７年度は、子ども読書推進に係る広報啓発とともに、「大牟田市子ども読書推進計画」に基づき、次のような取組を行いました。

（１）ブックスタート事業

赤ちゃんと保護者が、絵本を通して、心ふれあう時間を持つきっかけを届ける取組として、絵本と布バッグ、お薦めの絵本やおはなし会の情報を紹介したリーフレット（ブックスタートパック）を全ての新生児に配布するブックスタート事業を実施し、Ｒ７年度は４９２人の新生児に配布しました。

併せて、読み聞かせの実演や赤ちゃんと絵本を通してコミュニケーションを楽しむ体験ができる「絵本による赤ちゃんとのコミュニケーション講座」を読書ボランティア及び図書館の協力により実施しました。

「赤ちゃんとのコミュニケーション講座」実施状況　（会場は市立図書館）

と　き	参　加　者
6 月 27 日（金）	6 組　（13 人）
6 月 28 日（土）	3 組　（12 人）
8 月 29 日（金）	4 組　（10 人）
8 月 30 日（土）	3 組　（　8 人）
10 月 24 日（金）	7 組　（15 人）
10 月 25 日（土）	7 組　（21 人）
12 月　5 日（金）	4 組　（ 8 人）
12 月　6 日（土）	5 組　（14 人）
R8 年　2 月 27 日（金）	2 組　（ 5 人）
R8 年　2 月 28 日（土）	4 組　（12 人）

（２）子ども読書推進啓発事業

①啓発チラシ作成・配布

子ども読書の大切さを啓発するチラシを市内小中特別支援学校の児童・生徒に配布しました。

②子ども読書の日記念イベント２０２５（指定管理者）

４月２３日（水）の子ども読書の日に合わせ、子ども読書の日記念おはなし会や特設コーナーの設置等のイベントを実施しました。

（内容等の詳細は、「社会教育施設等の状況　図書館」の「３　事業の実施状況」の「（１）必須事業」の「②行事」の「ア　イベント的事業」の表（１７８ページ）を参照）

③ホームページへの記事作成・更新

おはなし会の情報や子どもの読書イベントの情報を毎月更新しました。（携帯電話用のページも毎月更新）。

④うちどくノートの作成・配布

Ｒ４年度から家庭での読書推進のため、読書記録を残すことが出来る「うちどくノート」を作成し、図書館で配布しています。また、学校等での活用の提案を含め、ホームページからもダウンロードし印刷ができるように掲載を行い、広く周知しています。

〇各世代に応じた学習活動支援事業〔生涯学習課・公民館〕

（１）各世代に応じた学習活動支援事業〔公民館〕

高齢者や子育て世代をはじめとする地域の大人が学習活動や地域活動を通じて子どもの成長を支えることで、自らも活躍できるような人生１００年時代に向けた人づくりを進め

るため、あらゆる層の市民が参加できる学習機会の提供として３２講座を開催しました。
（各講座の詳細は、１４４～１６４ページの「社会教育施設等の状況　地区公民館」を参照）

（２）大牟田市子ども会育成者連絡協議会及びＰＴＡ連合会活動等への支援〔生涯学習課〕

①子ども会活動支援事業

ア　ジュニアリーダー、イン・リーダーの育成

大牟田市子ども会育成者連絡協議会と共催で、市子ども会イン・リーダー養成講座を実施しました。

と　き	内　容	ところ	参加者数
8月2日(土) ～3日(日)	危険予知訓練・レクリエーション・夕食バーベキュー	リフレスおおむた	７人
11月8日(土) ～9日(日)	応急処置講習・レクリエーション・夕食調理	リフレスおおむた	１０人
R8年 1月25日（日）	危険予知訓練・レクリエーション・昼食調理	手鎌地区公民館	８人

イ　親善交流大会（ドッヂビー大会、カルタ大会）

（ア）ドッヂビー大会

と　き　　９月１５日（月・祝）
ところ　　おおむたアリーナ
参加者　　４子ども会　４チーム　４８人

（イ）新年カルタ大会

と　き　　Ｒ８年１月１２日（月・祝）
ところ　　手鎌地区公民館
参加者　　４子ども会　９チーム　２７人

（ウ）子ども会（安全共済会）説明会の実施

と　き　　４月６日（日）
ところ　　手鎌地区公民館
参加者　　２２子ども会　２３人
内　容　　子ども会の重要性や育成会の役割等
※資料配布後、子ども会安全共済会の加入受付を生涯学習課で受け付け、２４団体が加入しました。

②ＰＴＡ活動支援事業

ア　広報紙コンクール、広報紙研修会の実施

（ア）ＰＴＡ広報紙コンクールの実施

第４０回ＰＴＡ広報紙コンクールを、大牟田市、大牟田市教育委員会、大牟田市立小・中・特別支援学校ＰＴＡ連合会の共催により実施しました。作品は、Ｒ６年度発行の新聞を対象としました。

応募校数２４校（小学校１７校、中・特別支援学校７校）

表彰　大牟田市長賞：白川小学校父母教師会、田隈中学校父母教師会
大牟田市教育委員会賞：
みなと小学校父母教師会、橘中学校父母教師会
大牟田市立小・中・特別支援学校ＰＴＡ連合会賞：
大牟田中央小学校父母教師会、宅峰中学校父母教師会
優秀賞：玉川小学校父母教師会、大正小学校父母教師会、
中友小学校父母教師会、松原中学校父母教師会

（イ）ＰＴＡ広報紙研修会の開催

内　容　　５月３０日（金）に生涯学習支援センターにおいて、明光学園高等学校美術コース情報メディアデザイン非常勤講師の馬場真帆氏を講師に招いて、講話「『ＰＴＡ広報紙の制作術』～読まれるための紙面を作るコツと技～」を開催し、企画、レイアウト、記事の書き方等、広報紙づくりの技術を学びました。

（ウ）ＰＴＡ連合会研修会実施の支援

と　き　　１１月２２日（土）

ところ　　天の原小学校　体育館

内　容　　講演　『子ども達の可能性をひらく関りと共有
～ジュニアシティメーカーの取組を通して～』
講師　西南女学院大学非常勤講師
一般社団法人 OMUTA BRIDGE 理事
高口　恵美氏　他高校生数名

〇家庭教育支援事業〔生涯学習課・公民館〕

（１）家庭教育講座〔公民館〕

家庭教育に関する学習機会の充実を図るため、幼児、小学校低学年・高学年、思春期などに区分し、「家庭教育講座」を８講座開催しました。

（各講座の詳細は、１４４～１６４ページの「社会教育施設等の状況　地区公民館」を参照）

（２）子育てふれあい広場の開設〔生涯学習課・公民館〕

地域の子育て中の保護者が子どもと一緒に気軽に集える場を提供し、利用者間の交流や子育てについての学びあいを支援するため、三池地区公民館と手鎌地区公民館において子育てふれあい広場を開設しています。

①三池子育てふれあい広場（じゃじゃり子み～け）・月曜日開設

大人延べ利用者数	２５０人
子ども延べ利用者数	２６６人
延べ利用者数	５１６人
開設日数	２９日

②手鎌子育てふれあい広場（れもんぐらす）・金曜日開設

大人延べ利用者数	３８２人
子ども延べ利用者数	４０９人
延べ利用者数	７９１人
開設日数	３１日

③ボランティアスキルアップ講座

子育て中の保護者が、子どもと一緒に安心して過ごせる子育てふれあい広場づくりを目指しつつ、本来の形であるボランティア中心の子育てふれあい広場の運営となるよう受講生にはボランティアとしての心得を再認識してもらい、広場の更なる活性化を目指しました。三池地区公民館はじゃじゃり子み～け、手鎌地区公民館はれもんぐらすのボランティアスタッフを対象に合同でスキルアップ講座を実施しました。

（３）子育て情報誌「おおむたっ子」の発行〔生涯学習課〕

子どもの様々な体験活動を充実させるとともに､家庭教育や次世代育成を支援するため、子どもの体験活動の機会や子育て支援に関する情報を収集・提供する事業を、市民ボランティアと行政で組織する運営委員会において実施しました。年３回（７月・１１月・３月）発行し、発行数は延べ２７，０００部でした。

〇わくわくシティ基金事業〔スポーツ推進室、生涯学習課〕

スポーツ・文化の振興を通じた青少年の人材育成、地域活性化を目的とし、スポーツ・文化の振興につながる事業を助成するものです。

スポーツ分野は、Ｒ７年度に実施した事業はありませんでした。

文化芸術分野は、大牟田子ども劇場による「子どもと文化が出会うまちづくり事業～世代を越えて楽しむ日本の文化との出会い～」を下記のとおり開催しました。

と　き	内　容	ところ	参加者数
11 月 16（日）	あそびの広場「あそびキング」 コマやけん玉などの昔あそびを体験	明治小学校体育館	102人
12 月 7 日(日)	「昔遊びの笑タイム」観劇 中国ゴマやベーゴマ、けん玉、まりつきなど、昔あそびの技の数々を鑑賞	大牟田文化会館小ホール	69 人
	「昔遊びの笑タイム」ワークショップ 観劇後、親子でコマやけん玉、あやとりなどの昔あそびに挑戦		63 人
R8 年 1 月 12 日（月・祝）	「まげすけさんとしゃべるどうぐ」昔の道具体験ワークショップ 舞台鑑賞前に、昔の道具についてのクイズ作成や、風呂敷や天秤棒を使用する体験を実施	駛馬地区公民館	38人
R8 年 1 月 21 日（水）	青年・大人対象の文化講座 劇団の役者から日本の伝統文化について学ぶ	中央地区公民館	15人
R8 年 1 月 25 日（日）	江戸時代のことを知る学習会 江戸時代についてクイズを交えながら解説し、江戸時代の暮らしの様子を学習	中央地区公民館	22人
R8 年 2 月 8 日（日）	「まげすけさんとしゃべるどうぐ」観劇 髪結いのまげすけさんと道具たちとのやりとりを描いた舞台鑑賞	大牟田文化会館小ホール	217人
	「まげすけさんとしゃべるどうぐ」アフタートーク 観劇後に 4 人の役者と親子で感想交流会		74人

〇文化芸術体験を通した子ども・若者育成事業〔生涯学習課〕（再掲）

（第１編第６章・視点２の１０７～１０９ページを参照）

（視点２）ＳＤＧｓ／ＥＳＤを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり

市民の主体的な学びや活動の機会を設けるにあたり、ＳＤＧｓ／ＥＳＤの視点を持った取組を展開することで、自ら行動する意欲や地域で活動する力をはぐくむ「人づくり」、活動を進めるための「つながりづくり」、それにより地域が直面する課題を発見・共有し解決していく持続可能な「地域づくり」へとつなげます。

【主な事業】

〇生涯学習ボランティア登録派遣事業〔おおむた生涯学習まちづくり推進協議会・生涯学習課〕

（１）生涯学習ボランティア登録派遣事業（愛称：まなばんかん）

市民の学習を支援するボランティアを登録し、市民からの求めに応じてコーディネートを行い派遣する「生涯学習ボランティア登録派遣事業」を実施しました。Ｒ７年度も大型商業施設でのイベントを実施し、事業を広くＰＲしました。

①ボランティア登録・派遣状況　（R8.3.31 時点）

年度	区分	延べ登録件数（件）	延べ登録者数（人）	派遣回数（回）	派遣先の参加者数（延人数）	ボランティアの稼働率(%)
R5	個人	89	89	156	3,775	55.6
	団体	125	1,458	295	13,043	
	計	214	1,547	451	16,818	
R6	個人	84	84	151	5,339	51.8
	団体	119	1,390	285	14,445	
	計	203	1,474	436	19,784	
R7	個人	86	86	128	5,291	54.5
	団体	116	1,320	299	12,967	
	計	202	1,406	427	18,258	

②アンケート結果

ア　ボランティア登録者の意欲の高まり（学習の成果を人づくりやまちづくりに役立てたい)･･･９３．３%(Ｒ６年度９５．８%)

イ　依頼者（利用者）の満足度（今後もこの制度を活用したい）

･･･１００%（Ｒ６年度９９．６%)

①生涯学習ボランティア登録者説明会・交流会　６月７日（土）

生涯学習ボランティア登録者に対して、事業内容についての説明と登録者同士の交流を図るため説明会・交流会を開催しました。

ア　説明会内容　事業概要､活動時の心得、ボランティア活動保険、電子申請について

イ　交流会内容　少数の班に分かれて､ボランティア登録者同士の意見交換実施

②大型商業施設でのイベント開催　８月２３日(土)

生涯学習ボランティア登録派遣事業を広くＰＲするため、舞踊・フラダンス・マジック・音楽・歌など「見て聞いて楽しむ」ことができるイベントをイオンモール大牟田で開催しました。

③新規登録の呼びかけ

地域で活動している人等を対象に、好きなことや得意なこと、学んだ成果を活かして生涯学習ボランティアとして活動してもらうために、地区公民館で実施する「アクティブシニアデビュー塾」、健康づくり課主催の「食育アドバイザー講座」において事業の紹介とボランティア登録の呼びかけを行いました。

④周知・ＰＲ

ア　ボランティア登録者の紹介（「広報おおむた」奇数月巻末掲載）

イ　「おおむた生涯学習メニューブック（まなばんかん利用案内掲載）」（２，５００部）の配布

ウ　You Tube 市公式アカウント「ほっとシティおおむたチャンネル」でボランティア登録者の活動の様子を紹介

エ　おおむたまちづくり推進協議会のインスタグラムにて情報を発信

〇地区公民館におけるＳＤＧｓ／ＥＳＤ推進事業〔生涯学習課・公民館〕

（１）地域ＳＤＧｓ／ＥＳＤ推進事業

人と人、人と地域、地域と地域の「関わり」、「つながり」をつくることができるようになるといったＥＳＤの視点を持った取組みを行うことで、身近なところから自分に関わりのある課題を発見し、その解決に向けて主体的・自発的に行動できる人材を発掘するとともに、地域住民同士のつながりづくり、さらには地域への愛着心をはぐくむことで、持続可能な地域づくりの担い手づくりを各校区において実施。Ｒ７年度は１４校区で２０講座を実施しました。

（２）学校ＳＤＧｓ／ＥＳＤ推進事業

地区公民館が、学校教育におけるＥＳＤの取組みに対して、地域の支援や連携が必要な事項についてコーディネートを行うことで、学校教育におけるＥＳＤの取組みを支援するとともに、学校との連携により、地域の担い手を発掘する事業を実施。Ｒ７年度は小学校７校で実施するとともに、地域の課題や社会とのつながり等について理解を深めてもらうことを目的に中央･勝立･駅馬地区公民館で近隣の中学校や高等学校への支援をしました。

〇人材育成・地域活動促進事業〔生涯学習課・公民館〕

地区公民館で実施する講座等をきっかけにして、自主グループを発足するとともに、学んだ知識をボランティア活動、地域活動に活かしていく意識の醸成を図ります。

学んだ成果を活かす活動の場や機会を、地区公民館はもとより、校区コミュニティセンターや各学校などの身近な地域で行う事業を実施しました。また、ボランティア団体や地域の団体、サークル等の活動について必要に応じた支援を行う事業など、４７事業を実施しました。

〇学習成果活用促進事業〔生涯学習課・公民館〕

（１）高齢者生きがいづくり社会参加促進事業（アクティブシニアデビュー塾・ボランティアデビュー編）〔健康づくり課・生涯学習課・公民館〕

高齢者の学習機会および学習成果を活かしたボランティア活動、地域活動の機会、さらには心と身体の健康づくりの機会を提供することで、高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進を図るとともに、介護予防の取組みを促進するために健康づくり課および地域包括支援センターと連携し、「アクティブシニアデビュー塾」を実施しました。この事業の一つとして高齢者のボランティアを養成する「ボランティアデビュー編」７講座を開催し、１２８人が受講しました。

講座終了後、６つの新規ボランティアグループが結成され４８人が入会し活動を続けています。

（各講座の詳細は、１４４～１６４ページの「社会教育施設等の状況　地区公民館」を参照）

（２）カヌーサポーター養成講座〔公民館〕

諏訪川を活用した環境問題の啓発や、青少年の自然体験活動の充実、家族のふれ合い、

世代間交流の促進を図る目的で「カヌーふれあい事業」を実施しており、ボランティア団体「はやめカヌーサポーター会」にはカヌー指導・サポートをお願いしています。「はやめカヌーサポーター会」の高齢化等に伴う人材不足を解消するために、カヌーの知識や技術を学ぶ養成講座を実施して加入促進を図っています。Ｒ７年度は５人が受講し、うち２人は活動を続けています。

（３）ボランティア団体支援事業〔公民館〕

７地区公民館等の各種事業で育成された既存のボランティア団体等を支援する事業として「視聴覚ボランティア支援事業」、「子育てふれあい広場」を運営するボランティア団体等への支援を行いました。

（各事業の詳細は、１４４～１６４ページの「社会教育施設等の状況　地区公民館」を参照）

（４）地区公民館サークル社会参加促進事業〔公民館〕（再掲）

各地区公民館サークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と地域還元を図ることを目指して実施しました。また、子どもサークル体験など、次世代育成の支援も行いました。

（各事業の詳細は、１４４～１６４ページの「社会教育施設等の状況　地区公民館」を参照）

（視点３）学習環境の整備・充実

様々な人が学習情報を入手しやすいよう、情報発信を工夫するとともに、対面だけではなく、オンラインを活用した学習の場を提供します。さらに、市民がいつでも、どこでも学習活動を行えるよう環境整備を図り、学んだ成果を社会に還元させる「知（学び）の循環」の仕組みづくりとともに、生涯学習、ボランティア活動、地域活動に参加してもらうような取組を促進します。

【主な事業】

○学習情報提供事業〔生涯学習課〕

市民がいつでも気軽に学習活動が行えるよう、年間を通して情報紙やリーフレット、インターネットなどの多様な媒体を活用し、様々な学習情報を提供しました。

（１）学習情報紙「マナカタ」の発行（Ｒ６年７月から発行開始、奇数月に年６回発行
１，０００部／回）
掲載記事件数３０件

（２）「おおむた生涯学習メニューブック」の発行（冊子２，５００部）
生涯学習ボランティア登録派遣事業「まなばんかん」の利用案内と企業出前講座「おおむた知恵袋」及び市役所職員出前講座のメニュー表を１冊にまとめて発行しました。

（３）「広報おおむた」による学習情報及び生涯学習の啓発（全１２回）

（４）その他（年間随時）
①市ホームページ、ＳＮＳ、「愛情ねっと」、YouTube を活用した動画配等による情報発信
②学習相談業務（必要な学習情報の提供、学習会・研修会・講習会等のコーディネート）

○多様な学習機会提供事業〔大牟田市生涯学習まちづくり推進会議・おおむた生涯学習まちづくり推進協議会・生涯学習課〕

（１）市役所職員出前講座
市民とともに「生涯学習まちづくり」を進めるために、市政のことを知りたい、学びたい市民のもとに市の職員が出向き、説明・実習等を行いました。

年度	出前講座のメニュー数	実施回数 （派遣回数）	派遣職員数 （市職員）	参加者数 （市民）
R5	123	97 回	175 人	2,962 人
R6	126	103 回	210 人	3,576 人
R7	129	120 回	244 人	3,795 人

（２）生涯学習ボランティア登録派遣事業
（視点２）「ＳＤＧｓ/ＥＳＤを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり」の生涯学習ボランティア登録派遣事業（７７・７８ページを参照）を行いました。

（３）市民大学講座　　市民の高度な学習ニーズに応えるために、高等教育機関と連携して専門的な知識・技術等をわかりやすく学ぶことができる講座を開催しました。

講　座　名	講　師	期日	場所	受講者
花粉は語る～花粉で読み解く地球の歴史～	有明工業高等専門学校 一般教育科 助教　竹本　仁美	11 月 6 日（木）	えるる	16 人
家族で知っておきたい乳がんのこと～40 歳からの検診のすすめ～	帝京大学福岡医療技術学部 診療放射線学科 助教　中村　舞	11 月 13 日（木）	えるる	18 人

いろいろな発酵食品について～目に見えない微生物のちから～	有明工業高等専門学校 創造工学科 環境・エネルギー工学系 准教授　出口　智昭	11 月 20 日（木）	えるる	27 人
あなた自身の「呼吸や心臓が止まった時」どうして欲しいですか？～救急搬送を基に「終活」を考えよう～	帝京大学福岡医療技術学部 医療技術学科 救急救命士コース 講師　伊藤　二郎	11 月 26 日（水）	えるる	26 人

（4）企業出前講座「おおむた知恵袋」

“生涯学習社会”の実現を図るため、民間企業より協力を得て、企業が持っている専門的な知識・技能を市民が学習することができる講座を実施しました。

年度	企業名	講座メニュー数	実施回数	受講者延人数
R5	①久留米ヤクルト販売㈱、②HMS 九州、③㈱0.A.S、④㈲美川漢方堂、⑤明治安田生命保険相互会社、大牟田北営業部、⑥春日クリニック、⑦(合)REIWAN001、⑧㈱四郎國光、⑨㈲山田屋茶舗、⑩大牟田ガス㈱、⑪㈲宮脇商会、⑫九州電力㈱大牟田営業センター、⑬ジブラルタル生命㈱、⑭㈱エム・ティ・ネット、⑮㈱リード、⑯安田生命保険相互会社、⑰オンライン学習会、⑱信号電材㈱、⑲㈱マルエ産業、⑳三池海上保安部、㉑大牟田柳川信用金庫、㉒いちよし証券㈱大牟田支店、㉓ありあけ不動産ネット協同組合、㉔㈱白雲社、㉕磯浜葬祭 天翔苑、㉖つきあかり、㉗㈱プランツ、㉘㈲グリンピース磯浜、㉙アトリエ花むすび	55	30 回	698 人
R6	①久留米ヤクルト販売㈱、②HMS 九州、③㈱0.A.S、④㈲美川漢方堂、⑤明治安田生命保険相互会社、大牟田北営業部、⑥春日クリニック、⑦(合)REIWAN001、⑧㈱四郎國光、⑨㈲山田屋茶舗、⑩大牟田ガス㈱、⑪㈲宮脇商会、⑫九州電力㈱大牟田営業センター、⑬ジブラルタル生命㈱、⑭㈱エム・ティ・ネット、⑮㈱リード、⑯安田生命保険相互会社、⑰オンライン学習会、⑱信号電材㈱、⑲㈱マルエ産業、⑳三池海上保安部、㉑大牟田柳川信用金庫、㉒いちよし証券㈱大牟田支店、㉓ありあけ不動産ネット協同組合、㉔㈱白雲社、㉕磯浜葬祭 天翔苑、㉖つきあかり、㉗㈱プランツ、㉘㈲グリンピース磯浜、㉙アトリエ花むすび、㉚歩行整体 大牟田	62	33 回	677 人
R7	①久留米ヤクルト販売㈱、②HMS 九州、③㈱0.A.S、④㈲美川漢方堂、⑤明治安田生命保険相互会社大牟田北営業部、⑥春日クリニック、⑦(合)REIWAN001、⑧そうごう薬局、⑨㈲山田屋茶舗、⑩大牟田ガス㈱、⑪㈲宮脇商会、⑫九州電力㈱大牟田営業センター、⑬ジブラルタル生命㈱、⑭ソフトバンク大牟田、⑮㈱リード、⑯そうごう薬局、⑰オンライン学習会、⑱信号電材㈱、⑲㈱マルエ産業、⑳三池海上保安部、㉑大牟田柳川信用金庫、㉒いちよし証券㈱大牟田支店、㉓ありあけ不動産ネット協同組合、㉔㈱白雲社、㉕磯浜葬祭 天翔苑、㉖つきあかり、㉗㈱プランツ、㉘㈲グリンピース磯浜、㉙アトリエ 花むすび、㉚歩行整体 大牟田、㉛村尾在宅クリニック、㉜防衛省自衛隊、㉝渡邊直樹税理士事務所、㉞㈱エ―タイ、㉟里親支援センターOHANA 大牟田支部ふわり	67	57 回	2,350 人

（視点４）社会教育施設の機能向上

様々な人の学習活動・地域活動・ボランティア活動の支援を行うため、社会教育施設の今後の在り方を検討するとともに、施設の機能向上を進めます。

【主な事業】

〇つながる地域づくり事業〔生涯学習課・公民館〕

（１）子どもサポーター養成講座

地域社会が協力して子どもや若者が安心して学び・成長できる環境を作るために、子どもや若者に関わる人を対象に講座を実施しました。

（講座の詳細は、１４４～１６４ページの「社会教育施設等の状況　地区公民館」を参照）

（２）ｅスポーツを活用したつながる地域づくり事業

高校生を対象にｅスポーツを通じたチームビルディングを体験し、若者の地域での活躍促進を図るための講座や、ｅ スポーツを活用した地域間の交流及び社会参加の促進につなげるため他市とのオンライン交流大会を実施しました。

（講座の詳細は、１４４～１６４ページの「社会教育施設等の状況　地区公民館」を参照）

〇社会教育機能向上事業〔生涯学習課・公民館〕

（１）公民館職員研修会（公民館）

地区公民館の職員を対象に、生成ＡＩ研修や、地域コミュニティ推進課との合同研修など職員のスキルアップを図ることを目的に、１０回の研修会を開催しました。

（２）社会教育関係職員研修会

社会教育関係職員を対象に、社会教育の今後の役割の理解を促進するとともに、ファシリテーションスキルの向上を図ることを目的に、公民館職員研修会と同時開催で２回実施しました。

（３）新任公民館職員研修会

新任の公民館職員を対象に、社会教育公民館の役割についての基礎的な知識の習得のため、研修会を１回開催しました。

（４）新任社会教育関係職員研修会

新任の社会教育関係職員を対象に、市民協働部各課の取組みを知ることで、部内の連携促進を図ることを目的に、研修会を１回開催しました。

〇地区公民館整備事業〔生涯学習課・公民館〕

（１）各地区公民館の維持補修〔公民館〕

７地区公民館は既に建築から２０年以上経過し老朽化も進んでいますが､来館者が安心･安全に施設を利用できるように、必要に応じた施設修繕を行いました。

〇地域学習機会提供事業〔生涯学習課・公民館〕

（１）子ども交流体験活動事業〔公民館〕（再掲）

視点１「次世代を担う子どもを地域や社会全体ではぐくむ」の主な事業「子ども交流体験事業」の（１）子ども交流体験事業（６８ページ）を参照

（各講座の詳細は、１４４～１６４ページの「社会教育施設等の状況　地区公民館」を参照）

（２）家庭教育講座〔公民館〕（再掲）

視点１「次世代を担う子どもを地域や社会全体ではぐくむ」の主な事業「家庭教育支援事業」の（１）家庭教育講座（７５ページ）を参照

（各講座の詳細は、１４４～１６４ページの「社会教育施設等の状況　地区公民館」を参照）

（３）各世代に応じた学習活動支援事業〔公民館〕（再掲）

視点１「次世代を担う子どもを地域や社会全体ではぐくむ」の主な事業「各世代に応じた学習活動支援事業」の（１）各世代に応じた学習活動支援事業（７３・７４ページ）を参照（各講座の詳細は、１４４～１６４ページの「社会教育施設等の状況　地区公民館」を参照）

（４）高齢者生きがいづくり社会参加促進事業（地域デビュー編・健康実践デビュー編）

〔生涯学習課・公民館・健康づくり課〕

興味や関心があることをきっかけに、社会や地域で生きがいを見つける「地域デビュー編」を７講座開催し、１２７人が受講、学んだ成果を活かし、健康づくりを実践するアクティブシニアを育む「健康実践デビュー編」を７講座開催し、１１７人が受講しました。

講座終了後、１４の新規サークルが結成され１４５人が入会し活動を続けています。

（各講座の詳細は、１４４～１６４ページの「社会教育施設等の状況　地区公民館」を参照）

（５）公民館だより等の発行〔公民館〕

地域の人が集まりやすい地区公民館づくりを目指して、地域や地区公民館の情報を掲載した地区公民館だよりを発行しました。

（各館の発行の詳細は、１４４～１６４ページの「社会教育施設等の状況　地区公民館」を参照）

（６）読書推進事業〔公民館〕

公民館では新刊コーナーの設置、レイアウト変更、図書の広報の工夫等を行いました。また、地域拠点化の推進及び子どもの読書活動の活性化を図るため、図書だよりの発行やおはなし会を行いましたが、Ｒ５年度以降地区公民館の図書貸出冊数は減少傾向にあり、Ｒ７年度の合計は２９，３５０冊でした。

（各事業の詳細は、１４４～１６４ページの「社会教育施設等の状況　地区公民館」を参照）

（７）子育てふれあい広場の開設〔生涯学習課・公民館〕（再掲）

視点１「次世代を担う子どもを地域や社会全体ではぐくむ」の主な事業「家庭教育支援事業」の（２）子育てふれあい広場の開設（７５ページ）を参照

（８）地区公民館文化祭〔公民館〕

７地区公民館で活動しているサークル会員の学習成果の発表と、地域の小・中学校、幼稚園・保育園及び地域住民の参加・協力により開催し、交流と連携を深めています。

（７地区公民館の文化祭の詳細は、１４４～１６４ページの「社会教育施設等の状況　地区公民館」を参照）

（９）展示コーナー活用事業〔公民館〕

地区公民館の展示コーナーやロビーを活用し、サークル会員や地域の人たちの作品展を開催し、成果発表の場とするとともに、サークル会員や地域住民の交流の場としての利用促進を図りました。

（展示コーナー活用事業の詳細は、１４４～１６４ページの「社会教育施設等の状況　地区公民館」を参照）

（視点５）青少年の問題行動や悩みへの対応

街頭指導や環境浄化などの健全育成活動により、青少年の非行や犯罪被害を防止します。また、ＳＮＳに起因するいじめや依存防止のための適正利用や被害防止の啓発について、関係機関などとの連携を強化しながら取り組みます。

【主な事業】

○青少年健全育成事業〔生活安全推進課〕

（１）街頭指導活動

少年センターの指導員が関係団体と共に「ＯＭＵＴＡ少年よくし隊」として、大型店舗や繁華街、公園、コンビニエンスストア、ゲームセンターなど、少年がたむろしそうな場所を定期的に巡回し、問題行動の早期発見と非行の未然防止に取組むとともに、青色パトカー（青色回転灯装備車）による昼夜間のパトロールや児童生徒の下校時間帯での見守り活動を実施しました。

①街頭指導活動概況　（延べ数）

区分／年度	実施回数	従事者数
R5	348 回	1,755 人
R6	366 回	1,777 人
R7	353 回	1,502 人

（※夜の青色パトカーによる街頭活動を含む）

②青色パトカー巡回活動概況（昼間のみ）　（延べ数）

区分／年度	実施回数	従事者数
R5	239 回	454 人
R6	242 回	466 人
R7	224 回	446 人

③指導概況（性別、学職別）　（単位：人）

区分／年度	男	女	合計	小学生	中学生	高校生	その他の学生	有職少年	無職少年	不明	合計
R5	95	112	207	3	85	119	0	0	0	0	207
R6	96	70	166	7	23	136	0	0	0	0	166
R7	122	86	208	21	87	100	0	0	0	0	208

④行為別指導実数　（単位：人（上段）・％（下段））

区分／年度	喫煙	夜間外出	夜遊び	深夜徘徊	交通マナー	不良交友	シンナー遊び	怠学	飲酒	その他	合計
R5	2	47	131	2	24	0	0	0	0	1	207
	1.0	22.7	63.2	1.0	11.6	0	0	0	0	0.5	100
R6	1	62	82	0	19	0	0	0	0	2	166
	0.6	37.3	49.4	0	11.5	0	0	0	0	1.2	100
R7	3	76	81	0	46	0	0	0	0	2	208
	1.4	36.5	39.0	0	22.1	0	0	0	0	1.0	100

※少年センターとしての時間の捉え方

夜間外出：～２０時　夜遊び：２０時～２２時　深夜徘徊：２２時以降

⑤指導した場所　（単位:人）

年度＼区分		ゲームセンター	カラオケ店等	大型店等	コンビニエンスストア	駅	路上	自宅等	寺院・神社	公園	海岸・河川	その他	合計	
R5	男子	6	0	19	0	0	33	0	2	23	0	12	95	207
	女子	0	0	80	2	0	4	0	2	22	0	2	112	
R6	男子	10	0	28	0	10	31	0	8	3	0	6	96	166
	女子	3	0	48	0	1	5	0	5	4	2	2	70	
R7	男子	0	0	10	0	0	56	0	4	32	14	6	122	208
	女子	2	0	34	0	0	22	0	1	27	0	0	86	

（２）有害環境浄化活動

さまざまなメディアを通じてもたらされる有害情報から青少年を守るため、福岡県青少年健全育成条例に基づき、店舗等の巡回、立入調査、要望書配布・指導など青少年の健全育成上、好ましくない有害環境の浄化活動を行いました。

（３）相談事業

悩みを持つ青少年自身のみならず保護者等からも相談を受け指導助言を行っています。

相談については、メールでの相談をはじめ、来所による相談も受け付けています。相談内容によっては、専門機関に紹介するケースもありました。

なお、電話相談については、より相談しやすい体制を確保するため、Ｒ４年１月から福岡県教育委員会が２４時間３６５日実施する「子どもホットライン２４」に一本化し、周知啓発を図っています。

①相談件数　（単位：件）

区　分	年　度	家　族	本　人	その他	合　計
来所相談	R5	0	0	0	0（0）
	R6	0	0	0	0（0）
	R7	3	1	0	3（4）
メール相談	R5	0	0	0	0（0）
	R6	0	1	0	1（1）
	R7	1	1	0	2（2）

※（ ）内は実際に相談された人

②相談内容内訳　（単位：件）

年度＼区分	健康	学業	交友交際	家庭	性	いじめ	非行	不登校	その他	合 計
R5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R6	0	0	1(1)	0	0	0	0	0	0	1(1)
R7	0	0	3	2	0	0	0	2	0	7(6)

※（ ）内は実際に相談された人

※１件に複数の相談内容を含む

（４）関係機関・団体等との連携活動

①啓発活動

「青少年の非行・被害防止全国強調月間」及び「社会を明るくする運動強調月間」に

あたる７月と「子ども・若者育成支援強調月間」の１１月を中心に次の行事を行いました。上記以外にも、関係機関からの要請に応じ、適宜活動を行っています。

ア　「ダメ。ゼッタイ。」普及運動

薬物乱用防止の啓発ポスターを掲示しました。

と　き　　６月２０日（金）から７月１９日（土）

ところ　　えるる

イ　第７５回‘社会を明るくする運動’街頭キャンペーン

立ち上げ式等を行いました。

と　き　　７月１日（火）

ところ　　ゆめタウンおおむた　２階わくわく広場

ウ　第７３回青少年健全育成弁論大会

市内の小、中、高校生による弁論大会を開催しました。

と　き　　７月３日（木）

ところ　　文化会館　小ホール

エ　大牟田市青少年健全育成毛筆書写・標語作品展

小、中学生から募集した毛筆書写５１点のほか、標語１０７点を展示しました。

と　き　　１１月２０日（木）～２８日（金）

ところ　　えるる　１階　展示コーナー

②若鳩会運営費補助

青少年の健全な保護育成を図ることを目的に、学校教師・警察署員・少年センター職員により組織されている若鳩会の活動に対して、運営補助金を交付しました。

その他

【主な事業】

〇社会教育委員の会議〔生涯学習課〕

社会教育委員の会議を設置し、社会教育に関し市民の意見を反映させるため、社会教育に関する諸計画の立案等について助言し、諮問に応じ意見を述べることを主な目的として会議を開催しています。

（１）会議の開催

第１回　と　き　７月２５日（金）１５時～１７時
　　ところ　大牟田市生涯学習支援センター　多目的室
　議　題　１　令和６年度社会教育委員の会議等実績報告及び令和７年度事業計画（案）
　　２　令和６年度社会教育振興プランの進捗について
　　３　令和７年度社会教育・生涯学習事業計画について(協議)
　　４　市民協働部関係施設供用駐車場の整備について

第２回　と　き　１１月２５日（火）１０時～１２時
　　ところ　大牟田市生涯学習支援センター　多目的室
　報　告　１　令和７年度南筑後地区社会教育委員交流会について
　　２　令和７年度第５５回九州ブロック社会教育研究大会福岡大会について
　　３　第７８回はたちの集いについて

第３回　と　き　Ｒ８年２月３日（火）１３時３０分～１５時３０分
　　ところ　大牟田市生涯学習支援センター　多目的室
　報　告　１　令和７年度第５５回九州ブロック社会教育研究大会福岡大会について(報告)
　　２　令和７年度社会教育・生涯学習事業報告について（報告)
　　３　第７８回はたちの集いについて(報告)
　　４　大牟田文化会館及び大牟田市総合体育館のネーミングライツについて(報告)
　　５　社会教育委員の１年を振り返って

（２）委員研修

①令和７年度南筑後地区社会教育委員交流会

ａ講義　「現代社会において大切にしていきたい人権感覚」
　講師　南筑後教育事務所　人権・同和教育室　主任指導主事　松藤　勲

ｂ実践　「地域全体で子どもを育てる体制づくりと社会教育委員」
　講師　大川市教育委員会 生涯学習課 社会教育主事 松延 聡

ｃ交流　「対話で探ろう、これからの取組」
　講師　南筑後教育事務所社会教育室 社会教育主事 東 圭希

②令和７年度　筑後地区市町村社会教育委員研修会

ａ講話　「つながりをつくる人権教育」
　講師　北筑後教育事務所人権・同和教育室 牟田拡充 氏

ｂ実践　「ひとづくりがまちづくりにつながる！～自分が好き・学校が好き・南薫が好き～」
　講師　久留米市社会教育委員久留米市南薫校区まちづくり振興会 会長 田中 幹雄

ｃ演題　「私たちのまちは私たちがつくる！『好き』や『困った』をつなげてまちで生きる」
　講師　講師 合同会社シェアリング・ラーニング 共同代表 諏訪 玲子 氏

○はたちの集いの開催〔生涯学習課〕

成人の自覚と社会参加の意識の醸成

第７８回はたちの集いの開催

※Ｒ４年度から成年年齢が１８歳に引き下げられたが、本市ではこれまでと同様に２０歳になった青年を対象に記念式典を開催しています。

と　き　Ｒ８年1月１１日（日）１５時～１６時

ところ　文化会館

内　容　大牟田市消防団員募集

アトラクション（司会：公募による式典対象者１人）

・大牟田高等学校吹奏楽部による演奏

・ありあけ新世高等学校ダンス部パフォーマンス

式典（司会：公募による式典対象者１人）

・国歌斉唱

・市民憲章唱和（市民憲章推進委員）

・誓いの言葉（公募による式典対象者２人）

・ボランティア協力団体等（市内高等学校及びガールスカウト福岡県第７団）

区 分	該当者数（人）			出席者（人）	出席率（%）
	男性	女性	合計		
R5 年度	471	439	910	589	64.7
R6 年度	395	429	824	604	73.3
R7 年度	371	390	761	572	75.2

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	指標･目標値設定の根拠
地域のために自らが出来ることに取り組みたいと思う市民の割合	目標値（%）	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	現状値を踏まえ 50.0%以上を目指す。［現状値:46.2%(R4 年度実績)］
	実績値（%）	54.1	54.2				
	達成度（%）	108.2	108.4				

【指標達成度に対する要因分析】

・「地域のために自らが出来ることに取り組みたいと思う市民の割合」については、Ｒ６年度の５４．１%から０．１ポイントアップの５４．２%となり、目標を達成しました。目標達成の１つ目の要因は、市民への幅広い学習機会の提供を行うとともに、地域ＳＤＧｓ／ＥＳＤ推進事業、人材育成・地域活動促進事業などを実施し、地域課題の把握や解決に向けた取組を行ったことで、学習活動の必要性や地域づくりに対する意識の醸成が図られたことが考えられます。また、２つ目の要因として学校ＳＤＧｓ／ＥＳＤ推進事業、子どもの居場所などの子どもたちに関わる取組をきっかけに、子どもたちのため、ひいては地域のために自ら取り組もうとする意識の変容がみられたことなどが、目標達成に貢献したものと考えられます。

【今後の方向性】

・地域での学習活動の支援では、課題やニーズを的確に捉えた学習の機会を、地区公民館等の市民に身近な場所で提供するとともに、学校や地域、関係機関との連絡調整を密にしながら、事業の企画運営を行います。
・学習活動で身につけた知識や技術を地域に還元できる環境づくりを支援するとともに、さまざまな媒体を活用し学習情報を提供します。
・今後も地域と子どもたちが関わる事業を実施し、地域にとっては子どもたちが将来の地域の担い手であること、子どもたちは地域とのつながりを認識することで、地域への愛着を育み、子どもたちが将来的に地域のためにできることを実施しようとする機運の醸成を図ります。

施策名	【まちづくり総合プラン第１編第５章】 **スポーツに気軽に親しめる機会と環境づくり**

誰もが、ライフステージに応じてスポーツに親しみ、楽しむことで、生涯にわたり心身ともに健康で、活気にあふれた生きがいある生活を営むことができるまちを目指します。

そのために、いつでも、どこでも、誰でも気軽に生涯にわたりスポーツに親しむことができるための機会づくりや支援の仕組みづくり、また、スポーツがしやすい環境づくりを推進します。

（視点１）誰もがどこでも気軽に親しめるスポーツ活動の機会づくり

子どもから高齢者、障害のある人、健康面に不安がある人や、日頃スポーツに親しみがない人などが気軽にスポーツに親しめる機会づくりを推進します。また、外出が困難な状況になっても、他の人と一緒に活動が実施できるよう、ＩＣＴを活用したスポーツの機会創出等に取り組みます。

【主な事業・取組】

○市民スポーツ推進事業〔スポーツ推進室〕

（１）市民スポーツ教室、市民スポーツ大会等の開催

①市民スポーツ教室（指定管理者）

スポーツ初心者を対象に、スポーツ活動への参加の機会をつくり、健康・体力の維持増進を図り、社会的交流を深めることを目的に、春・秋・新春の年３期に実施しました。

教　室　名	会　　場	指　導　者	参加者(人)
春のスポーツ教室（10 回）			
ニコニコエアロ体操教室	総合体育館　アリーナ	坂井　加陽子	59
ソフトバレーボール教室	〃　　〃	バレーボール協会	19
にこにこ体操教室	〃　　剣道場	㈱Ｍ＆Ｍ	30
卓球教室	〃　　アリーナ	卓球協会	22
健美操教室	〃　　多目的ホール	古賀　巧	46
秋のスポーツ教室（10 回）			
ダンスフィットネス・ヨガ教室	総合体育館　剣道場	早井　友美	53
ソフトテニス教室	〃　　アリーナ	ソフトテニス連盟	22
親子リズム体操教室	〃　　柔道場	ちゃいるどくらぶ	9(組)
バドミントン教室	〃　　アリーナ	バドミントン協会	29
健美操教室	〃　　多目的ホール	古賀　巧	53
新春スポーツ教室（10 回）			
３Ｂ体操教室	総合体育館　剣道場	3B 体操協会	36
テニス教室	〃　　アリーナ	テニス協会	33
太極拳教室	〃　　〃	太極拳協会	22
にこにこ体操教室	〃　　剣道場	㈱Ｍ＆Ｍ	21
健美操教室	〃　　多目的ホール	古賀　巧	57

②サマースポーツ教室（指定管理者）

小学３～６年生の少年・少女を対象に、スポーツ活動に親しむことを目的とし、夏休み期間中にスポーツ教室を実施しました。（１人１種目）。

教　室　名	会　　場	指　導　者	参加者
ミニバスケットボール	総合体育館　多目的ホール	バスケットボール協会	100
バドミントン	総合体育館　アリーナ	バドミントン協会	59
ソフトバレーボール	〃　　〃	バレーボール協会	48

教　室　名	会　　場	指　導　者	参加者
卓球	〃　　〃	卓球協会	26
ソフトテニス	〃　　〃	ソフトテニス連盟	25
ソフトボール	緑地運動公園　　ソフトボール場	ソフトボール協会	28
軟式野球	延命球場	軟式野球連盟大牟田支部	51

③市民スポーツ大会（指定管理者、スポーツ都市宣言推進協議会共催）

市民の誰もが気軽に参加でき、みんなで楽しめるスポーツの大会を実施しました。

大　会　名	期　　日	会　　場	参加者
市民グラウンドゴルフ大会	4 月 20 日(日)	諏訪公園イベント広場	32
市民ソフトバレーボール大会	6 月 8 日(日)	総合体育館	91
市民女子フットベースボール大会	9 月 14 日(日)	緑地運動公園運動広場	119
市民健康マラソン大会	R8 年 1 月 18 日(日)	諏訪公園	1,025
延命公園周辺ウォーキング	R8 年 2 月 22 日(日)	延命公園周辺	13

〇地域スポーツ活動推進事業〔スポーツ推進室〕

（１）地域元気アップスポーツ事業の実施（委託先：大牟田市スポーツ推進委員協議会）

市民がより身近にスポーツに親しめるきっかけづくりとして、体験教室などを開催しました。

①地域ふれあい元気ウォーキング

期　日	集合場所	コ　ー　ス	参加者(人)
R8 年 3 月 8 日(日)	羽山台小学校	羽山台小学校～高田行宮跡～三池陣屋の眼鏡橋～大間城跡～羽山台小学校	26

②スロージョギング教室

期　日	場　所	内　容	参加者(人)
10 月 19 日(日)	総合体育館（会議室・柔道場）	スロージョギングの講義及び実技	18
11 月 22 日(土)	総合体育館（多目的ホール）	スロージョギングの実技	17

③ニュースポーツ体験教室

期　日	場　所	内　容	参加者(人)
11 月 8 日(土)	第二グラウンド	モルック	19

（２）スポーツ推進委員等指導者の育成・支援

①スポーツ推進委員の育成

スポーツ推進委員は、住民のスポーツ振興のため、住民の求めに応じ、実技指導やスポーツ活動促進の組織育成、教育機関及び行政機関のスポーツ行事・事業への協力、住民に対するスポーツの普及並びに指導助言等を行います。

本市では５５人のスポーツ推進委員を委嘱しており、資質向上を図るため、各種研修会を実施しています。

ア　大牟田市スポーツ推進委員研修会

大牟田市スポーツ推進委員協議会では、スポーツ推進委員の資質向上を図ることを目的に研修会を実施しました。

期　日	場　所	研　修　内　容	参加者（人）
9月28日(日)	生涯学習支援センター 第二グラウンド	モルックについて	32

イ　スポーツ推進委員の研修会等派遣事業

九州・福岡県の上部団体が主催する研修会等にスポーツ推進委員を派遣しました。

期　日	研　修　名　称	開催地	参加者（人）
6月22日(日)	福岡県初任者スポーツ推進委員研修会	福岡市	3
9月7日(日)	スポーツ推進委員スキルアップ研修会 （旧：中堅スポーツ推進委員研修会）	福岡市	1
R8年1月17日(土) ～18日（日）	九州地区スポーツ推進委員研究大会	那覇市	2

（3）スポーツ推進委員による地域スポーツ活動支援

スポーツ活動を通じて仲間づくりや多世代間の交流の活性化を図り、コミュニティの形成を目的に、スポーツ推進委員による地域スポーツ活動への支援（企画、指導・助言、運営）を行いました。

地域行事数	参加者(人)	内　容			
		企画	指導・助言	運営	その他
83	延べ8,123	53	60	71	2

※スポーツ行事・活動に限定したもののみ掲載しています。

（4）地域スポーツクラブ育成・支援

総合型地域スポーツクラブとは、地域の特徴を生かし、地域のアイディアにより自主的に運営され、スポーツなどを通して地域の人と人との豊かなつながりを形成するものであり、当該団体の役員会にオブザーバーとして関与しています。

設置団体：１団体（Ｈ１７年度～　右京ふれあい健康クラブ）

(右京ふれあい健康クラブ活動実績)

期　日	内　容	場　所	参加者(人)
毎週火曜日	右京ふれあいタイム（卓球、バドミントン）	天領小学校、 宅峰中学校	延べ768
【クラブ活動】	バドミントン部　（毎週火･土曜日、天領小学校、宅峰中学校） 大牟田Jrバレー　（毎週水曜日、天領小学校） ヨガ教室　（毎週土曜日、天領小学校） 卓球部　（毎週土曜日、天領小学校、三川地区公民館）		

〇子どもの体力向上事業〔スポーツ推進室〕

（1）親子運動セミナー（委託先：大牟田市スポーツ推進委員協議会）

子どもにとってスポーツは、生涯にわたって健康や体力を保持・増進するための大切な活動であり、幼少期からスポーツを経験することの重要性を伝え、スポーツの日常化を図るため、親子で参加でき、子どもが運動・スポーツを好きになる「親子運動セミナー」を実施し、子どもの成長に合わせた運動の必要性の理解のための親を対象としたセミナーや、アビスパ福岡サッカースクールコーチによるボールを使用した運動などを行いました。

期日	内容	場所	参加者数
5 月 25 日(日)	子どもの体力測定、保護者セミナー	明治小学校	68 人（27 組）
6 月 8 日(日)	親子で運動遊び	明治小学校	69 人（28 組）
6 月 15 日(日)	親子で運動遊び	明治小学校	68 人（26 組）
11 月 23 日(日・祝)	親子で運動遊び	明治小学校	45 人（19 組）
12 月 21 日(日)	子どもの体力測定	明治小学校	36 人（14 組）

〇スポーツ少年団育成委託事業〔スポーツ推進室〕

スポーツ少年団員の体力・健康の現状を把握し、その増進を図るとともに、各少年団相互の親善と友情を深めるための事業（体力テスト、交流ドッジボール大会）を実施しました。また、機関紙「おおむたしスポーツ少年団ニュース」を発行し、その中で、スポーツ少年団への加入促進を図りました。

期日	内容	場所	参加者	
			団体数	人数
12 月 13 日(土)	体力テスト	総合体育館	16	219
R8 年 2 月 8 日(日)	交流ドッジボール大会	総合体育館	衆議院議員選挙のため中止	

スポーツ少年団の加入状況

区分　　年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
スポーツ少年団数	32	32	33
加入者数	453	475	469

〇おおむたっ子がんばれ奨励金事業〔生涯学習課、スポーツ推進室〕

１８歳以下の市民が地区予選を経て全国レベルの大会又は国際大会に出場する際に、青少年の育成、スポーツ・文化の振興、選手・出場者の意欲の向上に寄与するため、青少年健全育成基金を活用し、「おおむたっ子がんばれ奨励金」を交付しました。

区　分		R5 年度	R6 年度	R7 年度
スポーツ	全国大会等出場者数	201 人	211 人	132 人
	交付額	603 千円	643 千円	396 千円
文化芸術	全国大会出場者数	185 人	135 人	136 人
	交付額	371 千円	298 千円	354 千円

（視点２）活気あるスポーツ活動を支える仕組みづくり

市民が豊かなスポーツライフを形成し、定着していくことができるよう、活動支援のための仕組みづくりを推進します。また、スポーツ組織・団体の連携を促進するとともに、活動の活性化を図り、スポーツを通したまちづくりを推進します。

【主な事業・取組】

〇スポーツ組織・団体等連携促進事業〔スポーツ推進室〕

（１）体育協会や競技団体等とのスポーツの普及及び競技力向上に関する連携・支援

①スポーツ都市宣言推進協議会との連携

本市では、Ｈ２年７月、スポーツを通した「人づくり」、「まちづくり」を目指す決意を込めて「スポーツ都市宣言」を行いました。その周知並びに実践活動を推進するため、スポーツ関係団体、学校、地域団体、企業、医療、福祉、行政など、市内の各種団体により組織された「スポーツ都市宣言推進協議会」と連携し、スポーツを通じた住みよいまちづくりに努めています。

②おおむた市民体育大会委託事業（委託先：大牟田市体育協会）

市民の競技スポーツにおける競技水準の向上と、競技団体相互の連帯と融和を図るために、２０大会を開催しました。

大　会　名	期　日	会　場	参加者(人)
大牟田市バレーボール選手権大会	4月6日（日）	総合体育館	200
太極拳合同発表会	4月27日（日）	まいピア高田	100
市民軟式野球大会	6月15日（日）～10月12日（日）	延命球場　他	180
大牟田市ゴルフ協会会長杯市民ゴルフ大会	6月1日（日）	有明カントリークラブ	157
おおむた弓道選手権大会	7月21日（月・祝）	宅峰中弓道場	100
大牟田市民バドミントン大会	8月17日（日）	総合体育館	320
大牟田市サッカー選手権大会	8月31日（日）	宮原中学校 他	90
大牟田市長杯ソフトテニス大会	8月31日（日）	緑地運動公園 他	254
市長杯ソフトボール大会	9月28日(日)～10月19日(日)	緑地運動公園	300
大牟田市民テニス大会	9月21日（日)・23日（火・祝）	緑地運動公園 他	107
大牟田市剣道選手権大会	10月5日（日）	総合体育館	145
おおむたクレー射撃大会	10月5日（日）	玉名クレー射撃	15
大牟田市グラウンドゴルフ選手権大会	10月14日（火）	緑地運動公園	44
大牟田市長杯争奪ボウリング選手権大会	11月23日（日・祝）	大牟田Ｊボウル	32
大牟田駅伝競走大会	R8年1月11日（日）	諏訪公園	410
大牟田市民卓球大会	R8年2月22日（日）	総合体育館	77
おおむた市長杯アーチェリー大会	R8年3月22日（日）	総合体育館	11
大牟田地区柔道大会	R8年3月8日（日）	大牟田高等学校	105
バスケットボール総合選手権大	R8年3月7日（土）・20日（金・祝）	総合体育館	300
大牟田市ゲートボール選手権大	R8年3月7日（土）	旧勝立中グラウンド	32

（２）中学校運動部活動支援

中学生の体育活動の発展と技術向上を図るため、大牟田市中学校体育連盟に対し、運営及び大会出場に係る費用の一部負担を行いました。

内　容	対象者数	負担金額（円）
運営負担金	－	350,000
九州・全国大会出場負担金	7	202,565
地区・県大会出場負担金	608	844,695
地区・県新人大会出場負担金	201	167,770

（３）スポーツ市民の祭典（委託先：スポーツ都市宣言推進協議会）

スポーツ都市宣言の啓発・普及を図るとともに、広く市民が集い、子供から高齢者まで誰もが参加でき、楽しめるスポーツ・レクリエーション行事を実施することにより、市民の健康増進及び相互の連帯と融和を図り、スポーツの普及・発展、さらには、健康的で明るい市民生活の確立に寄与することを目的として開催しました。

と　き　１０月１２日（日）、１０月１３日（月・祝）

ところ　御大典記念グラウンド・総合体育館、諏訪公園イベント広場・多目的広場

主　管　スポーツ２０２５市民の祭典実行委員会

期　　日	内　　容	参加者(人)
10 月 12 日（日）	ア　開会式	2000
	イ　むかで競走、長靴とばし、少年団対抗リレー、小・中学生リレー	978
	ウ　なわとび競争	294
	エ　少年団対抗競技・ニュースポーツ	190
	オ　バザー・イベント	多数
10 月 13 日（月・祝）	ア　ソフトバレーボール大会	118
	イ　ミニサッカー大会	198
	ウ　グラウンドゴルフ大会	35

○競技スポーツ振興支援事業〔スポーツ推進室〕

（１）全九州都市対抗陸上競技大会の支援

九州一円の各郡市の代表選手が一堂に会し、九州地区の競技力の向上並びに親睦と融和を図る目的で開催された第７８回全九州都市対抗陸上競技大会を支援しました。

と　　き　　４月１３日（日）

と こ ろ　　御大典記念グラウンド

主　　催　　九州陸上競技協会、ＮＰＯ法人大牟田市体育協会

共　　催　　大牟田市

主　　管　　福岡陸上競技協会、大牟田市陸上競技協会

後　　援　　朝日新聞社

参　　加　　４１郡市　参加者４８７

種　　目　　[男子の部]１００m、２００m、４００m、８００m、１,５００m、５,０００m、１１０mH、４００mH、４×１００mリレー、３,０００m障害、走高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投

[女子の部]１００m、２００m、４００m、８００m、１,５００m、３,０００m、１００mH、４００mH、４×１００mリレー、走高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投

[男女混合の部]４×４００mリレー

ジュニア種目［男子］１００m（中学生・高校生)、４×１００mリレー（中学生）

［女子］１００m（中学生・高校生)、４×１００mリレー（中学生）

区　分	1　位	2　位	3　位	4　位	5　位
総　合	福岡市	大牟田市	久留米市	合志市	大分市
男　子	福岡市	大牟田市	久留米市	佐賀市	宇城市
女　子	福岡市	久留米市	大牟田市	合志市	大分市

（２）県民スポーツ大会への選手団派遣

福岡県民スポーツ大会は、夏季大会、秋季大会、冬季大会の３大会が開催され、本市代表として出場する選手団を派遣しました。

Ｒ７年度の夏季大会及び秋季大会は、北九州地区・京築地区で開催され、夏季大会及び秋季大会を合わせた総合順位は８位でした。

①夏季大会　　開催日　８月１７日（日）

競　技　名	開　催　地	派遣人数（選手）	主　な　結　果（入　賞）
水泳	桃園市民プール	30	1位　高校生男子　50m自由形 2位　高校生混合　200mメドレーリレー 2位　少年の部女子　200mフリーリレー 2位　中学生女子　50m背泳ぎ 2位　小5・6男子　50m自由形 2位　小4以下女子　50m平泳ぎ 4位　高校生女子　50m背泳ぎ 5位　小5・6女子　50m自由形 5位　高校生男子　50mバタフライ 5位　少年の部男子　200mフリーリレー 5位　中学生混合　200mメドレーリレー 7位　高校生男子　50m自由形

②秋季大会　　開催日　９月２０日（土）・２１日（日）

競　技　名	開　催　地	派遣人数（選手）	主　な　結　果（1位～3位）
陸上競技	みやこ町	17	2位　青年男子 3位　一般男子
バスケットボール	北九州市	60	2位　青年女子
バレーボール	みやこ町、苅田町 行橋市、上毛町、吉富町	84	2位　青年女子 2位　壮年女子 3位　青年男子
ソフトテニス	北九州市	18	
卓球	豊前市	22	
バドミントン	北九州市	26	3位　壮年女子B
柔道	行橋市	10	3位　青年男子 3位　一般男子
剣道	行橋市	12	
弓道	北九州市	15	
ソフトボール	北九州市	18	1位　一般男子Ⅱ
テニス	北九州市	8	

③冬季大会(駅伝)　　開催日　１１月１６日（日）

競　技　名	会　場	成　績（総合の部）
第 12 回市町村対抗福岡駅伝	県営筑後広域公園周回コース （8 区間 25.7ｋｍ）	9 位（60 市町村中） タイム：1 時間 24 分 09 秒

（３）スポーツカレンダー等による大会・施設等の情報発信

日本スポーツ振興センターの助成事業を活用し、種目毎のスポーツイベントの開催、スポーツ施設の紹介、スポーツ少年団一覧、ニュースポーツ用具の貸出紹介など、本市のスポーツ情報を掲載したスポーツカレンダーを制作し、市民に配布を行うことで、スポーツ実施の機会づくりの啓発・普及を行いました。

なお、今後は情報提供の手法を見直し、スポーツカレンダーの冊子印刷は行わず、市ホームページ等でスポーツ情報の発信をしていく予定です。

○広域スポーツ交流促進事業〔スポーツ推進室〕

（１）広域スポーツ大会奨励補助

競技スポーツの振興に寄与し、本市の活性化に貢献するものとして開催される広域スポーツ大会を奨励するため、大会の開催費用の一部を補助しました。

大　会　名	期　日	会　場	参加者(人)
大牟田市近県中学生バレーボール選手権大会	5 月 3 日(土・祝)	総合体育館　他	700
有明杯アーチェリー大会	5 月 18 日(日)	第二グラウンド	32
有明海沿岸ジュニアサッカー大会	8 月 2 日(土)・3 日(日)	諏訪公園 他	384
大蛇山卓球大会	8 月 31 日(日)	総合体育館	480
全九州高校秋季県大会	9月7日(日)・13日（土）・14日（日）	緑地運動公園 他	650
有明少年野球大会	10 月 13 日(月・祝)・18 日（土） 19 日（日)・25 日（土）	延命球場 他	1,000
2025 リレーフェス in Omuta	10 月 19 日(日)	御大典記念グラウンド	895
大牟田市会長杯近県ソフトテニス選手権大会	11 月 16 日(日)	緑地運動公園 他	192
大牟田オープン小学生バドミントン大会	12 月 20 日(土)	総合体育館	219
優勝弓争奪近県弓道大会	R8 年 3 月 15 日(日)	総合体育館	中止

（２）各種スポーツ事業への共催・後援による支援

スポーツの普及・向上に寄与する公共性の高いスポーツ事業等に対して、共催・後援等による支援の決定を行いました。

共催　１件　　後援　３５件（実質後援２８件、名義後援７件）

○スポーツツーリズム推進事業［スポーツ推進室］

（１）トップレベルのスポーツ大会等開催支援補助

おおむたアリーナ開館記念事業として開催された、トップレベルのスポーツ大会等の開催費用の一部を補助しました。

12 月 21 日(日)	【おおむたアリーナ開館記念】 体操競技模範演技会　並びに　大牟田市体操教室発表会

（２）東京２０２０オリンピック・パラリンピック継承事業

東京２０２０オリ・パラ事業継承大牟田市実行委員会は、Ｒ７年度をもって解散しました。

（視点３）スポーツがしやすい環境づくり

市民が身近なところで、いつでも気軽にスポーツができるよう、スポーツ施設の整備・充実、学校体育施設の開放など、多様なスポーツ活動の場を提供するとともに、指導者の育成やスポーツ情報等の提供など、スポーツがしやすい環境づくりを推進します。

【主な事業・取組】

○スポーツ活動の場の整備・充実事業〔スポーツ推進室〕

（１）スポーツ施設の整備・改修等

本市は、延命球場、延命プール、御大典記念グラウンド等、多くのスポーツ施設を有していますが、Ｒ６年度に供用を開始した総合体育館を除き、各施設は老朽化しており、日本スポーツ振興センター助成事業（toto くじ助成）等を活用しながら、大規模な補修、改修等工事を実施しています。

また、公共施設維持管理計画に基づき、中・長期的な視点に立って改修等工事を行うなど、安心・安全に利用できるよう、施設整備に努めています。

Ｒ７年度は、御大典記念グラウンドの第３種公認検定の受検のための大規模改修を行いました。

（２）学校体育施設開放事業

地域住民の日常スポーツの場として、学校教育に支障をきたさない範囲で、小・中・特別支援学校の体育施設（体育館、運動場、中学校剣道室・柔道室、宅峰中弓道場、甘木中運動場夜間照明施設）を一般に開放しました。

区　分	R5 年度	R6 年度	R7 年度
利用団体	202	202	202
利用件数	11,570	11,965	11,898
利用人数(人)	169,139	181,947	169,474

○スポーツ活動を支える担い手づくり事業〔スポーツ推進室〕

（１）指導者の確保・育成のための研修会等の実施

①スポーツ少年団指導者研修会

スポーツ少年団の指導者を対象に、安全なスポーツ指導を行うとともに、資質の向上を図るため、研修会を開催しました。

期　日	場　所	研　修　内　容	参加者(人)
R8 年 2 月 27 日(金)	総合体育館　会議室	「小学生だからこそ行いたいトレーニング」	36

②スポーツ医科学研修会（指定管理者）

生涯スポーツを推進するに当たり、スポーツを通した健康増進の知識を習得し、スポーツ活動において健康なからだづくりを目指すことを目的に研修会を開催しました。

期　日	場　所	研　修　内　容	参加者(人)
R8 年 3 月 9 日(月)	総合体育館　会議室	講演「最近のスポーツと健康の関連について」	68

（２）表彰・奨励事業

①スポーツ功労者表彰

本市において、多年にわたり体育・スポーツの普及振興に寄与し、その功績が顕著である者、またはスポーツ競技会において抜群の成績をあげ、その競技の発展に尽くした功績が顕著である者に対し、それぞれ功労賞と記録賞（最優秀賞、優秀賞、奨励賞）を授与しま

した。例年、スポーツ市民の祭典時に表彰を行っています。

【功労賞】

田中　正人	市体操協会の役員として、体操競技の普及・発展に寄与
松藤　秀樹	市陸上競技協会の役員として、陸上競技の普及・発展に寄与
木下　通	市ソフトテニス連盟の役員として、ソフトテニス競技の普及・発展に寄与
西田　吉博	市弓道連盟の役員として、弓道競技の普及・発展に寄与
堺　利彦	市スポーツ少年団の役員として、本市のスポーツ振興の普及・発展に寄与

【記録賞】

ア　最優秀賞

髙橋　南乃	①2025 年グランプリ・アッパーオーストリア ②2025 年全日本選抜柔道体重別選手権大会 ③令和 7 年度 全国高等学校総合体育大会柔道競技大会 ④第 47 回全国高等学校柔道選手権大会	①女子個人 70kg 級 3 位 ②女子個人 70kg 級 3 位 ③女子個人 70kg 級 優勝 ④女子個人無差別級 優勝

イ　優秀賞

大牟田高等学校 柔道部（男子）	①第 97 回令和 7 年度金鷲旗高校柔道大会 ②第 47 回全国高等学校柔道選手権大会	①団体戦　準優勝 ②団体戦　3 位
大牟田高等学校 柔道部（女子）	第 47 回全国高等学校柔道選手権大会	団体戦　優勝
大牟田高等学校 駅伝部	第 75 回全国高等学校駅伝競走大会	準優勝 記録:2 時間 1 分 57 秒
永松　優音	第 47 回全国高等学校柔道選手権大会	女子個人 52kg 級 3 位
南野　帆乃夏	第 47 回全国高等学校柔道選手権大会	女子個人 63kg 級 3 位
平松　侍	第 47 回全国高等学校柔道選手権大会	男子個人 60kg 級 3 位

ウ　奨励賞

宮辺　鼓太郎	第 28 回九州高等学校新人柔道大会	男子個人 66kg 級 優勝
塩山　晴生	第 28 回九州高等学校新人柔道大会	男子個人 73kg 級 優勝
中村　常一郎	第 28 回九州高等学校新人柔道大会	男子個人 90kg 級 優勝
稲田　三彩	第 27 回九州ジュニア柔道体重別選手権大会	女子個人 48kg 級 優勝
河原　悠斗	第 56 回九州ジュニア柔道体重別選手権大会	男子個人 81kg 級 優勝
森山　陽貴	第 56 回九州ジュニア柔道体重別選手権大会	男子個人 73kg 級 優勝

〇総合体育館等整備事業［スポーツ推進室］

旧市民体育館はＳ４９年築で老朽化が進み、バリアフリーや耐震基準等に問題を抱えていました。

このため、Ｒ２年度に基本コンセプトを「スポーツや運動を通じて、ひとを健康に、まちを元気にする緑に囲まれた総合体育館」とする総合体育館を建設することとした基本設計を行い、Ｒ３年度には実施設計及び施工事業者を選定し、基本設計に基づいた実施設計を取りまとめました。

この実施設計に基づき、従来のスポーツ拠点機能に加え、他の公共施設における市民活動の場を取り込むことで、市民がスポーツをはじめ様々な活動を通じて集い交流するスポーツ拠点施設を形成することとして、Ｒ４年度からＲ５年度にかけて総合体育館を建設し、Ｒ６年４月に開館しました。

Ｒ６年度には、旧市民体育館と旧第二市民体育館を解体し、Ｒ７年度には、総合体育館前に駐車場と、インクルーシブ遊具を備えた芝生広場を整備しました。

また、Ｒ８年４月１日からネーミングライツを導入し、愛称が「３３９おおむたアリーナ」に決定しました。（愛称使用期間：令和８年４月１日～令和１３年３月３１日）

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	指標･目標値設定の根拠
週１回以上、運動・スポーツを行っている市民の割合	目標値（%）	54.0	56.0	58.0	60.0	62.0	スポーツ推進計画に掲げる目標値を基に、毎年度２ポイントの向上を目指す。 ［現状値:39.6%(R4 年度実績)］
	実績値（%）	44.7	43.9				
	達成度（%）	82.8	78.4				

【指標達成度に対する要因分析】

・本市のスポーツ推進計画に掲げる､｢誰もがどこでも気軽に親しめるスポーツ活動の機会づくり｣､｢活気あるスポーツ活動を支える仕組みづくり｣､｢スポーツがしやすい環境づくり｣の３つの基本施策のもと、各種事業を実施しています。
・事業実施に当たっては、スポーツ都市宣言推進協議会、体育協会、スポーツ推進委員協議会等と連携し、各種スポーツ行事を開催するなど、各種スポーツ活動の機会を提供しました。
・成果指標については、Ｒ６年度４４．７％と比較して０．８ポイントの微減となりました。
・目標値の達成に向けて、引き続き各種関係団体等と連携し、日頃からスポーツや運動を行っていない市民への情報提供や、実施に向けたアプローチが必要です。

【今後の方向性】

・目標値の達成に向けて、日頃からスポーツや運動を行っていない市民への情報提供や、実施に向けたアプローチをかけていきます。具体的には、スポーツ・運動の持つ魅力や効果を発信することにより、興味・関心を持ってもらい、スポーツに気軽に参加できるような機会づくりを行います。
・市民の誰もがどこでも、生涯にわたりスポーツに親しみ、健康で明るい生活を送るために、多様な団体等との連携のもと、さまざまな機会を捉え、各種事業のタイムリーな情報提供を行い、スポーツ人口の増を図ります。
・Ｒ６年４月に開館した総合体育館は、子どもから高齢者まで、また、障害がある人もない人も、誰もが気軽に利用しやすい環境を整えました。健康づくり、体力づくりの拠点として、スポーツや運動を通じて人を健康に、まちを元気にする施設を目指して、十分な利活用を促進していきます。

施策名	【まちづくり総合プラン第１編第６章】 **郷土の歴史と文化芸術を通して心豊かに生活できる社会づくり**

郷土の歴史や遺産を大切に継承・活用し、郷土を愛する気持ちと誇りをはぐくむとともに、市民が文化芸術を通して心豊かで充実した生活を送ることができる文化の薫るまちを目指します。

そのため、郷土の歴史と遺産を学び、理解する機会づくりや、市民が文化芸術に親しみ、参加できる機会づくりを推進します。

（視点１）まちの歴史や文化を守る・知る・活かす

三池炭鉱関連施設をはじめ、地域に残されている歴史遺産を適切に保存し、郷土の歴史や文化に触れ、遺産の魅力を再発見し、過去・現在・未来とのつながりについて理解を促すとともに、歴史遺産を地域づくりに活用する取組を充実します。

【主な事業】

○世界遺産保存・整備事業〔世界遺産・文化財室〕

（１）世界遺産の管理・修復・活用

①史跡「三井三池炭鉱跡」の保存・管理

適切な施設の維持管理のため、外柵の補修や樹木の伐採、除草清掃を行いました。

②重要文化財「三池炭鉱宮原坑施設」の保存

Ｒ７年度は、宮原坑竪坑櫓地下空間への階段等整備や外柵の設置を行いました（文化庁補助事業)。

③大牟田市近代化遺産保存活用基金

大牟田市近代化遺産保存活用基金を、市内の近代化遺産の保存・整備に活用するためにＨ１８年度に設置しました。

Ｒ７年度は国登録有形文化財「古賀家住宅主屋」所有者から申請があり、古賀家住宅瓦屋根塗装工事を行ったほか、三井港倶楽部の外壁修理工事を実施しました。

（単位：千円）

R6 年度決算に伴う基金高　①	R7 年度中の増減額		R7 年度決算に伴う基金高①＋②－③
	積　立　額　②	取　崩　額　③	
35,777	141	25,430	10,488

○世界遺産・歴史遺産理解促進事業〔世界遺産・文化財室〕

（１）近代化産業遺産を活用したまちづくりの推進

①啓発グッズの作成

近代化産業遺産の記憶を次世代に伝えていくため、近代化産業遺産を活用したまちづくり協議会と共に、オリジナルポロシャツの啓発グッズを作成、販売しました。

②小学生を対象にした近代化産業遺産見学会の実施

市内小学校の全６年生を対象に、三池炭鉱関連の近代化産業遺産を見学する、バス見学会を実施しました。

参加者数　約８００人

③環境美化活動の実施

ア　宮原坑駐車場への団体による花の植栽

駛馬校区まちづくり協議会、近代化産業遺産を活用したまちづくり協議会

イ　三川坑跡での市民、団体等による日本庭園の清掃等

ＮＰＯ法人三池港未来のまちづくり会、市民の方々

④幼稚園・小学校・中学校・高校との協働

世界遺産学習に取り組む、はやめ幼稚園、駛馬小学校、宮原中学校の子どもたちが絵を描いた木製プランター（三池工業高校の土木科生徒が作成したもの）を、宮原坑に寄贈を受けました。

（２）世界遺産関連施設の価値の啓発

①市内近代化遺産一斉公開の実施

全国近代化遺産活用連絡協議会事業「近代化遺産一斉公開」の一環として、官民協働で「宮原坑フェスタ」を実施しました。

実 施 日　　１１月３日（月・祝）１０時～１５時

場　　所　　宮原坑

内　　容　　ステージイベントや飲食ブースなどの催し

参加者数　　約５，３００人

②宮原坑、三池港展望所、旧長崎税関三池税関支署の定期公開

宮原坑は毎週月曜日及び年末年始を除き毎日公開し、三池港展望所は毎日公開（ガイドは土日曜、祝日のみ）、旧長崎税関三池税関支署は土日曜・祝日のみ公開しました。

見学者数　　１６，５０４人（宮原坑）、６，１８９人（三池港展望所）、

１，２５２人（旧長崎税関三池税関支署）

③世界遺産登録１０周年事業の実施

ア　世界遺産登録記念給食の実施

三池エリアの構成自治体である大牟田市、熊本県荒尾市、宇城市の３市合同で、世界遺産を連想させる学校給食コラボを実施しました。

市内の全市立小・中学校と特別支援学校においては、三池炭鉱の石炭にちなんだ石炭ビーンズを提供しました。

イ　パネル展の実施

世界遺産登録１０周年を記念して、九州国立博物館でパネル展を開催し、ご当地キャラのパフォーマンスや世界遺産の魅力を語るトークイベントなどを実施しました。

実施期間　　９月２３日（火・祝）～１０月５日（日）

ウ　１０周年記念のつどいの開催

２０１５年に世界遺産に登録されて１０周年を迎えるにあたり、関係者や地域の方々、駛馬小学校をはじめとする児童生徒や学校関係者などに感謝を伝えるため、「世界文化遺産登録１０周年記念のつどい」を開催しました。

大牟田北高校書道部による書道パフォーマンスに始まり、功労者表彰や駛馬小学校６年生による世界遺産学習発表、「三池炭鉱・三池港を未来に伝える」と題したシンポジウムを行いました。

④世界遺産キッズアカデミーの実施

福岡県世界遺産連絡会議（福岡県・大牟田市・北九州市・中間市）の主催で世界遺産の構成資産がある地元の小学校の児童を対象として、世界遺産の価値や魅力を伝えるオンライン講座を実施しました。講座で学んだことを各小学校が相互にオンラインで発表し、児童同士の交流を深めました（駛馬小学校６年生が参加）。

また、八幡エリア（北九州市・中間市）と三池エリア（大牟田市）の小学生が相互に訪問する「世界遺産エリア間交流ツアー」を初めて実施しました。

実 施 日

講　　座　　６月５日（木）、２０日（金）、７月３日（木）

発 表 会　　１１月２０日（木）
交流ツアー　　１１月１３日（木）、１２月２日（火）
参加者数　　約２００人

⑤世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」カードラリー２０２５の実施

世界文化遺産登録１０周年を記念し、「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会の主催により、本市を含む８県１１市に所在する世界遺産の構成資産、ガイダンス施設や関連施設を楽しみながらめぐるカードラリーを実施しました。

実 施 日　　７月１日（火）～９月３０日（火）

⑥宮原坑ライトアップ

日本赤十字社福岡県支部の依頼を受けて、期間限定で宮原坑を赤色にライトアップしました（本市ではＲ３年度から協力しており、Ｒ７年度で５回目）。

実 施 日　　５月１日（木）～８日（木）

⑦アクロス福岡でのパネル展・講座

世界遺産の価値や魅力を効果的に発信し、本市及び三池エリアの構成資産に対する理解増進、来訪促進を図ることを目的としたパネル展・講座を実施しました。

（パネル展）

期　　間　　アクロス福岡　５月５日（月・祝）～１１日（日）
福岡県庁　１０月１日（水）～１２月１２日（金）

場　　所　　アクロス福岡１階 コミュニケーションエリア、福岡県庁１１階 物産観光展示室「福岡よかもんひろば」

来場者数　　２６，７１８人

（講演会）

日　　時　　１０月１５日（水）、１１月６日（木）

場　　所　　福岡県庁１１階 物産観光展示室「福岡よかもんひろば」

※来場者数はカウントなし。

⑧「私のおおむた世界遺産」絵画・ポスターコンクールの実施

大牟田地方ユネスコ協会との共催で市内の小・中・高校に通う児童・生徒を対象とし、世界遺産を通し本市への愛着と誇りをより深めることを目的とした絵画・ポスターコンクールを実施しました。

募集期間　　７～９月

応募総数　　１８５点

⑨出前講座等の実施

世界遺産の価値を広く知ってもらうことを目的として、出前講座等を実施しました。

ア　講師派遣・視察対応

講師派遣　　８件
視察対応　　４件

イ　各種事業への共催等の実施

後　　援　　３件

〇文化財保護事業〔世界遺産・文化財室〕

（１）指定文化財の保護

①指定文化財の管理

ア　指定文化財地内除草清掃（潜塚古墳、萩ノ尾古墳、早鐘眼鏡橋、上内立花内膳家墓地）、指定文化財定期点検（毎月）、災害時点検を実施しました。

イ　国指定史跡「萩ノ尾古墳」の石室内部の保存環境について、定期的な記録管理を行

いました。

（２）文化財の調査・公開・活用

①埋蔵文化財発掘調査

試掘・確認調査（国・県補助事業）

各種開発に伴う事前の文化財の有無に関する問合せが８９０件あり、そのうち試掘・確認調査を行ったのは８件、本調査を行ったのは１件でした。

②文化財防火デー

ア　福岡県指定文化財「旧長崎税関三池税関支署」において、文化財防ぎょ訓練を実施しました。

実 施 日　　Ｒ８年1月２６日（月）

イ　文化財防火デーを周知するため、ポスターを国指定・登録文化財（建造物）所有者に配布し、掲示を依頼しました。

ウ　県指定文化財「慈覚大師坐像」「薬師如来坐像」が安置されている普光寺本堂と、旧長崎税関三池税関支署の防火設備の点検を行いました。

③文化財保護強調週間

所有者の協力を得て、５月と１１月に国登録有形文化財「古賀家住宅主屋」を公開しました。

④ぜんでこ踊り保存会補助

市指定無形民俗文化財「岡天満宮祭礼行事」の保存団体であるぜんでこ踊り保存会へ補助金を交付しました。

⑤常設・企画展示の充実（三池カルタ・歴史資料館）

三池カルタ・歴史資料館が行う常設・企画展に対し、協力・助言・指導を行いました。

（常設・企画展の内容については、「社会教育施設等の状況　三池カルタ・歴史資料館」（１７１～１７４ページ）を参照）

（３）文化財保護の啓発

①文化財説明板の更新

県指定文化財「湯谷柳川領境界石」の文化財説明板を更新しました。

②出前講座等の実施

大牟田の成り立ち・歴史について広く知ってもらうことを目的として、出前講座等を実施しました。

ア　講師派遣・視察対応

講師派遣　６件　　視察対応　２件

イ　各種事業への共催等の実施

後援　２件

③三池カルタ・歴史資料館共催事業

ア　古代体験講座「勾玉つくり」

実 施 日　　８月１１日（月・祝）

場　　所　　カルタックスおおむた

参加者数　　４０人

イ　大牟田史跡めぐりウォーク-近代化遺産編-

実 施 日　Ｒ８年２月２２日（日）

参加者数　１４人

④大牟田古墳カードの再版・配布

大牟田古墳カード３種（潜塚古墳・黒崎観世音塚古墳・萩ノ尾古墳）各５００枚を再版し、各古墳の見学者に配布しました。

【配布場所】
・潜塚古墳カード：駛馬天満宮社務所
・黒崎観世音塚古墳カード：三池カルタ・歴史資料館
・萩ノ尾古墳カード：フードショップヒラヤマ

（視点２）文化芸術事業の充実

質の高い文化芸術に触れる機会と、身近な場所で文化芸術に触れる機会の充実を図ります。あわせて、子どもや若者が文化芸術に触れ、豊かな感性を育むとともに、文化芸術に対する関心を高める機会の充実を図ります。また、誰もが気軽に文化芸術に親しめるよう、市民が参加しやすい事業の充実に努めます。

【主な事業】

○文化芸術体験を通した子ども・若者育成事業〔生涯学習課〕

（１）まちの芸術家派遣事業

子どもが質の高い文化芸術に触れ、豊かな感性を育む機会をつくるため、文化芸術活動者を学校へ派遣し、学校教育における文化芸術の鑑賞、体験等の機会の充実を図りました。

実施事業数　　２４件

学校名	ジャンル	派遣団体	と　き
駛馬小学校	美術（押し花）	花みずき会	6 月 9 日(月)
中友小学校	文学	おはなしの森	6 月 20 日（金）
駛馬小学校	美術（押し花）	花みずき会	7 月 7 日(月)
中友小学校	美術	炭都国際交流芸術祭 in 大牟田実行委員会	7 月 7 日(月)
駛馬小学校	日本舞踊	大牟田みやび舞踊の会	9 月 8 日(月)
中友小学校	美術（押し花）	花みずき会	9 月 8 日(月)
手鎌小学校	美術	炭都国際交流芸術祭 in 大牟田実行委員会	9 月 8 日(月)
駛馬小学校	美術（書道）	大牟田美術協会（書道部）	9 月 22 日(月)
宅峰中学校ほしぞら分校	音楽	大牟田音楽家協会	10 月 20 日(月)
倉永小学校	美術	炭都国際交流芸術祭 in 大牟田実行委員会	11 月 10 日(月)
大正小学校	音楽	大牟田音楽家協会	11 月 10 日(月)
倉永小学校	茶道	茶道裏千家淡交会 大牟田学校茶道連絡協議会	11 月 17 日(月)
三池小学校	音楽	吹奏楽団大牟田奏友会	11 月 18 日(火)
大牟田中央小学校	音楽	大牟田音楽家協会	12 月 5 日(金)
手鎌小学校	茶道	茶道裏千家淡交会 大牟田学校茶道連絡協議会	12 月 8 日(月)
駛馬小学校	茶道	茶道裏千家淡交会 大牟田学校茶道連絡協議会	12 月 8 日(月)
玉川小学校	美術（押し花）	花みずき会	12 月 8 日(月)
みなと小学校	音楽	大牟田音楽家協会	12 月 12 日(金)
倉永小学校	美術（押し花）	花みずき会	12 月 15 日(月)
吉野小学校	音楽	大牟田音楽家協会	12 月 18 日(木)

学校名	ジャンル	派遣団体	と　き
倉永小学校	華道	大牟田文化華道連盟	12 月 22 日(月)
駛馬小学校	茶道	茶道裏千家淡交会 大牟田学校茶道連絡協議会	R8 年 1 月 19 日(月)
銀水小学校	美術（押し花）	花みずき会	R8 年 2 月 9 日(月)
羽山台小学校	華道	大牟田文化華道連盟	R8 年 2 月 16 日(月)

過去の実績

分野／年度	R4	R5	R6	R7
押し花	6	6	7	6
書道	0	1	1	1
華道	1	4	4	2
茶道	4	5	6	4
音楽	4	5	4	6
三曲	2	2	0	0
箏・三絃・尺八	1	1	1	0
美術	0	0	1	4
文学	0	0	1	1
合計	18	24	25	24

（２）日本フィルハーモニー交響楽団との推進協定に基づいた取組

本市と公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団が締結する推進協定に基づき、日本フィルハーモニー交響楽団大牟田公演において、本市の小・中・特別支援学校の児童生徒の専用席(おおむた未来応援シート)を確保し、次世代を担う子どもたちに対して鑑賞の機会を提供しました。また、アンサンブルコンサートも実施しました。

年度等／取組		おおむた未来応援シートの設置	アンサンブルコンサート
R5	とき	R6 年 2 月 11 日（日・祝）	R5 年 12 月 13 日（水）
	ところ	文化会館	歴木中学校
	参加者	159 人	300 人
R6	とき	R7 年 2 月 9 日（日）	R6 年 11 月 14 日（木）
	ところ	文化会館	天の原小学校
	参加者	173 人	202 人
R7	とき	R8 年 2 月 14 日（土）	R7 年 11 月 21 日（金）
	ところ	文化会館	白川小学校
	参加者	173 人	293 人

（３）子ども・若者の感性を育む文化芸術事業（新規）

大牟田市文化振興財団主催のこども音劇「星の王子さま」において、子ども・若者の感性を育む文化芸術事業実行委員会が共催し、大人気声優の梶裕貴さん等が出演するコンサートを開催するとともに、出演俳優による子ども向けの演劇ワークショップを実施しました。

また、大牟田市内と有明定住自立圏域内の小学生の無料招待枠を設け、親子で気軽に鑑賞できる機会を創出しました。

と　き　Ｒ８年２月２８日（土）

ところ　大牟田文化会館大ホール(ワークショップは１階リハーサル室)

観覧者　９０５人

無料招待枠観覧者　１９５人

ワークショップ参加者　１５人（小学１年生～高校３年生）

〇まちなか文化芸術提供事業〔生涯学習課〕

（１）本市の特色を活かした文化芸術事業

大牟田押し花の会が主催する「押し花アートフェスタ」において、学童保育所での押し花ワークショップの開催支援や.サポートスタッフとなる高校生ボランティアの依頼､学校へのチラシ振分けや広報周知など後方支援を実施しました。

（２）大牟田市民文化のつどい事業

市民の文化活動の発表の場を充実させ、芸術鑑賞の機会を設けることにより、市民の文化芸術に対する理解を深め、もって地域文化の創造と発展に資するために開催しました。

実施事業数　　１８件

入 場 者 数　　７，８０７人

事業名	主管団体名	と　き	ところ	入場者数（人）
二流派合同茶会	大牟田茶道連盟	4 月 20 日（日）	文化会館展示室和研修室	246
第 72 回青々水彩画協会公募展	青々水彩画協会	5 月 13 日（火）～5 月 18 日（日）	文化会館展示室他	455
SPROUT DANCE SHOW Vol.19	大牟田ストリートダンス協会	6 月 15 日（日）	文化会館大ホール	1,200
大牟田能楽会 素謡･囃子の会	大牟田能楽会	7 月 13 日（日）	文化会館小ホール	60
第 42 回大牟田市民音楽フェスティバル 2025 大牟田合唱祭	大牟田音楽連合会（大牟田合唱連盟）	7 月 27 日（日）	文化会館大ホール	603
東バレエスタジオ　サマーバレエコンサート（第 12 回勉強会）	大牟田バレエ協会	8 月 24 日（日）	大牟田ハイツテラス	440
大牟田押花フェスタ 2025	大牟田押花の会	9 月 18 日（木）～9 月 21 日（日）	文化会館展示室	342
第 3 回舞台芸能合同発表会	大牟田民舞協会 日本舞踊　幸若流	9 月 28 日（日）	文化会館小ホール	450
第 74 回大牟田美術展 前期:洋画、彫刻、写真、陶芸 後期:日本画、書道、染色	大牟田美術協会	前期 9 月 30 日（火）～10 月 5 日（日） 後期 10 月 10 日(金)～10 月 16 日（木）	文化会館展示室他	1479

事業名	主管団体名	と　き	ところ	入場者数（人）
歌謡フェスティバル2025	有明歌謡連盟	10月12日（日）	文化会館小ホール	483
俳句大会	大牟田俳句連合会	10月31日（金）	文化会館研修室	15
三曲・民謡演奏会	大牟田三曲協会	10月19日（日）	文化会館小ホール	160
クラシックギターの集い 大牟田クラシックギター愛好会 第11回定期演奏会	大牟田クラシックギター愛好会	10月25日（土）	文化会館小ホール	437
「ふるさと大牟田の歴史と文化」2025	三池史談会	11月16日（日）	三池カルタ・歴史資料館	33
各流派合同　日本舞踊の会	大牟田日本舞踊連盟	11月16日（日）	文化会館小ホール	384
アロハ大牟田フラフェスティバル	大牟田ハワイアンフラ愛好会	11月29日（土）	文化会館小ホール	235
50周年華道展	大牟田文化華道連盟	R8年2月7日（土）～2月8日（日）	文化会館展示室	585
公募事業(障害のある人の発表枠)第2回障害のある人の文化芸術祭	大牟田市障害者協議会	R8年3月28（土）	文化会館小ホール	200

（3）身近な空間を活用した学びと文化の発表事業

文化施設のみならず、まちなかや店舗などの身近な日常生活の中で気軽に文化芸術に触れあえる機会を創出するとともに、文化芸術活動者の発表の機会を提供しました。

場所	内容（出演者）	とき	参加者数（人）
イオンモール大牟田	大牟田美術協会　会員作品展	5月15日（木）～9月17日（水）	－
	青々水彩画協会　作品展	10月2日（木）～R8年2月25日(水)	－
	ピアノ、チェロ演奏（オータムコンサート実行委員会）	10月31日（金）	60
道の駅「おおむた」花ぷらす館	収穫祭ミニコンサート（大牟田音楽家協会）	10月25日（土）、26日（日）	100
大牟田市役所本館前	オームタ☆イルミナーレ点灯式 クワイアチャイム演奏(明光学園高等学校)	12月5日（金）	100
	オームタ☆イルミナーレ点灯式 バンド演奏(帝京大学軽音楽サークル)	12月5日（金）	100
	市庁舎前ライブ(204Live!!実行委員会　バンド演奏)	R8年3月28日(土)	50
大牟田市議会議場	議場コンサート（大牟田音楽堂　バイオリン・ピアノ演奏）	R8年3月28日(土)	40
	議場コンサート(大牟田クラシックギター愛好会　クラシックギター演奏)	R8年3月28日(土)	71
大牟田市役所庁舎内	押し花作品展示（押花の会、杉野　宣雄さん）	R8年3月28日(土)	－

（4）トップアーティスト招聘＆交流事業

大牟田市文化振興財団主催のこども音劇「星の王子さま」において、大牟田市トップアーティスト招聘＆交流事業実行委員会が共催し、大人気声優の梶裕貴さん等が出演するコンサートを開催するとともに、出演俳優による子ども向けの演劇ワークショップを実施しました。

と　き　Ｒ８年２月２８日（土）
内　容　生演奏と朗読によるコンサート・出演者による演劇ワークショップ
ところ　大牟田文化会館大ホール(ワークショップは１階リハーサル室)
観覧者　９０５人
無料招待枠観覧者　１９５人
ワークショップ参加者　１５人（小学１年生～高校３年生）

（視点３）文化芸術を活用した新たな価値や多様性の創出

文化芸術が生み出す福祉、教育などの様々な分野の価値を人づくりやまちづくりの面で活かすとともに、人々の相互理解や多様な価値観が尊重される取組を進めます。

【主な事業】

①協働のまちづくり部門(未来を紡ぐファッションショー～OMUTA コーデバトン２０２５～)

文化的処方（健康や幸福によい影響を与えるアートや文化活動、それらを活かして地域課題の解決に繋げる取組)・社会的処方の推進及び文化芸術によるまちづくり、本市のシティプロモーションに繋げる取り組みとして、地元事業所や高校、関係大学の連携のもと、高校生がデザインした装飾衣装などを高齢者や高校生が身にまとい披露するファッションショーを実施しました。

と　き　１２月２０日（土）
内　容　市内在住のアクティブシニア・誠修高等学校３年生によるステージ
ところ　イオンモール大牟田　ありあけコートステージ
出演者　５０人（アクティブシニア２５人・誠修高等学校３年生２５人）
観覧者　約３００人

②次世代育成部門（演劇ワークショップ）

演出家・脚本家として福岡県内を中心に活躍する中嶋さと氏による演劇ワークショップを実施しました。

と　き　１２月８日（月)、１２月１９日（金）
内　容　中友小学校５・６年生を対象とした演劇ワークショップ
ところ　中友小学校
参加者　４６人
講　師　劇団「ＦＯＵＲＴＥＥＮ　ＰＬＵＳ　１４+」中嶋さと氏ほか劇団メンバー３人

〇多様性を尊重した文化芸術交流事業〔生涯学習課〕

（１）障害のある人等による文化芸術活動推進事業

①未来を紡ぐファッションショー～OMUTA コーデバトン２０２５～

社会福祉協議会と連携して、認知症や身体に不自由のある方を含めた高齢者が、地元の高校生がデザインした装飾衣装を身にまとい披露するファッションショーを実施しました。

と　き　１２月２０日（土）
内　容　市内在住のアクティブシニア・誠修高等学校３年生によるステージ
ところ　イオンモール大牟田　ありあけコートステージ
出演者　５０人（アクティブシニア２５人・誠修高等学校３年生２５人）
観覧者　約３００人

②大牟田市民文化のつどいにおける障害のある人の発表枠

大牟田市民文化のつどいにおける障害のある人の発表枠において１件の申請及び採択がなされ事業が実施されました。

申請事業　第２回障害のある人の文化芸術祭
申請団体　特定非営利活動法人大牟田市障害者協議会
と　　き　Ｒ８年３月２８日（土）
と こ ろ　大牟田文化会館小ホール

（２）有明圏域定住自立圏内の市町が連携した多様な文化芸術の取組

①有明美術展

大牟田市、柳川市、みやま市、大川市、荒尾市の美術団体及び、各市町の連携により、圏域内の美術家の優れた作品を展示しました。

と　き　５月２７日（火）～６月１日（日）

ところ　大牟田文化会館　展示室他

（視点４）文化芸術活動への支援、環境づくり

文化芸術活動を行う市民団体への支援を行います。また、文化施設の適切な維持・補修を行うとともに、これからの文化施設が地域で果たす役割について検討し、機能の充実を図ります。

【主な事業】

○文化芸術活動支援事業〔生涯学習課〕

（１）各種共催事業等の実施

各種文化・芸術活動に対する共催や後援

年度	R4	R5	R6	R7
件数	59	66	51	97

○文化会館施設整備事業〔生涯学習課〕

大牟田文化会館はＳ６１年（１９８６年）に開館しました。施設の老朽化が進む中、計画的な予防保全が必要となっていることから、公共施設維持管理計画等に基づき、維持補修に取り組みました。

Ｒ７年度は、外壁改修工事２期として、大・小ホール特定天井改修工事、大・小ホール非常用設備蓄電池設備更新工事、舞台吊物機構制御システム整備などを行いました。

また、Ｒ８年４月１日からネーミングライツを導入し、愛称が「デンカ大牟田文化会館」に決定しました。（愛称使用期間：令和８年４月１日～令和１３年３月３１日）

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	指標･目標値設定の根拠
１年間に、ホールや施設などで文化芸術を直接鑑賞したことがある人の割合	目標値（%）	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	文化芸術振興プランに掲げる目標値を基に、80.0%以上を目指す。 ［現状値:47.3%(R4 年度実績)］
	実績値（%）	50.8	53.4				
	達成度（%）	63.5	66.8				

【指標達成度に対する要因分析】

・文化芸術事業の開催を幅広く周知するため、広報おおむたやホームページ、ＬＩＮＥ等を活用するとともに、チラシやポスターを公共施設に配布･掲示し、積極的な広報を行いました。また、子ども向けの事業においては、教育委員会や各学校、子ども育成課等と連携し、対象者に応じた情報発信に努めました。
・市民が参加しやすい身近な文化芸術事業として、大牟田市民文化のつどい事業を年間で１８事業実施しました。また、大牟田市民文化のつどい事業においては、Ｒ６年度から新設した障害のある人の発表枠により、障害のある人の文化芸術祭が実施され、多様性を尊重した文化芸術活動の支援を行いました。
・第３期大牟田市文化芸術振興プランに基づき、子どもや若者の感性を育む事業やトップアーティスト招聘＆交流事業等、市民ニーズに応じた多様な事業を大牟田市文化振興財団や文化芸術団体等と連携して展開することができました。
・大牟田文化会館においては、Ｒ８年度に開館４０周年を迎えることから、Ｒ７年度においては、プレ４０周年事業に取り組みました。
・これらの取組が実績値の上昇に寄与しているものと考えられます。

【今後の方向性】

・文化芸術に触れる機会を創出し、市民が相互に尊重しながら多様性を認め合う心豊かで持続可能な大牟田の未来を創るため、引き続き、さまざまな施策に取り組みます。特に次世代を担う人づくり及び市民の文化芸術活動の支援に力を入れることとし、子どもの頃から文化芸術に触れることができる取組を充実します。また、文化芸術団体の支援や交流、ボランティアの育成など、文化芸術活動を支える取組を進めます。
・大牟田文化会館は、施設や設備の老朽化が進んでいることから、公共施設維持管理計画や舞台設備等改修計画に基づき、確実かつ円滑な改修に向けた取組を進めます。
・世界遺産を始め、市内に所在する文化財の保存と活用を図ることで、まちの文化や歴史について市民の理解と関心を深め、郷土への愛着と誇りを育みます。また、市内外の来訪者に世界遺産の魅力を発信し、顕著な普遍的価値を広く理解してもらえるよう取り組みます。

学 識 経 験 者 意 見

大牟田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の
点検及び評価についての意見書

福岡教育大学
教授 伊藤　克治

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき、大牟田市教育委員会が取りまとめた「令和８年度版（令和７年度実績）大牟田の教育 ～ 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価 ～」について意見を述べる。

1.「教育委員会の活動状況」について

令和７年度の教育委員会会議は、定例会 12 回と臨時会２回の合計 14 回が開かれており、他の自治体と比べても適切な規模で開催されている。この教育委員会会議での議論の深化に向け、「義務教育学校整備基本構想・基本計画の策定」や「全国学力・学習状況調査結果」をはじめとする多様なテーマについて、延べ 17 回に及ぶ「勉強会」を開催した実績は、内容・量の両面において特筆に値する。もっとも、他の自治体でも「協議」や「研修」といった名目で同様の取組が行われている可能性はあるものの、あえて「勉強会」という市民に伝わりやすい名称で公式な報告書に記載するアプローチは、教育委員会が主体的に内容を理解して議論を重ねているという誠実な姿勢を可視化するものであり、市民への情報公開のあり方としても極めて先進的であると評価したい。また、学校訪問や各種行事への出席、関係者との意見交換といった定例の活動についても、単なる形式的な参画にとどまらず、そこで得られた知見や課題意識が「勉強会」の深化へと還元される好循環を生み出していると推察される。加えて、広報活動の面において、情報公開センターでの会議資料の開示や、ウェブサイトを通じた遅滞ない議事録の公開に加え、「教育委員会だより」を年 3 回継続して発行していることは、市民に対する説明責任を果たす姿勢として極めて意義深く、高く評価できる。

また、市長と教育委員会が協議する「総合教育会議」において、「大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会」の検討状況について協議・意見交換が行われている点に注目したい。本件は、将来的な多額の財政負担を伴うだけでなく、学校を核とした持続可能な地域づくりにも直結する極めて重大なテーマである。特に、大牟田市が先駆的に進めてきた SDGs／ESD の理念とも深く関わる施策であるだけに、市長と教育委員会が強固な共通理解と緊密な連携を維持しながら、今後とも本施策を着実に推進していくことが強く望まれる。

2.「重点事業の取組状況報告書」について

2．1．学力ブラッシュアップ推進事業

まずもって、事業名に「学力向上」ではなく「学力ブラッシュアップ」という言葉を選定している点に、教育委員会の姿勢が表れている。「学力向上」が不足を補う印象を与えるのに

対し、「ブラッシュアップ」は現在ある強みをさらに磨き上げるという前向きなメッセージ性をもち、教育委員会が学校に伴走支援していく強い意志を感じさせる。

本事業の報告書には、学力向上に不可欠な要素が網羅されており、「できることは全てやる」という真摯なスタンスが高く評価できる。実際、令和 7 年度は目標値を小・中学校ともに全て達成しており、これまでの取組の確かな成果がうかがえる。したがって、現在の取組を着実に継続することで、令和 8 年度はさらなる向上が期待できる。以下、今後の具体策に関する意見を何点か述べたい。

「問題点及び課題」欄で、国語・算数・数学の具体的な弱点が明確に分析されている点も評価したい。特に数学のように積み上げが重要となる教科や、中学校における記述回答式問題・活用力を問う問題への対応には、小学校段階での基礎・基本の確実な定着度を検証することが不可欠である。その点、大牟田市が順次導入している小中一貫教育制度が導入された学校では、義務教育 9 年間の学習の系統性を踏まえ、児童生徒のつまずきを小学校と中学校の教員が協働分析した上で、授業改善や補充学習支援に活かせる絶好の環境にある。この利点を最大限に発揮し、学力・学習調査から見える各中学校区の課題に応じた授業改善と学習支援を戦略的に進めることが望まれる。なお、補充学習をはじめとする家庭学習支援においては、コミュニティ・スクールの仕組を活用し、家庭・地域との連携の下で公民館等の地域施設を有効活用する視点も重要である。

また、非認知能力の向上に向けては、具体的に「どのような活動を通して、どのような子どもの姿を目指すのか」、そして「その姿をどのように見取るのか」について、まずは教員間で共通理解を図ることが先決である。具体的には、「自尊感情」「自己肯定感」「自己有用感」「自己効力感」など、育成を目指す非認知能力を明確にした上で、それらが育つ具体的な場面を想定し、教育活動（教育課程）の中に的確に位置付けることが求められる。さらに、目指す子どもの姿と、活動を通して見取る規準を家庭・地域とも共有・可視化すれば、学校外の様々な活動を通した非認知能力の多角的な評価と育成にもつながるものと考えられる。このような考え方で、各学校におけるカリキュラム・マネジメントの一層の推進が望まれる。

2. 2. 小中一貫教育推進事業

大牟田市での小中一貫教育の導入は、義務教育学校化（主に施設一体型）との同時進行ではなく、原則として既存の校舎を活用した併設型で進めていることが特徴的である。小学校と中学校が施設一体型となる統廃合の作業を伴わない小中一貫教育の導入だからこそ、義務教育９年間を見通して、教科の系統性と子どもの発達の連続性を踏まえた授業づくりに専念できる利点がある。また、これまでの長年にわたって築き上げてきた小学校と中学校のそれぞれの学校文化を尊重しつつも、義務教育９年間を見通した教育課程を編成するという点で、子どもたちにとって負担なく移行できる良さもある。一方で、教育課程の編成と実行・改善をする教職員にとっては、併設型であるために小学校と中学校の教職員で、９年間で目指す

子ども像を共有し、日常の授業に落とし込む工夫が必要になる。その点、小・中学校相互の授業参観や相互乗り入れ授業、合同の研修等をはじめ、拡大校内研修会の仕組みを通して進めていることは評価できる。ただ、施設一体型の小中一貫教育に比べ、施設分離型では直接の対面による取組が進めにくい面もある。すでに各校で様々な工夫が重ねられていることと推察されるが、小学校の教科担任制に関わる教員（専科教員等）と中学校教員による「教科（縦）のつながり」を強化し、それを「校内や学年（横）の広がり」へと展開していくアプローチも、施設分離型の壁を乗り越える取組として有効であると考えられる。

また、義務教育９年間の縦のつながりに加えて、学校運営協議会の設置と地域学校協働活動推進員の配置により、学校・家庭・地域の横のつながりまで広げていることは高く評価できる。今後、義務教育９年間で育てたい子ども像を学校・家庭・地域で共有し、子どもたちの探究的な学びの深化や、補充学習による基礎・基本の定着等、学校の実態に応じた取組が一層進むものと期待される。前述のように、学力調査の分析や授業改善は、小・中学校の教員が協働で行うことにより、一層の質向上が期待される上に、非認知能力を高める取組は、家庭・地域との連携が欠かせない。各中学校区の実態にあった小中一貫教育のさらなる推進を期待したい。

２．３．SDGs/ESD 推進事業

大牟田市がこれまで推進してきた ESD は、児童生徒における地域に根ざした探究的な学びの充実と地域課題の解決や活性化の観点から極めて価値が高い。特に、令和７年度は市内の高校生が大阪・関西万博で発表し、その取組を国内外に発信したことは特筆に値する。これまでの成果と課題を踏まえ、ESD がさらに継続・発展していくことが期待される。次期学習指導要領においては、幼児期から小・中・高等学校を見通した系統的な学びや、総合的な学習（探究）の時間を核とした探究的な学びのさらなる充実が求められている。大牟田市が段階的に推進している小中一貫教育の枠組みの中で、ESD の質的転換と高揚を図る取組は、広域的にも先進的なモデルケースとなり得るものである。特に、身近な地域社会から多面的・多角的に問題を見いだして課題設定するプロセスは、福岡県が推進する「ワンヘルス教育」の理念との関係性が深い。大牟田市の ESD の実践内容を紐解くと、人間の営みのみならず、生態系や環境との相互依存関係を的確に捉えた学びが展開されており、まさに「ワンヘルスアプローチを取り入れた ESD の高度化」として捉えることができる。すなわち、大牟田市の ESD の蓄積は、福岡県全体のワンヘルス教育を深化・牽引するための極めて重要な実践事例として価値づけられる。

今後、次期学習指導要領で導入が予定される「調整授業時数制度」を活用していく上では、各学校におけるカリキュラム・マネジメントと、学校運営協議会等を通じた地域との熟議・協働が不可欠となる。こうした新しい制度基盤の上に大牟田市の ESD を構築できるよう、教員研修や地域間の情報交換の機会を一層充実させることが望まれる。

2．4．ハートフルスクールプロジェクト推進事業

全国的な不登校児童生徒の増加を受け、国が令和 5 年に策定した「COCOLO プラン」を基礎としつつ、大牟田市固有の強みや施策と連動させた「大牟田市版 COCOLO プラン」を強力に推進している取組は高く評価できる。特に、市民協働部との連携による地区公民館への「サテライトスペース」の開設や、民間団体との協働による「ぱすてる」の設置は、子どもたちの多様な居場所を確保する画期的な施策である。単に「場所」を設置するにとどまらず、そこで活動する多様な人材の確保・育成や持続可能な仕組づくりを行い、開設した場を効果的に運用している点も特筆に値する。これらの多様な居場所は、子どもたちの安心・安全な場となるだけでなく、一人ひとりの多様な個性を伸長させ、主体的な学びを引き出す場としての価値も高い。この観点は、大牟田市が進める「学力ブラッシュアップ事業」と軌を一にするものである。

今後は、市民協働部をはじめとする庁内関係部局や外部機関との緊密な連携のもと、学校外における多様な活動・学びの場を質・量ともに充実させ、子どもたちの確かな成長と学力の保障へとつなげていくことが期待される。

2．5．学校再編整備推進事業

「市立学校適正規模・適正配置計画第 2 期実施計画」に基づき、児童生徒数の減少に伴う課題解決に向けて学校再編整備が順次進められているが、再編による教育環境向上の満足度をアンケート調査によって確認している点は評価できる。学校再編に伴う通学環境の変化は、児童生徒や保護者にとって一定の負担を伴うものであるが、70%近くの満足度が得られている背景には、事前説明や再編協議会での丁寧な意見交換があったためだと言える。子どもと保護者にとっては、通学自体の負担が最も気になる点であるが、「教育環境の向上」には多様な他者との学びを通じた質的向上や学力の向上まで含まれる。それだけに、複式学級の解消をはじめとする学習上の課題解決や、多様な他者との協働による学びの成果を可視化し、児童生徒・保護者と共有することが重要である。それが通学の負担感を上回る教育への期待感へとつながるはずである。このような中長期的な視野に立ち、再編後の教育環境の成果と課題を注視しながら、必要に応じた改善を重ねていくことが求められる。

また、再編初期においては、新たな中学校区での小中一貫教育とコミュニティ・スクール（CS）の運用が並行し、推進上の負担が一定程度あるものと推察される。しかしこれを好機と捉え、現在の校区や子どもたちの実態に合わせて「目指す子ども像」を再定義しながら、学力向上と地域活性化の両方の視点から取り組まれることを期待したい。これは、ESD のさらなる推進とも連動して、「地域と共にある学校づくり（CS）」から、「学校を核とした地域づくり（School Community：SC）」までを視野に入れた取組であり、地域コミュニティづくりに注力してきた大牟田市の強みをさらに伸ばすことにつながると言える。

2．6．人権・同和教育・啓発推進事業

市立学校における学校教育活動全体を通した人権・同和教育の推進として、児童生徒の実態に応じた教育の実施に加え、教員研修や実践交流会、県研修への担当者派遣など、計画的かつ継続的な人材育成が行われている点は高く評価できる。また、市民向け講演会や街頭啓発活動、地区公民館等での人権学習会など、地域に根ざした啓発活動が多角的に展開されており、人権尊重社会の実現に向けた重厚な取組が定着している。 近年、インターネット上の人権侵害や多様性社会への対応をはじめとする現代的な人権課題への関心が高まっている。こうした社会状況の変化も視野に入れつつ、これまでの成果と課題を踏まえたさらなる事業の展開と継続を期待したい。

2．7．「高校生まちづくり部」活動推進事業

国の各種意識調査等によれば、日本の若者は学校行事等には積極的である一方、地域の自治活動や社会参加への意識が低く留まる傾向が指摘されている。これに対し、本事業における「将来、大牟田のために役に立ちたいと思う高校生の割合」が、令和７年度に 85.7%という高い水準に達していることは特筆すべき成果である。 この結果は、本事業が単なる体験にとどまらず、高校生自身が主体的に地域課題を捉え、企画・運営に至る「プロセス」そのものを重視して実践を行ってきたことで、生徒の自己効力感や自己有用感といった非認知能力と地域参画意識が高められた成果と考えられる。

このような探究的な学びは、学校での教科等の学びの質的向上や学習意欲にも波及するものであることから、今後はより多くの高校生が参画できるよう、実施方法の更なる工夫が期待される。また、高校段階でのこうした成果をより確かなものとするためにも、小・中学校における探究的な学びについても、小中一貫教育制度の中で、これまでの成果と課題を整理し、発達段階に応じた実践のさらなる質的向上を望みたい。

3．おわりに

前述の通り、大牟田市の特長を活かした多様な施策が、学校・家庭・地域の連携のもとで多様な人々との協働により、着実に実行されていると認められる。令和７年度は、第７次大牟田市総合計画「まちづくり総合プラン 2024～2033」と大牟田市学校教育振興プラン 2024～2028 の２年目にあたるが、所期の計画に沿った事業が進められ、着実に成果を積み重ねていることは高く評価できる。小中一貫教育や ESD の実践をはじめとするこれまでの確かな蓄積と課題を踏まえ、子どもたちの未来を見据えた先進的な教育施策が今後とも力強く推進されることが望まれる。

以上

資　　料　　編

〔 歴代教育委員等 〕

1 歴代教育委員

氏　名	期　間
黒田　潔	S27.10. 5～31. 9.30
	31.10. 1～35. 9.30
藤津　潔	27.10. 5～31. 9.30
米倉勇喜	27.10. 5～31. 9.30
	31.10. 1～34. 4.18
三島利信	27.10. 5～31. 9.30
古賀初男	27.10. 5～29. 9.30
堀　弘	29.10. 1～31. 9.30
湯村誠男	31.10. 1～33. 9.30
	33.10. 1～37. 9.30
水町キク	31.10. 1～32. 9.30
	32.10. 1～36. 9.30
	36.10.13～40.10.12
川畑昭二路	34. 5.19～35. 9.30
稲員鎌造	36. 3.16～40. 3.15
平木次郎	36. 3.16～40. 3.15
	40. 4.21～41.10. 7
近藤広蔵	37.10. 3～41.10. 2
古崎真直	40. 4.21～41. 8.24
松本　勇	40.11.13～41. 8.24
猿渡五三郎	41. 8.25～44. 4.20
	44. 5. 1～48. 4.30
藤田光雄	41. 8.25～42.10.15
	42.12.21～46.12.20
小田原武則	41.10.14～45.10.13
	45.10.14～49.10.13
坂口長一郎	40.10.14～44. 4.20
	44. 5. 1～48. 4.30
	48. 5.15～52. 5.14
	52. 5.20～56. 5.19
清水龍哉	46.12.24～50.12.23
	50.12.24～54.12.23
相島　壽	48. 5.15～52. 5.14
	52. 5.20～56. 5.19
	56. 5.20～60. 5.19
永田恒久	49.10.14～53.10.13
	53.10.14～57.10.13
蒲池　當	56. 5.20～60. 5.19
大隅一雄	54.12.24～58.12.23
	58.12.24～62. 4.15
大久保修吉	57.11.20～61.11.19
辻　政義	62. 7.24～62.12.23
	62.12.24～H3.12.23
河口政俊	60. 5.27～H元. 5.26
	元. 5.27～ 5. 5.26
長島政勝	S60. 5.27～H元. 5.26
	元. 5.27～ 5. 5.26
圓佛洋右	S62. 3.12～H3. 3.11
	3. 3.13～ 7. 3.12
	7. 3.13～11. 3.12
	11. 3.13～15. 3.12
蓮澤浩明	3.12.24～ 7.12.23
	7.12.24～11.12.23
	11.12.24～15.12.23
山本進一	5. 5.27～ 9. 5.26
	9. 5.27～13. 5.26
	13. 5.27～15. 9.30
木村和子	5. 5.27～ 9. 5.26
	9. 5.27～13. 5.26
	13. 5.27～17. 5.26
山本和夫	15. 3.13～19. 3.12
	19. 3.13～23. 3.12
	23. 3.13～27. 3.12
	27. 3.13～31. 3.12
	31. 3.13～R5. 3.12
	5. 3.13～
後藤和子	H15.10. 1～17. 5.26
	17. 6. 1～21. 5.31
大平　修	16. 3. 1～20. 2.29
	20. 3. 3～24. 3. 2
	24. 3. 3～28. 3. 2
古後八重子	17. 6. 1～21. 5.31
池田美子	21. 6. 1～25. 5.31
嶋田桂子	21. 6. 1～25. 5.31
	25. 6. 1～29. 5.31
	29. 6. 1～R3. 5.31
	3. 6. 1～ 7. 5.31
	7. 6. 1～
本山清美	H25. 6. 1～29. 5.31
	29. 6. 1～30. 5.31
東　秀樹	28. 3.22～R2. 3.21
	2. 3.22～ 6. 3.21
	6. 3.22～
笹井葉子	H30. 6. 1～R4. 5.31
木場真帆	4. 6. 1～

2 歴代教育長

氏　名	期　間
堀　次助	S27.11. 1～31. 9.30
稲員鎌造	31.10. 1～34. 9.30
樋口種樹	34.10. 5～38.10. 4
安元　薫	38.11. 8～41. 8.24
池上尚司	41. 9. 5～44.11.12
	44.11.13～46. 6. 7
栃原秋雄	46. 7.23～48.11.12
池田喜市	49. 3. 9～53. 2.26
黒田　弘	53. 2.27～57. 2.26
	57. 2.27～61. 2.26
	61. 2.27～H2. 2.26
西田　茂	2. 3.10～ 6. 2.26
荒木和久	6. 3. 4～10. 3. 1
	10. 3. 2～14. 3. 1
	14. 3. 2～18. 3. 1
宮田忠雄	18. 3. 2～22. 3. 1
	22. 3. 2～26. 3. 1
安田昌則	26. 3. 3～27. 3.31
	27. 4. 1～30. 3.31
	30. 4. 1～R3. 3.31
谷本理佐	3. 4. 1～ 6. 3.31
	6. 4. 1～

3 歴代教育長職務代理者

氏　名	期　間
山 本 和 夫	H27. 4. 1～ 30. 3.31 30. 4. 1～ R3. 3.31 3. 4. 1～ 5. 3.12
嶋 田 桂 子	5. 3.13～

4 歴代教育委員長

氏　名	期　間
藤 田 光 雄	S44. 5. 1～ 45. 4.30 45. 5. 1～ 46. 4.30
坂 口 長一郎	46. 5. 1～ 47. 4.30 47. 5. 1～ 48. 4.30 48. 5.21～ 49. 5.20
小田原 武 則	49. 5.21～ 49.10.13
清 水 龍 哉	49.10.16～ 50.10.15 50.10.16～ 50.12.23 50.12.24～ 51.12.23
相 島 　 壽	51.12.24～ 52. 5.14
永 田 恒 久	52. 5.20～ 53. 5.19 53. 5.20～ 53.10.13
相 島 　 壽	53.10.14～ 54.10.13 54.10.14～ 55.10.13 55.10.14～ 56. 5.20
永 田 恒 久	56. 5.21～ 57. 5.20 57. 5.21～ 57.10.13
相 島 　 壽	57.11.22～ 58.11.21 58.11.22～ 59.11.21 59.11.22～ 60. 5.19
大久保 修 吉	60. 5.28～ 61. 5.27 61. 5.28～ 61.11.19
河 口 政 俊	62. 3.12～ 63. 3.11
長 島 政 勝	63. 3.12～H元. 3.11
圓 佛 洋 右	元. 3.12～ 2. 3.11
辻 　 政 義	2. 3.12～ 3. 3.11
河 口 政 俊	3. 3.12～ 4. 3.11
長 島 政 勝	4. 3.12～ 4. 9.11
圓 佛 洋 右	4. 9.12～ 5. 9.11
蓮 澤 浩 明	5. 9.12～ 6. 9.11
山 本 進 一	6. 9.12～ 7. 9.11
木 村 和 子	7. 9.12～ 8. 9.11
圓 佛 洋 右	8. 9.12～ 9. 9.11
蓮 澤 浩 明	9. 9.12～ 10. 9.11
山 本 進 一	10. 9.12～ 11. 9.11
木 村 和 子	11. 9.12～ 12. 9.11
圓 佛 洋 右	12. 9.12～ 13. 9.11
蓮 澤 浩 明	13. 9.12～ 14. 9.11
山 本 進 一	14. 9.12～ 15. 9.11
木 村 和 子	15. 9.12～ 16. 9.11
山 本 和 夫	16. 9.12～ 17. 9.11
後 藤 和 子	17. 9.12～ 18. 9.11
大 平 　 修	18. 9.12～ 19. 9.11
古後八重子	19. 9.12～ 20. 9.11
山 本 和 夫	20. 9.12～ 21. 9.11 21. 9.12～ 22. 9.11 22. 9.12～ 23. 3.12 23. 3.13～ 24. 3.12 24. 3.13～ 25. 3.12 25. 3.13～ 26. 3.12 26. 3.13～ 27. 3.12 27. 3.13～ 27. 3.31

5 歴代教育委員長職務代行者

氏　名	期　間
坂 口 長一郎	S44. 5. 1～ 45. 4.30 45. 5. 1～ 46. 4.30
小田原 武 則	46. 5. 1～ 47. 4.30 47. 5. 1～ 48. 4.30 48. 5.21～ 49. 5.20
清 水 龍 哉	49. 5.21～ 49.10.15
相 島 　 壽	49.10.16～ 50.10.15 50.10.16～ 50.12.23 50.12.24～ 51.12.23
永 田 恒 久	51.12.24～ 52. 5.19
相 島 　 壽	52. 5.20～ 53. 5.19 53. 5.20～ 53.10.13
永 田 恒 久	53.10.14～ 54.10.13 54.10.14～ 55.10.13 55.10.14～ 56. 5.20
相 島 　 壽	56. 5.21～ 57. 5.20 57. 5.21～ 57.10.21
蒲 池 　 當	57.11.22～ 58.11.21 58.11.22～ 59.11.21 59.11.22～ 60. 5.19
大 隅 一 雄	60. 5.28～ 61. 5.27 61. 5.28～ 62. 3.11
長 島 政 勝	62. 3.12～ 63. 3.11
圓 佛 洋 右	63. 3.12～H元. 3.11
辻 　 政 義	元. 3.12～ 2. 3.11
河 口 政 俊	2. 3.12～ 3. 3.11
長 島 政 勝	3. 3.12～ 4. 3.11
圓 佛 洋 右	4. 3.12～ 4. 9.11
蓮 澤 浩 明	4. 9.12～ 5. 9.11
山 本 進 一	5. 9.12～ 6. 9.11
木 村 和 子	6. 9.12～ 7. 9.11
圓 佛 洋 右	7. 9.12～ 8. 9.11
蓮 澤 浩 明	8. 9.12～ 9. 9.11
山 本 進 一	9. 9.12～ 10. 9.11
木 村 和 子	10. 9.12～ 11. 9.11
圓 佛 洋 右	11. 9.12～ 12. 9.11
蓮 澤 浩 明	12. 9.12～ 13. 9.11
山 本 進 一	13. 9.12～ 14. 9.11
木 村 和 子	14. 9.12～ 15. 9.11
山 本 和 夫	15. 9.12～ 16. 9.11
後 藤 和 子	16. 9.12～ 17. 9.11
大 平 　 修	17. 9.12～ 18. 9.11
古後八重子	18. 9.12～ 19. 9.11
山 本 和 夫	19. 9.12～ 20. 9.11
後 藤 和 子	20. 9.12～ 21. 5.31

氏　名	期　間
大 平　　修	21. 6. 1～ 21. 9.11 21. 9.12～ 22. 9.11 22. 9.12～ 23. 3.12 23. 3.13～ 24. 3.12 24. 3.13～ 25. 3.12 25. 3.13～ 26. 3.12 26. 3.13～ 27. 3.12 27. 3.13～ 27. 3.31

〔 機構と職員数 〕

1　機構及び事務分掌

（令和８年３月３１日現在）

教育委員会

事務局	総務課	教育委員会の会議、規則・規程の制定及び改廃、公印管理、文書の収受及び発送、職員（県費負担教職員を除く）の人事・給与及び旅費、職員の研修、福利厚生及び表彰、職員団体その他労務管理、労働安全衛生、教育行政の各種統計調査、事務局及び教育機関の事務の管理調整、公示、教育行政に関する相談
	学校再編推進室	市立学校の再編の推進、市立学校適正規模・適正配置検討委員会
	教育みらい創造室	事務局及び教育機関の事務の企画
	学校教育課	市立学校の設置及び廃止、児童生徒の入退学及び転校、児童生徒等の就学の免除及び猶予、長期欠席中児童・生徒の調査及び出席の督促、通学区域、学級編制、県費負担教職員の人事・給与・免許・職員団体・福利厚生・表彰・調査・統計、学校施設の開放（学校体育施設の開放事業に係るものを除く）、学校運営の管理、市立学校通学区域審議会、情報管理
	指導室	学校教育の指導、学校の教科内容、県費負担教職員の研修、教科用図書の採択、学校の教材及び教具の指導、児童生徒の文化体育行事、児童生徒の学力等の調査、教育研究所の運営についての指導助言、就学支援委員会、いじめ防止対策委員会
	教育研究所 教育相談室	地域及び児童生徒、教育内容及び学習指導、教育評価、学校運営及び学級経営並びに教育環境に関する調査研究、教育資料の収集及び供覧、各種調査研究事項の刊行、研究員及び教職員の研修、その他研究所の設置の目的達成に必要なこと
	ユネスコスクール 支援センター	市立学校におけるユネスコスクールの取組への支援、ユネスコスクール及びESDに関する資料及び情報の収集及び提供、知識の普及及び啓発、ユネスコスクール間の交流
	学務課	学校基本調査、就学奨励補助金交付の認定、学校給食及び学校保健、児童生徒及び教職員の健康診断並びに就学時健康診断、学校環境の衛生管理、児童生徒の安全及び学校災害共済給付金、児童生徒の給食費及び医療費に係る補助金の交付、学校給食会及び学校保健会、学校医、学校歯科医及び学校薬剤師、市立学校結核対策委員会、市立小学校給食調理業務委託者選定委員会、中学校給食センター給食調理業務委託者選定委員会、教育機関の施設の建設計画及び教育財産の管理
	中学校給食センター	市立中学校において実施する給食の調理及び配送、中学校給食の調理機器、食器、食缶等の洗浄、消毒及び保管、その他中学校給食に関し必要なこと
	人権・同和教育課	社会教育における人権・同和教育の推進
市立学校	小学校19校、中学校7校、中学校の分校1校（夜間中学）、特別支援学校1校	

市長部局

企画総務部	世界遺産・文化財室	世界遺産、近代化遺産保存活用基金事業補助金審査会 **[教育委員会補助執行事務]** 文化財の保護及び活用、大牟田市文化財保護審議会
市民協働部	生涯学習課 中央地区公民館 三川地区公民館 勝立地区公民館 吉野地区公民館 三池地区公民館 手鎌地区公民館 駛馬地区公民館 文化会館 多目的活動施設 リフレスおおむた 図書館 三池カルタ・歴史 資料館	生涯学習推進の啓発及び総合調整、延命庁舎の管理、芸術文化の振興、文化団体活動の奨励及び援助、文化芸術振興審議会、大牟田文化会館、わくわくシティ基金事業審査会 **[教育委員会補助執行事務]** 社会教育の振興、社会教育委員の会議、社会教育計画及び社会教育についての調査等、社会教育施設の管理運営に対する指導助言及び連絡調整、社会教育関係団体の指導育成、地区公民館、大牟田市立多目的活動施設リフレスおおむた、大牟田市三池カルタ・歴史資料館等複合施設
	スポーツ推進室 延命球場 延命プール 諏訪公園テニスコート 手鎌北町公園テニスコート 御大典記念グラウンド 笹林庭球コート 第二グラウンド 弓道場	社会体育団体の指導育成、市民スポーツの推進及び体力づくり、総合体育館、体育施設及び運動場、スポーツ推進審議会、スポーツ推進委員、スポーツ功労表彰、スポーツ功労表彰審査会 **[教育委員会補助執行事務]** 学校体育施設の開放事業の総括等

［職員数］

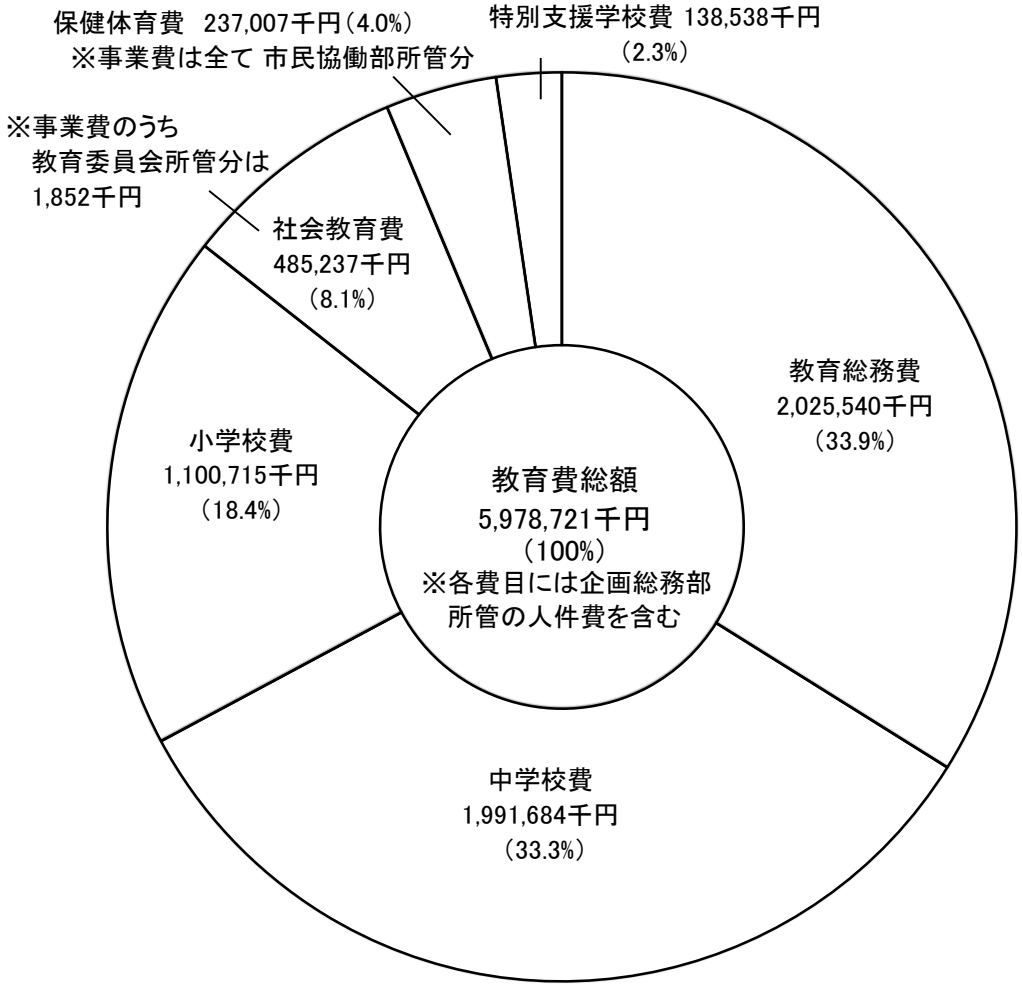
令和8年3月31日現在

区分		教育長	事務局長	教育監	事務局次長	課長（室長）	副課長	主査（館長）	指導主事	社会教育主事	事務職員	技術職員	計	再任用職員	会計年度任用職員	合計
教育長		1											1			1
事務局	事務局長		1										1			1
	教育監			1									1			1
	事務局次長				1								1			1
	総務課					(1) 2		(2) 3	1	1	3		(3) 10	1	5	(3) 16
	学校再編推進室					1		1			1		3			3
	教育みらい創造室					1		(2)	1	1			(2) 3			(2) 3
	学校教育課					2		3	4		1		10		12	22
	指導室					1			4				5		12	17
	学務課					2		(1) 2			3	6	(1) 13	2	6	(1) 21
	人権・同和教育課					1	1	(1) 2			1		(1) 5			(1) 5
教育機関	公民館							7					7		20	27
	教育研究所					(1)							(1)		7	(1) 7
	中学校給食センター					(1)		(1)				(4) 2	(6) 2	(1)		(7) 2
	小学校											6	6		19	25
	中学校														6	6
	特別支援学校											2	2			2
合　　計		1	1	1	1	(3) 7	1	(5) 17	5	1	8	(4) 16	(12) 59	(1) 3	75	(13) 137

※1　学校再編推進室及び教育みらい創造室は総務課の内数
※2　指導室は学校教育課の内数
※3　総務課、教育みらい創造室主査、学務課主査、人権・同和教育課主査の（ ）は事務取扱
※4　総務課、学務課、人権・同和教育課の（ ）は事務取扱
※5　教育研究所及び中学校給食センターの（ ）は兼務
※6　給食センター給食調理員は学務課技術職員に含む

教　育　財　政

［令和８年度当初予算］

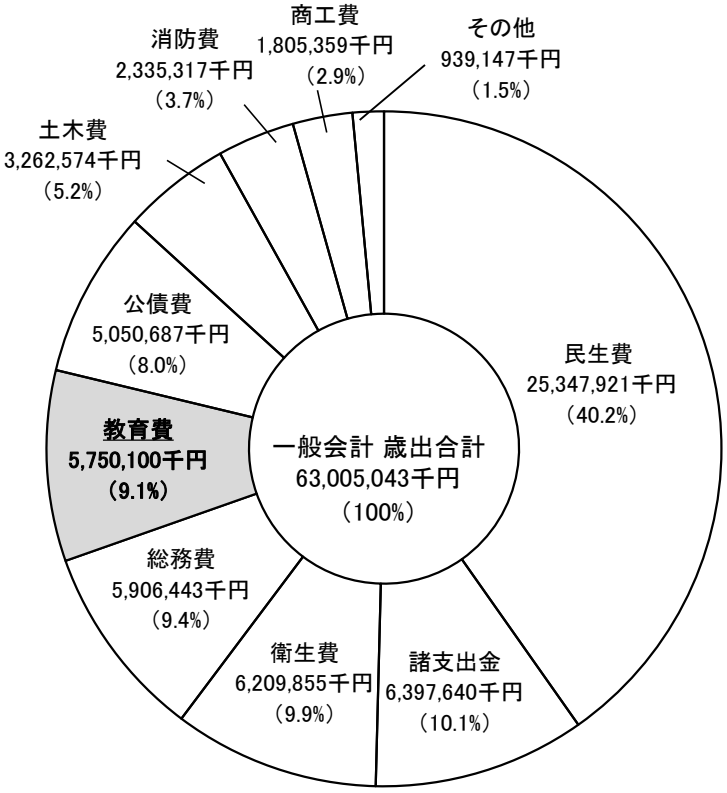


令和８年度大牟田市学校教育振興事業計画重点事業

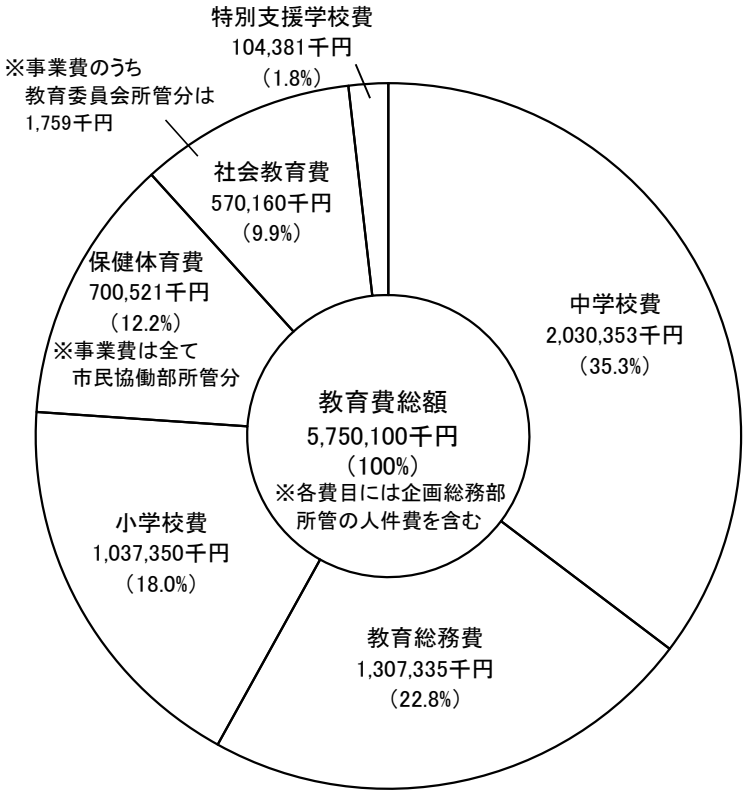
○学力ブラッシュアップ推進事業	21,638 千円
○小中一貫教育推進事業	39,921 千円
○ＳＤＧｓ／ＥＳＤ推進事業	2,000 千円
○ハートフルスクールプロジェクト推進事業	41,762 千円
○学校再編整備推進事業	1,435,329 千円
○人権・同和教育・啓発推進事業	406 千円

[令和７年度決算]

１ 一般会計歳出決算（款別）

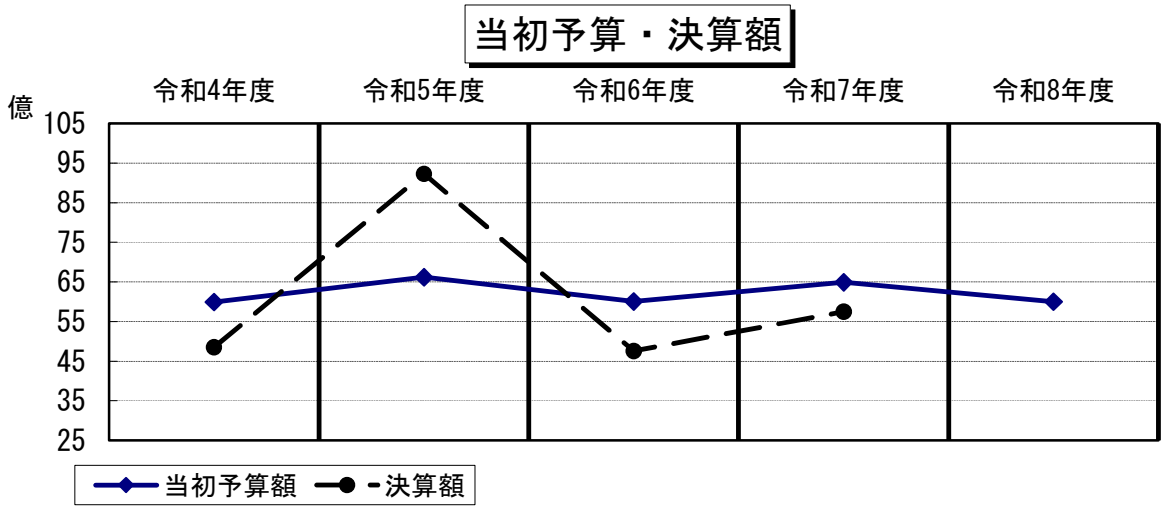


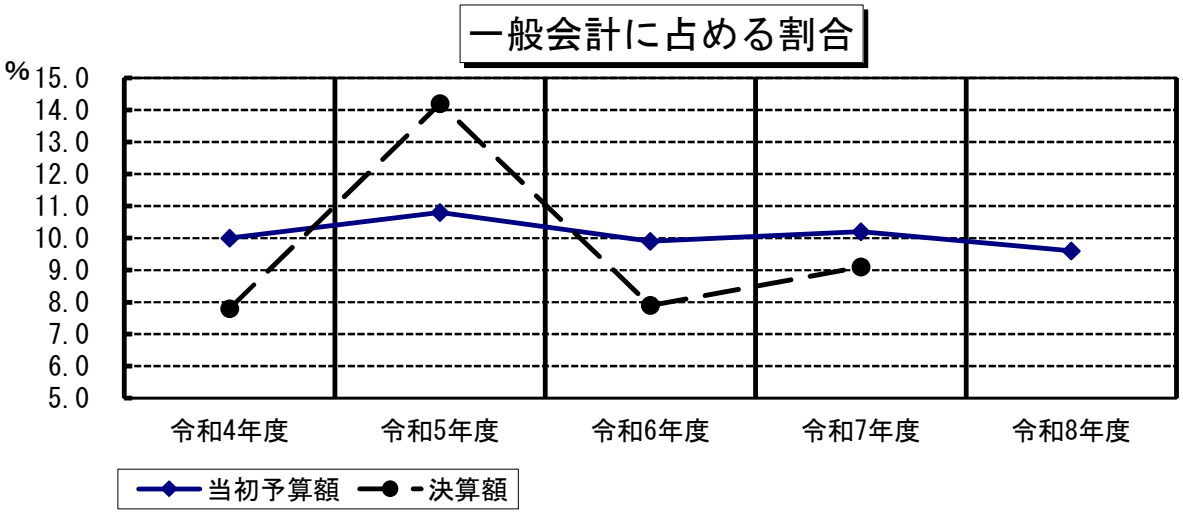
２ 教育費歳出決算



[教育費の当初予算・決算推移]

※当初予算・決算額には、市民協働部等他部所管分を含む。
※決算額には、前年度繰越予算による事業実施分を含む。





項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
教育費 決算額	4,852,356	9,232,547	4,763,773	5,750,100	
教育費 当初予算（千円）	5,978,728	6,623,420	6,012,932	6,494,038	5,978,721
一般会計 決算額	62,315,005	64,822,135	60,661,171	63,005,043	
一般会計 当初予算（千円）	59,900,000	61,120,000	60,600,000	63,360,000	62,440,000
一般会計に占める割合 決算額	7.8%	14.2%	7.9%	9.1%	
一般会計に占める割合 当初予算（%）	10.0	10.8	9.9	10.2	9.6

〔 各種委員会等 〕

令和８年３月３１日現在

大牟田市議会市民教育厚生委員会

委員長	三　宅　智加子
副委員長	江　上　しほり
委　員	中　原　誠　吾
〃	光　田　　茂
〃	櫻　井　ちはる
〃	船　原　基　近
〃	山　田　修　司
〃	北　岡　あ　や

大牟田市社会教育委員

中　村　玲　花	小学校長会
弓　削　暢　彦	中・特別支援学校長会
伊　藤　雄　矢	小・中・特別支援学校 PTA 連合会
堺　　婦小与	子育てネットワーク
西　田　鮎　美	市　民　公　募
松　尾　龍　美	体　育　団　体
田　中　吉　典	校区コミュニティ連絡協議会
江　崎　美津子	女　性　団　体
江　口　美津子	文　化　団　体
江　嵜　圭　二	公民館利用者
久　保　直　子	〃
柿　川　和　機	市　民　公　募
堺　　裕	学識経験者

大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会

（任期は R7 年 12 月 18 日まで）

葉　玉　千賀子	通学区域審議会
西　田　　智	〃
吉　田　　一	〃
河　島　宏　子	〃
笹　井　葉　子	〃
溝　上　尚　子	〃
下　川　雅　史	〃
田　中　隆　司	〃
黒　田　真　琴	〃
林　　康　司	学識経験者
西　山　真　実	中学校父母教師会
萬　矢　勝　保	校区コミュニティ連絡協議会
西　山　　明	民生委員・児童委員協議会
安　元　大　介	私立幼稚園協会
武　田　智佳子	保育所連絡協議会

大牟田市立学校通学区域審議会

（任期は R7 年 12 月 18 日まで）

葉　玉　千賀子	学識経験者
西　田　　智	〃
吉　田　　一	小学校父母教師会
河　島　宏　子	市　民　公　募
笹　井　葉　子	〃
溝　上　尚　子	小　学　校　長
下　川　雅　史	中　学　校　長
田　中　隆　司	教　　職　　員
黒　田　真　琴	〃

大牟田市就学支援委員会

堺　　裕	学識経験者
田　島　重　吉	専　門　医
辻　　克　郎	〃
冨　松　健太郎	〃
諸　岡　居　織	〃
上　村　正　行	〃
石　橋　庸　司	〃
坂　口　明　夫	心理判定員
井　手　柚　希	〃
松　藤　麻　奈	〃
田　中　啓　吾	小　学　校　長
大　向　智　樹	中　学　校　長
寺　本　健　彦	特別支援学校長
井　上　由希子	教　　職　　員
彌　永　亮　輔	〃
塚　本　七帆子	〃
栗　原　淳　子	〃
石　田　そよか	〃
加　藤　壌　児	〃
森　　昭　子	〃
内　野　麻衣子	〃
関　戸　美　恵	〃
北　島　三津子	〃

大牟田市いじめ防止対策委員会

奥　村　賢　一	福岡県立大学
中　尾　哲　郎	弁　護　士
辻　　克　郎	専　門　医
池　田　美　子	人権擁護委員

吉光哲也	教育相談員
北村誠一郎	スクールカウンセラー
古賀智美	大牟田児童相談所
高口恵美	スクールソーシャルワーカー
篠原隆志	大牟田警察署

大牟田市立学校結核対策委員会

川崎雅之	専門医
菅原謙三	医師会
松尾知幸	〃
松尾美智代	保健所長
徳永秀志	小学校長
宮﨑香奈	養護教諭
井上美栄	〃

大牟田市立小学校給食調理業務委託者選定委員会
（任期はR7年12月5日まで）

岩間眞弓	学識経験者
齊木聖子	小学校父母教師会
稲田知子	〃
横山千春	小学校長
宮田久美子	〃
原田賢浩	〃
古賀初	〃
中村玲花	〃
溝上尚子	〃
竹下理恵子	栄養教諭
角田理恵	〃
山下弘美	給食調理員

大牟田市スポーツ推進委員

山田征士	みなと校区
三宅俊之	〃
福山良夫	〃
古賀達也	天領校区
荒木泰	〃
池田康則	〃
内田勉	駛馬校区
余宮信吾	〃
大石利男	〃
堺美穂	〃
塚本多一	天の原校区
坂本道治	〃
奥村橘倫	〃
山田貴正	玉川校区
古田將詞	〃
前山剛	大牟田中央校区
古賀祥道	〃
田中涼子	〃
野田忠	〃
髙津康人	大正校区
岩根敬吾	〃
豊福達也	〃
髙口武士	明治校区
長尾一也	〃
石原良一	〃
古賀義勝	中友校区
田﨑靖雄	〃
池田正	白川校区
久富優生	〃
江上しほり	〃
宮地日出丸	平原校区
中山智志	〃
堤正則	〃
本田豊秋	高取校区
吉田達也	〃
中川恭大	〃
深浦千代子	三池校区
笹尾泰教	〃
河野博信	〃
中川清博	羽山台校区
佐藤誠	〃
松尾礼子	銀水校区
藤間千代志	〃
北岡あや	〃
野田卓朗	上内校区
西山照久	〃
塚本幸子	吉野校区
野田広行	〃
豊嶋邦雄	〃
野田哲寛	倉永校区
辻井秀治	〃
今村圭児	〃
広田桂介	手鎌校区
大津義文	〃
井上泰孝	〃

大牟田市スポーツ推進審議会

道下竜馬	学識経験者
白石政嗣	体育協会
江頭信次	〃
杉野健次郎	〃

黒田　洋	スポーツ少年団
堺　美穂	スポーツ推進委員協議会
谷口靖宏	右京ふれあい健康クラブ
金﨑克也	医師会
永松　均	商工会議所
福山穂積	障害者協議会
山口博充	大牟田市内高等学校校長会
松尾聡明	校区コミュニティ連絡協議会
内田ひろみ	福岡県職員
川﨑由美子	小学校長会
下川雅史	中学校・特別支援学校長会

大牟田市文化芸術振興審議会

日下部　信	九州大谷短期大学
野中邦敏	大牟田文化連合会
深浦洋子	〃
三宅かずみ	大牟田音楽家協会
甲斐田みゆき	大牟田文化会館
梶原伸介	三池カルタ・歴史資料館
諸田浩美	高等学校校長会
大向智樹	中学校・特別支援学校長会
砥上良文	絵手紙みかわ
橋本恵里香	市民公募

大牟田市文化財保護審議会

梶原伸介	古文書
片野　博	建造物
井形　進	仏教美術
江島　香	近代史
木戸道男	地質

〔 市立学校一覧 〕

1 市立小学校

令和８年３月３１日

No.	学校名	電話	FAX	所在地	校長名
1	みなと小学校	53－6004	56－0914	上屋敷町２丁目３番地１	平田 真紀子
2	天領小学校	53－6006	56－0912	天領町１丁目145番地１	吉田 雅史
3	駛馬小学校	53－6008	56－0901	馬場町17番地	田中 啓吾
4	天の原小学校	53－6009	56－0895	笹原町３丁目116番地	福山 恵里佳
5	玉川小学校	53－6011	56－0885	大字楾野2710番地１	藤木 春美
6	大牟田中央小学校	53－6014	59－0864	笹林町１丁目１番地３	田上 修
7	大正小学校	53－6015	59－0863	大正町５丁目５番地９	徳永 秀志
8	中友小学校	53－6016	56－0497	中友町１番地20	横山 千春
9	明治小学校	53－6017	59－0859	明治町２丁目21番地１	宮田 久美子
10	白川小学校	53－6018	59－0856	中白川町１丁目183番地	中村 玲花
11	平原小学校	53－6019	56－9044	平原町333番地	古賀 初
12	高取小学校	53－6020	59－0854	大字歴木1807番地58	髙口 直喜
13	三池小学校	53－6021	59－0853	大字新町289番地１	大膳 誠司
14	羽山台小学校	53－6013	59－0857	大字草木587番地３	溝上 尚子
15	銀水小学校	53－6022	59－0849	大字田隈239番地	藤原 英記
16	上内小学校	58－0103	50－0497	大字上内1575番地１	髙倉 洋美
17	吉野小学校	58－1037	58－7990	大字白銀967番地17	川﨑 由美子
18	倉永小学校	58－1038	58－7987	大字倉永1307番地	藤吉 和美
19	手鎌小学校	53－6025	59－0848	大字唐船395番地	原田 賢浩

2 市立中学校

No.	学校名	電話	FAX	所在地	校長名
1	宅峰中学校	53－6034	57－7098	右京町１番地	菅原 幸典
	宅峰中学校ほしぞら分校	57－1065	－	大正町５丁目４番地16	
2	宮原中学校	53－6032	57－7094	米生町２丁目26番地	原 正和
3	松原中学校	53－6035	57－7143	大正町５丁目４番地16	弓削 暢彦
4	白光中学校	53－6036	57－7147	椿黒町32番地	藤井 清午
5	御木中学校	53－6037	57－7164	大字歴木1150番地	杉野 浩二
6	白銀中学校	53－6040	57－7169	大字田隈338番地	大向 智樹
7	甘木中学校	58－0033	50－1373	大字甘木613番地１	下川 雅史

3 市立特別支援学校

No.	学校名	電話	FAX	所在地	校長名
1	大牟田特別支援学校	56－9671	52－0111	天道町24番地	寺本 健彦

〔 学校別児童生徒・教職員数 〕

※　特別支援学級の児童生徒数は再掲

学校名		合計		1年		2年		3年		4年		5年		6年		特別支援学級	
		学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数
小学校	みなと	11	258	1	35	2	46	2	60	2	39	1	34	2	44	1	5
	天領	16	394	2	61	2	64	2	63	2	52	3	81	3	73	2	10
	駅馬	11	249	1	37	1	34	2	45	1	34	2	41	2	58	2	7
	天の原	8	179	1	23	1	26	1	31	1	32	1	34	1	33	2	12
	玉川	7	53	1	5	1	10	1	9	1	9	1	10	1	10	1	1
	大牟田中央	16	375	2	57	2	70	2	66	2	57	3	71	2	54	3	11
	大正	14	247	2	36	2	41	2	40	2	40	2	48	2	42	2	6
	中友	8	136	1	21	1	19	1	18	1	24	1	33	1	21	2	9
	明治	11	227	2	41	2	43	1	35	1	32	2	39	2	37	1	3
	白川	12	291	1	35	2	52	1	30	2	56	2	59	2	59	2	13
	平原	8	131	1	22	1	21	1	19	1	30	1	16	1	23	2	11
	高取	8	140	1	18	1	23	1	29	1	18	1	27	1	25	2	7
	三池	15	313	2	53	2	44	2	65	2	50	2	51	2	50	3	10
	羽山台	13	272	1	36	2	41	2	44	2	54	2	38	2	59	2	4
	銀水	19	431	2	67	3	81	2	57	3	84	2	64	3	78	4	16
	上内	6	60	1	7	1	9	1	12	1	13	1	12	1	7	0	0
	吉野	14	321	2	57	2	53	2	48	2	51	2	50	2	62	2	8
	倉永	7	169	1	25	1	33	1	32	1	25	1	31	1	23	1	4
	手鎌	19	392	2	61	2	72	2	53	2	66	2	64	3	76	6	24
小学校計		223	4,638	27	697	31	782	29	756	30	766	32	803	34	834	40	161
中学校	宅峰	18	535	5	171	5	184	5	180			－	－	－	－	3	14
	ほしぞら	3	17	1	4	1	7	1	6							0	0
	宮原	10	291	3	90	3	101	3	100			－	－	－	－	1	7
	松原	9	215	2	74	2	56	3	85			－	－	－	－	2	13
	白光	9	248	2	78	2	80	3	90			－	－	－	－	2	5
	御木	16	464	4	156	4	141	5	167			－	－	－	－	3	11
	白銀	14	408	3	125	4	135	4	148			－	－	－	－	3	17
	甘木	11	282	3	92	2	83	3	107			－	－	－	－	3	13
中学校計		90	2,460	23	790	23	787	27	883							17	80
大牟田特別支援	小学部	12	53	2	9	1	5	3	11	2	13	3	8	1	7	－	－
	中学部	8	30	4	10	1	6	3	14							－	－
	高等部	12	59	4	17	4	21	4	21	－	－	－	－	－	－	－	－

令和７年５月１日現在

県費負担職員														市費負担職員					学校名	
計	校長	教頭	主幹教諭	指導教諭	教諭	助教諭	養護教諭	養護助教諭	栄養教諭	栄養代理職員	講師	事務職員		計	図書事務員	給食調理員	学校管理員	学校管理図書事務員		
15	1	1	1		10		1					1		2				2	みなと	小学校
23	1	1			16	1	1		1		1	1		2				2	天領	
20	1	1	1		15		1					1		2				2	駛馬	
14	1	1			8		1	1				2		2				2	天の原	
12	1	1			8		1					1		1				1	玉川	
26	1	1			18		1				4	1		6		4		2	大牟田中央	
23	1	1	1		16		1				1	2		6		4		2	大正	
14	1	1			9	1	1					1		1				1	中友	
17	1	1	1		11		1				1	1		2				2	明治	
18	1	1	1		11		1	1			1	1		2				2	白川	
13	1	1	1		8		1					1		1				1	平原	
14	1	1	1		9		1					1		2				2	高取	
21	1	1	1		14		1		1		1	1		2				2	三池	
19	1	1			14		1		1			1		2				2	羽山台	
26	1	1	1		18	2	1		1			1		2				2	銀水	
10	1	1	1		5		1					1		1				1	上内	
20	1	1	1		12	1	1				2	1		2				2	吉野	
12	1	1			8		1					1		2				2	倉永	
29	1	1			22		1		1		1	2		2				2	手鎌	
346	19	19	11	0	232	5	19	2	5	0	12	22		42	0	8	0	34	小学校計	
37	1	1	1		30		1				2	1		2				2	宅峰	中学校
10		1			4	2		1			1	1		1				1	ほしぞら	
26	1	1			20	1	1	1				1		2				2	宮原	
22	1	1	1		13	1	1		1		2	1		2				2	松原	
22	1	1	1		14		1		1		2	1		2				2	白光	
31	1	1	1		24		1				2	1		2				2	御木	
29	1	1	1		20		1				4	1		2				2	白銀	
25	1	1			21		1					1		2				2	甘木	
202	7	8	5	0	146	4	7	2	2	0	13	8		15	0	0	0	15	中学校計	
81	1	2	1		45	1	2	1	1		23	4		4		3		1	小学部	特別支援大牟田
																			中学部	
																			高等部	

〔市立学校の通学区域〕

令和７年４月１日現在

１ 小学校通学区域

学校名	通学区域
みなと小学校	三里町１丁目、三里町２丁目、三里町３丁目、四山町、浪花町、早米来町１丁目、早米来町２丁目、新港町（１、４）、南船津町１丁目、南船津町２丁目、南船津町３丁目、南船津町４丁目、天領町３丁目、樋口町、姫島町、加納町１丁目、加納町２丁目、西港町２丁目（９、２３、４２～５５）、高砂町、三川町２丁目、三川町３丁目、三川町４丁目、三川町５丁目、船津町、船津町１丁目、船津町２丁目、上屋敷町１丁目、上屋敷町２丁目、汐屋町、入船町、藤田町（５５の２、５６の１、５６の３、５７、５８の１、５８の４、５９の２）
天領小学校	白金町、長田町、若宮町（駿馬北小学校通学区域以外の区域）、八江町、右京町、田端町、山下町、延命寺町、片平町、三川町１丁目、諏訪町１丁目、諏訪町２丁目、諏訪町３丁目、天領町１丁目、天領町２丁目、西港町１丁目、西港町２丁目（みなと小学校通学区域以外の区域）、新港町（みなと小学校通学区域以外の区域）、千代町、小川町、岬町
駿馬小学校	若宮町（３５の１、３５の２、３６の１～３６の３、３７の１、３７の２、３８、３９、４０の１～４０の３、４１の１～４１の５、４２の１～４２の４、４３、４４の１～４４の５、４５の１～４５の３、４８、４９）、青葉町（天の原小学校通学区域以外の区域）、一部町、黄金町１丁目（上官小学校通学区域以外の区域）、黄金町２丁目、末広町、駿馬町、馬場町、馬込町１丁目、馬込町２丁目、宮原町１丁目、宮原町２丁目、合成町、飯田町、臼井町、臼井新町１丁目、臼井新町２丁目（天の原小学校通学区域以外の区域）、沖田町、神田町、桜町、野添町、藤田町（みなと小学校通学区域以外の区域）、米生町１丁目
天の原小学校	新勝立町１丁目、新勝立町２丁目、新勝立町３丁目、新勝立町４丁目（玉川小学校通学区域以外の区域）、新勝立町５丁目、新勝立町６丁目、笹原町１丁目、笹原町２丁目、笹原町３丁目、下池町、萩尾町１丁目、萩尾町２丁目、東萩尾町、大字勝立（７１の６、７１の８～７１の１２、７１の１５、７１の１８、７１の２０、１０２の２、１０９の１～１０９の４、１０９の９、１０９の１１、１０９の１３～１０９の２５、１２２の２０～１２２の２４、２２７の２、２２７の４、２２７の５）、米生町２丁目、馬渡町、早鐘町、天道町、臼井新町２丁目（８１、８２、９９の１～９９の８、１０２、１０３の１、１０３の２、１０４の１、１０４の２、１０５の１～１０５の４、１０６の１、１０７、１０８の１～１０８の３、１０９の１、１１０、１１１、１１２の１～１１２の３、１２２～１２７、１２８の１～１２８の７）、青葉町（１２５の２～１２５の１２、１２７の４）
玉川小学校	大字勝立（天の原小学校通学区域以外の区域）、大字教楽来、大字櫟野、新勝立町４丁目（３の８～３の２５、３の６９～３の１０４、１７の１、１７の２、２０）
大牟田中央小学校	西宮浦町、東宮浦町、上官町１丁目、上官町２丁目、上官町３丁目、上官町４丁目、宮坂町、七浦町、三坑町、花園町、宮山町、真道寺町、黄金町１丁目（２１９の１、２１９の４～２１９の６、２３６の１～２３６の６、２３７の１～２３７の１９、２３７の２６、２３８の１、２３８の３、２３８の４、２３８の７～２３８の２４）、不知火町１丁目、不知火町２丁目、不知火町３丁目、浄真町、宝坂町１丁目、宝坂町２丁目、一浦町、正山町、昭和町、原山町、築町、上町１丁目、上町２丁目、有明町１丁目、有明町２丁目、常盤町、松浦町、笹林町１丁目、笹林町２丁目、左古町、山上町、一本町、東泉町、曙町、出雲町、谷町、泉町、旭町１丁目、旭町２丁目、旭町３丁目、栄町１丁目、栄町２丁目
大正小学校	小浜町、小浜町１丁目、小浜町２丁目、小浜町３丁目、久保田町１丁目（３、４）、久保田町２丁目、本町３丁目（３、４、５）、本町４丁目、本町５丁目、本町６丁目、大正町４丁目、大正町５丁目、大正町６丁目、松原町（中友小学校通学区域以外の区域）、松原町２丁目（３６の１６、３６の１７）
中友小学校	本町１丁目、本町２丁目、本町３丁目（大正小学校通学区域以外の区域）、西浜田町、浜田町、中友町、住吉町、中島町、港町、古町、橋口町、松原町（１、２）、西新町、大正町１丁目、大正町２丁目、大正町３丁目、新地町、久保田町１丁目（大正小学校通学区域以外の区域）

学校名	通学区域
明治小学校	新栄町、明治町１丁目、明治町２丁目、明治町３丁目、北磯町、中町１丁目、中町２丁目、健老町、天神町、浜町、新開町、恵比須町、城町１丁目、城町２丁目、大黒町１丁目、大黒町２丁目、大黒町３丁目、大黒町４丁目、椿黒町（白川小学校通学区域以外の区域）
白川小学校	柿園町１丁目、柿園町２丁目、柿園町３丁目、東新町１丁目、東新町２丁目、通町１丁目（１、２、３）、長溝町、八尻町１丁目、八尻町２丁目、八尻町３丁目、日出町１丁目、日出町２丁目、日出町３丁目、椿黒町（１～７）、浅牟田町、鳥塚町、上白川町１丁目、上白川町２丁目、中白川町１丁目、中白川町２丁目、中白川町３丁目、下白川町１丁目、下白川町２丁目
平原小学校	通町１丁目（白川小学校通学区域以外の区域）、通町２丁目、亀甲町、八本町、大浦町、焼石町、瓦町、龍湖瀬町、亀谷町、稲荷町、平原町、大字歴木（９７２の１～１０２４、１８０７の４５、１８０７の４７～１８０７の４９、１８０７の７３～１８０７の８３、１８０７の８６、１８０７の８８、１８０７の８９、１８０７の１１２～１８０７の１１６、１８０７の１１８～１８０７の１２０、１８０７の２１３～１８０７の２１９、１８０７の２９６、１８０７の２９７、１８０７の３０９～１８０７の３１１、１８０７の３５９、１８０７の６９９、１８０７の８６３、１８０７の８７５～１８０７の８８０、１８０７の９２１～１８０７の９２３、１８０９、１８１０の１～１８１０の６）
高取小学校	大字今山（三池小学校通学区域以外の区域）、大字歴木（平原小学校通学区域、三池小学校通学区域及び羽山台小学校通学区域以外の区域）
三池小学校	大字三池（羽山台小学校通学区域及び銀水小学校通学区域以外の区域）、大字新町、大字今山（１～２２７８、２３５９～２８５１、３２７１～３３８７、３４２４～３４８４）、大字歴木（４４、７１～８３、１２６、１２７、１３０～１３９、１４１の１、１４２の１、１４３～１４３の３、１４４の１、１５１～４６０の２１、４６１～４７４、４８４～５３４、７６８～７７０、７７３～７８０、７８２～９１５、１０２５の１～１３０８、１３１０～１８０５、１８１７の１～１８１７の６、１８２０、１８２１）
羽山台小学校	大字三池（１～１１３、１１４の２、１１５～１３９の３、１３９の５～１４０の１、１４０の３、１４０の４、１４１の１、１４１の３～１４３、１７８～２０２、２１２、２１５～５５５、５５７の３、５６２～５８５、５８９～６０３）、大字歴木（４６０の２２～４６０の２４、４７５～４８３、９１６～９７１）、大字白川、大字草木（銀水小学校通学区域以外の区域）、大字田隈（４００～４４５、７４６～７５７、７７４の２、７７４の３）
銀水小学校	大字宮部、大字久福木、大字田隈（羽山台小学校通学区域以外の区域）、大字橘（吉野小学校通学区域及び手鎌小学校通学区域以外の区域）、大字草木（１１０の３、１１０の６、１１０の１０、１１０の１１、１１１～１１４、１１７、１２０、１２８の２、１２８の８～１２８の１０、１２９の２、１２９の６、１３１の６、１３１の９、１３１の１３、１３２の１、１３２の３、１３２の８、１３２の９、１３２の１２、１３２の１３、１３３～１３５、１３７の３～１３７の５、１３９の３、１３９の５、１４０～３０３、３５９の２、３６０の１、３６０の４～３６０の７、３６１の１～３６１の３、３６１の６、３６１の７、３６１の９、３６２の２、３６２の７、３６２の８、３６３の４、３６３の６～３６３の８、３６４の３、３６４の５、３６４の８～３６４の１４、１０５８～１３０２）、大字吉野（１６１５～１６１９、１６２２～１６２９、１６３２、１６３３、１６４３～１６４７、１６５０、１６５１、１６５３）、大字甘木（１～７、１２の２、１５、１７の２、５０４の２、５０４の６、５３３、５３４、５４０～５４３、５４６、５４７の２、５４８、５５４、５５８）、大字三池（１１４の１、１１４の３～１１４の９、１３９の４、１４０の２、１４０の５～１４０の８、１４１の２、１４４～１４８の２、１４８の４、１４９～１５５の２、１５５の５、１５５の９～１５５の１６、１５５の１８、１５５の２０、１５９の２）
上内小学校	大字上内（吉野小学校通学区域以外の区域）、大字四ケ、四箇新町１丁目、四箇新町２丁目、四箇新町３丁目、大字岩本（吉野小学校通学区域以外の区域）、岩本新町１丁目（吉野小学校通学区域以外の区域）、岩本新町２丁目（吉野小学校通学区域以外の区域）
吉野小学校 （次ページにつづく）	大字白銀、大字上内（３４３０～３６６８）、大字岩本（２４１７～２４９６、２４９９、２５２３～２５２５、２５４９、２５５１～２９３７）、岩本新町１丁目（１、２、７の１～７の７）、岩本新町２丁目（１～３）、大字宮崎（１７３６～３１５１）、大字吉野（９４～１８２、５４８～１０９３、１０９４の２、１０９４の３、１１３６、１１３７の１～１１３７の５、１１３７の７、１１４０、１１４１の１、１１４５の５、１２２０の１～１２５６の１）、大字橘（５９９の２、６００の２～６００の６、７７０～７８３、

学校名	通学区域
吉野小学校（つづき）	７８５の１、７８５の５、７８５の８～７８７、７８８の１、７８８の４、７８８の５、７８９の３、７９０の３～７９０の６、７９８～８３４、８３８～８４０、８４５の２～９１７、９１８の３～９１８の６、９２２の１、９２３の２、９２４の１～９２７、９３２の１、９３２の３～９３４、９３５の２、９３５の３、９３５の６、９３５の７、９３６の１、９３６の３～１５７４）
倉永小学校	大字倉永、大字宮崎（吉野小学校通学区域以外の区域）、大字吉野（銀水小学校通学区域及び吉野小学校通学区域以外の区域）、大字甘木（６１４の１～６２０、６２２～６４８、１２０３の１～１２０３の４５、１２０３の１８８、１２０３の１９０～１２０３の２００）
手鎌小学校	大字手鎌、大字岬、大字甘木（銀水小学校通学区域及び倉永小学校通学区域以外の区域）、大字唐船、昭和開、大字橘（１０８、１０９の１、１０９の５、１０９の６）

２　中学校通学区域

学校名	通学区域
宅峰中学校	みなと小学校通学区域、天領小学校通学区域、大牟田中央小学校通学区域
宅峰中学校ほしぞら分校	市内全域
宮原中学校	駛馬南小学校通学区域、駛馬北小学校通学区域、天の原小学校通学区域、玉川小学校通学区域
松原中学校	大正小学校通学区域、中友小学校通学区域
白光中学校	明治小学校通学区域、白川小学校通学区域
御木中学校	平原小学校通学区域、高取小学校通学区域、三池小学校通学区域、羽山台小学校通学区域
白銀中学校	銀水小学校通学区域、上内小学校通学区域、吉野小学校通学区域
甘木中学校	倉永小学校通学区域、手鎌小学校通学区域

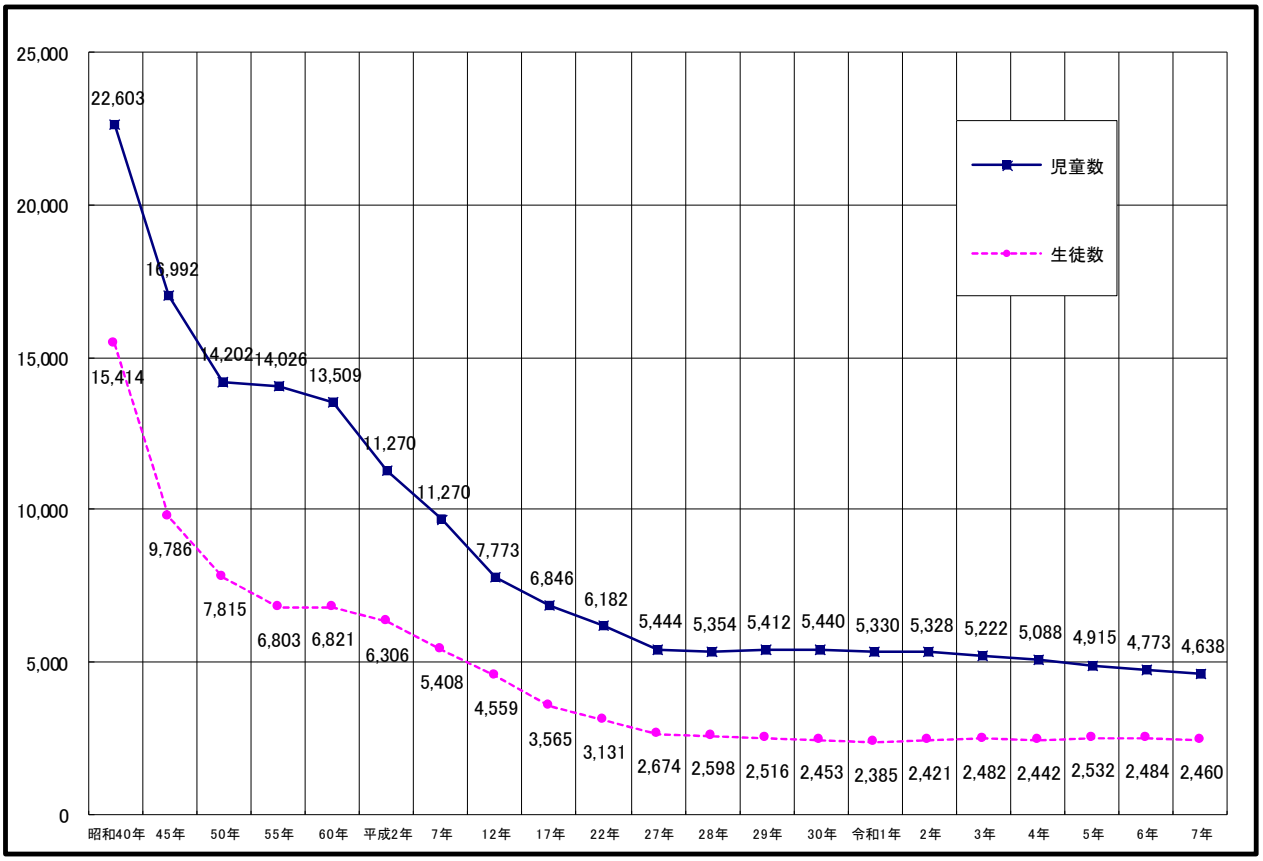
３　特別支援学校通学区域

学校名	通学区域
大牟田特別支援学校	市内全域

※教育委員会が特に必要と認める場合は、上の表に定める通学区域の学校以外の教育委員会が指定する学校に就学することができる。

〔 児童生徒数の推移 〕

大牟田市立小・中・特別支援学校の児童生徒数の推移（特別支援学校高等部の生徒は除く。）



各年５月１日現在(学校基本調査より)

〔 卒業後の状況 〕

1　大牟田市立中学校の卒業後の状況

年度	卒業者総数(A)	高等学校等進学者(B)	専修学校等入学者(C)	就職者(D)	B・C・D 以外の者(E)	就職進学者・就職入学者(F)	高等学校等進学率(B/A)	就職率((D+F)/A)
R5	815	796	2	0	17	―	97.7%	0%
R6	768	741	3	0	24	―	96.5%	0%
R7	879	853	2	3	21	―	97.0%	0.3%

※A＝B＋C＋D＋E－F

※就職率には就職進学者・就職入学者を含む。

2　県下中学校の卒業後の状況（国立・公立・私立）

年度	卒業者総数(A)	高等学校等進学者(B)	専修学校等入学者(C)	就職者(D)	B・C・D 以外の者(E)	就職進学者・就職入学者(F)	高等学校等進学率(B/A)	就職率((D+F)/A)
R5	47,066	46,174	266	127	504	5	98.1%	0.3%
R6	46,909	46,025	243	126	519	4	98.1%	0.3%
R7	46,595	45,672	268	128	535	8	98.0%	0.3%

※A＝B＋C＋D＋E－F

※就職率には就職進学者・就職入学者を含む。

〔学校施設一覧〕

校地・建物面積等の状況

令和７年５月１日現在（単位：㎡）

区分		校地面積		建物面積（文部科学省基準）										プール
		建物敷地	運動場	校舎			ランチルーム※1	校舎内の学童保育所※1	食堂	給食室	屋内運動場	地域連携施設	武道場	(M×ｺｰｽ)
				鉄筋	鉄骨	木造								
小学校	みなと	6,587	10,600	3,922	680		130			155	919	77		25 × 7
	天領	5,024	8,639	3,927	53					134	919	180		25 × 7
	駛馬	8,460	9,440	3,850	59					151	919	180		25 × 7
	天の原	11,319	13,068	2,788	63	128			270	134	894	180		25 × 7
	玉川	5,724	6,051	2,849	24	41				142	※3 429			25 × 6
	大牟田中央	5,859	7,874	4,282	63				510	168	919	135		25 × 7
	大正	9,853	9,697	4,121	77			86		※3 140	919	270		25 × 7
	中友	9,030	11,680	4,130				127		150	730			25 × 7
	明治	7,777	7,085	4,023	53			65		150	919	250		25 × 7
	白川	11,705	14,692	4,532	53		130	130		170	919	270		25 × 7
	平原	7,713	8,922	3,522	65	20	130			153	894	250		25 × 7
	高取	7,011	10,853	4,595	51	62		72		170	※3 626			25 × 7
	三池	9,334	9,944	4,736	51					168	974			25 × 7
	羽山台	9,512	10,335	4,111						168	※3 725			25 × 7
	銀水	10,379	9,514	5,222	51					231	※3 1,055			25 × 7
	上内	5,486	5,290	1,892					270	112	※3 797			25 × 7
	吉野	10,206	8,311	3,709	110					168	919	200		25 × 7
	倉永	7,867	8,176	3,209	17				390	168	919	250		25 × 6
	手鎌	5,295	9,634	5,059	83					168	1,215	200		25 × 7
小学校計(19校)		154,141	179,805	74,479	1,553	251	390	480	1,440	3,000	16,610	2,442		
中学校	宅峰	11,656	21,592	4,724	153						1,142		※4 607	25 × 7
	宮原	12,598	14,886	4,337	103						981	200	350	25 × 8
	松原	9,993	9,228	4,821	92						※3 650			25 × 6
	白光	11,636	15,646	4,609	176	7					981	200	450	25 × 8
	御木	13,822	16,370	6,123							※3 1,222	200	350	25 × 8
	白銀	14,061	12,584	5,695	52						1,519	250	450	25 × 6
	甘木	22,401	※5 13,266	4,797	91						1,222	200	350	25 × 6
中学校計(7校)		96,167	103,572	35,106	667	7					7,717	1,050	2,557	
特別支援学校		17,351	8,400	5,962	358				150	125	※3 747	※2(61)		25 × 7
合計(27校)		267,659	291,777	115,547	2,578	258	390	480	1,590	3,125	25,074	3,492	2,557	

※1:ランチルームと学童保育所は校舎内にあるが、面積は外数

※2:屋内運動場面積の内数に含む。

※3:鉄骨造(地域連携施設及び武道場は屋内運動場と同一構造)
(食堂・給食室・屋内運動場で※3以外は主面積が鉄筋コンクリート造)

※4:宅峰中は弓道場を含む。(延命庁舎に隣接)

※5:甘木中は校庭夜間照明施設(学校開放)あり。

〔 教育施設一覧 〕

令和８年３月３１日現在

施設名（開館年月）	所在地 電話番号（ＦＡＸ）	建物面積 [敷地面積]	施設の主な内容	開館時間	休館日
カルタックスおおむた（平成 3年 4月）	宝坂町２丁目２番地３	3,764㎡ [4,400㎡]			月曜、毎月最終の木曜（祝日の場合は翌日）、年末年始
三池カルタ・歴史資料館	53-8780（53-8781）	共有部分 742㎡ 資料館 819㎡ 図書館 2,203㎡	展示室	10:00～17:00	
図書館	55-4504（43-1167）		開架室、書庫 視覚障害者サービス室	9:30～20:00 土日祝 18:00	
中央地区公民館（平成 4年 4月）	原山町１３番地３ 53-1502（59-0614）	1,567㎡ [1,702㎡]	創作室、視聴覚室、研修室、幼児室 他	9:00～21:30 日曜 17:00	第1月曜、年末年始
三川地区公民館（平成14年 4月）	上屋敷町１丁目１２番地３ 52-5957（52-5998）	1,343㎡ [1,386㎡]	研修室、和室、図書コーナー、多目的ホール 他		
勝立地区公民館（昭和55年 6月）	新勝立町４丁目１番地１ 51-0393（43-4053）	972㎡ [2,826㎡]	研修室、和室、料理室、図書コーナー、会議室 他		
吉野地区公民館（昭和63年 7月）	大字白銀７８１番地３ 58-3479（50-0494）	1,122㎡ [2,452㎡]	研修室、和室、図書コーナー、視聴覚室、会議室 他		
三池地区公民館（平成 4年10月）	大字三池６２９番地２ 53-8343（43-6814）	1,256㎡ [1,373㎡]	展示ｷﾞｬﾗﾘｰ、料理室、幼児室、図書コーナー 他		
手鎌地区公民館（平成 5年12月）	大字手鎌１３００番地４２ 56-6008（56-6824）	1,471㎡ [2,480㎡]	創作室、視聴覚室、図書コーナー、陶芸小屋 他		
駛馬地区公民館（平成 6年12月）	馬込町１丁目２０番地１ 57-5443（57-5444）	1,527㎡ [1,910㎡]	創作室、音響室、プレイホール、図書コーナー 他		
多目的活動施設リフレスおおむた（平成11年 7月）	大字四ヶ１２２１番地 58-7777（41-7300）	2,375㎡ [20,620㎡]	キャンプ場、体育館、和室、創作室、研修室、料理室、音楽室、陶芸用窯	9:00～22:00	第1・第3月曜（祝日の場合は翌日）、年末年始
大牟田市総合体育館（おおむたアリーナ）（令和６年４月）	宝坂町２丁目９２番地 53-6003（59-0186）	8,557.37㎡ [27,465.58㎡]	アリーナ、多目的ホール、柔道場、剣道場、卓球室、会議室、トレーニング室、キッズルーム 他	9:00～22:00	第1・第3火曜、年末年始
御大典記念グラウンド（昭和 4年 4月）	黄金町１丁目１２３番地（問合せ 総合体育館）	[25,971㎡]	400mセパレート(8)、フィールド、スタンド 他	8:30～19:00	年末年始
延命プール（平成19年8月）	黄金町１丁目６８番地 53-7337	[8,363㎡]	25m、幼児用、子供用、ウォータースライダー	10:00～18:30	[R7年度開場期間]7月12日～8月24日
延命球場（昭和32年12月）	原山町２００番地（問合せ 総合体育館）	[19,450㎡]	グラウンド、スタンド、本部諸室	8:30～17:00	年末年始
笹林庭球コート（昭和27年 1月）	笹林町１丁目１番地２（問合せ 総合体育館）	[1,400㎡]	クレーコート（２面）	（４月～８月）9:00～19:00（９月～３月）9:00～17:00	年末年始
諏訪公園テニスコート（平成11年 4月）	岬町５番地３（問合せ 緑地運動公園 51-5744）	[8,400㎡]	砂入り人工芝コート（６面）	8:30～21:00	年末年始
手鎌北町公園テニスコート（平成13年 4月）	大字手鎌１５２０（問合せ 緑地運動公園 51-5744）	[2,800㎡]	全天候型コート（４面）	（４月～８月）8:30～18:30（９月～３月）8:30～17:00	年末年始
第二グラウンド（平成19年2月）	黄金町１丁目１１１番地（問合せ 総合体育館）	[9,044㎡]	グラウンド	9:00～19:00	年末年始
教育研究所（昭和30年10月）	黄金町１丁目34番地 52-5845	269㎡	研究室、図書室、資料室、会議室	8:30～17:00	

1〔社会教育施設等の状況〕

《地区公民館》〔生涯学習課〕

公民館は、未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまちを目指し、次の３つの視点による事業を実施しています。

視点①　次世代を担う子どもを地域や社会全体ではぐくむ
- 取組①　子どもの体験活動の強化・充実
- 取組②　高校生等のまちづくりへの参画
- 取組③　各世代に応じた学習機会の提供・支援

視点②　ＳＤＧｓ／ＥＳＤを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり
- 取組①　地区公民館におけるＳＤＧs／ＥＳＤ事業の展開
- 取組②　ボランティア活動・地域活動の担い手となる人材の発掘及び育成
- 取組③　学んだ成果を活かす活動の場や機会の創出

視点③　学習環境の整備・充実
- 取組①　生涯学習、ボランティア活動、地域活動に関する情報提供の強化
- 取組②　多様な学習活動のきっかけや場の提供

視点④　社会教育施設の機能向上
- 取組①　社会教育施設の機能向上

１　全館合同事業

事業名	事業の概要	回数	参加者（人）
視点①「高齢者生きがいづくり社会参加促進事業」アクティブシニアデビュー塾	高齢者の学習機会及び学習成果を生かした活動の機会や、心と身体の健康づくりの機会を提供することで、生きがいづくり及び社会参加の促進を図るとともに、介護予防の取組を実施しました。 講座終了後は、新規に自主学習グループ 20 団体が結成され 193 人が入会し活動しています。R7 年度は 2 月にまなばんかん表彰式にて、またゆめタウン大牟田 2 階のわくわく広場にて 2 日間、実施した 21 講座の様子をパネルにして展示しました	ボランティアデビュー編 7 講座	128
		地域デビュー編 7 講座	127
		健康実践デビュー編 7 講座	117
		合同展示 2 回	来場者 424

２　中央地区公民館

（中央地区）区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者（人）
視点①子どもの体験活動の強化・充実	（子ども交流体験事業）夏休みの宿題おたすけ隊	世代間の交流や、夏休みの子どもたちの居場所づくりを目的として、市内の高校生や中央地区公民館で活動するサークル会員にボランティアで参加してもらい、小学生の夏休みの宿題を支援しました。	3 回	36
	（子どもの居場所づくり支援事業）なかよし広場文化サークル	公民館を子どもの居場所として開放し、事業実施団体である「なかよし広場」文化サークル実行委員会を支援しました。	13 回	子ども 128 ボランティア 81

（中央地区）区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者（人）
視点① 各世代に応じた学習機会の提供・支援	（家庭教育支援事業） 「音で楽しみ香りでリフレッシュ！親子 DE リズム遊び×アロマ体験講座」	乳幼児を育てる保護者を対象に、音楽を活用したリズム遊び、及びアロマによるリラクゼーション体験を通じて、親子のふれあいや愛着形成を促進するとともに、保護者の育児不安の軽減および家庭教育力の向上を図る講座を実施しました。	3 回	47
	（アクティブシニアデビュー塾地域デビュー編） 「料理はじめてみませんか？基礎から学ぶ男の料理」	料理初心者の高齢男性が基本的な調理技術を身に着けるとともに、食を通して健康への関心を高め、同世代との交流を深めることを目的に講座を実施しました。 講座修了後は、新規サークル「男の料理」が立ち上がりました。	5 回	75
	（アクティブシニアデビュー塾健康実践デビュー編） 「世界の音楽で心と体をハッピーに！ズンバゴールド講座」	ズンバは、ラテン及び世界中の音楽を使用したダンスフィットネスです。複雑な振り付けや細かいステップを覚える必要がなく、運動初心者でも気軽に楽しめ、また心肺機能の向上・筋肉の強化・認知機能の改善・ストレス解消などの健康増進や交流を深めることを目的に講座を実施しました。 講座修了後は、新規サークル「スマイルステップ」が立ち上がりました。	5 回	62
	（アクティブシニアデビュー塾ボランティアデビュー編） 「学校ミシンお役立ちボランティア養成講座」	小学校では、小学校 5 年生からミシンの授業が実施されていますが、子どもたちが安心して学ぶために授業をサポートするボランティアが求められています。そこで、ミシンの手伝いを行うボランティアを養成し、エリア内の小学校で活躍してもらうことを目的に講座を実施しました。 講座修了後は、新規サークル「ぬい活クラブ」が立ち上がりました。	7 回	61
視点② 地区公民館における SDGs/ESD 事業の展開	（学校 SDGｓ/ESD 推進事業） 三池工業高等学校パソコン部活動支援	高校生の部活動で学んだ成果を活かせる場をコーディネートすることで、高校生のまちづくりに参画する意欲の醸成を図りました。 また、視聴覚室をパソコン部に部活動の場として無償提供、さらにはゲーミング PC を部活動に無料で貸与しました。（週 2 回火・木 17 時～19 時 30 分）	36 回	209
	（地域 SDGｓ/ESD 推進事業）〔白川校区〕 「歩いて学ぶ白川の歴史　白川校区まちなかウォーキング」	校区内の歴史を学ぶ機会を提供することで郷土愛を育み、体を動かしながら学ぶ楽しさを感じてもらう「地名」を題材としたウォークラリーを実施しました。 また、三井化学株式会社の「ふしぎ探検隊出前教室」を活用し、参加者同士の交流やコミュニケーションの促進に努めました。	1 回	81

（中央地区） 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 （人）
視点② ボランティア活動・地域活動の担い手となる人材の発掘及び育成	（視聴覚ボランティア支援事業） 土曜ふれあい映画会（中央）	視聴覚ボランティアが、主に小学生を対象とした子どもの居場所において、DVD や VHS などを使い、道徳や交通安全などに関する映画の上映会を開催しました。	6 回	子ども 17 大人　10 ボランティア 14
	（視聴覚ボランティア支援事業） 日曜ふれあい映画会（他館）	視聴覚ボランティアが、主に小学生を対象に各地区公民館を巡回し、DVD や VHS などを使い、道徳や交通安全などに関する映画の上映会を開催しました。	6 回	子ども 41 大人　20 ボランティア 15
	（視聴覚ボランティア支援事業） 健康映画会（デイサービス）	視聴覚ボランティアが、高齢者施設や地域のサロンなどで健康に関する映画の映写会を開催します。 【コロナ禍以降、介護施設等への外部からのボランティア活動が制限されているため休止中】	－	－
	（視聴覚ボランティア支援事業） 地域ふれあい映画会（学童等）	学童保育所・学童クラブ・子ども会等の要望に応じて映写会を開催しました。	10 回	子ども 233 大人 18 ボランティア 13
	サークル社会参加促進事業	研修会等の実施によりサークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図りました。 ①第 1 回「ちょっと気になる”血圧”との上手なつきあい方」 ②第 2 回「エンディングノートから始める楽しむ終活」	①1 回 ②1 回	①19 ②23
	サークル体験事業	定期利用登録サークルの社会参加の促進及び会員数を増やすことを目的として一般成人を対象にサークル体験事業を実施しました。参加者の内、5 人がサークルに入会しました。	1 回	19
	（子どもの居場所づくり支援事業） なかよし広場文化サークル【再掲】	公民館を子どもの居場所として開放し、事業実施団体である「なかよし広場」文化サークル実行委員会を支援しました。	13 回	子ども 128 ボランティア 81
視点② 学んだ成果を活かす活動の場や機会の創出	第 33 回中央地区公民館ふれあい文化祭	公民館利用サークル会員の学習成果の発表を中心に演芸や作品展示などを行いました。また、高校生による e スポーツの体験会も実施しました。	1 回	660
視点③ 生涯学習、ボランティア活動に関する情報提供の強化	（公民館情報発信事業） 公民館だよりの発行	各種講座や施設利用の案内等、学習情報を提供するために発行しました。	3 回	3,600 部

（中央地区） 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 （人）
視点④ 社会教育施設の機能向上	（つながる地域づくり事業） 子どもサポーター実践講座	地域社会が協力して子どもや若者が安心して学び・成長できる環境を作るため、子どもや若者に関わる関係者の知識の修得と横の連携、情報共有を目的として、6 年度に引き続き、より実践的な講座・ワークショップを実施しました。	4 回	27
	（つながる地域づくり事業） e スポーツを活用したつながる地域・若者支援事業	高校生を対象にｅスポーツを通じたチーム(組織)づくり「チームビルディング」を体験することで、新たなコミュニティ形成や若者の地域における活躍促進などを図ることを目的に講座を実施しました。 また、同講座は、R8 年 3 月におおむたアリーナで開催された「ありあけフェスタ」（福岡県主催）に参加する選手の育成も兼ねました。	3 回	29

３　三川地区公民館

（三川地区） 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 （人）
視点① 子どもの体験活動の強化・充実	（子どもの居場所づくり支援事業） 友・遊広場	公民館施設を子どもの居場所として毎月 1～2 回程度土曜日に開放し､友・遊広場見守り隊運営による自主的な子ども居場所づくりを支援しました。	20回	子ども 227 ボランティア 87
	（子ども交流体験事業） 2025 子どもバージョンアップ体験講座	青少年の健全育成を図る目的から、夏休みと冬休みを利用して、異学年の子どもたちや地域の大人たちとふれあいながら、多様な価値観に触れ、感じ、考え、行動する様々な体験学習として実施しました。作品を作りあげる喜びを感じ、学び、体験することを通して、子どもたちの成長に繋げることができました。	夏休み 23 回 冬休み 2 回	【夏休み】 子ども 299 ボランティア 128 【冬休み】 子ども 24
視点① 各世代に応じた学習機会の提供・支援	（アクティブシニアデビュー塾） ボランティアデビュー編 「もっと話そう！楽しく学ぶ英会話（初級）」	日常でよく使う基本の英会話について学ぶ講座を実施しました。 学んだ内容を子どもたちに教えることで、楽しさややりがいを体験し、社会貢献活動のきっかけ作りと、世代間交流の活性化を図りました。 新規定期サークル「SmileEnglish」が立ち上がり、夏休みバージョンアップ体験講座などでボランティアとしても活動を継続することとなりました。	6 回	83
	（アクティブシニアデビュー塾） 地域デビュー編 「手作りって楽しい！お菓子作り講座」	伝統的な和菓子と洋菓子作りの技術を学ぶことができる講座を実施しました。 講座終了後は、地域で継続して活躍する新規一般サークル「あずきの会」が立ち上がりました。	5 回	72

（三川地区）区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者（人）
	（アクティブシニアデビュー塾） 健康実践デビュー編 ＼人生 100 年／コンディショニングトレーニング講座	「筋力トレーニング」「柔軟性の向上」「心肺機能などの改善」に働きかけるトレーニングを行い、「筋肉の強化」「関節の可動域拡大」「体力の向上」を図る講座を実施しました。 特別な知識や器具は必要なく、未経験者でも気軽に参加できる内容としました。 新規定期サークル「はっぴい♡体操」が立ち上がり、よりよい生活を継続するための身体づくりの活動を継続することとなりました。	5 回	83
	（家庭教育支援事業） 親子リズムあそび	公民館が、乳幼児とその保護者が気軽に足を運べるような「つどいの場」であることを知ってもらうために、親子で楽しめる企画「親子リズム遊び」を年 2 回実施して、地区公民館の利用を促進しました。 なお、天領保育所が地域に出向いて未就園児のいる家庭支援、「子育て相談」事業を推進していることから、連携して開催しました。	2 回	1 回目 12 組 25 2 回目 20 組 42
	（家庭教育支援事業） 毎日が楽しくなる！乳幼児子育て講座	乳幼児を育てる保護者が、子育てに関する知識や工夫を学び、楽しく育児に取り組めるよう支援する講座を実施しました。 乳幼児期の発達・遊び・必要な栄養について学び、簡単で栄養バランスの良い料理実習を行ったほか、保護者同士の交流も深めました。	3 回	34
視点② 地区公民館における SDGs/ESD 事業の展開	（学校SDGｓ/ESD推進事業） みなと小学校「防災・減災を考える日」支援事業	「防災・減災を考える日」授業で小学校と地域をつなぎ、共に「令和 2 年 7 月豪雨」を振り返り、「防災」「減災」について考える支援を行い、地域住民の連帯感を強化しました。	1回	153
	（地域SDGｓ/ESD推進事業）〔みなと校区〕 みなと校区スマホ連携支援事業	校区まちづくり協議会において連絡手段がうまく機能していないという課題解決のため、LINE の機能と使い方を学習し、LINE グループの構築までを目的とし、事業を実施しました。	1回	23
	（地域SDGｓ/ESD推進事業）〔天領校区〕 天領校区アレコレ住まいのかたり場 ～家の終活・空き家のこと～	講話やグループワークを通じ、地域の空き家等の現状や空き家の及ぼす影響を知り、個人や地域で対応できることを考えるための事業を実施しました。	1回	22
	（地域SDGｓ/ESD推進事業）〔みなと校区〕 みなと小学校「防災・減災を考える日」支援事業再掲【再掲】	「防災・減災を考える日」授業で小学校と地域をつなぎ、共に「令和 2 年 7 月豪雨」をふりかえり「防災」「減災」について考える支援を行い、地域住民の連帯感を強化しました。	1回	153

（三川地区） 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 （人）
視点② ボランティア活動・地域活動の担い手となる人材の発掘及び育成	サークル社会参加促進事業	研修会の実施によりサークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図りました。 ①在宅介護（移動や排泄）で困らないために ～介護する側もされる側も気持ちよく過ごしましょう！～ ②「春待ちコンサート」	各1回	① 38 ②107
	サークル体験事業	定期利用登録サークルの社会参加の促進及び会員数を増やすことを目的として成人を対象にサークル体験事業を実施しました。 参加者の内16人がサークルに入会しました。	1回	18
	友・遊広場【再掲】	公民館施設を子どもの居場所として毎月1～2回程度土曜日に開放し、友・遊広場見守り隊運営による自主的な子ども居場所づくりを支援しました。	20回	子ども227 ボランティア87
視点② 学んだ成果を活かす活動の場や機会の創出	三川地区公民館であいの文化祭	公民館利用サークル会員の学習成果の発表を中心に文化祭を開催しました。保育所・小・中学校及び地域住民による作品展示、演芸発表も実施しました。	1回	966
視点③ 生涯学習、ボランティア活動に関する情報提供の強化	（公民館情報発信事業） 公民館だよりの発行	各種講座や施設利用の案内等、学習情報を提供するために発行しました。	4回	5,200部
視点④ 社会教育施設の機能向上	（つながる地域づくり事業） eスポーツを活用したつながる地域づくり事業	年齢や性別、場所を問わず気軽に楽しめるeスポーツ（Nintendo Switch）を活用し、他市（朝倉市）との交流の機会を設け地域間の交流及び社会参加の促進につなげるためオンラインによる交流大会を実施しました。	1回	11

４　勝立地区公民館

（勝立地区） 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 （人）
視点① 子どもの体験活動の強化・充実	（子どもの居場所づくり支援事業） 勝立地区アンビシャス広場	地域の大人が見守り子どもが安心して遊べる環境をつくるため、公民館施設を子どもの居場所として原則第3土曜日に開放し、アンビシャス広場委員会を支援しました。	13回	子ども 105 ボランティア 84
	（子ども交流体験事業） みて・食べて・楽しもう！親子de自然体験	自然豊かな勝立地域の特性を活かし、地域に生息する生物の観察やウォーキング、里山体験を実施しました。 自然や食の大切さについて学び、また、親子で楽しむことで親子のふれあいの大切さを感じることや、家族間の交流を図りました。	3回	34

（勝立地区）区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者（人）
	（子ども交流体験事業） 勝立キッズ・ランド	子どもたちが「生きる力」を育むためには、体験活動を行うことが必要であることから、「食」をテーマに、陶芸、実験、料理の体験を行い、楽しく学ぶ講座を実施しました。	4回	53
視点① 各世代に応じた学習機会の提供・支援	（家庭教育支援事業） はあとふる子育て講座～笑顔と成長を引き出す遊び～	子どもとの関わり方や遊びについてグループワークで学ぶ講座を実施しました。 保護者同士の交流の場を提供し、情報交換や仲間づくりを支援することで、保護者の悩み・不安やストレスの解消につなげることを目的に行い、新規サークル「はあとふるママ会」が立ち上がりました。	3回	27
	（アクティブシニアデビュー塾） ボランティアデビュー編 めざせ！遊びの達人ボランティア講座	子どもの居場所やサロンなどで活用できる遊びやレクリエーションについて学ぶ講座を実施しました。 講座で学んだことをボランティア活動で活かしてもらい、地域の活性化に一翼を担うことで社会参加活動のきっかけづくりになることを目的とし、講座終了後は新規サークル「レクリエーションサークルさくら」が立ち上がりました。	5回	47
	（アクティブシニアデビュー塾） 地域デビュー編 素敵な写真を撮る！デジタルカメラ講座	デジタルカメラの機能や撮影技術を学ぶ講座を実施しました。 講座では写真撮影を通じて地域の人々と交流し、地域活動に一歩踏み出すきっかけを作ることを目的とし、撮影実践や文化祭への作品展示を行いました。 講座終了後は新規サークル「勝立フォトサークル焼石山」が立ち上がりました。	6回	92
	（アクティブシニアデビュー塾） 健康実践デビュー編 初心者のための健康麻雀講座	麻雀牌に触ったことのない人でも気軽に参加できる初心者向け健康麻雀講座を実施しました。 麻雀の基本ルールを学び、参加者同士で楽しい時間を共有し、生きがいや仲間づくり大切さを知り、健康の維持に繋げることを目的とし、講座終了後は新規サークル「勝立健康麻雀」が立ち上がりました。	6回	86
視点② 地区公民館におけるSDGs/ESD事業の展開	（地域SDGs/ESD推進事業） 地域のもしもを考える！玉川校区防災図上訓練	地域の危険個所と避難所を再確認し、防災意識と防災力の向上を目的とした講話と図上訓練を実施しました。	1回	22
	（地域SDGs/ESD推進事業） ～防災から考える地域ネットワークづくり～天の原校区心肺蘇生法講習会	さらなる地域防災意識の向上を図ることを目的とし、町内公民館長や自治会長、民生委員・児童委員を中心とした天の原校区の住民を対象に、胸骨圧迫の方法やAEDの使い方を学ぶ心肺蘇生法講習会を実施しました。	1回	35

（勝立地区）区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者（人）
	（学校SDGs/ESD推進事業） どうする？親子で考えよう～身近に潜む SNS トラブル～	宮原中学校入学予定の児童とその保護者を対象に、子どもたちがスマートフォンを正しく使うために知っておくべきこと（リスク・脅威）や実際にあったトラブル事例などを法的な視点を交えて学ぶ講習会を実施しました。	1回	保護者 92 児童 92
視点② ボランティア活動・地域活動の担い手となる人材の発掘及び育成	サークル社会参加促進事業	研修会等の実施によりサークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図りました。 ○研修会 「元気に暮らせる時間を増やすためのフレイル予防講座」」	1回	31
	サークル体験事業	定期利用登録サークルの社会参加の促進及び会員数を増やすことを目的として成人を対象にサークル体験事業を実施しました。 参加者の内、10 人のサークル入会が決まりました。	1回	19
	（子どもの居場所づくり支援事業） 勝立地区アンビシャス広場【再掲】	地域の大人が見守り子どもが安心して遊べる環境をつくるため、公民館施設を子どもの居場所として原則第 3 土曜日に開放し、アンビシャス広場委員会を支援しました。	13回	子ども 105 ボランティア 84
	心を届ける・絵手紙ボランティア支援	天の原小学校、玉川小学校、宮原中学校の児童・生徒が、絵手紙ボランティア体験を通して「誰かを思い、行動する意識」につながることを目的に、地域の大人が、「心の贈り物」と言われる絵手紙の素晴らしさを伝えるボランティア活動を支援しました。	3回	114
	勝立スマホ相談会支援	簡単なスマホ操作等について気軽に相談ができて、教えることができる「勝立スマホお助け隊」が、勝立地区公民館などで、地域高齢者に寄り添い、スマホ操作を教える活動を支援しました。	11回	ボランティア 59 参加者 54
	（地域行事支援） 勝立大蛇山まつり	天の原校区と玉川校区の二校区住民のふれあい、連帯意識の醸成、青少年の健全育成及び地域の活性化を図るため勝立大蛇山まつり実行委員会の取り組みを支援しました。	1回	－
視点② 学んだ成果を活かす活動の場や機会の創出	第 42 回勝立地区公民館文化祭	公民館利用サークル会員の学習成果の発表を中心に、地域展示や演芸、バザーを実施しました。 ＜ふれあい文化祭実行委員会事業＞	1回	1,688
	展示コーナー・ロビーの活用促進	館内の展示コーナーを活用し、中学校美術部の作品展や「世界遺産登録 10 周年記念展」などを開催することにより、学習活動の成果発表や、地域交流の場としての利用促進を図りました。	2回	－

（勝立地区）区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者（人）
視点③ 生涯学習、ボランティア活動に関する情報提供の強化	（公民館情報発信事業） 公民館だよりの発行	各種講座や施設利用の案内等、学習情報を提供するために発行しました。	4回	4,000部

５　吉野地区公民館

（吉野地区）区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者（人）
視点① 子どもの体験活動の強化・充実	（子どもの居場所づくり支援事業） 吉野ふれあい広場	公民館施設を子どもの居場所として、毎月１回、土曜日に開放するとともに、吉野校区子どもの居場所委員会の事業を支援しました。	11回	子ども 158 ボランティア 88
	（子ども交流体験事業） おもしろチャレンジ友・遊・塾2025～宿題・体験・ものづくり！夏休みは公民館へ～	人とふれあう喜びを感じる機会や、体験を通して成長し、達成感を得る機会とすることを目的として、夏休み期間中、小学生を対象にサークル体験及び高校生による宿題対策を実施しました。 （連携組織：福岡県立ありあけ新世高等学校、福岡県立大牟田北高等学校、吉野地区公民館サークル連絡会）	18回	小学生 84 高校生 29
視点① 高校生等のまちづくりへの参画	（高校生等まちづくり参画事業） 未来の匠の技講座「LET'S　DANCE TOGETHER」	小学生を対象に、ダンス部員が、自分たちで振付を考え、小学生とコミュニケーションを取りながらダンスを指導することで、教える喜びや達成感を感じ、ボランティア活動や地域活動へのさらなる参画を高めることを目的として実施しました。 （連携組織：福岡県立ありあけ新世高等学校）	4回	小学生 52 高校生 57
	（高校生等まちづくり参画事業） 未来の匠の技講座 点描で描くアートの基本～高校生と一緒に学ぼう～	小学生以上の市民を対象に、美術部の生徒が、幅広い年齢の方とコミュニケーションを取りながら、点描の技法を教えることで、教える喜びや達成感を感じ、ボランティア活動や地域活動へのさらなる参画を高めることを目的として実施しました。 （連携組織：明光学園高等学校）	1回	小学生 4 地域住民 5 高校生 5
視点① 各世代に応じた学習機会の提供・支援	（家庭教育支援事業） 子どもとの“ちょうどいい関係”を見つけよう	家庭教育に関する学習機会の充実を図るため、小学生の保護者と子育てに関心がある人を対象に、子どもの発達段階に応じたかかわり方を学び、効果的なコミュニケーション方法を身につけることで親子の信頼関係について考える機会を提供しました。	3回	29

（吉野地区）区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者（人）
	（アクティブシニアデビュー塾ボランティアデビュー編） みんなで歌おう♪～懐かしの昭和歌謡～	みんなで楽しく懐かしい昭和歌謡を歌うことを通し、小規模多機能ホーム等で指導できるボランティアを養成することを目的に実施しました。	5回	77
	（アクティブシニアデビュー塾地域デビュー編） カラー筆ペンで描いて贈って喜ばれる　はじめての筆文字	カラー筆ペンを使って初心者でも簡単に書ける文字やデザインを学ぶことで、脳の活性化を促し、筆文字を通して他者との交流を図ることを目的に実施しました。講座修了後は、新規サークル「筆文字サークル　ひつじの会」が立ち上がりました。	5回	128
	（アクティブシニアデビュー塾健康実践デビュー編） シニアからはじめよう！初心者のための卓球講座	高齢者でも無理なくできる卓球を通し、身体機能の維持・向上を図り、いつまでも自立した生活の継続につなげることを目的に実施しました。講座修了後は、新規サークル「吉野ほほえみ卓球サークル」が立ち上がりました。	5回	65
視点② 地区公民館におけるＳＤGS/ＥＳＤ事業の展開	（地域SDGs/ESD推進事業）【吉野校区】 吉野校区 防災学習	いつ発生するか分からない災害に備え図上模擬訓練や避難所設営体験を通して、地域住民一人一人が災害発生時に身を守る行動を学び地域のつながりの大切さを再認識することを目的に実施しました。 (連携組織：吉野校区総合まちづくり協議会、大牟田市防災危機管理室)	1回	27
	（地域SDGs/ESD推進事業）〔上内校区〕 身近な防犯対策を知ろう	空き巣や強盗、特殊詐欺や悪徳商法等の被害を未然に防ぐための知識を習得し、地域全体で防犯意識の向上を目的に実施しました。 (連携組織：上内校区まちづくり協議会、大牟田市生活安全推進課)	1回	18
	（学校SDGｓ/ESD推進事業） ようこそ絵本の世界へ 吉野小学校 読み聞かせボランティア体験	吉野小学校の児童を対象に、主に吉野校区住民が自主的・主体的に活動される読み聞かせ団体の新たなボランティアスタッフの養成と、団体の継続的で安定した活動支援を目的に実施しました。 (連携組織：大牟田市立吉野小学校)	3回	68
視点② ボランティア活動・地域活動の担	サークル社会参加促進事業	研修会等の実施によりサークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図りました。 ①エンディングノートから始める楽しむ終活 ②避難訓練と救急法講習会	2回	①35 ②31

（吉野地区） 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 （人）
い手となる人材の発掘及び育成	サークル体験事業	サークルの社会参加促進を促進するとともに、会員数の増加と活動の活性化を目的に、サークル体験事業を実施しました。 ①春のサークル体験 ②秋のサークル体験	2 回	①12 ②10
	(地域団体連携・支援事業)倉永校区五者連携教育講演会 響け！未来へ！オーケストラ部演奏会	倉永校区まちづくり協議会、倉永校区社会福祉協議会、倉永小ＰＴＡ、倉永小との共催で演奏会を行い、地域で子どもを育てる意識の醸成を図りました。 （連携組織：明光学園中学校・高等学校）	1 回	地域　30 児童 169 教諭　13 保護者 38
	（子どもの居場所づくり支援事業） 吉野ふれあい広場【再掲】	公民館施設を子どもの居場所として、毎月１回、土曜日に開放するとともに、吉野校区子どもの居場所委員会の事業を支援しました。	11回	子ども 158 ボランティア 88
視点② 学んだ成果を活かす活動の場や機会の創出	第 37 回花と緑の文化祭	公民館利用サークル会員の学習成果の発表を中心に、交流を深めることを目的に実施しました。 （吉野地区公民館文化祭実行委員会事業）	1 回	1,060
	(展示コーナー活用事業) ロビー展	ロビーを活用し、サークルや地域の方の作品を展示し、地域住民の「交流の場」として、公民館の施設利用の促進を図りました。	8 回	－
視点③ 生涯学習、ボランティア活動に関する情報提供の強化	（公民館情報発信事業） 公民館だよりの発行	各種講座や施設利用の案内等、学習情報を提供するために発行しました。	5 回	4,790 部

６　三池地区公民館

（三池地区） 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 （人）
視点① 子どもの体験活動の強化・充実	（子どもの居場所づくり支援事業） 三池みんなの広場	公民館施設を子どもの居場所として毎月第２土曜日に開放し、実行委員会を支援しました。	12 回	子ども 205 ボランティア 104
	（子どもの居場所づくり支援事業） 高取みんなの広場	子どもたちにとって最も身近な場所である通いなれた小学校で、月１回開設されている子どもの居場所を支援しました。(4･8･10 月はなし)	9 回	子ども 505 ボランティア 81
	（子ども交流体験事業） 夏休み!子どもサークル体験事業	サークルの様々な体験活動を通して、学ぶ意欲やより豊かな知識を深めるきっかけとするとともに、異世代の人との交流により子どもたちの豊かな人間形成を図る目的により実施しました。	1 回	参加サークル 16 体験者 105

（三池地区）区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者（人）
視点① 高校生等のまちづくりへの参画	（高校生等まちづくり参画事業） 公民館 U18 プロジェクト 笑顔を届けるサンタプロジェクト in みいけ	三池地域の中高校生が自ら企画・立案したプロジェクトを達成することで、地域の人の役に立つことを実感し、「みいけ」エリアへの愛着をはぐくみ、その後継続した活動を行うことを目的に実施しました。	4 回	36
視点① 各世代に応じた学習機会の提供・支援	（アクティブシニアデビュー塾地域デビュー編） 楽しく奏でるハーモニカ講座	身近な楽器のハーモニカを演奏することで、音楽の楽しさや生きがいを見つけるとともに、心肺機能や口腔機能等の向上が期待され、健康維持に役立てることを目的に実施しました。 講座終了後は、新規サークル「三池ハーモニカサークル」が立ち上がり活動しています。	5 回	57
	（アクティブシニアデビュー塾健康実践デビュー編） 心もからだもリラックス～リズムフィットネス講座	無理なく継続できる運動を、音楽に合わせて楽しみながら行うことで、健康寿命を延ばす身体づくりを目的に実施しました。講座終了後は、新規サークル「MIIKE リズムフィットネス」が立ち上がり活動しています。	5 回	106
	（アクティブシニアデビュー塾ボランティアデビュー編） シニアのための楽しいマジック講座	認知機能や手先の運動機能の向上につながり、コミュニケーションの場が広がることを目的にマジックの講座を実施しました。 講座終了後は、新規サークル「三池マジック」が立ち上がり活動しています。	5 回	81
	（家庭教育支援事業） デジタル時代の子育てサポート講座～こんなときどうする？～	ネット利用に関するリスク・対応策などデジタル時代の子育てについて、保護者として注意すべきポイントを学び、家庭での実践につなげることを目的に実施しました。	3 回	49
	子育てふれあい広場「じゃじゃり子み～け」	親子が自由に集い、交流できる場を提供するため、毎月第 2～4 月曜日（月 3 回）に地区公民館の一室を開放し、ボランティアスタッフとともに、ふれあい広場「じゃじゃり子み～け」を開催しました。	29 回	保護者 250 子ども 266 ボランティア 120
	子育てふれあい広場ボランティアスタッフスキルアップ講座	子育てふれあい広場のボランティアスタッフを対象に、広場の内容充実のためのスキルアップ講座を実施しました。ボランティアとしての心得を再認識するとともに、スタッフ同士の交流を図ることを目的に行いました。	2 回	16
	（成人事業） スマートフォンスキルアップ講座 チャット GPT を体験しよう!	デジタル技術が急速に進化する中で、技術に馴染みのない成人が AI 技術の学習を通して、実生活や仕事に役立つきっかけを提供することを目的に実施しました。	3 回	55

（三池地区） 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 （人）
視点② 地区公民館における SDGs/ESD 事業の展開	（地域 SDG s /ESD 推進事業）～三池光竹を届けよう！～三池の魅力を伝えるデジタル活用講座	SNS を活用した広報活動を継続させるために、6 年度に引続きデジタル活用術を学ぶ講座を行いました。三池地域の魅力をより多くの人に届けることを目的に実施しました。	4 回	41
	（地域SDG s /ESD推進事業） インスタグラムで三池初市を届けよう！	三池初市で、インスタグラム発信を体験できる場を設け、実践的に学びながら発信者を増やし、世代を超えた発信の輪を地域に広げることを目的に実施しました。	1 回	8
	（地域SDG s /ESD推進事業） 地域団体連携事業	地域住民とのふれあいと連携を深め、生涯学習の推進と校区まちづくり協議会・地域の実行委員会等の活動の活性化を図りました。 ・羽山台校区春まつり　4 月 ・三池本町夏祭り（7 月 26 日、27 日） ・三池光竹（11 月 1 日、2 日） ・三池初市（R8 年 3 月 1 日、2 日）	1 回 1 回 1 回	―
	（学校 SDG s /ESD 推進事業） 銀水校区花いっぱい“絆”プロジェクト	ESD、地域の絆づくりの視点を踏まえた事業を実施しました。地域・地区公民館は、花壇づくりなどの作業のほか、子どもたちからの質問を受けることなどにより、子どもたちの学びを支援しました。	4 回	336
	（学校 SDG s /ESD 推進事業） 子どもたちに伝えたいわが町の歴史講座～羽山台の宝～	羽山台校区に受け継がれてきた伝統や歴史的な出来事、史跡などについて学び、羽山台小学校のフィールドワークでゲストティーチャーとして、子どもたちへ地域の歴史や伝統を伝える学習活動を行いました。	4 回	32
	（学校 SDG s /ESD 推進事業） まちを伝える心をつなぐ ～子どものための語り部講座～	銀水校区に受け継がれてきた伝統や歴史的な出来事、史跡などについて学び、銀水小学校のフィールドワークで子どもたちへ地域の歴史や伝統を伝える学習活動を行いました。	5 回	62
視点② ボランティア活動・地域活動の担い手となる人材の発掘及び育成	子育てふれあい広場ボランティアスタッフスキルアップ講座【再掲】	子育てふれあい広場のボランティアスタッフを対象に、広場の内容充実のためのスキルアップ講座を実施しました。ボランティアとしての心得を再認識するとともに、スタッフ同士の交流を図ることを目的に行いました。	2 回	16
	三池みんなの広場【再掲】	公民館施設を子どもの居場所として毎月第 2 土曜日に開放し、実行委員会を支援しました。	12 回	子ども 205 ボランティア 104
	高取みんなの広場【再掲】	子どもたちにとって最も身近な場所である通いなれた小学校で、月 1 回開設されている子どもの居場所を支援しました。	9 回	子ども 505 ボランティア 81

（三池地区）区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者（人）
	サークル社会参加促進事業 無理なく・楽しく・いきいきと！アクティブシニア健康講座	サークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図るため、研修会を行いました。 ・サークル社会活動とフレイル予防について（講話） ・人生会議の基本的な考え方（講話）	1回	22
	春のサークル体験2025	定期登録サークルの社会参加の促進及び会員数を増やすことを目的として、成人を対象にサークル体験事業を実施しました。 期間：4月1日～4月30日	1回	参加サークル 17 体験者 23
	（地域・若者による公民館アート事業） 三池まちかどギャラリー	サークル利用者や個人で制作した作品を発表する作品展を開催することで成果発表の場とし、制作者の制作意欲の向上を図りました。	9回	―
視点② 学んだ成果を活かす活動の場や機会の創出	第31回ふれあい文化祭	公民館利用サークル会員の学習成果の発表を行い、交流を深めることを目的に実施しました。【ふれあい文化祭実行委員会事業】	1回	1,147
視点③ 生涯学習、ボランティア活動に関する情報提供の強化	（公民館情報発信事業） 公民館だよりの発行	各種講座や施設利用の案内等、学習情報を提供するために発行しました。	4回	4,000部

7　手鎌地区公民館

（手鎌地区）区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者（人）
視点① 子どもの体験活動の強化・充実	（子どもの居場所づくり支援事業） わくわく広場	手鎌校区の子どもたちを対象に月1回程度、実行委員会が実施する子どもの居場所づくり事業への支援を行いました。 （場所：手鎌地区公民館）	7回	子ども 188 ボランティア 32
	（子どもの居場所づくり支援事業） きらめき広場	明治校区の子どもたちを対象に、季節のイベント（そうめん流し・クリスマスのケーキづくり）を支援しました。 （場所：明治会館）	2回	子ども 67 ボランティア 33
	（子ども交流体験事業） キッズ☆サマーチャレンジ	子どもたちに手鎌地区公民館で行われている様々なサークルを体験してもらい、ものづくりや学習の楽しさを知り、異世代交流を深めました。サークル会員は子どもたちへの指導を通じて、学んだことを生かす喜び、伝える喜びを味わい、サークル活動の活性化につなげました。	18回	子ども 86

（手鎌地区）区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者（人）
	（子ども交流体験事業） 「手すきのり体験と磯辺巻きづくり」	有明海産の生海苔を用いた手すき海苔づくりや、手鎌産もち米を使った餅づくりなど、地域資源と人材を活かした体験活動を実施しました。 実際の道具や食材に触れることで理解が深まり、子どもたちに郷土への関心と愛着をはぐくむ機会となりました。	1回	子ども22
視点① 各世代に応じた学習機会の提供・支援	（家庭教育支援事業） 子育ての迷いや不安を希望にかえる講座	不登校をテーマに三回連続講座を開催。各分野の専門講師による多角的な学びを提供し、参加者から「前向きな気づきや希望を得た」との感想が多く寄せられました。	3回	54
	子育てふれあい広場 「れもんぐらす」	子育て中の保護者とその子どもが自由に集い交流できる場を提供するため、毎月第1～3金曜日（月3回）に、ボランティアスタッフを中心として、子育てふれあい広場「れもんぐらす」を開催しました。	31回	子ども409 保護者382 ボランティア177
	（アクティブシニアデビュー塾地域デビュー編） 小さな自然を楽しむ多肉植物講座	手軽で育てやすい多肉植物を使って、植物を育てる喜びや充実感を体験することで、生きがいを見つけるきっかけとしました。植物に触れることでストレスの緩和や心身のリラックスを促し、健康的な生活の維持・向上につながりました。講座終了後は新規サークルが立ち上がりました。	5回	93
	（アクティブシニアデビュー塾ボランティアデビュー編） やさしい音色をとどけるオカリナ講座	呼吸機能の強化や、運指等による脳の活性化、認知機能の向上につながるオカリナ講座を実施し、子育てふれあい広場「れもんぐらす」において演奏を披露するボランティア体験をしました。講座終了後は新規サークルが立ち上がりました。	5回	99
	（アクティブシニアデビュー塾健康実践デビュー編） 心も体も健やかに～くらしに活かすアロマ講座～	「アロマと健康」について学ぶことで、認知症予防や睡眠不足の解消、自律神経を整えるなど、健やかな毎日を目指しました。ハンドマッサージや香りの体験を行い、講座終了後は新規サークルが立ち上がりました。	5回	59
	（成人事業） キレイを続けるスッキリお片付け講座	普段の生活や日々の暮らしをより快適なものにするため、物を要・不要に分ける「整理」と物を使いやすくするための「収納」について分かりやすく学びました。	2回	①21人 ②18人
視点② 地区公民館におけるSDGs/ESD事業の展開	（地域SDGs/ESD推進事業）〔手鎌校区〕 お菓子づくりでつながろう	これまで校区まちづくり協議会が実施してきた健康づくり、食育事業を発展させるとともに、地域の人材発掘・育成につなげるため、共催事業としてお菓子づくり講座を行いました。10代から70代までの参加があり、幅広い世代の地域住民同士の交流が図られました。	1回	39

（手鎌地区）区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者（人）
	（地域SDGｓ/ESD推進事業）〔明治校区〕どうなる？どうする？語ろう！住まいの終活	現在、自分が住んでいる家や親が住んでいる実家を空き家にしないため、何ができるかを考えるために実施しました。「住教育カードゲーム」を活用し、住まいの終活や空き家問題について、語り合うよい機会になりました。	1回	12
	（学校SDGｓ/ESD推進事業）〔手鎌小学校〕 1年生の心を育てる声かけ講座	子どもの小学校入学を控えた保護者が、子どもの学校生活に対する不安や疑問を解消し、新たな生活のスタートを迎えられるよう支援することを目的に、家庭でできる具体的なサポートを学ぶための講義を実施しました。	1回	65
	（学校SDGｓ/ESD推進事業）〔明治小学校〕 つどう、まなぶ、つなぐ～地区公民館の役割～	明治小学校の教職員を対象に、地区公民館の施設や役割、学校SDGｓ/ESD事業について知ってもらうために実施しました。教職員からは「公民館の使い方を具体的にイメージすることができた」「活用したい」との声が聞かれました。	1回	10
視点② ボランティア活動・地域活動の担い手となる人材の発掘及び育成	子育てふれあい広場ボランティアスキルアップ講座	「れもんぐらす」と「じゃじゃり子み～け」のボランティアスタッフが布ボールづくりと、入園前の心構えや生活リズムについて現役保育士から学び、スキルアップを図りました。	2回	①8人 ②8人
	サークル社会参加促進事業	研修会等の実施によりサークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図りました。 ①『転倒予防教室』 ②『現在の大牟田はどこから～大牟田の歴史～』	①1回 ②1回	①19 ②24
	春のサークル体験会	サークルの社会参加を促進するとともに、会員数の増加と活動の活性化を目的に、サークル体験事業を実施しました。	1回（14サークル）	12
	わくわく広場【再掲】	手鎌校区の子どもたちを対象に月1回程度、実行委員会が実施する子どもの居場所づくり事業への支援を行いました。 （場所：手鎌地区公民館）	7回	子ども188 ボランティア32
	きらめき広場【再掲】	明治校区の子どもたちを対象に、季節のイベント（そうめん流し・クリスマスのケーキづくり）を支援しました。 （場所：明治会館）	2回	子ども67 ボランティア33
視点② 学んだ成果を活かす活動の場や機械の創出	第30回手鎌地区公民館ふれあい文化祭	公民館利用サークル会員・地域住民の学習成果の発表を中心に展示や演芸、バザー、体験コーナーなど多彩な内容で実施しました。 （ふれあい文化祭実行委員会事業）	1回	1,597

（手鎌地区）区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者（人）
視点③ 生涯学習、ボランティア活動に関する情報提供の強化	（公民館情報発信事業） 公民館だよりの発行	各種講座や施設利用の案内等、学習情報を提供するために発行しました。	5回	3,000部

８　駿馬地区公民館

（駿馬地区）区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者（人）
視点① 子どもの体験活動の強化・充実	（子ども交流体験事業） 駿馬小学校 PTA おたのしみ会	日ごろ体験できない活動を通して、親子の絆や PTA 会員相互の親睦を深め、PTA 活動の活性化を図ることを目的に実施しました。 (駿馬小学校PTA 共催、駿馬地区アンビシャス広場協力)	1回	参加者 47 PTA役員10
	（子ども交流体験事業） 諏訪川で、みんなであそぼう！ふれあいカヌーデー2025	諏訪川でのカヌー乗船体験をすることで自然を愛する心を育むとともに、家族や友人等とのふれあいを深める場・機会を提供するために開催しました。	1回	参加者50 カヌーサポーター会 13
	（子どもの交流体験事業） はじめてのブレイキン！	ブレイクダンスは、ストリートで生まれ、今や世界中で愛されているダンスです。多くの人々を魅了する独特の魅力があります。リズムに合わせて踊ることで自己表現力や創造力を高めることを目的として開催しました。	3回	21
	（子どもの交流体験事業） Xmas コンサート in はやめ音楽の贈り物	日頃音楽の生演奏に触れる機会が少ないと思われる子どもたちに伝統的な和楽器で Xmas 曲と日本曲を演奏、さらに朗読するコンサートを開催し、子どもたちが公民館は楽しそうだと感じる事で、公民館に脚を向けさせるきっかけづくりとし、また、生涯学習の関心の薄い親世代の人たちへ地区公民館を周知することを目指し実施しました。	1回	92
	（子どもの居場所づくり支援事業） 駿馬地区アンビシャス広場	子どもたちが自主的・主体的な活動の中で生きる力を育むことができるよう、地域の大人が見守るアンビシャス広場委員会を支援しました。	51回	子ども 1,501 支援員 179
視点① 各世代に応じた学習機会の提供・支援	（アクティブシニアデビュー塾健康実践デビュー編） ～今日何つくろう～ 素敵なエコクッキング講座	旬の食材を使い、工夫して食材を無駄なく使い食品ロスにつなげ、調理時の五感を働かせながら段取りよくすることで、脳の活性化を図ることを目的に実施し、さらに減塩に気を使った季節を味わう料理メニューにすることで、心身の健康づくりの実践の大切さを目指すとともに学んだ事を地域に活かす意識を育むことを目的に実施しました。	5回	79

（駿馬地区）区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者（人）
	（アクティブシニアデビュー塾地域デビュー編）初心者のための「囲碁講座」	囲碁は脳を使うゲームであり、医学的にも判断力を高め、ストレス解消に効果があると言われています。高齢者の社会や地域での仲間づくりと考える力を向上させ、さらには認知症防止・脳卒中のリハビリや予防にも役立つことで注目されているため実施しました。	5回	53
	（アクティブシニアデビュー塾ボランティアデビュー編）笑顔ふくらむ！はっぴぃバルーンアート	バルーンアートは、近年は、福祉施設などでレクリエーションや手先を動かすリハビリとして役立っています。完成形のイメージを膨らませることで創造力や発想力を高めたり、脳の活性化や集中力向上の効果が期待出来る。受講者同士で教え合いながら技術を高めたり、交流を深めることで社会参加に繋がることを目的に実施しました。	5回	84
	（成人事業）「大牟田歴史探訪」	大牟田の歴史を学ぶ機会として、有明新報の歴史小説家山﨑好裕先生より「立花直次とその子孫たちの三池」､はやめ郷土の会より、学習成果の発表「駿馬小学校の変遷」を通し郷土学習に関心のある人材の発掘、さらに「はやめ郷土の会」の会員加入促進を図るきっかけづくりとして実施しました。	2回	75
	（家庭教育支援事業）幼児期の子育て講座	子育ての不安を和らげるために必要な知識を学び、さらに親子の触れ合いを深めるため、大学教授による講話とおはなしの森による読み聞かせを実施しました。	3回	19
視点②地区公民館におけるSDGs/ESD事業の展開	（地域SDGｓ/ESD推進事業）〔駿馬校区〕駿馬校区防災講座（図上訓練）	校区内の危険箇所や要支援者の所在地を把握し、万一の災害発生時に、地域内の人々が連携協力して速やかに避難できるようにすることで、安心安全に暮らすことができる地域づくりを目的に実施しました。 （駿馬校区まちづくり協議会との共催）	1回	52
	（地域SDGｓ/ESD推進事業）〔駿馬校区〕ニセ電話詐欺等被害防止対策講座	近年、携帯やスマートフォンにニセ電話やニセメールを受信して、詐欺などの被害を受ける人が増加しています。現代社会においてスマートフォンは災害時の情報伝達や収集に便利な道具であるが、犯罪の道具に利用されている状況もあります。そのため、校区住民が個人情報や財産を守り、安心安全に生活できることを目的に実施しました。	1回	25
	（地域SDGｓ/ESD推進事業）〔駿馬校区〕諏訪川清掃活動支援	地域団体主催の諏訪川清掃活動に対し、「はやめカヌーサポーター会」と支援を行いました。 ・駿馬校区社会福祉協議会主催 「諏訪川浄化活動」8月、2月開催。 ・駿馬校区まちづくり協議会主催 「精霊流し片付け」8月	3回	300

（駿馬地区） 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 （人）
	（学校 SDG s /ESD 推進事業） 駿馬のまち発見隊	駿馬地区公民館の定期利用サークルである「はやめ郷土の会」がボランティアガイドを務め、駿馬小学校 3 年生の総合学習「駿馬の歴史学習」の事前学習として「地域を知る」の一環で実施した古道歩きの支援を行いました。歴史学習を通して、学校と地域のつながりを強化することを目的としました。	1 回	児童　34 教諭　3 ゲストティーチャー　5
	（学校 SDG s /ESD 推進事業） カヌー体験活動支援	児童の健やかな成長に寄与するため、近隣小学校が実施する体験学習（海洋教育としてのカヌー乗船体験）に対し支援しました。	3 回	児童　154 講師　8 ｶﾇｰｻﾎﾟｰﾀｰ　38
	（学校 SDG s /ESD 推進事業） 宮原中学校連携支援	宮原中学校と地域をつなぐ支援として、今年度は宮原中学校の生徒が行っている「みんなに届けよう！服の力プロジェクト」に協力しました。	1 回	―
視点② ボランティア活動・地域活動の担い手となる人材の発掘及び育成	第 27 回はやめカッパ祭り	河川浄化と意識の向上、世代間交流の促進及び地域の連帯意識の醸成を図ることを目的として開催される当該イベントを支援しました。（はやめカッパ祭り実行委員会主催）	1 回	600
	なの花まつり	環境美化及び青少年の健全育成を目的に、諏訪川及び駿馬地区公民館を会場に開催されるイベントの支援を行いました。 ＜なの花まつり実行委員会主催＞	1 回	ｽﾀｯﾌ　62 参加者 250
	炭鉱の祭典（宮原坑フェスタ）	世界遺産構成資産である宮原坑で開催される「宮原坑フェスタ 2025」のイベントの支援を行いました。 ＜大牟田市世界遺産・文化財室主催＞	1 回	5,300
	カヌーボランティア活動支援	新たなボランティアの育成によりカヌー事業の継続発展を図ることを目的に、カヌーサポーター養成講座を開催しました。	1 回	受講者　5 ｶﾇｰｻﾎﾟｰﾀｰ　6
	サークル社会参加促進事業	サークルの自主活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図りました。 ①「ペタンク大会」の開催（サークル会員のみ） ②「春のコンサート」の開催（一般参加）	①1 回 ②1 回	①　81 ②100
	（子どもの居場所づくり支援事業） 駿馬地区アンビシャス広場【再掲】	子どもたちが自主的・主体的な活動の中で生きる力を育むことができるよう、地域の大人が見守るアンビシャス広場委員会を支援しました。	51 回	子ども 1,501 支援員 179
視点② 学んだ成果を活かす活動の場や機会の創出	第 29 回駿馬地区公民館文化祭（翔馬祭）	公民館利用サークル会員・地域住民の学習成果の発表を中心に開催しました。	1 回	830
	展示コーナー・ロビーの活用促進	館内の展示コーナーを活用し、小・中学校の作品展などを開催することにより学習活動の成果発表の機会を提供しました。	9 回	―

（駿馬地区）区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者（人）
視点③ 生涯学習、ボランティア活動に関する情報提供の強化	（公民館情報発信事業） 公民館だよりの発行	各種講座や施設利用の案内等、学習情報を提供するために発行しました。 ①公民館だより ②図書だより	 ①3回 ②1回	 ①各1,000部 ②1,000部

９　登録サークル活動

区　分		中央	三川	勝立	吉野	三池	手鎌	駿馬	合計
R5	サークル数	16	34	21	22	26	25	24	168
	会員数（人）	171	438	258	243	280	271	244	1,905
R6	サークル数	15	33	18	21	22	23	22	154
	会員数（人）	183	476	215	236	248	254	210	1,822
R7	サークル数	12	35	19	21	22	22	19	150
	会員数（人）	155	516	217	240	248	224	186	1,786

１０　図書関連事業

（１）各地区公民館別図書貸出冊数

（単位：冊）

区　分		三川	勝立	吉野	三池	手鎌	駿馬	合　計
R5	一　般	3,979	1,792	3,610	7,864	3,454	1,152	21,851
	児　童	2,224	342	2,334	3,162	1,818	663	10,543
	計	6,203	2,134	5,944	11,026	5,272	1,815	32,394
R6	一　般	3,758	1,564	3,357	7,922	3,798	982	21,381
	児　童	1,974	411	1,510	3,008	2,045	590	9,538
	計	5,732	1,975	4,867	10,930	5,843	1,572	30,919
R7	一　般	3,429	1,173	3,259	7,635	4,671	1,195	21,362
	児　童	1,469	468	1,446	2,114	1,981	510	7,988
	計	4,898	1,641	4,705	9,749	6,652	1,705	29,350

（２）図書関連事業

新刊コーナー、レイアウト変更、図書の広報の工夫等を行いました。また、地区公民館において絵本の読み聞かせなど行いました。

１１　施設利用状況

Ｒ７年度は施設利用件数・施設利用延人員数どちらも増加しています。登録サークルの活動については、登録サークル数・会員数ともに減少していますが講座等を通して新規サークルも発足しています。

（単位：人）

区　分		中央	三川	勝立	吉野	三池	手鎌	駛馬	合計
R5	件数	3,285	3,677	2,419	2,470	3,067	3,085	2,660	20,663
	延人員	31,842	34,361	20,617	22,269	28,262	32,847	25,069	195,267
R6	件数	3,631	3,357	2,204	2,392	2,887	3,310	2,594	20,375
	延人員	36,247	35,214	19,993	22,406	28,059	38,020	24,706	204,645
R7	件数	3,645	3,428	2,235	2,534	2,909	3,364	2,791	20,906
	延人員	35,375	36,586	20,254	23,582	28,418	36,588	29,677	210,480

○自主及び指定避難所開設による休館

Ｒ７年度は、次のとおり開館時間の短縮を行いました。

８月１１日（月・祝）９時００分～１４時１５分

１２　施設改修・施設整備

（１）社会教育施設・設備充実事業

地区公民館の利用者が、安心・安全に施設を利用できるように、必要に応じて施設修繕を実施しました。

○中央地区公民館

誘導灯の取替、防火シャッター装置の調整等

○三川地区公民館

駐車場杭工事、雨漏り修繕、ガス警報器取替等

○勝立地区公民館

コインタイマー取替工事、自動火災報知設備の感知器取替等

○吉野地区公民館

トイレ鍵修繕、雨漏り修繕等

○三池地区公民館

空調設備更新工事、トイレ修繕、雨漏り修繕等

○手鎌地区公民館

エアコン室外機の修繕、トイレ水栓漏れ修繕、ガス警報器取替等

○駛馬地区公民館

空調設備更新工事、電灯設備更新工事、トイレ漏水修繕、誘導灯の取替等

１３　研修・研究

毎月第１月曜日（休館日）に開催する地区公民館職員研修会において、各種研修及び各種計画の紹介等を行ったほか、社会教育センター等で開催される研修に参加しました。

《多目的活動施設リフレスおおむた》〔生涯学習課〕

リフレスおおむたは、市民の文化、スポーツ及び教養の向上並びに青少年の健全育成のための野外活動の充実を図るとともに、広域的な住民の交流の場を確保し、もって生涯学習の振興に資するため、Ｈ１１年に設置しました。青少年の多様な体験活動の場、生涯学習・生涯スポーツの場、広域的な住民交流の場の提供に努めています。

また、野外・自然体験活動等の事業をはじめ、施設設備の有効的な利活用を図るための指導者養成事業、施設ボランティア養成事業等の実施により、青少年の健やかな成長と豊かな心を育むことを目指しています。

Ｈ１９年度から指定管理者制度を導入し、Ｒ４年度からＲ８年度までの５年間は公益財団法人熊本ＹＭＣＡを指定管理者に指定しています。

１　事業の実施状況

施設の設置目的を効果的に達成するための事業を､｢大牟田市立多目的活動施設リフレスおおむた管理業務仕様書」に基づき、指定管理者が実施しました。

（１）必須事業（指定管理者が必ず実施しなければならない事業）

事業名	事業の概要	時期	回数	延べ参加者数（人）
野外活動体験 リフレスがまだす隊	小学校１年生と２年生を対象に、自然の恵みを感謝する取組、思いやりと感謝の心を育む機会を野外活動を通して行う。	５月～ 12 月	6	147
リフレスなんでもやる隊	小学校３年生から６年生を対象に、自然・環境学習活動、クラフト等を含んだ総合的な活動を行い、自然と命の大切さを学び、協調性や自立性を育成する。	６月～ 12 月	6	123
春の野草を食べよう	リフレスおおむた周辺の自然観察を行いながら、草木等自然にふれあう機会とする。専門ボランティアの指導のもとで野草を搾取し、試食する。	４月	1	7
リフレスキャンプ2025 （長期宿泊体験事業）	主に大牟田市内の小学校児童を対象に夏休みや冬休みなどの長期休業期間を利用して、リフレスおおむたや他市外施設を利用し、異年齢集団生活、野外活動、文化活動を通して、自主性や社会性を養うことで共に生きる力を育成する。	７月 R8.１月	2	27
キャンパーズコネクション (野外活動指導者養成事業)	青少年の野外活動の充実を図るため、青少年団体等が行う自然体験活動の指導者又は活動を支援するボランティアの養成を行う。	６月 R8.３月	2	17
レクリエーション指導 （青少年団体支援事業）	学校や子ども会などを対象に、要請があれば指導者を派遣する。出前講座にも登録している。	10 月	1	40
楽しいキャンプファイヤー指導 （青少年団体支援事業）	幼稚園・小学校・リフレス利用者を対象として、要請があればキャンプファイヤー指導を行う。	なし	0	0
青少年ボランティア活動支援	キャンパーズコネクションに集まった青少年を中心に、ボランティアグループを結成し、野外活動を支援するリーダー育成を目指す。	５月～7 月 ９月、11 月 ～R8.１月	7	52

事業名	事業の概要	時期	回数	延べ参加者数（人）
星空観察会	星座や星の観察を通して、自然や環境（光害）について学ぶ。また星座の成り立ちや神話、星に関わる疑問などを学ぶ時間を設け、自然に親しむ機会をつくる。	9月 R8.1月	2	43
ほたる観察会	ほたるの観察を通して、地域の自然環境を学び、地元愛を育む機会と環境保護の意識向上を図る。	5月 （雨天中止）	0	0
学習の相談及び支援（アドバイス）	学校やスポーツ団体等、リフレスを活用される野外活動などの相談支援を行う。	7月 11月	2	68

（2）提案事業（施設の設置目的を達成するために指定管理者が提案した特性を生かした事業）

事業名	時期	延べ参加者数（人）
陶芸教室（大人対象）	10月	15
陶芸教室（親子対象）	6月	61
クライミング講習会	R8年1月～3月	63
高齢者向け健康体操	11月	12
リフレスクッキング教室	5月、11月	25
物づくり教室	10月・12月	36
ヨガ＆健康体操教室	毎週水曜日	331
ペン字講座	8月	14
おりがみ教室	毎週火曜日	95
HIPHOPダンス教室　「Swich Club」	10月	15

（3）自主事業（指定管理者が独自に実施する事業）

事業名	時期	延べ参加者数（人）
日帰りスキー＆雪あそびキャンプ	R8年3月	8

2　利用状況

（1）開所日数　３３８日

（2）利用者数等

年度	件数	利用者数（人）	施設利用内訳			利用者内訳		
			屋内宿泊	キャンプ宿泊	日帰り利用	大人	高大生	中学以下
R5	2,189	18,689	1,344	119	17,226	9,616	968	8,105
R6	2,623	20,786	1,233	53	19,500	11,287	834	8,665
R7	2,436	20,139	1,125	20	18,994	10,019	1,030	9,090

（Ｒ７年度内訳）

区分別	件数	利用者数（人）	施設利用内訳			利用者内訳		
			屋内宿泊	キャンプ宿泊	日帰り利用	大人	高大生	中学以下
個　人	1,613	6,066	43	0	6,023	3,567	568	1,931
少　年	298	7,074	508	20	6,546	1,502	71	5,501
学　校	23	555	159	0	396	125	227	203
他団体	347	4,384	349	0	4,035	3,589	114	681
主催事業	155	2,060	66	0	1,994	1,236	50	774
計	2,436	20,139	1,125	20	18,994	10,019	1,030	9,090

※「利用者数」には利用した実人数を計上しています。
※「個人」とは、団体名を持たない利用者（複数人を含む）をいいます。
※「少年」とは、青少年を主とした団体で、「学校」及び「他団体」以外の団体をいいます。
※「学校」とは、小学校以上の学校の団体をいいます。
※「他団体」とは、一般団体やサークル、幼児の団体をいいます。
※「主催事業」とは、リフレスおおむたが主催する事業に参加した利用者をいいます。

３　施設整備等

Ｒ７年度は、大規模な修繕はなく、適宜、必要な修繕を行った。

《大牟田文化会館》〔生涯学習課〕

大牟田文化会館は、事業の企画・実施や、市民の文化活動に係る施設や付属設備等の提供、文化活動に関する相談・支援・情報収集、プラネタリウム投影などを通して大牟田市、柳川市及びみやま市の区域における文化の向上と住民の福祉の増進に資するためにＳ６１年に設置しました。文化事業については音楽や美術、講演など幅広いジャンルの催しを開催することを目的としています。

Ｈ１８年度から指定管理者制度を導入し、Ｒ４年度からＲ８年度までの５年間は公益財団法人大牟田市文化振興財団（Ｈ２５年９月に公益法人へ移行）を指定管理者として、施設の管理運営を行っています。

１　事業の実施状況（プラネタリウム関連事業を除く）

施設の特性を生かし、文化の向上と住民の福祉の増進に資する文化芸術事業を指定管理者が実施しました（多様な文化に触れ親しむ鑑賞型、市民が主体的に参加する参加型、将来の文化を担う人材を育成する育成型の文化芸術事業を地域の音楽・文化関係団体等と連携して実施。）。

①鑑賞型事業

事　業　名	と　き	と こ ろ	入場者等
第 80 回福岡県美術展覧会（県展） 筑後展	10 月 19 日(日) ～25 日(土)	文化会館	出品数 203 点 入場者 532 人
クリスマスファミリーコンサート 2025 ～昭和 100 年　未来に届けたい名曲たち～	12 月 24 日(水)	文化会館	76 人
大牟田文化会館　開館 40 周年記念プレ事業 映画上映会　おむタン HOT シアター	9 月 7 日（日） R8 年 1 月 24 日(土) ～25 日(日)	文化会館	268 人

②参加型事業

事　業　名	と　き	と こ ろ	入場者等
憩いの mori 午後のミニコンサート ～音楽のさんぽみち～	①4 月 20 日(日) ②6 月 29 日(日) ③9 月 7 日(日) ④R8 年 2 月 11 日(水･祝)	文化会館	①62 人 ②48 人 ③72 人 ④40 人
第 43 回有明美術展	5 月 27 日(火) ～6 月 1 日(日)	文化会館	出品数 126 点 入場者 662 人
大ホールピアノ体験 「スタンウェイを弾いてみよう」	5 月 2 日(金)～4 日 (日・祝)	文化会館	46 人
七夕飾り　～星に願いを～	6 月 25 日(水) ～7 月 10 日(木)	文化会館	－
開館 40 周年記念プレ事業　市民ギャラリー 「あつまれ！わが家のアイドル」写真展	7 月 5 日(土) ～21 日(月・祝)	文化会館	出品数 63 点
ツリーにお願い	12 月 3 日(水) ～12 月 25 日(木)	文化会館	－

事　業　名	と　き	と こ ろ	入場者等
文化芸術が生み出すまちの魅力アップ事業 ① 未来を紡ぐファッションショー～OMUTA コーデバトン 2025～ ② 演劇ワークショップ （講師：劇団「FOURTEEN PLUS 14+」中嶋さと氏+劇団メンバー3 人）	①12 月 20 日(土) ②12 月 8 日(月)、12 月 19 日(金)	①ｲｵﾝﾓｰﾙ大牟田 ②中友小学校	①約 300 人 ②46 人
学校鑑賞事業 「ちっちゃい姫とシャベルン博士」	①R8 年 1 月 26 日(月) ②③R8 年 1 月 27 日(火) ④R8 年 1 月 28 日(水)	①上内小学校 ②駅馬小学校 ③大正小学校 ④中友小学校	174 人
おむタンおみくじ	R8 年 1 月 12 日(月・祝)～31 日(土)	文化会館	800 人
音楽の贈り物事業 出前コンサート in 甘木山学園	R8 年 2 月 7 日(土)	甘木山学園	26 人
開館 40 周年記念プレ事業 子ども音劇「星の王子さま」	R8 年 2 月 28 日(土)	文化会館	ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ 参加者 15 人 入場者 905 人
憩いの mori 文化活動支援事業 ①クラシックギターコンサート ②ヒデカヨ＆仲間たちコンサート	①11 月 23 日(日・祝) ②R8 年 3 月 20 日(金・祝)	文化会館	①50 人 ②100 人
文化体験講座 「バイオリンを弾いてみよう」	R8 年 3 月 15 日(日) R8 年 3 月 29 日(日)	文化会館	22 人

③育成型事業

事　業　名	と　き	と こ ろ	入場者等
第 23 回ありあけジュニアピアノコンクール ①チャレンジ B コース ②A コース ③プレミアムアンサンブルコンサート	①8 月 9 日(土) ②11 月 3 日(月・祝) ③R8 年3 月 22 日(日)	文化会館	参加者 ①38 人 ②53 人 ③ 5 人 入場者 ①106 人 ②251 人 ③110 人
マロプロジェクト in 大牟田 ～子どもたちの未来へ　音のメッセージ～ Vol.6	8 月 22 日（金） ～24 日（日）	文化会館	参加者 35 人 入場者 319 人
第 49 回九州青年美術公募展	11 月 16 日(日) ～22 日(土)	文化会館	応募数 94 点 入場者 201 人

事　業　名	と　き	と こ ろ	入場者等
大牟田文化会館・有明工業高等専門学校 合同企画 ①『アクリル星座板工作教室』 ②『はじめてのプログラミング教室』 ③『電子工作マイクロビット体験教室』	①②8月17日(日) ③12月20日(土)	文化会館	81人

2　プラネタリウム関連事業の実施状況

プラネタリウムは、投影機器の老朽化に伴い新たなデジタルプラネタリウム機器を導入し、Ｒ６年６月にリニューアルオープンしました。

四季に応じた星座の解説を入れた一般投影や星空と音楽を融合した大人向けの特別投影、小中学校向けの学習投影など、幅広い年齢層に応じた内容を投影しています。

事　業　名	と　き	と こ ろ	入場者等
プラネタリウム　特別投影 「ＱＵＥＥＮ　－ＨＥＡＶＥＮ－」	①5月5日(月・祝) ②5月16日(金) ③12月12日(金)	文化会館	224人
キッズデビュープログラム ちびっこプラネ	6月7日(土)	文化会館	47人
プラネタリウム　特別番組 「全国一斉　熟睡　プラ寝たリウム」	11月28日(金)	文化会館	70人
ほしぞら☆探検隊 「皆既月食観望会」	R8年3月3日(火)	文化会館	32人

プラネタリウム来場者数の推移

年　度	R5	R6	R7
来場者数	4,952人	5,148人	4,607人

3　利用状況及び収入状況

（１）利用状況

区分	稼働率（%）			利用人数（人）		
	R5	R6	R7	R5	R6	R7
大ホール	48.7	44.4	38.3	17,506	43,768	27,472
小ホール	59.0	60.2	68.8	35,005	33,849	31,117
その他				78,964	82,744	67,653
計				131,475	160,361	126,242

（２）収入状況　（単位：千円）

会場使用料・観覧料	付属設備使用料・冷暖房料	そ の 他	合　計
22,126	12,805	1,079	36,010

《三池カルタ・歴史資料館》〔生涯学習課〕

三池カルタ記念館は、Ｈ３年に開設しました。その後、Ｈ１８年に歴史資料館と統合し、三池カルタ・歴史資料館として現在に至っています。カルタや郷土の歴史に関する展示を中心とした企画展の開催をはじめ、資料の収集・保存、調査研究、文化・歴史講座等の実施により、市民の文化的教養の向上に努め、市民の豊かな心と郷土を愛する心を育み、地域社会の文化の向上に資することを目的としています。

Ｈ１９年度から指定管理者制度を導入し、Ｒ４年度からＲ８年度までの５年間はＴＲＣ・アクティオグループを指定管理者に指定しています。

１　事業の実施状況

施設の設置目的を効果的に達成するための事業を、「大牟田市三池カルタ・歴史資料館等複合施設管理業務仕様書」に基づき、指定管理者が実施しました。

（１）必須事業（指定管理者が必ず実施しなければならない事業）

①企画展

事　業　名	期　　間	内　　容	入館者
春の企画展 「なつかしの 昭和カルタ」	4 月 1 日(火)～ 6 月 22 日(日)	時代を映す鏡ともいえるカルタを通して「昭和 100 年」を振り返る。	大人 2,006 人 子ども 474 人 計 2,480 人
平和展 2025 「戦時資料とカルタでたどる戦後 80 年」	7 月 1 日(火)～ 9 月 21 日(日)	戦後 80 年の節目の年として、戦時中の資料や大牟田空襲に関する資料、並びに戦時中に発行されたカルタを通して戦争と平和について考える展示を行いました。	大人 1,886 人 子ども 642 人 計 2,528 人
秋の企画展 世界遺産登録 10 周年記念 「地図・絵葉書でよみがえる三池炭鉱」	9 月 30 日(火)～ 12 月 7 日(日)	戦前から戦後にかけて描かれた三池炭鉱関連の地図や絵葉書を紹介。石炭産業の隆盛に沸き立つ“炭都”大牟田の発展の歩みを振り返り、その価値と魅力を再認識しました。	大人 1,350 人 子ども 488 人 計 1,838 人
冬の企画展 「新収蔵カルタ展 2025」	12 月 16 日(火)～ R8 年 3 月 24 日(火)	R6 年度中に収集したカルタや世ランプの中から厳選した物を紹介しました。	大人 1,635 人 子ども 535 人 計 2,170 人

②市民カルタフェア　２０２５

本市が「日本のカルタ発祥の地」であることを広く周知するため、カルタ体験や抽選会を実施しました。「五色百人一首」に触れてもらう機会を提供し、当館開館３０周年とイオンモール大牟田１０周年を記念して制作した「みんなで作ったオリジナルかるた」のジャンボカルタを実施しました。

と　き　　８月２日(土)
ところ　　イオンモール大牟田
参加者　　１０５人（大人５６人、子ども４９人）

③第３３回三池カルタ・歴史資料館杯≪小倉百人一首≫九州新人かるた競技大会

３人１組の源平戦と個人戦とあわせて通常開催し、福岡・佐賀の各県から１６９人の参加がありました。

と　き　　１１月９日（日）

ところ　　大牟田中央小学校体育館

参加者　　１６９人　団体戦（９３人：３人１チーム　３１チーム【有段者の部　２４チーム・無段者の部　７チーム】)、個人戦（２７人)、観覧者等　４９人

④普及・啓発事業

ア　カルタの貸出（小倉百人一首かるた等）　　４４件　　延べ　６２組

イ　講座等の開催

内　　容	と　　き	受講者数
歴史講座①登録 10 周年を迎えた「明治日本の産業革命遺産」	10 月 5 日(日)	28 人
歴史講座②「八幡製鐵所が世界遺産と呼ばれるまで～明治日本の産業革命遺産と北九州・八幡～」	11 月 2 日(日)	14 人
文化講座① 「美味・美食の宝庫 三池・大牟田の食文化と文化観光」	R8 年 2 月 11 日(水・祝)	15 人
文化講座② 「知っているようで知らない、古くて新しい『竹取物語』」	R8 年 3 月 15 日(日)	33 人

ウ　その他

ミュージアムキャラクターアワード２０２５に館のキャラクター（カルタン王子）をエントリー（投票期間:７月２２日（火）～９月４日（木))し全国に周知を図りました。

ミュージアムキャラクターアワード２０２５全国の博物館・美術館・科学館・動物園・水族館などからエントリーされたミュージアムのキャラクターの人気日本一を決定するイベントミュージーアム情報サイト『アイエム〔インターネットミュージアム〕』開催しました。

（２）提案事業（施設の設置目的を達成するために指定管理者が提案した、施設の特性を生かした事業）

①企画展関連イベント等

事　業　名	期　　間	内　　容	参加者等
春の企画展関連事業 「ミニチュアクリームソーダを作ろう！」	5 月 3 日(土・祝)～ 5 月 5 日(月・祝)	「なつかしの昭和カルタ」の展示に合わせ、「昭和レトロ」として人気のクリームソーダのストラップを作るワークショップを開催しました。	大人　6 人 子ども 41 人 計　47 人
春の企画展関連事業 「ミュージアムガイド(昭和のまんがあれこれ)」	6 月 7 日(土)	昭和 20 年代から 60 年代の漫画を鑑賞しながら、その特徴や編成についてお話ししました。	大人　8 人 計　8 人
春の企画展関連事業 「ミュージアム・コンサート」	6 月 22 日(日)	展示室内でのコンサートを実施することにより、企画展の更なる集客を図りました。	大人　22 人 計　22 人
平和展 2025 関連事業 「命の紙芝居」	7 月 20 日（日）	市内で戦争体験者から聞き取りを行い、自作の紙芝居を作成、公演活動をされている松井左右知さんにご協力をいただき、平和意識の啓発を促しました。	大人　25 人 子ども　6 人 計　31 人

事　業　名	期　　間	内　　容	参加者等
平和展 2025 関連事業 夏休みアニメーション上映会	8 月 5 日(火)～ 8 月 11 日(月・祝)	夏休み期間にアニメーション上映を通じて、平和展の来館を促し、平和学習の一助となるよう実施しました。	大人　30 人 子ども 39 人 計　69 人
平和展 2025 関連事業 平和の朗読劇「日本のいちばん長い日」	8 月 16 日(土)	戦争と平和について考える機会を提供し、平和意識の啓発を促すことに努めました。	大人　24 人 子ども　1 人 計　25 人
R7 年度 夏期平和事業 （大牟田恵愛園ホール）	8 月 17 日(日)	核廃絶平和都市 40 周年記念事業として、ノーベル平和賞を受賞された日本原水爆被害者団体協議会共同代表委員の田中重光さんの講演等を通して平和意識の向上を行いました。	大人　198 人 子ども　2 人 計　200 人
平和展 2025 関連事業 「戦時資料収集を通して　平和への思い」	9 月 7 日（日）	長年にわたり戦時資料の収集を続けてこられた松山強氏を招き、実際の資料を紹介しながら戦争と平和への思いをお話ししていただきました。	大人　12 人 子ども　1 人 計　13 人
秋の企画展関連事業 ミュージアム・ガイド	10 月 12 日(日) 12 月 7 日(日)	「地図・絵葉書でよみがえる三池炭鉱」において展示中の明治末期から昭和 30 年代までの地図や絵絵葉書の見所やポイントともに時代背景とともに紹介しました。	大人　6 人 計　6 人
秋の企画展関連事業 『談話聴取録　三池』にみる明治の大牟田	11 月 24 日(月･振休)	三池炭鉱が「三池炭鉱五十年史」の編成過程において実施した、関係者へのインタビューを紹介しながら、明治時代における本市の様相を紹介しました。	大人　19 人 計　19 人

②普及・啓発事業

ア　博物館学芸員実習・インターンシップ（就業体験）受け入れ

インターシップ（就業体験）７月３０日（水)、８月１日（金)、２日（土）に三池工業高校の２人を受け入れました。

博物館学芸員実習８月５日（火）～８日（金）に福岡大学の１人を受け入れました。

イ　出張カルタ

三池カルタ･歴史資料館の職員が学校等へ出向き､親子学習会などの参加者を対象に、ジャンボカルタを使ったカルタ取りやカルタにまつわるお話をする事業です。

場　　所	と　　き	参加者数
天領小学校	6 月 6 日（金）	134 人
天の原小学校	6 月 12 日(木)	49 人
倉永小学校	6 月 20 日(金)	68 人
みやま市総合市民センターMIYAMAX	10 月 11 日（土）	83 人
銀水小学校	12 月 9 日（火）	140 人
荒尾市八幡小学校	12 月 20 日(土)	79 人
羽山台小学校	R8 年 2 月 26 日(木)	80 人

ウ　講座等の開催

講　　座　　名	と　　き	受講者数
古文書入門講座（第 11 期）	全 24 回 4 月 4 日(金)～R8 年 3 月 20 日(金･祝)	延べ 223 人
『源氏物語』の光と影を読む（第 12 期）	全 24 回 4 月 6 日(日)～R8 年 3 月 15 日(日)	延べ 322 人

エ　イベント等の開催

事　業　名	期　　間	内　　容	参加者等
古代体験 「勾玉つくり」	8 月 11 日(月・祝)	世界遺産・文化財室と連携して市内出土の勾玉の歴史の解説と勾玉制作を行いました。	大人　1 人 子ども 10 人 計　11 人
お正月わくわく工芸体験（カルタ体験）	R8 年 1 月 11 日（日）	アクロス福岡（福岡市）にて行われた伝統文化やアートに触れられるイベントに、「福岡県ふるさとカルタ」「ことわざいろはカルタ」を使用しカルタ体験を行いました。	大人　10 人 子ども 30 人 計　40 人
大牟田史跡めぐりウォーク ～近代化遺産編～	R8 年 2 月 22 日（日）	世界遺産・文化財室と連携して現地を歩きながら、地域の歴史に関心を持ってもらいました。	大人　14 人 計　14 人

２　報道関係等への資料提供とＰＲの状況

新聞　　３８件　　テレビ・ラジオ　　１８件　　機関紙・雑誌等　　１０件

３　観覧者数等の状況

年　度	開館日数	入　館　者　数　（人）			図録関係頒布収入（千円）
		一　般	児童生徒	合　計	
R5	270	5,878	1,892	7,770	113
R6	275	8,537	2,088	10,625	119
R7	275	6,877	2,139	9,016	118

※観覧料については、Ｈ１９年度に指定管理者制度導入後、無料となっています。

《図 書 館》〔生涯学習課〕

市民の図書資料に対する要求に応え、自由で公平な図書館資料の提供を中心とする諸活動によって、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とした事業を実施します。また、施設設備を有効に活用し、読書ボランティア養成講座事業、おはなし会等を実施します。

三池カルタ・歴史資料館との複合施設であり、Ｈ１９年度から指定管理者制度を導入し、Ｒ４年度からＲ８年度までの５年間はＴＲＣ・アクティオグループを指定管理者に指定しています。

１　利用状況

（１）図書貸出の登録者及び利用者　　（単位：人、団体）

区分				計	本館	地区公民館					
						三川	勝立	吉野	三池	手鎌	駅馬
登録者数	個人	新規登録者	小学生以下	162	146	2	0	4	4	6	0
			中学生	24	21	1	0	0	1	1	0
			高校生	56	55	0	0	0	0	1	0
			成人	1,061	960	13	9	20	24	30	5
			小計	1,303	1,182	16	9	24	29	38	5
		登録者数		17,862	16,458	269	116	259	381	273	106
	団体	新規登録団体数		11	11						
		登録団体数		495	495						
利用者数	個人	実利用者数		6,621	6,161	94	34	82	116	112	22
		延べ利用者数		80,111	69,551	1,827	705	1,748	3,565	2,074	641
	団体	実利用団体数		66	66						
		延べ利用団体数		381	362	0	0	0	0	19	0

（２）図書貸出冊数及びその他資料貸出数　　（単位：冊、点、日）

区分		計	本館	地区公民館					
				三川	勝立	吉野	三池	手鎌	駅馬
図書資料	一般書	221,430	200,068	3,429	1,173	3,259	7,635	4,671	1,195
	児童書	112,579	104,591	1,469	468	1,446	2,114	1,981	510
	小計	334,009	304,659	4,898	1,641	4,705	9,749	6,652	1,705
	開館日		286	340	340	341	340	340	340
	１日平均		1,065.2	14.4	4.8	13.8	28.7	19.6	5.0
その他資料	AV 資料（CD・DVD 等）	15,429	15,292	38	23	6	40	28	2
	雑誌	13,994	13,683	45	0	44	71	150	1
	小計	29,423	28,975	83	23	50	111	178	3
総計		363,432	333,634	4,981	1,664	4,755	9,860	6,830	1,708

※本館館内閲覧受付　６９０冊

○本館の蔵書点検に係る臨時休館　　Ｒ８年３月３日（火）～１３日（金）

（3）図書貸出冊数（一般書・児童書）と予約・リクエストの推移

区分／年度	貸出（冊）		予約・リクエスト	
	個人	団体	件数	左のうち、購入した冊数
R5	347,329	4,848	33,715	1,199
R6	333,252	7,331	33,995	1,051
R7	324,867	9,142	33,853	975

（4）障害者サービス

区分	登録者	貸出数	市内送付サービス	市外送付サービス
点字サービス	29人	66タイトル 273点	66タイトル 273点	0タイトル 0点
録音サービス※	105人	123タイトル 241点	120タイトル 231点	3タイトル 10点
計		189タイトル 514点		

※録音サービスでは、現在主流の視覚障害者向けデジタル録音図書（デイジー）と一般的な再生機（カセットプレイヤー）で聴けるカセットテープによるサービスを行っています。
※本表では広報・新聞コラム等を除いています。

（5）予約処理状況

一般書・児童書　　３１，２６８冊
雑誌　　２，２７８冊
ＡＶ資料（ＣＤ・ＤＶＤ等）　　３０７点　　合　計　３３，８５３件

※Ｒ３年４月から在架予約を開始しました。
（市立図書館や地区公民館図書コーナーの棚にある資料を予約することができます。）

（6）文献複写サービス（有料）

複写枚数　　３，４０６枚

（7）人口類似都市図書館との比較

区分	大牟田市		人口類似都市平均（R7年度実績）
	R6年度	R7年度	
市民1人当たりの図書等貸出冊数	3.57冊	3.56冊	3.84冊
全市民中に占める貸出登録者の割合	18.72%	17.50%	45.11%
蔵書回転率	1.25回	1.23回	1.15回
市民1人当たりの蔵書冊数	2.87冊	2.88冊	3.35冊
市民1人当たりの図書等購入費	204.39円	206.97円	188.41円
職員1人当たりの図書等貸出数	21,791冊	21,379冊	14,969冊

※「人口類似都市平均」は、『日本の図書館（２０２５）』日本図書館協会２０２６年刊から、人口１０．７万人以上１２．１万人未満の１０市の平均
※大牟田市以外の数値は、２０２５年の公共図書館調査票の数値をもとに平均値を算出

２　図書館資料

拠点別蔵書冊数　（Ｒ８年３月３１日現在）

区　　分	一般書		児童書		計	
	冊数（冊）	比率（%）	冊数（冊）	比率（%）	冊数（冊）	比率（%）
本館	189,795	80.0	47,335	20.0	237,130	100.0
三川地区公民館	6,962	58.9	4,861	41.1	11,823	100.0
勝立地区公民館	5,641	63.8	3,204	36.2	8,845	100.0
吉野地区公民館	5,400	60.5	3,523	39.5	8,923	100.0
三池地区公民館	5,950	55.0	4,876	45.0	10,826	100.0
手鎌地区公民館	4,838	52.8	4,326	47.2	9,164	100.0
駅馬地区公民館	4,241	55.1	3,451	44.9	7,692	100.0
計	222,827	75.7	71,576	24.3	294,403	100.0

３　事業の実施状況

施設の設置目的を効果的に達成するための事業を、「大牟田市三池カルタ・歴史資料館等複合施設管理業務仕様書」に基づき、指定管理者が実施しました。

（１）必須事業（指定管理者が必ず実施しなければならない事業）

①定例事業

ア　おはなし会（おおむた読書推進ボランティアネットワークの協力を得て開催）

おはなし会名	開　催　日	開催回数	参加者（のべ人数）	協力ボランティア（のべ人数）
幼児及び小学生のためのおはなし会	毎週土曜日	47回	608人	127人
乳幼児のためのおはなし会	毎週木曜日（但し、休館日の最終木曜日は除く）	36回	335人	69人
赤ちゃんのためのおはなし会	毎週火曜日	37回	575人	100人

イ　ブックデビュー事業

保護者と赤ちゃんが「初めての絵本」の楽しさを実感できる方法を提案するとともに、図書館の利用案内を行いました。

上記の「赤ちゃんのためのおはなし会」内で隔月１回、ブックデビュー事業を行いました。また、図書館の事業外では、先述のブックスタート事業「絵本による赤ちゃんとのコミュニケーション講座」、子ども家庭課の「赤ちゃん広場」内で実施しました。

実施回数　１８回　参加者（のべ人数）２９４人

ウ　ブックリサイクルの実施

図書館で不用になった図書・雑誌を市民、学校及び施設に無料提供しました。

ブックリサイクル提供図書総数　　６，５００冊

（ア）子どもの本限定！ブックリサイクル

と　き　４月２７日（日）　　参加者　９２人

提　供　１，５６４冊　　持ち帰り　３６０冊

（イ）一般書限定！ブックリサイクル（一般書・雑誌）
と　き　１０月１２日（日）・１３日（月・祝）
参加者　（午前）２９人＋（午後）自由入場者
提　供　４,１９０冊　　持ち帰り　１,６０７冊
（ウ）学校向けブックリサイクル
と　き　Ｒ８年1月２１日（水）　参加者　２０団体
提　供　７４６冊　　持ち帰り　６６１冊

②行　事
ア　イベント的事業

事　業　名	内　　容	と　　き	参加者
「子ども読書の日記念イベント 2025」	映画「おしりたんてい」上映会	4 月 6 日(日)	子ども 21 人 大人 13 人
	子どもの本限定！ブックリサイクル〔再掲〕	4 月 27 日(日)	92 人
	『子ども読書の日記念　どうぶつおはなし会』	4 月 29 日(火・祝)	16 人
	コピックアクレアでお絵描き体験	5 月 5 日(月・祝) ～5 月 6 日(火・振休)	子ども 79 人 大人 24 人
特別おはなし会	子ども読書記念日　動物おはなし会〔再掲〕	4 月 29 日（火・祝）	子ども 8 人 大人 8 人
	七夕おはなし会	7 月 5 日(土)	子ども 11 人 大人 10 人
	平和おはなし会	8 月 2 日(土)	子ども 12 人 大人 10 人
	絵本「どうぶつのうんちください！」出版記念　どうぶつおはなし会	8 月 3 日(日)	子ども 17 人 大人 10 人
	動物愛護おはなし会	9 月 23 日（火・祝）	子ども 3 人 大人 2 人
	クリスマスおはなし会	12 月 20 日（土）	子ども 27 人 大人 20 人

イ　講座及び研修会

読書ボランティア養成講座

内　　容	講　　師	と　　き	受講者
「赤ちゃんと楽しむ絵本・わらべうた」（赤ちゃん向け）	吉岡　林子 （絵本コンシェルジュ）	12 月 3 日(水)	12 人
「はじめての絵本の読み聞かせ」 （幼児・小学生向け）	吉岡　林子 （絵本コンシェルジュ）	12 月 10 日(水)	12 人
おはなし会 実演・実技	おはなしネット・おおむた	12 月 17 日(水)	11 人

③有明圏域定住自立圏に係る取組み

有明圏域定住自立圏共生ビジョンに基づき、Ｈ２４年度から柳川市及びみやま市、Ｈ２６年度から荒尾市、南関町及び長洲町との図書サービスの相互利用を実施しています。

【大牟田市立図書館における相互利用状況】

区分／年度	登録者数	登録者数のうち新規登録者数	のべ利用者数	図書等貸出数
R5	1,782 人	78 人	4,164 人	21,668 冊
R6	1,567 人	65 人	4,006 人	20,054 冊
R7	1,314 人	90 人	4,265 人	20,272 冊

④ありあけ圏域電子図書館

Ｒ４年５月１日から大牟田市、柳川市、みやま市、長洲町の４市町共同運営による電子図書館サービスを開始しました。

【電子図書館利用状況】

区分／年度	貸出し総数（うち大牟田市）		
	一般図書	児童書	計
R5	17,360（13,733）	16,572（15,401）	33,932（29,134）
R6	15,666（12,282）	15,969（14,940）	31,635（27,222）
R7	16,082（12,873）	19,358（17,153）	35,440（30,026）

（２）提案事業（施設の設置目的を達成するために指定管理者が提案した、施設の特性を生かした事業）

①展示会（主に図書の展示と貸出し）ほか

ア　特設（一般）

展示テーマ	内　　容	と　　き
子ども読書の日記念特設 本の中から飛び出せ！	登場人物のぬいぐるみや、本の中の食べ物などを手作りできる本と実際の本を集め展示・貸し出しを行いました。	3 月 28 日(金)～ 4 月 23 日(水)
災害に備えよう！	防災や、防災食など災害に関する本を集めて展示、貸出を行いました。	4 月 25 日(金)～ 5 月 28 日(水)
普通選挙法制定 100 周年	普通選挙法制定 100 周年を機に、選挙に関する本を集め、展示しました。	5 月 30 日(金)～ 6 月 25 日(水)

展示テーマ	内　　容	と　　き
民藝百年	全国各地で民藝に関する展覧会が開かれており、国内外の民藝に関する資料、柳宗悦に関する資料を収集、展示を行いました。	6月27日(金)～ 7月30日(水)
複製原画展「ラナと竜の方舟」	複製原画と原画に関する内容紹介パネルを展示、さらに関連本を合わせて展示を行いました。	6月27日(金)～ 7月27日(日)
世界遺産明治日本の産業革命遺産登録10周年記念特設	世界遺産を盛り上げるため、昔の大牟田の風景が写っている絵葉書と、現在の同じ場所の写真を一緒に展示を行いました。	6月27日(金)～ 7月30日(水)
日本全国ここだけ?!ご当地ローカルな物	ご当地限定の食べ物・風習・方言・店などの本を集め、展示しました。	8月1日(金)～ 8月27日(水)
福岡県を舞台にした小説	自分が住んでいる地域を舞台とした小説に興味を持ってもらえるよう展示を行いました。	8月29日(金)～ 9月24日(水)
今年は誰が受賞する？ノーベル賞！	ノーベル賞が発表される月にちなみ、過去10年のノーベル文学賞受賞作と、これまで日本人で受賞した方に関する本の展示貸出を行いました。	9月26日(金)～ 10月29日(水)
闇鍋本	普段手に取らないような本を読んでもらうきっかけづくりのため、本が見えないように黒い袋に入れ、本のジャンルと冊数のみ表示して貸出を行いました。	10月31日(金)～ 11月26日(水)
晩酌のお供に	年末はお酒を楽しむ機会が増えることに合わせて、お酒の絡む小説・エッセイ・雑学本やお酒の照会本・おつまみのレシピ本の展示を行いました。	11月28日(金)～ 12月24日(水)
事実は小説より奇なり？ ノンフィクション特集	ノンフィクションの本は分類も多岐にわたっているので、特設で展示することで利用者の目に留まるようにしました。	12月26日（金）～ R8年1月28日(水)
幻想の物語	幻想文学の特設展示として、古典的ゴシック小説から近年の幻想的小説まで、また、SF・ファンタジー・ホラーなど幅広いジャンルから幻想性ある小説を集めました。	R8年2月27日(金) ～3月25日（水）

イ　特設（児童）※抜粋

展　　示　　名	展示冊数	と　　き
どうぶつのほん	30冊	3月28日(金)～4月23日(水)
こいのぼりのほん	19冊	4月25日(金)～5月28日(水)
かぞくのほん	42冊	5月30日(金)～6月25日(水)
にんぎょのほん	17冊	5月30日(金)～6月25日(水)
星のほん	47冊	6月27日(金)～7月30日(水)
平和のほん	30冊	8月1日(金)～8月27日(水)

展　　示　　名	展示冊数	と　　き
おつきみのほん	31 冊	8 月 29 日(金)～9 月 24 日(水)
ハロウィンのほん	39 冊	9 月 26 日(金)～10 月 29 日(水)
人権を考えるほん	55 冊	10 月 31 日(金)～11 月 26 日(水)
クリスマスのほん	121 冊	11 月 28 日(金)～12 月 24 日(水)
お正月のほん	56 冊	12 月 26 日（金）～R8 年 1 月 28 日（水）
節分のほん	56 冊	R8 年 1 月 30 日(金)～2 月 25 日(水)
ひなまつりのほん	28 冊	R8 年 2 月 27 日（金）～3 月 25 日（水）

ウ　特設（YA：ヤングアダルト）※抜粋

展　示　名	内　　容	と　　き
使ってみたい「あまつさえ」　～語彙力を深める言葉の本～	語彙を深める本だけでなく、言い換え言葉や「敬語に関する資料など、広く伝えるための資料を集め展示を行いました。	R7 年 3 月 28 日(金)～5 月 28 日(水)
鏡よ、鏡	「鏡」をテーマとし、鏡の歴史、鏡が出てくる物語などを集めて展示・特設を行いました。	5 月 30 日(金)～6 月 25 日(水)
読書感想文におすすめの本	読書感想文におすすめの本をリストアップし、展示を行いました。	6 月 27 日(金)～8 月 27 日(水)
文系が選ぶ理系本	理系の本を普段あまり手に取らない方ほど読んでほしい入門におすすめの本や、様々なテーマで興味を引く本を集め展示を行いました。	8 月 29 日(金)～10 月 29 日(水)
自分の心をいたわろう	学校生活や SNS など様々な対人関係で、知らないうちにストレスをため込んだり心をすり減らしている人に向けての本を紹介、展示をおこないました。	10 月 31 日(金)～12 月 24 日(水)
愛してる	人気の恋愛物を入口に、広く考えを巡らせてもらうようにしました。	12 月 26 日(金) ～R8 年 1 月 28 日(水)
星空を見上げて	星座や宇宙に関する本を集めて展示を行いました。	R8 年 1 月 30 日(金)～3 月 25 日(水)

エ　常設展示

展　示　名	内　　容
SDGs コーナー	大牟田市で推進している ESD（持続可能な開発のための教育）と、SDGs（持続可能な開発目標）に関する本の展示・貸出しを行いました。
認知症コーナー	地域の情報を積極的に収集し、認知症に関する予防や介護、闘病記など様々なジャンルの展示・貸出しを行いました。
科学道	理化学研究所と、本の可能性を追求する編集工学研究所の共同プロジェクト「科学道 100 冊プロジェクト」で紹介された本の展示・貸出しを行いました。

展　示　名	内　　容
点字本・大活字本・LL ブック	誰もが読書を楽しむことができることを目的とし、点字本・大活字（文字が大きい本）・LL ブック（記号なども組み合わせ平易に表現し、知的障害の方・海外にルーツを持つ方なども読みやすいよう工夫がされている本）の展示・貸出しを行いました。
スタンダードブック	1974 年までに出版されて長く読み継がれてきたスタンダードな絵本の展示・貸出しを行いました。
大牟田関連コーナー	大牟田出身漫画家作品、大牟田ゆかりの人物に関する本や郷土資料、大牟田市動物園関連の本、ともだちや絵本美術館や三池カルタ・歴史資料館の展示に合わせた本の展示・貸出しを行いました。

②行　事

ア　イベント的事業

事　業　名	内　　容	と　　き	参加者
図書館で健康になろう！	健康づくり課と連携し、パネル展や健康測定会（血圧測定やベジチェック、体組織計など）を行いました。	パネル展 4 月 25 日（金） ～5 月 28 日（水） 健康測定会 5 月 21 日（水）	健康測定会 30 人
図書館 de ボードゲーム	小学校高学年～高校生の図書館へ来たことがない子に来てもらうきっかけを作り、そこから図書への興味に繋げ、今後の来館促進を図りました。	6 月 22 日（日）	14 人
パネル展「防災ハザードマップ展」	ハザードマップをパネル形式で展示。避難に関する本や、手軽に試すことのできる防災の本、ペットを飼う人向けの防災に関する本なども展示を行いました。	5 月 30 日（金） ～6 月 25 日（水）	－
世界遺産登録 10 周年記念講演会	世界遺産登録 10 周年を記念し、デジタルアーカイブに追加した絵はがきを中心に解説を行った。	7 月 12 日（土）	15 名 （内ライブ配信 6 名）
核兵器廃絶平和都市宣言記念事業 平和の映画上映会	戦争に関するアニメを上映し、平和について考えてもらう上映会を開催しました。 ※大雨洪水警報が出されていたため参加者なしとなりました。	8 月 10 日（日）	0 人
『笑顔の読み芝居 ひらく！絵本と音の世界』	本が好きな子はもちろん、興味がない子にも絵本の魅力を知ってもらうきっかけづくりとして、通常のおはなし会とは違い、お話・お芝居・音楽が一つとなった「読み芝居」を開催しました。	8 月 24 日（日）	延べ 約 400 人
核兵器廃絶平和都市宣言記念事業 平和のパネル展 「ヒロシマ・ナガサキ原爆と人間」	大牟田市「核兵器廃絶平和都市宣言」の認知度の向上及び平和意識の高揚に資するため、展示を行いました。	①8 月 1 日(金)～ 8 月 15 日(金) ②8 月 16 日(土)～ 8 月 27 日(水)	－
動物愛護パネル展	動物愛護週間に合わせて、動物愛護について啓蒙を行いました。	8 月 29 日(金)～ 9 月 24 日(水)	－

事　業　名	内　　容	と　　き	参加者
第 9 回大牟田市立図書館を使った調べる学習コンクール	図書館の使い方や物事の調べ方の方法を学ぶ講座を開催し、図書館を使った生涯学習の発展に努めるためにコンクールを行いました。応募された作品は、審査・表彰を行い、その後全国コンクールに出品しました。	作品募集期間 7 月 1 日(火)～ 9 月 30 日(火) 表彰式 11 月 30 日(日)	応募数 小学生の部 32 点 中学生の部 2 点
図書館 de サイエンス「理科読」 『プログラミングと AI』	図書館スタッフによる科学絵本の読み聞かせと有明工業高等専門学校の先生と学生による理科実験・解説で科学のしくみについて学んでもらうイベントを開催しました。	11 月 9 日 （日）	20 人
認知症にやさしい図書館＆博物館プロジェクト「回想法」で認知症予防	昭和から平成にかけての全国ニュースや大牟田の写真を見て当時の思い出についてグループで語りあう「回想法」と国立病院の認知症専門医による「認知症予防」についての講演を行いました。また、認知症コーナーの取組み、昔の写真が載っている本の紹介を行いました。	11 月 3 日 （月・祝）	11 人
図書館 de ボードゲーム	コミュニケーションツールとしてボードゲームが注目されていることから、YA 世代（小学生～高校生）を対象に来館のきっかけ作りとしてボードゲームの体験イベントを行いました。	11 月 23 日(日・祝)	7 人
パネル展 「税を考える週間」	大牟田税務署が提供する税に関するチラシやポスターと「税を考える週間」にちなんだ中高生の作文コンクールの受賞作品を展示しました。	11 月 11 日(火)～ 11 月 18 日(火)	―
バリアフリー映画上映会	字幕と音声ガイドを使用した映像作品を制作会社から借り、障害を持った方だけでなく、その家族やヘルパーさんと一緒に楽しめるよう上映を行いました。	12 月 7 日(日)	11 人
バリアフリー図書読書体験会	福岡県立図書館による展示資料、大活字本、DAISY 資料（※1）や最新の拡大読書器等の展示を行うとともに、バリアフリー図書読書と障がい者サービスの周知を行いました。	12 月 14 日(日)	44 人
図書館 de サイエンス図書館×健康づくり課ｺﾗﾎﾞｲﾍﾞﾝﾄ 「自分の体について知ろう」	科学の本に興味関心を持ってもらうきっかけづくりとして、健康と栄養を科学的に解説・体験するとともに、図書館の蔵書も併せて展示を行いました。	12 月 26 日(金)	45 人

事　業　名	内　　容	と　　き	参加者
かたなたび　ある 赤羽刀の足跡	「赤羽刀」をテーマとし、大牟田市所蔵の刀3振と、玉名市所蔵の刀2振を展示しました。また、大牟田市所蔵の「鬼塚吉國」を修復した時の様子と赤羽刀の歴史をパネル展示しました。その他、三池典太光にゆかりの地を巡る「三池まちあるき」や、刀匠による銘切り体験を行いました。	・展示 12月16日（火）～ R8年1月28日(水) ・三池まち歩き 第1回 12月21日（日） 第2回 R8年1月17日（土） ・銘切り体験 R8年1月18日(日)	・展示　－ ・三池まちあるき 第1回 ：9人 第2回 ：6人 ・銘切り体験　－

※1：DAISY資料：視覚障害や学習障害などにより、活字の読書が困難な方向けに開発された、目次検索や音声再生機能を持つ国際規格のデジタル図書のこと。

イ　講座及び研修会

（ア）第9回大牟田市立図書館を使った調べる学習コンクール応援教室

内　　容	講　　師	と　　き	受講者
「夏休みの宿題にも役立つ！調べ方講座」 ①低学年向け　②高学年向け	講師：図書館スタッフ	①7月13日(日) ②7月21日(月・祝)	子ども 6人 大人 4人

（イ）刀剣イベント関係

内　　容	講　　師	と　　き	受講者
講座「赤羽刀入門～日本刀受難の歴史～	山田　元樹 （大牟田市立図書館館長）	R8年1月11日（日）	14人
ギャラリートーク	山田　元樹 （大牟田市立図書館館長） 坂口　優美 （日本美術刀剣保存協会会員） 田熊　秀幸 （玉名市立歴史博物館こころピア技術主任）	R8年1月18日（日）	30人

（ウ）その他

内　　容	講　　師	と　　き	受講者
「大牟田の絵本づくりワークショップ2025」への協力	講師：図書館スタッフ	9月18日（木）～ R8年2月7日（土）	39人
R7年度　南筑後地区公共図書館等協議会研修会 「図書館と漫画、漫画と図書館」 （会場：大牟田市中央公民館）	谷合　佳代子 （大阪産業労働資料館館長） 萩森　千聖 （大牟田出身漫画家）	R8年2月26日(木)	71人

《スポーツ施設》〔スポーツ推進室〕

人々の健康に対する関心の高まりとともにスポーツ参加への関心も高く、身近に利用できる安全で快適性が高いスポーツ施設が望まれています。市民や利用者の健康保持と体力増進のためにスポーツ施設の充実を行い、活用していきます。

1　スポーツ施設の管理運営

Ｒ６年３月３１日をもって、市民体育館、武道場及び第二市民体育館が閉館し、４月１日から総合体育館（おおむたアリーナ）が開館しました。

スポーツ施設に関しては、Ｈ１９年度から（延命プールはＨ２０年度から）指定管理者制度を導入しており、Ｒ６年度からＲ１０年度までの５年間は、６施設（総合体育館、延命球場、延命プール、御大典記念グラウンド、笹林庭球コート、第二グラウンド）の管理運営について、特定非営利活動法人大牟田市体育協会を指定管理者に指定しています。

同法人は、競技の専門知識・大会運営のノウハウ・各団体との連絡や協力体制を活かした各種スポーツ事業の実施により社会体育の普及促進に寄与しており、本市では、事業の計画的な実施状況や施設の保守点検業務の実施状況などについて、指定管理者からの聞き取りや月例報告書によるモニタリングなどを通じて、常に連携を図っています。

2　利用状況（単位：人）

区　　分		R5 年度	R6 年度	R7 年度
延命球場		19,710	18,941	16,321
総合体育館		－	190,129	229,675
市民体育館		86,217	－	－
御大典記念グラウンド		44,476	48,783	44,695
延命プール		14,811	13,968	13,959
武道場		4,114	―	－
宅峰中学校弓道場（※1）		4,495	3,597	3,473
第二市民体育館		32,705	―	－
笹林庭球コート		3,377	3,191	3,272
第二グラウンド		5,542	2,612	13,805
諏訪公園テニスコート		15,031	13,315	14,195
大牟田港緑地運動公園（※2）	ソフトボール場	4,420	4,977	4,905
	野球場	4,640	5,676	6,357
	運動広場	20,834	23,027	23,005
	庭球場	15,356	13,466	15,798
甘木中学校夜間照明		954	517	65
手鎌北町公園テニスコート		755	544	411
合　　計		277,437	342,743	389､936

※1　宅峰中学校弓道場については、一般利用分のみの数値を計上しています。

※2　大牟田港緑地運動公園は県営施設ですが、市が管理を受託しており、参考に記載しています。

３　施設の維持補修等

スポーツ施設を適切に管理運営するため、老朽化した箇所や設備について補修工事等を行い、利用者の利便性及び安全性の向上を図りました。

特にＲ７年度は、御大典記念グラウンドの第３種公認検定の受検のため、５か月ほどの休場期間を設けて大規模改修工事を実施しました。

４　評価・課題

市民が健康的で豊かな生活を送るために、スポーツ施設の果たす役割は大きく、市民が気軽に利用できる施設として親しめるよう、環境の整備や事業の充実に努めています。

Ｒ７年度の全体的な施設の利用者数は、前年度と比較して１割以上増加しました。総合体育館の利用が順調に推移していることや、旧第二市民体育館解体後に使い勝手が良くなった第二グラウンドの利用が大幅に増えたことが、全体の施設利用者数の増を牽引した格好です。

今後も引き続き、総合体育館の利活用を促進するとともに、スポーツ施設の魅力発信に努めるなどして、さらなる利用者の拡大を図っていきます。また、総合体育館を活用したトップレベルの大会や選手等の誘致を支援することで、交流人口の拡大や市民のスポーツ活動の活発化に努めていきます。

〔指定・登録文化財一覧〕

（令和8年3月31日現在）

区　分		種　類	指定･登録年月日	文化財の名称	所　在　地
国指定	1	建造物 （重要文化財）	Ｓ４５．６．１７	早鐘眼鏡橋 （附　旧水路１０ｍ）	早鐘町１２８番地
	2	〃	Ｈ１０．５．　１	三井石炭鉱業株式会社 三池炭鉱宮原坑施設	宮原町１丁目８６番地３
	3	史　跡	Ｓ３６．４．　５	萩ノ尾古墳	東萩尾町２８９番地　ほか
	4	〃	Ｓ５２．２．１７	潜塚古墳	黄金町１丁目４６９番地　ほか
	5	〃	Ｈ１２．１．１９ (追加指定 H25.3.27) (追加指定 H26.10.6) (追加指定 H28.10.3)	三井三池炭鉱跡 宮原坑跡　万田坑跡　専用鉄道敷跡 旧長崎税関三池税関支署	宮原町１丁目８６番地３　ほか 桜町２０１番地２　ほか 新港町１番地２５
国登録	6	建造物	Ｈ１０．１．１６	旧三池炭鉱宮浦坑煙突	西宮浦町１３２番地８
	7	〃	Ｈ１２．１２．４	旧三池炭鉱三川電鉄変電所 (信号電材株式会社本社)	新港町１番地３０
	8	〃	Ｈ１７．１２．２６	大牟田市役所本庁舎旧館	有明町２丁目３番地
	9	〃	Ｒ３．２．４	古賀家住宅主屋	谷町１番地１２　ほか
県指定	10	史　跡	Ｈ１５．２．５	黒崎観世音塚古墳・経塚	岬２６０８番地２　ほか
	11	建造物	Ｈ８．５．３１	旧三池集治監外塀及び石垣	上官町４丁目７７番地　三池工業高等学校
	12	〃	Ｈ２６．３．１４	旧長崎税関三池税関支署	新港町１番地２５
	13	彫　刻	Ｓ３３．４．３	木造薬師如来坐像	大字今山２５３８番地　普光寺境内
	14	〃	Ｓ３８．１．１６	木造慈覚大師坐像	〃
	15	考古資料	Ｓ３２．８．１３	黒崎山舟形石棺	宝坂町２丁目２番地３　大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	16	〃	Ｓ３３．４．３	宮原石層塔残欠	宮原町１丁目１９１番地　駛馬天満宮境内
	17	〃	Ｓ３３．１１．１３	不動明王板碑 (附　梵字阿弥陀三尊板碑)	大字今山２５３８番地　普光寺境内
	18	〃	Ｓ３３．１１．１３	石造六地蔵	大字倉永８７２番地　法雲寺境内
	19	〃	Ｓ３３．１１．１３	南無阿弥陀仏名号板碑 （附　四面仏石塔残欠）	藤田町７４３番地　藤田天満宮境内
	20	〃	Ｓ３４．３．３１	石甲	宝坂町２丁目２番地３　大牟田市立三池カルタ・歴史資料館（九州国立博物館へ貸出・展示）
	21	〃	Ｓ３６．４．１８	今山普光寺ならびに定林寺石塔群	大字今山字本村、字大塔
	22	〃	Ｓ３７．４．１９	宮原天満宮石幢残欠	宮原町１丁目１９１番地　駛馬天満宮境内
	23	〃	Ｓ３８．１．１６	蜜柑山舟形石棺	宝坂町２丁目２番地３　大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	24	〃	Ｓ４５．５．２	乙宮神社の石殿	宮坂町２０番地　乙宮神社境内
	25	〃	Ｓ５７．４．１	倉永古墳壁画残欠	宝坂町２丁目２番地３　大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	26	〃	Ｓ５７．４．１	高塚舟形石棺	宝坂町２丁目２番地３　大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	27	〃	Ｓ５７．４．１	古城山家形石棺	宝坂町２丁目２番地３　大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	28	有形民俗文化財	Ｓ３８．１．１６	湯谷柳川領境界石	大字四ヶ字湯谷
	29	天然記念物	Ｓ３３．４．３	臥龍梅	大字今山２５３８番地　普光寺境内
	30	〃	Ｓ５４．３．６	土穴のエノキ	大字櫟野字土穴９２８番地
	31	〃	Ｈ１８．３．３	米ノ山断層及び石炭層の露頭	大字櫟野字石坂２９６４　焼石山公園内
市指定	32	建造物	Ｈ１７．１２．９	三井港倶楽部	西港町２丁目６番
	33	彫　刻	Ｈ５．３．１０	普光寺仁王像	大字今山２５３８番地　普光寺堂内
	34	〃	Ｈ１２．４．１４	教楽来天満神社石造狛犬	大字教楽来字権現堂１１１４番地 教楽来天満神社
	35	考古資料	Ｓ３４．１２．１２	四方佛塔 （附 五輪塔地輪）	宝坂町２丁目２番地３　大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	36	〃	Ｓ４２．１０．１１	大間劫月院跡の石造遺物	大字三池２２６番地
	37	〃	Ｓ４２．１０．１１	明正寺六地蔵幢	大字三池７７９番地　明正寺境内
	38	〃	Ｓ５０．３．１８	定林寺中興開山塔	大字今山字大塔　定林寺境内
	39	〃	Ｓ５０．３．１８	本村の四仏塔婆	大字勝立字本村
	40	〃	Ｓ５０．３．１８	三池氏供養塔	大字今山字大塔　定林寺境内
	41	有形民俗文化財	Ｓ３７．７．１６	焚石山鎮守社稲荷石祠	岬町６番地２３　大牟田市石炭産業科学館
	42	無形民俗文化財	Ｓ５０．３．１８	岡天満宮祭礼行事	大字上内　岡・坂井地区
	43	無形民俗文化財	Ｈ２２．４．１４	三池地区祇園社祭礼行事 “三池の大蛇山”	大字三池・大字新町
	44	史　跡	Ｓ３７．７．１６	歴代三池藩主墓地	大字今山２５８５番地　紹運寺境内ほか
	45	〃	Ｓ３８．７．１１	上内立花内膳家墓地	大字上内字椛２２４８番地
	46	天然記念物	Ｓ４４．６．１１	玉垂神社の大樟	大字岬２３６３番地　玉垂神社境内
	47	〃	Ｓ６１．４．１６	下正原のシラカシ	大字勝立字下正原１６８５番地
	48	〃	Ｓ６１．４．１６	一ノ尾のアラカシ	大字教楽来字一ノ尾８４１番地

令和８年度版（令和７年度実績）

大牟田の教育

令和８年１０月

発　　行　　大牟田市教育委員会
　　大牟田市

編　　集　　大牟田市教育委員会事務局
　　総務課　教育みらい創造室

〒836－8666　　福岡県大牟田市有明町２丁目３番地
電話 0944－41－2867　ファクシミリ 0944－41－2862
電子メール　e-kyoikusoumu01@city.omuta.fukuoka.jp
大牟田市教育委員会ホームページ
http://www.city.omuta.lg.jp/kyouiku/